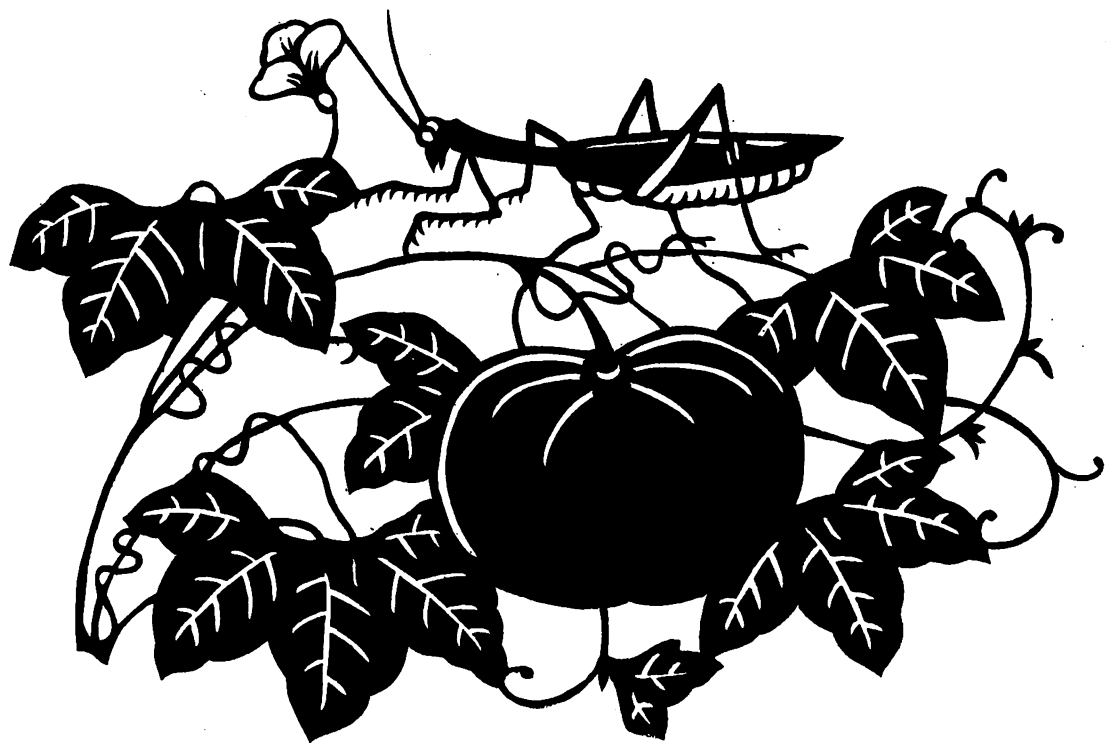


# てんとうむし



第 13 号

姫路昆虫同好会

## 兵庫県産蝶類分布資料(15)

### — 暖地性の蝶 3 種の記録 —

イシガケチョウ・クロコノマチョウ・ウスイロコノマチョウ  
 広畑政巳・近藤伸一

#### はじめに

暖地性の蝶で、近年は県下各地で毎年のように採集されている標記3種の蝶について採集記録、県内の分布状況等を報告する。これら3種は専門的に調査されている研究者が多く、採集記録も比較的よく発表されている。

今回はこれまでに発表されたデータに加えて、一部未発表の資料を追加して県下の状況を取りまとめたものである。記載の方法は、県内の記録を各産地1例ずつをあげて、気付いたことを付記した。採集記録のうち場所が特定出来ない箇所については、分布図、垂直分布表から省いた。

本稿を草するにあたり、次の方々に貴重な採集記録を提供いただき、産地の状況等をご教示いただいた。ここに記してお礼申し上げる。

石井為久 稲田和久 入江照夫 岩村 巖  
 故尾崎 勇 木下賢司 木村三郎 黒田 収  
 佐々木薫 大東康人 高島 昭 徳岡正己  
 永幡嘉之 難波通孝 苦木隆幸 平尾栄治  
 松崎 隆 森口 紀 森下泰治 唐土洋一  
 八木 弘 山下剛史 山本正勝 米村和繁

#### 1 イシガケチョウ

##### (1) 分布の状況

暖地性の蝶でクワ科イヌビワ属(*Ficus*)を食餌植物とし、本州南部、四国、九州の平地、山地に分布する。県内の最初の採集記録は、1936年の神戸市須磨区一ノ谷(加地早苗)で、その後も数年に1回のペースで採集されてきたが、1970年代後半から毎年のように採集されるようになり、1989年を境として採集数が増加している。採集場所は県下全域に及んでいる。

1994年に岡山県の難波通孝氏は、岡山県南部の春の越冬個体群が1化、2化と世代をつなぎながら北に拡散する様子を克明に調査され、兵庫県内では7月に2化個体の発生を千種川、揖保川の中～上流で確認、2化個体群の発生の北限を大屋町から朝来町を結ぶ線と推定されている。

県下で越冬しているかどうかについては、近年は採集例が特に増加し、また継続的に採集され、同じ地域でも連続数年間採集されている。越

冬成虫の採集記録は4月に3例{浜坂町(1993)、姫路市・夢前町(1994)}、5月にも3例あり、近年の冬期の温暖化や近接の岡山県で毎年越冬する地域があることなどを考慮すると、県下で越冬している可能性はきわめて高い。

##### (2) 生息環境の現況

県南部では集落に近いイヌビワの茂る雑木林内、林縁、山道などいわゆる里山環境で見られるが、県中北部では集落内のイチジクからも幼虫や蛹が採集されている。住宅地や市街地で採集された例も多い。生息地の標高は100m以下の低地が中心で、成虫の採集時期は4月上旬から12月上旬に及び、採集数が多いのは5月下旬から10月下旬の間である。

これまで幼虫等がイヌビワ、イチジク、イタビカズラから確認されている。

##### (3) 採集記録

芦屋市公光町 1♀	27-XI-1994	吉原和男	175
" 川西町 1♂	11-X-1993	西 隆広	120
" 奥山黒越谷 1♂	17-VIII-1992	青木典司	120
西宮市山口町金仙寺 1♂			
	21-VI-1980	森崎 譲	85
神戸市			
六甲山頂	23-VII-1961	楠田英夫	78
灘区摩耶山 1ex. (目撃)	28-IX-1959	松本健嗣	87
中央区籠池通 1♂	23-X-1994	福本 誠	119
" 加納町新神戸駅西側			
	23-V-1996	難波通孝	176
" 元町 1♀	15-XI-1990	中西明德	72
" 誠訪山公園 1♀	10-XII-1989	山口福男	96
" 再度谷 1♀ (目)	2-IX-1995	山岡万寿夫	3
鷹取山 1ex.	-1949	中畔史雄	75
鷹取山袖谷 1♂	29-VI-1951	中口公一郎	74
須磨区一ノ谷 2exs.	-1936	加地早苗	73
" " 1♂	19-IX-1995	青木陽一	4
" 板宿 1♂	-VIII-1949	加藤昌宏	76
" 須磨浦公園 2♂	-IX-1995	青木陽一	177
北区丹生神社付近 1♀	1-VIII-1995	平尾栄治	
三木市戸田 1♀	-IX-1977	小倉 滋	82
西脇市出合 1♂	21-VIII-1977	竹内俊行	68

加美町烏羽 幼虫	9-VII-1994	難波通孝	72	千種町下河野揃木 蛹殻	7-VII-1994	難波通孝	72
" 山寄上 蛹	9-VII-1994	難波通孝	72	" 川井 2♂	7-VII-1994	難波通孝	72
姫路市井ノ口 10幼虫	30-IX-1983	上田倫範	90	" 岩野辺 幼虫	7-VII-1994	難波通孝	72
" 白鳥台 1♀	29-IV-1994	広畑政巳	115	" 奥西山 食痕	10-VII-1994	難波通孝	72
" 飾磨高校 1♂	16-VII-1996	稲田和久	178	佐用町佐用坂 1♂	中旬-VI-1976	白井祐一	80
福岡町山崎 1ex. (目)	-VII-1991	石井為久	112	豊岡市瀬戸 1ex.	9-X-1994	福井丈嗣	72
神崎町吉富野上 蛹殻	10-VII-1994	難波通孝	72	城崎町温泉寺 1♂	27-VII-1995	嶋田 勇	12
夢前町佐中 1ex. (目)	5-IV-1994	稲田和久	115	" 来日林道 1♂	11-VIII-1995	木下賢司	172
" 雪彦山 4exs. (目)				竹野町河内 1♂	12-VIII-1994	近藤伸一	72
	26-X-1994	木下賢司	72	香住町間室 1♂	13-IX-1994	永曾将大	10
" 塩田温泉 1ex. (目)				" 上計 1♀	26-X-1994	永曾将大	10
	20-XI-1994	広畑政巳	72	日高町阿瀬溪谷 1♂	11-VII-1978	三木茂久	81
家島町西島東大寺 1♀	14-VI-1992	小路嘉明	98	但東町天谷 蛹殻	10-VII-1994	難波通孝	72
揖保川町馬場 1♀	13-VI-1996	唐土洋一	13	村岡町熊波 幼虫	6-X-1994	永幡嘉之	72
龍野市揖西町小神 2exs.				" 萩山 食痕	6-XI-1994	永幡嘉之	72
	25-VI-1995	唐土洋一	13	" 大野 食痕	6-XI-1994	永幡嘉之	72
新宮町香山平見 蛹殻	7-VII-1994	難波通孝	72	" 大笹 幼虫	6-VII-1995	永幡嘉之	
山崎町野々上池田 蛹	7-VII-1994	難波通孝	72	温泉町畑ヶ平林道	14-VI-1992	永幡嘉之	118
" 三津 蛹	7-VII-1994	難波通孝	72	" 切畑 1♀	15-VI-1992	永幡嘉之	118
一宮町安積 蛹殻	7-VII-1994	難波通孝	72	" 扇ノ山小ツッコ 1♀			
" 嶋田 食痕	7-VII-1994	難波通孝	72		27-VII-1992	永幡嘉之	99
" 百千家満 食痕	10-VII-1994	難波通孝	72	" 霧ヶ滝 1ex. (目)	16-VI-1994	唐土洋一	72
波賀町上野水谷 蛹	10-VII-1994	難波通孝	72	" 海上 食痕	9-X-1994	永幡嘉之	72
" 音水 1♂	8-VI-1969	畑中 熙	79	浜坂町城山 1♀	13-IV-1993	永幡嘉之	113
" 戸倉 1ex. (目)	20-VII-1980	黒田 収	68	" 諸寄 1♂1♀	24-VI-1993	永幡嘉之	100
" 芥木 蛹	7-VII-1994	難波通孝	72	" 居組海岸 1ex. (目)			
" 上野 食痕	7-VII-1994	難波通孝	72		11-VIII-1994	永幡嘉之	121
" 皆木 蛹	7-VII-1994	難波通孝	72	" 宇都野神社 1ex. (目)			
" 原 幼虫	7-VII-1994	難波通孝	72		初夏-1962	谷角素彦	9
相生市三濃山 1ex. (目)	28-VIII-1994	唐土洋一	72	" 久谷字袋谷 1♀	29-XI-1997	山本一幸	14
" 菅原町 1ex.	7-VI-1977	川崎悟良	84	朝来町立野 食痕	10-VII-1994	難波通孝	72
" 大谷町 1♂	19-IX-1971	浜田守弘	83	関宮町大谷 1♀	20-IX-1997	植田 悟	15
" 相生町 1♂	6-VIII-1993	米村和繁	112	大屋町宮本岡畑 蛹	10-VII-1994	難波通孝	72
" 相生3丁目 1ex. (目)				" 須西 蛹殻	10-VII-1994	難波通孝	72
	29-V-1994	橋本一彦	114	" 中間 1♂	13-IX-1959	上垣 巧	77
" 矢野町小河 1ex.	10-X-1995	唐土洋一	13	青垣町東芦田 蛹	9-VII-1994	難波通孝	72
" 川原町 1♂	3-VI-1994	米村和繁	114	篠山市今田町四斗谷 1♂			
赤穂市周世 1♀	16-X-1994	唐土洋一	72		6-VI-1994	法西 浩	174
" 坂越 1♀	16-X-1994	唐土洋一	106	洲本市鮎屋 1ex.	29-VIII-1989	前川和昭	92
" 坂越大泊 1ex. (目)				" 三熊山 1ex. (目)	27-X-1989	竹田俊道	95
	16-VII-1979	枅田和則	106	" 猪ノ鼻水源池 1ex.			
上郡町柏野 1ex. (目)	21-IX-1995		174		23-VIII-1992	交告尚史	86
" 野桑 1ex. (目)	16-VII-1990	大貝秀雄	106	" 中川原 1♂	15-VII-1984	前川和昭	88
" 旭 1ex. (目)	7-VIII-1993	大貝秀雄	106	" 安乎町浜 1ex.	16-IX-1984	前川和昭	88
南光町上三河 1♂	7-VII-1994	難波通孝	72	淡路町岩屋 1ex. (目)	30-IX-1992	堀田 久	111
" 河崎 蛹	7-VII-1994	難波通孝	72	津名町大町畑 幼虫	30-VI-1991	登日邦明	97
千種町下河野宮の下 幼虫				緑町鮎屋ダム付近 1♂	29-V-1994	谷川大海	116
	7-VII-1994	難波通孝	72	西淡町飯山 1ex. (目)	10-IX-1990	竹田俊道	95

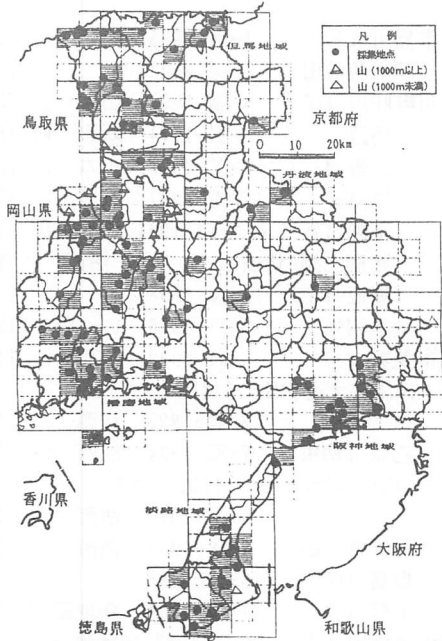


図1 イシガケチョウの採集記録地

表1 イシガケチョウの年別採集数

採集年	頭数	採集年	頭数	採集年	頭数	採集年	頭数
1950以前	4	1971	1	1981	-	1991	2
		1972	-	1982	1	1992	8
		1973	1	1983	1	1993	7
1951-60	3	1974	-	1984	2	1994	54
		1975	-	1985	-	1995	15
		1976	1	1986	-	1996	3
1961-70	3	1977	4	1987	-	1997	2
		1978	1	1988	1	1998	-
		1979	1	1989	7		
		1980	2	1990	3		

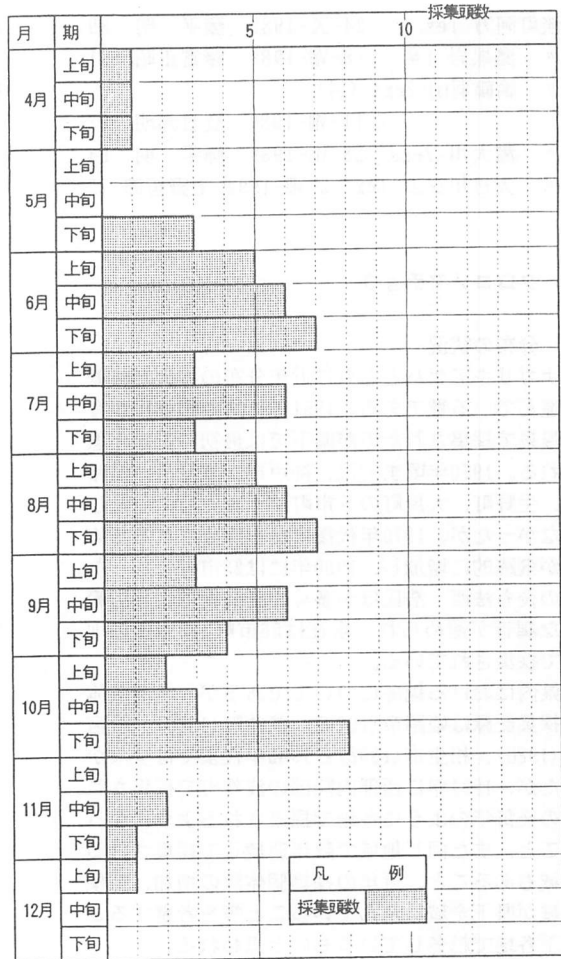


図2 イシガケチョウの月別採集数

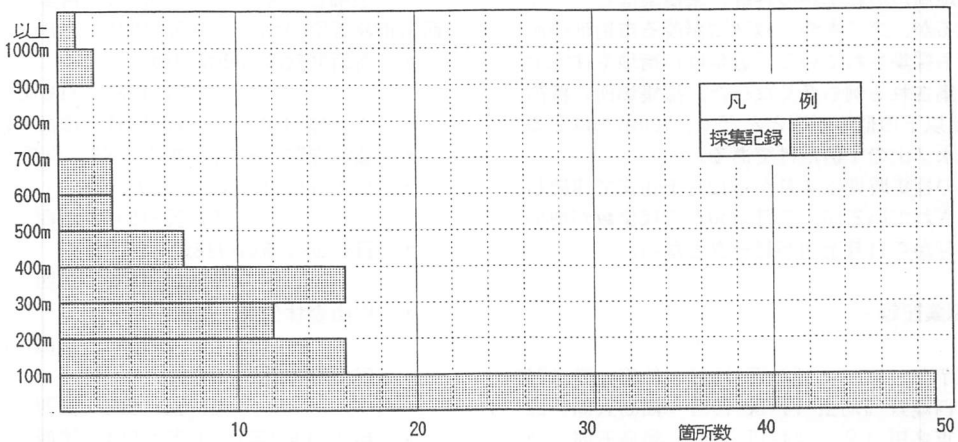


図3 イシガケチョウの垂直分布

南淡町阿万 1ex.	24-X-1982	藤平 明	89
" 灘黒岩 1♀	8-VIII-1988	藤富正昭	91
" 諭鶴羽山 2exs. (目)	11-VIII-1989	登日邦明	93
" 灘大川 2exs.	28-VIII-1989	藤平 明	94
" 大日川ダム 1ex.	2-VIII-1992	上野哲郎	72

## 2 クロコノマチョウ

### (1) 分布の状況

ナガサキアゲハとともに近年分布の拡大が顕著に進んでいる種である。1951年に法西定雄氏が有馬温泉で採集されたのが県下では最初の記録と思われる。1970年頃までは、神戸市、宝塚市、姫路市、生野町、大屋町の5市町で十数カ所の記録しかなかったが、1970年代後半から採集される個体数が飛躍的に増加し、1980年には23市町となった。その後も法西 浩氏ほか多くの研究者により広範囲な調査が進められ、現在は56市町216カ所の地点で採集されている。

県内における越冬についてであるが、越冬個体の採集記録は姫路市(1970)、夢前町(1980)、新宮町(1980)、相生市(1988)と1980年代までは少なかったが、1991年に西部内陸部の波賀町で採集され、その後毎年のように各地で採集されるようになったこと、また同じ地域で数年連続して採集される地域もあること、近年の採集個体数の増加、採集地域が県下全域に及んでいること等を考慮すると県下各地で越冬しているものと思われる。

### (2) 生息環境の現況

農用地周辺の雑木林の林縁、果樹園などでよく見られるが、ススキやジョウブタが茂る市街地の河川敷でも採集されている。近年は市街地や住宅地内で採集される例も多くなった。採集場所の標高は300m以下の低地がほとんどで、700mを超える記録は氷ノ山の1例だけである。

成虫の採集時期は4月から12月上旬まで連続して採集されているが、7月下旬から採集数が増加し、10月から11月上旬がピークとなる。

### (3) 採集記録

川西市芋生 1ex.	18-VIII-1979	仲田元亮	171
" 西畦野 5幼虫	14-IX-1991	鍋島五郎	22
" 東多田 1♀	24-VI-1992	鍋島五郎	22
" 若宮 1幼虫	4-IX-1994	法西 浩	28

川西市黒川 1♀	1-VII-1995	法西 浩	28
" JR川西池田 1♀	2-IX-1998		174
猪名川町肝川 1♂	4-VIII-1980	山本 治	155
" 栃原	23-IX-1974	新家 勝	162
" 上野 4♂1♀	2-X-1979	山本 治	155
" 島 1♂	17-VIII-1991	石井 実	179
" 下阿古谷 1♀	3-XI-1991	鍋島五郎	22
" 猪淵 3蛹6幼虫	4-IX-1994	法西 浩	24
" 槻並 1♂	12-IV-1998		174
" 木間生 1♂	2-XI-1996	杠 隆史	180
三田市長坂 1♂	3-XI-1992	法西 浩	142
" 山田宇大道ヶ原 15幼虫	28-VIII-1993	法西 浩	25
" 乙原 1幼虫	7-VIII-1994	法西 浩	25
" 山田千刈カントリークラブ' 付近 1幼虫	4-IX-1994	法西 浩	25
" 上青野 1蛹	4-IX-1994	法西 浩	24
" 福島 1♂	13-X-1995		174
" 上野 1♂	17-IV-1994	森地重博	31
宝塚市清荒神 1♀	18-IX-1983	加藤信一郎	123
" 切畑滝ヶ平井 1♂	5-IX-1971	松尾	124
" 宝塚高校内 1♀	30-IX-1970	柳沢俊二	125
" 宝塚付近	5-VIII-1955	佐手旗一郎	125
" 長寿ヶ丘	15-VII-1959	佐藤啓一	125
" 仁川 1♀	17-VII-1988		126
" 玉瀬 多数(目)	6-IX-1992	斉藤琢己	16
" 境野 1♂	3-X-1993	法西 浩	29
" 波豆千刈水源池右岸 1♀	11-X-1993	法西 浩	29
" ゆずり葉台イソンの園 1幼虫 1蛹	3-VIII-1994	法西 浩	24
" 大原野松尾 1♀	7-VII-1999	近藤伸一	
" 逆瀬台 1♀	4-V-1996	喜多 彦	17
西宮市深谷町 1ex.	15-X-1979	古川 澄	61
" 高須町武庫川団地 1ex.	19-XI-1987	竹中昭彦	157
" 上ヶ原 1♂2♀	7-XI-1991	法西 浩	30
" 鷲林寺町 2♂1♀	10-X-1992	法西 浩	30
" 仁川町仁川ショール' シンク' 1♀	27-X-1992	法西 浩	30
" 百合野町 5幼虫 1ex.	12-XI-1992	法西 浩	30
" 甲山森林公園 1幼虫	1-X-1993	法西 浩	21
" 甲山町神呪寺 3幼虫	20-IX-1994	法西 浩	24
" 甲山 1♀(目)	10-X-1994	法西 浩	24
" 仁川五箇山 1♀	15-X-1993	法西 浩	21

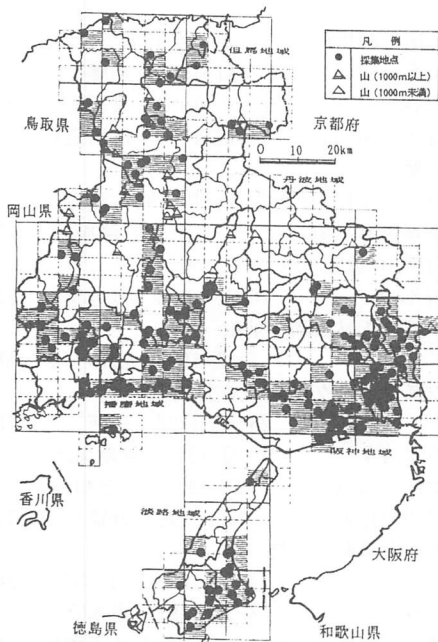


図4 クロコノマチョウの採集記録地

表2 クロコノマチョウの年別採集数

採集年	頭数	採集年	頭数	採集年	頭数	採集年	頭数
1950以前	-	1971	6	1981	1	1991	50
		1972	-	1982	-	1992	29
		1973	3	1983	6	1993	36
1950-60	14	1974	4	1984	8	1994	33
		1975	1	1985	13	1995	50
		1976	-	1986	2	1996	7
		1977	5	1987	6	1997	7
1961-70	4	1978	3	1988	8	1998	10
		1979	19	1989	13		
		1980	19	1990	17		

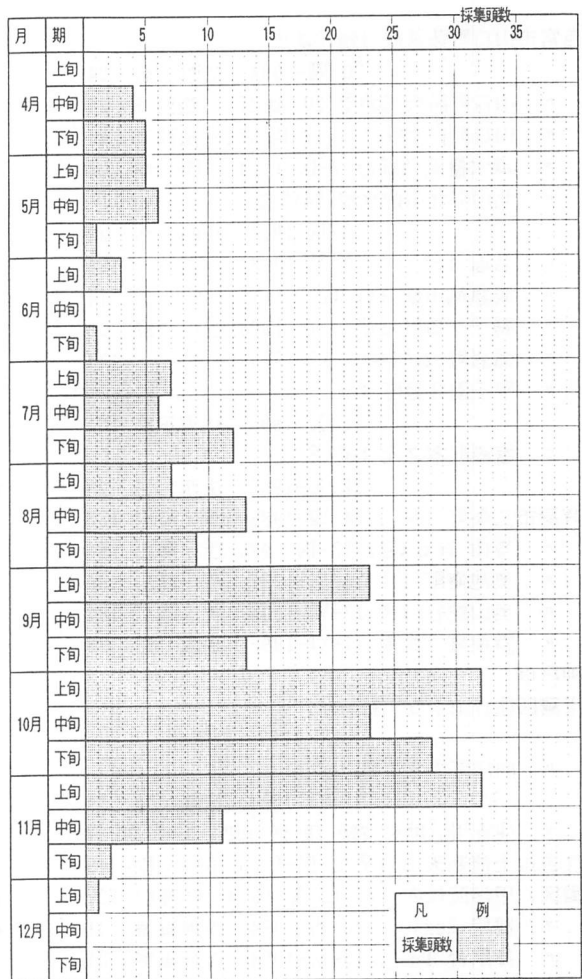


図5 クロコノマチョウの月別採集数

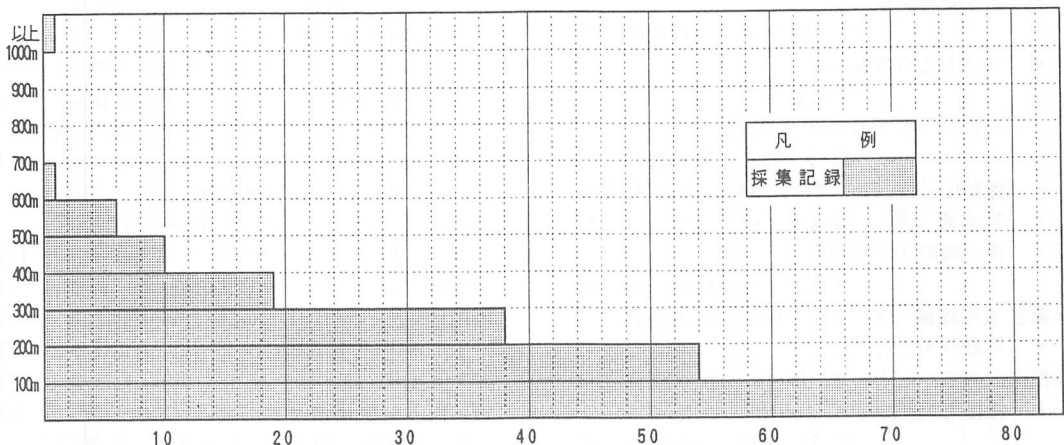


図6 クロコノマチョウの垂直分布

- 西宮市山口町蓬萊峽 1蛹20幼虫  
20-VII-1994 法西 浩 24  
" 山口町船坂 3幼虫 20-VII-1994 法西 浩 24  
" 山口町白水峽 1♀ 18-IX-1994 法西 浩 24  
" 越水盤滝 2蛹殻 7-IX-1994 法西 浩 24  
" 北山町北山貯水池 24幼虫  
13-IX-1994 法西 浩 24  
" 名塩 1♂ 9-X-1993 174  
" 阪急夙川駅 1ex.(目) 6-XI-1997 174  
" 獅子ヶ口町 3♂ 3-IX-1995 古川 澄 26  
" 甕岩町 2♂1♀ 5-XI-1995 174  
" 甲子園3番町 1ex.  
18-X-1995 緒方正雄 181  
" 塩瀬町木之元 1♂1♀  
28-X-1995 法西 浩 28  
芦屋市三条町 1♀ 24-VII-1985 西 隆広 156  
" 奥山 1ex.(目) 23-IX-1985 西 隆広 156  
" 奥池南町 1♀ 26-IX-1987 西 隆広 156  
" 奥山蛇谷 1♂ 17-VIII-1994 西 隆広 182  
" 芦屋町 1蛹殻 11-XI-1995 法西 浩 28  
神戸市  
東灘区住吉山手 9丁目 1♀  
8-X-1997 近藤伸一  
" 向洋町中 5丁目 1♂  
12-XI-1994 松崎 隆 34  
" 住吉川五助谷 2蛹 29-IX-1996 法西 浩 17  
住吉川上流寒天山 1♀ 2-IX-1955 田中 稔 49  
灘区六甲学院校内 1♀ 12-X-1974 杠 隆史 127  
" 鶴甲 2exs. 20-VIII-1994 森地重博 31  
" 篠原台 1♂ 10-IX-1994 森地重博 31  
中央区布引水源池 1♂ 23-VII-1991 青木陽一 150  
" 葺合町布引貯水池 1♂ 23-VII-1991 174  
" JR新神戸駅 1♂  
17-VIII-1989 岡村八郎 159  
" 三宮そごう東側 1♀  
13-XI-1993 唐土洋一 107  
" 三宮フラワーロード 1♂(目)  
23-X-1995 関谷善行 32  
" 諏訪山公園 1ex. 29-X-1995 山口福男 183  
" 宮本通 1♀ 4-XI-1996 福本 誠 33  
" 東川崎町1丁目 1♀  
6-XI-1993 松崎 隆 34  
兵庫区須佐野通 1♀ 29-IX-1962 三木 進 133  
" 平野町天王谷 2♂ 5-IX-1998 山本正勝  
長田区双葉町 1♂1♀ 22-IX-1980 山下剛史 71  
" 細田町大橋中学校 1♂(目)  
12-IX-1996 関谷善行 32  
北区山田町修法ヶ原 2蛹 15-IX-1993 法西 浩 184  
北区山田町洞川湖 1幼虫 15-IX-1998 法西 浩 186  
" 藍那 1♂ 2-XI-1980 加藤昌宏 76  
" 下谷上 1♂ 11-IX-1979 高橋寿郎 131  
" 有馬温泉 1♀ 24-IX-1951 法西定雄 132  
" 鈴蘭台 76  
" 道場町生野 10幼虫 18-IX-1994 法西 浩 24  
" 道場町水久野 1♂ 10-IX-1989 鍋島五郎 22  
" 再度山 数頭(目) 2-IX-1995  
" 屏風 1♂ 16-X-1993 森地重博 31  
" 山田町森林公園 5幼虫  
26-VIII-1996 法西 浩 28  
" ツエンティックロス 2幼虫  
26-VIII-1996 法西 浩 28  
" 坂本 1♀ 10-VII-1999 平尾栄治  
西区太山寺 1ex. 6-XI-1993 近藤伸一  
" 神出町雌岡山 1♀ 6-X-1991 近藤伸一 71  
" 神出町東雌岡山麓 1♀  
27-IV-1996 山下剛史 34  
" 押部谷 2♂ 3-X-1991 青木陽一 150  
" 榎谷町寺谷 1♂1♀ 2-X-1993 山下剛史 101  
高砂市北浜町北脇 1♀ 24-IV-1996 岩見裕介 38  
三木市志染町戸田 1♀ 8-VII-1978 小倉 滋 71  
" 大村 1♂ 22-VII-1988 永幡嘉之 148  
" 福井 1♀ 16-X-1992 浅田 卓 71  
" 東這町 1♀ 26-IV-1997 山下剛史 34  
小野市室山町 1♂ 7-X-1991 永幡嘉之 58  
" 下来住町 1♀(目) 16-IX-1991 近藤伸一 71  
西脇市出会 1♂ 5-X-1980 竹内俊行 68  
社町下久米 1♂ 2-XI-1995 竹内良範 32  
姫路市網干区新在家 1♂ 23-VIII-1980 岩村 巖 68  
" " 浜田 1♀ 19-IX-1977 河野綾典 68  
" 飾磨区中島 13-VII-1973 井出敏晴 166  
" " 妻鹿 1♂ 5-V-1992 稲田和久 165  
" 山田町南山田 1♂  
17-V-1992 木村三郎 165  
" 苦編 1ex.(目) 20-X-1989 稲田和久 165  
" 坂田町 1ex. 14-IX-1990 黒田 収 71  
" 野里 1ex. 旬-XII-1987 原伊佐男 71  
" 青山姫路市科学館 多数 1993 上田倫範  
" 白鳥台 1♀ 27-XI-1994 広畑政巳  
" 太尾 1♂ 29-IV-1970 山口栄一 109  
香寺町久畑 1♂ 6-X-1991 広畑政巳 71  
福崎町新 1♂ 24-IX-1991 森下泰治 71  
" 西谷 1♀ 3-V-1992 森下泰治 71  
" 山崎 1♀ 29-IV-1992 森下泰治 71  
市川町上牛尾半瀬 1♂ 5-X-1980 広畑政巳 68  
" 下牛尾河内 1♂ 12-IX-1998 広畑政巳  
" 下牛尾市場 1♂1♀ 22-VIII-1998 広畑政巳

- 市川町下瀬加茂地 1♂ 12-IX-1998 広畑政巳  
 大河内町上小田 1♂ 14-VII-1985 墨谷 健 146  
 夢前町雪彦山 1♀ 4-V-1980 稲田和久 167  
 " 大村 1ex. (目) 23-IX-1983 木村三郎 69  
 " 菅生潤 1ex. -VIII-1991 木村三郎 71  
 " 小畑 1♂ -1991 木村三郎 71  
 " 暮坂峠 1♀ 5-X-1991 稲田和久 165  
 " 宮置 1♂ 11-X-1993 広畑政巳 103  
 家島町宮 1ex. 31-X-1980 上田尚志 168  
 龍野市の馬山 1♂1♀ (目)  
 1-X-1993 唐土洋一 107  
 " 龍野町日山 1ex. (目)  
 -X-1979 川崎悟良 122  
 新宮町二柏野 幼虫 16-VIII-1990 唐土洋一 107  
 " 善定 1♂ 9-VI-1980 黒田龍一 68  
 揖保川町伝城山 1♀ (目)  
 14-X-1989 稲田和久 165  
 御津町新舞子 1♂ 30-VIII-1977 稲田和久 167  
 " 中島 1♀ 22-X-1989 稲田和久 165  
 " 稲富 1ex. (目) 23-X-1985 高柳栄一 71  
 " 室津 1♂ 16-XI-1986 広畑政巳 71  
 安富町三坂 1蛹 23-IX-1994 木村三郎  
 一宮町福知溪谷 1♂ 24-VII-1973 井出敏晴 166  
 " 小原 1蛹 15-X-1995 法西 浩 28  
 波賀町原 1♀ 18-V-1991 松田敏生 153  
 " 不動滝 1ex. (目) 6蛹 3-XI-1994 法西 浩 24  
 " 赤西溪谷 17幼虫 6-VIII-1995 法西 浩 28  
 相生市三濃山 1♂ 30-VII-1980 川崎悟良 122  
 " 矢野町下頃 1♂ 19-VIII 田辺 68  
 " " 榊 1ex. (目)  
 3-VII-1993 大貝秀雄 106  
 " " 釜出 1♀ 31-VII-1993 大貝秀雄 106  
 " " 能下 1♂ (目)  
 17-VIII-1989 唐土洋一 105  
 " " 小河 1♀ (目)  
 11-IX-1989 唐土洋一 105  
 " 瓜生 1♂ 7-V-1995 大貝秀雄 106  
 " 相生 1♀ 17-X-1980 川崎悟良 122  
 " 鍋浜 1♂ 26-X-1971 浜田守弘 68  
 " 大谷町 1♂ (目) 10-X-1989 唐土洋一 105  
 上郡町野桑 1ex. 28-VII-1986 唐土洋一 71  
 " 旭黒石 12幼虫 9-VIII-1992 唐土洋一 107  
 " 山野里 1♂ 1-IX-1991 大貝秀雄 106  
 " 岩木 1♀ 撮影 12-IX-1992 大貝秀雄 106  
 " 鞍居川 3蛹2幼虫 4-X-1998 法西 浩 186  
 上月町西新宿 1♂ 14-X-1995 高島 昭 39  
 " 秋里川 1蛹1幼虫 4-X-1998 法西 浩 186  
 佐用町水根川 1蛹 4-X-1998 法西 浩 186  
 南光町船越山 終令幼虫  
 22-VIII-1973 稲田和久 167  
 " 東徳久 1♂ 春井博文 71  
 豊岡市宮井 1幼虫 13-IX-1998 法西 浩 186  
 城崎町来日 1蛹2幼虫 13-IX-1998 法西 浩 186  
 竹野町床瀬 4蛹5幼虫 12-IX-1998 法西 浩 186  
 日高町阿瀬溪谷 1♂ 14-VIII-1994 木下賢司 172  
 " 神鍋溪谷 3幼虫 20-VIII-1995 法西 浩 28  
 出石町奥山溪谷 1幼虫1蛹  
 15-IX-1995 法西 浩 28  
 但東町小坂 29幼虫 15-VIII-1998 法西 浩 186  
 香住町三川権現社付近 1前蛹1幼虫  
 15-VIII-1998 法西 浩 186  
 村岡町作山 19幼虫 23-IX-1995 法西 浩 28  
 美方町小代溪谷 1♀ 2-VIII-1992 永幡嘉之 71  
 温泉町霧ヶ滝溪谷 2前蛹4幼虫  
 16-VIII-1998 法西 浩 186  
 " 春來川歌長 1蛹1幼虫  
 16-VIII-1998 法西 浩 186  
 浜坂町浜坂 1♂ 15-VIII-1997 谷角素彦 43  
 " 三尾 1♀ 5-VIII-1992 永幡嘉之 71  
 和田山町糸井溪谷 1幼虫 15-IX-1995 法西 浩 28  
 生野町栢原旗ノ谷 1ex. -X-1965 西村公夫 169  
 朝来町神子畑 1♀ 18-X-1992 五十嵐嘉昭 102  
 養父町三谷 2蛹殻 15-IX-1995 法西 浩 28  
 八鹿町日畑 1蛹 23-IX-1995 法西 浩 28  
 大屋町筏 1♀ 30-VII-1956 中尾淳三 128  
 " 若杉 1♂ 30-VII-1956 中尾照之 128  
 " 中間 2♂1♀ 29-IX-1958 128  
 " 横行溪谷 1蛹 15-IX-1995 法西 浩 28  
 関宮町水ノ山峠付近 1♂ 31-VII-1992 永幡嘉之 71  
 " 三宅山道 10-X-1995 植田 悟 42  
 " 八木谷 5幼虫 23-IX-1995 法西 浩 28  
 篠山市今田町四斗谷 1♀ 10-VII-1994 法西 浩 24  
 " (丹南町)住山 4幼虫 21-VIII-1994 法西 浩 24  
 " 鑄市ダム 1蛹5幼虫 21-VIII-1994 法西 浩 24  
 洲本市相川 1♂ 10-VIII-1971 武田義明 138  
 " 物部 1♂ 6-IX-1978 堀田 久 139  
 " 宇原 5♂3♀ 25-VIII-1990 菊池宏美 164  
 " 千草 1♀ 14-VIII-1989 前川和昭 151  
 " 安乎町北谷 1♀ 3-VIII-1989 堀田 久 160  
 " 鮎屋川溪谷 5幼虫 23-IX-1998 法西 浩 186  
 " 初尾ダム 菊池宏美 152  
 " 由良 1♂ 10-XI-1991 近藤伸一 71  
 " 厚浜 1ex. 14-XI-1992 交告尚史 40  
 " 竹原貯水池付近 1ex.  
 22-VIII-1992 交告尚史 40



洲本市柏原山 1♀	28-IX-1980	谷川大海	41
" 池内 1♂	13-VII-1993	谷川大海	41
北淡町梨本 1♀	14-XI-1995	近藤伸一	
五色町広石中 1♂	11-X-1979	浅田 卓	136
三原町成相ダム上流 1♂	23-IX-1998	法西 浩	186
南淡町大川	16-XI-1974	山崎俊道	134
" 新田北 1♂	30-X-1977	浅田 卓	135
" 阿万上町 1♂	3-IX-1988	藤平 明	163
" 諭鶴羽山 1♂	15-IX-1984	前川和昭	144
西淡町飯山 1♀	15-IX-1990	竹田俊道	149

### 3 ウスイロコノマチョウ

#### (1) 分布の状況

九州以南の平地、山地に分布する。県内の採集記録は1937年10月本山村(現在の神戸市東灘区本山町)が最初の記録のようで、その後は数年おきにポツポツと採集される程度であったが、1980年代後半から毎年のように採集されるようになり個体数も多くなった。1990年からは採集数が爆発的に増加した。採集場所は県南部が中心で内陸部に空白地帯があり、但馬北部でも少ないながら採集記録がある。

県下での越冬については、春の越冬個体の採集記録がないこと、幼虫が低温に弱く、野外では10月の気温でも生育出来ないなど秋に成虫が羽化しにくい等、県下で成虫越冬するには条件的に厳しいものがあるが、近年の採集個体数の急増、同一場所での(同一年ではあるが)夏から晩秋にかけての連続した多発生、同じ地域で2年連続して採集された例などもあり、今後の継続して調査すべき課題である。

#### (2) 生息環境の現況

県下ではクロコノマチョウと同様に農用地周辺の雑木林の林縁、果樹園など里山環境の残された地域でよく見られる、夏から秋にかけて同一場所で連続的に採集されるのはこのような場所である。またイシガケチョウやクロコノマチョウと同様に、市街地や住宅地でも見られ、ビルや人家の中で採集されることもある。採集場所の標高はすべて低地で400mを越えることはない。

成虫の採集時期は、6月中旬から11月上旬までであるが、ピークは8月中旬から9月上旬の気温の高い期間である。

#### (3) 採集記録

伊丹市森本 幼虫	17-X-1990	渡辺康之	53
猪名川町下阿古谷 1♂	3-IX-1991	鍋島五郎	22
" 肝川 1ex. (目)	22-VII-1991	鍋島五郎	22
宝塚市武庫川河原 夏	1956	川合 勲	61
" 小林 1♀	1-VIII-1983	平野雅親	50
" 高司 1♀	16-VIII-1991	平野雅親	51
" 武田尾 1♀	6-IX-1992	斉藤琢己	52
" 玉瀬 2exs. (目)	6-IX-1992	斉藤琢己	52
西宮市夙川	-VIII-1955	伊勢田漱二	61
" 御茶屋所町	31-VII-1957	有田 茂	61
" 六軒町甲陽口 1♀	14-IX-1986	田中 稔	49
" 獅子ケ口町 1♂	3-IX-1995	古川 澄	26
" 阪急西宮北口 1ex.	30-VII-1983	法西定雄	66
" 山口町蓬莱峡 1♀	21-VIII-1998	法西 浩	125
神戸市			
六甲山登山口 1ex.		柴内俊次	61
東灘区本山町 1ex.	-X-1937	谷口和義	60
" 御影本町2丁目 1♂	15-IX-1990	岡村八郎	154
" 六甲アイランド 1ex.	21-VII-1990	乾 昌弘	47
中央区下山手通5丁目 1♀	22-IX-1993	近藤伸一	48
兵庫区氷室町1丁目 1♂秋型	12-X-1998	高橋寿郎	
長田区 1ex.		柴内俊次	63
須磨区須磨浦通 1♂	4-X-1983	青山潤三	173
北区鈴蘭台南町鈴蘭台西口駅 1♂	29-IX-1986	斉藤研二	46
" 山田町藍那 1♀	16-IX-1991	斉藤研二	46
" 道場町生野 1♂	7-X-1995	松崎 隆	35
西区榎谷町寺谷 1♀	14-VIII-1993	山下剛史	101
" 押部谷町木津 1♀	5-IX-1993	青木陽一	177
" 伊川谷町 多数	1993	青木陽一	177
三木市大村 1♀	15-VIII-1991	永幡嘉之	58
" 正法寺 2♀	16-VIII-1991	永幡嘉之	58
" 細川町原坂 1♂	26-VIII-1990	芝 直幸	58
" 別所町西這田 2♂	16-VIII-1991	二杉純市	58
" 宿原 1♂	25-VIII-1991	芝 直幸	58
" 大塚 1♂	6-X-1991	永幡嘉之	58
" 志染町吉田 1♂	25-VIII-1991	芝 直幸	58
" 御坂 1♂秋型	5-X-1991	永幡嘉之	58
" 大谷 1♀秋型	6-X-1991	芝 直幸	58
姫路市坂田町 1ex.	-IX-1985	黒田 収	185
" 砥堀 1♂	8-IX-1990	大前 普	54
" 書写山 1♂	4-X-1991	稲田和久	129

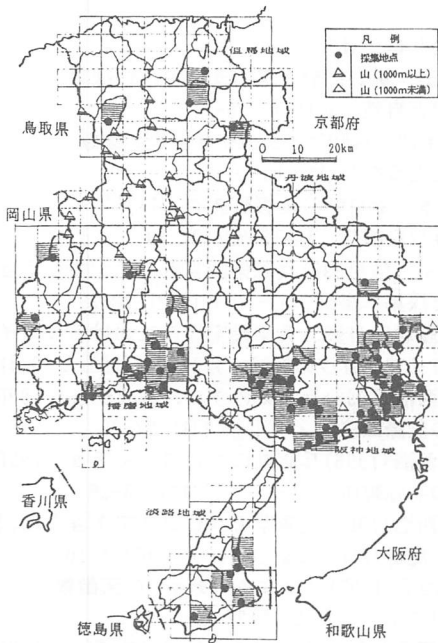


図7 ウスイロコノマチョウの採集記録地

表3 ウスイロコノマチョウの年別採集数

採集年	頭数	採集年	頭数	採集年	頭数
1937-69	5	1981	-	1991	52
		1982	-	1992	3
		1983	4	1993	28
1970-80	6	1984	-	1994	-
		1985	6	1995	3
		1986	2	1996	-
		1987	1	1997	-
		1988	1	1998	2
		1989	2		
		1990	19		

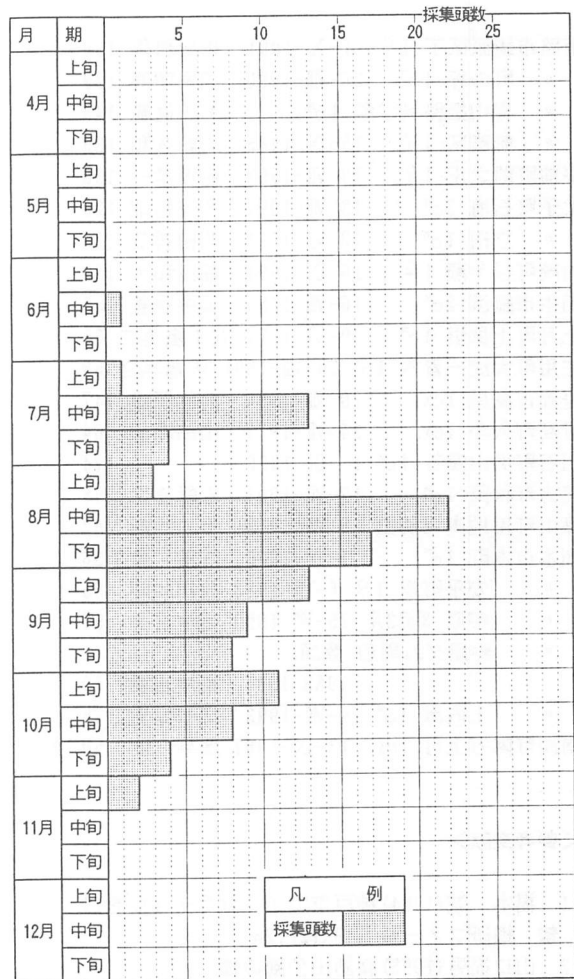


図8 ウスイロコノマチョウの月別採集数

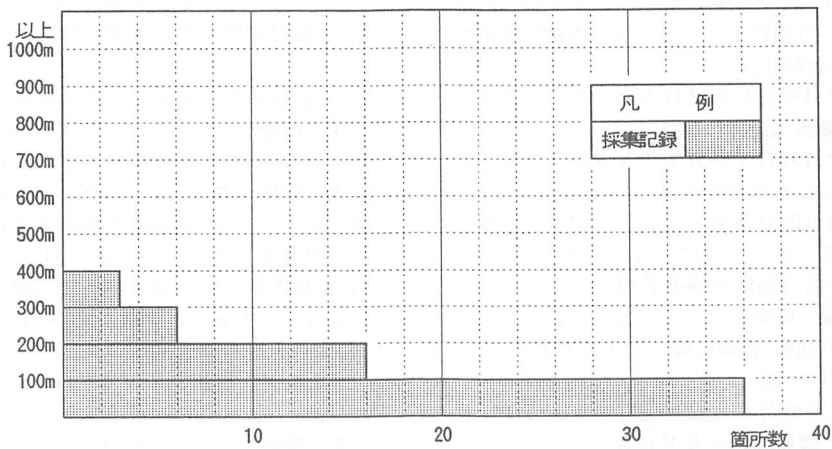


図9 ウスイロコノマチョウの垂直分布

- 姫路市勝原区丁 1♀ 1-X-1991 相坂耕作 129  
 " 町の坪 1♂ 26-VIII-1990 相馬明直 129  
 " 青山姫路科学館 1♂ 上田倫範 143  
 " 飾磨区 1♂ 15-IX-1985 岩崎久和 185  
 夢前町前之庄 1♀ 19-VII-1993 壺坂孝一 130  
 太子町石海 2♂ 13-VIII-1991 門田哲哉 129  
 " 立田 1♂ 13-VIII-1991 門田哲哉 129  
 山崎町杉ヶ瀬 1♀ 16-IX-1991 稲田和久 129  
 相生市鍋浜 2♂ 16-VIII-1985 浜中憲義 185  
 上月町上秋里 1♂ 20-VI-1971 五十嵐英二 55  
 佐用町大淀一青木 1♂ 20-VII-1991 永幡嘉之 58  
 豊岡市高屋 1ex. 20-VIII-1990 前平照雄 147  
 日高町久斗 1ex. 24-VII-1977 山田剛士 64  
 出石町奥山溪谷 1♂ 15-IX-1995 174  
 美方町秋岡 7♂ 19-VII-1991 永幡嘉之 58  
 篠山町曾地奥 4幼虫 5-VIII-1973 浜・当麻 62  
 洲本市本町 1♂ 1-VII-1980 浅田 卓 56  
 " 安乎町浜 1♀ 6-VIII-1983 前川和昭 65  
 " 宇原 3♂3♀ 25-VIII-1990 菊池宏美 57  
 " 鮎屋ダム周辺 数頭  
 1988-1991 菊池宏美 57  
 " 上内灘 1♂ 19-VIII-1993 交告尚史 75  
 南淡町阿万上町 1ex. 13-IX-1987 藤平 明 59
- 蝶研サロン(103):16-17  
 12 嶋田 勇(1995)イシガケチョウの採集記録  
 昆虫と自然 30(14):16-17  
 13 唐土洋一(1997)イシガケチョウの記録  
 てんとうむし(11):81  
 14 山本一幸(1998)浜坂町久谷で11月にイシガケ  
 チョウを採集 IRATSUME(22):40  
 15 植田 悟(1998)兵庫県関宮町でイシガケチ  
 ョウを採集 蝶研フィールド13(2):28-29  
 16 斉藤琢巳(1993)兵庫県宝塚市におけるウスイ  
 ロコノマチョウの記録 月刊むし(265):40-41  
 17 法西浩(1998)兵庫県のクロコノマチョウ1996  
 年の記録蝶研フィールド13(1):27-30  
 18 法西浩(1996)兵庫県のクロコノマチョウ1995  
 年の記録蝶研フィールド12(12):26-29  
 19 法西浩(1995)兵庫県のクロコノマチョウ1994  
 年の記録(11) 蝶研フィールド10(6):10-14  
 20 法西浩(1997)クロコノマチョウの天敵数例  
 蝶研フィールド12(1):27-28  
 21 法西浩(1994)西宮市のクロコノマチョウ1993  
 年の記録 蝶研フィールド 9(7):28-29  
 22 鍋島五郎(1994)北摂地方のコノマチョウ属の  
 採集記録 蝶研フィールド9(7):29-30  
 23 後藤昌弘(1994)兵庫県西宮市でのクロコノマ  
 チョウの記録 蝶研フィールド9(7):28  
 24 法西浩(1995)兵庫県のクロコノマチョウ1994  
 年の探索記録(1) 蝶研フィールド10(5):2-7  
 25 法西 浩(1995)兵庫県三田市のソルガム畑で  
 クロコノマチョウが発生  
 蝶研フィールド10(3):19-23  
 26 古川 澄他(1995)西宮市中部でウスイロコノ  
 マチョウとクロコノマチョウを採集  
 Crude(40):39  
 27 大阪昆虫同好会編集部(1996)第268回 UF0サ  
 ロンの記 のせ24(15):7  
 28 法西浩(1996)兵庫県のクロコノマチョウ1995  
 年の記録(1) 蝶研フィールド11(8):4-8  
 29 法西浩(1994)兵庫県宝塚市でクロコノマチ  
 ョウを採集 蝶研フィールド 9(1):28-29  
 30 法西浩(1993)兵庫県西宮市でクロコノマチ  
 ョウが発生 蝶研フィールド 8(5):34  
 31 森地重博(1995)神戸市及び三田市におけるク  
 ロコノマチョウの記録 Crude(40):6  
 32 関谷善行(1996)兵庫県南部のクロコノマチ  
 ョウの記録 蝶研フィールド11(11):28  
 33 福本 誠(1997)神戸市でクロコノマチョウ採  
 集 蝶研フィールド12(4):29  
 34 松崎 隆・山下剛史(1997)神戸市、三木市の

<参考文献>

- 1 福本 誠(1994)神戸市でイシガケチョウを目撃 蝶研フィールド 9(12):26
- 2 山口福男(1995)諏訪山公園の蝶 きべりはむし 23(1):22~26
- 3 山岡万寿夫(1996)神戸市のムラサキツバメとイシガケチョウの記録 蝶研フィールド11(3):26
- 4 青木陽一(1997)イシガケチョウを神戸市内で採集 Crude(41):44
- 5 杠 隆史(1997)兵庫県日本海でのイシガケチョウの採集例 Crude(41)45
- 6 難波通孝(1997)イシガケチョウ第1化発生の資料 みちしるべ(23):171
- 7 平尾英治(1995)丹生・帝釈山系にイシガケチョウ定着か きべりはむし23(2):34
- 8 吉原真一郎(1995)兵庫県芦屋市のイシガケチョウの記録 蝶研フィールド10(3):27
- 9 谷角素彦(1995)但馬の蝶に関する覚書 IRATSUME(19):70
- 10 永曾将人(1995)兵庫県香住町でイシガケチョウを採集 蝶研フィールド10(6):28
- 11 蝶研出版編集部(1995) 1995年蝶類採集情報

- クロコノマチョウ記録数例 緑蝶(7):49
- 35 宇山喜士・松崎隆(1997)近畿中南部のウスイロコノマチョウの採集記録 緑蝶(7):7-8
- 36 松崎 隆他(1997)1993~1996年ギフチョウ採集記録 緑蝶(7):11-21
- 37 小坂利明(1993)兵庫県猪名川町でクロコノマチョウを採集 蝶研フィールド8(3):34
- 38 岩見裕介(1997)クロコノマチョウを高砂市で採集 IRATSUME(21):26
- 39 高島 昭(1995)上月町で採集した蝶 2種の記録 きべりはむし23(2):36
- 40 交告尚史(1993)蝶ふたたび PARNASSIUS(39):1-4
- 41 谷川大海(1993)洲本市池内にてクロコノマチョウを採集 PARNASSIUS(39):8
- 42 植田 悟(1996)兵庫県北部のナガサキアゲハとクロコノマチョウの記録 蝶研フィールド11(3):27
- 43 谷角素彦・岩見裕介(1998)浜坂町でクロコノマチョウを採集 IRATSUME(22):40
- 44 岡村八郎(1990)奈良県兵庫県で採集したコノマチョウ属3例 蝶研フィールド5(10):28-29
- 45 青木陽一(1993)神戸市内でウスイロコノマチョウを採集 Crude(38):37
- 46 斉藤研二(1992)神戸市におけるウスイロコノマチョウの記録 蝶研フィールド7(2):27
- 47 乾 昌弘(1992)六甲アイランドでウスイロコノマチョウを採集 月刊むし(253):38
- 48 近藤伸一(1995)ウスイロコノマチョウの飼育記録 きべりはむし23(1):17~21
- 49 田中 稔(1987)西宮市でウスイロコノマチョウを採集 きべりはむし15(2):50-51
- 50 平野雅親(1983)兵庫県宝塚市で採集した蝶2種 月刊むし(154):7
- 51 平野雅親(1992)兵庫県宝塚市でウスイロコノマチョウを採集 月刊むし(251):33
- 52 斉藤琢巳(1993)兵庫県宝塚市におけるウスイロコノマチョウの記録 月刊むし(265):40-41
- 53 渡辺康之(1990)伊丹市でウスイロコノマチョウの幼虫を発見 蝶研フィールド6(1):30-
- 54 大前 晋(1991)姫路市内でウスイロコノマチョウを採集 蝶研フィールド6(3):28
- 55 五十嵐英二(1981)ウスイロコノマチョウ採集の思い出 きべりはむし 9(1):30
- 56 浅田 卓(1981)コノマチョウ属 2種の採集記録 PARNASSIUS(23):1
- 57 菊地宏美(1991)淡路島での蝶類採集記録 PARNASSIUS(37):1-2
- 58 永幡嘉之・芝 直幸(1992)ウスイロコノマチョウを追って 因幡のむし(27):7-16
- 59 藤平 明(1988)ウスイロコノマチョウ阿万に産す PARNASSIUS(33):4
- 60 谷口和義(1938)神戸市産蝶類雑記(1) 昆虫界 6(55)762
- 61 東 正雄(1960)六甲山系の迷蝶 兵庫の自然のじごく文庫 神戸
- 62 浜 祥明・当麻信彦(1973)能勢地方調査記録 Crude(9):1
- 63 柴内俊次・中畔史雄(1950)神戸虫だより 札幌昆虫同好会会報(1):5
- 64 山田剛士(1980)日高町でウスイロコノマチョウを採集 IRATSUME(4):69
- 65 前川和昭(1983)洲本市にてウスイロコノマチョウ採集 PARNASSIUS(29):14
- 66 法西定雄(1984)西宮市のウスイロコノマチョウ てんとうむし(9):24
- 67 淀江賢一郎(1983)83年島根県のウスイロコノマチョウ すかしば(20):44-45
- 68 広畑政巳(1982)兵庫県産蝶類分布資料(2) てんとうむし(8):32-33
- 69 広畑政巳(1984)兵庫県産蝶類分布資料(3) てんとうむし(9):18-24
- 70 広畑政巳(1987)県下におけるクロコノマチョウの分布について てんとうむし(10):70
- 71 広畑政巳(1993)兵庫県におけるクロコノマチョウの分布の変遷 IRATSUME(17):8-14
- 72 難波通孝(1994)イシガケチョウの飛翔 出版サービスセンター 岡山
- 73 加地早苗(1940)最近六甲連山の蝶類目録 昆虫界 8(77):452
- 74 中口公一郎・吉坂道雄(1954)六甲蝶類目録(予報) MDK NEWS 別冊
- 75 交告尚史(1994)1993年夏の成果 PARNASSIUS(40):14-15
- 76 加藤昌宏・武衛春雄(1981)神戸の蝶 神戸市立教育研究所、神戸
- 77 山本広一・吉坂道雄(1960)兵庫県産蝶類目録(3) 兵庫生物 4(1):37-44
- 78 東 正雄(1960)兵庫の自然 六月社 大阪
- 79 畑中 熙(1970)兵庫県でイシガケチョウを採集 昆虫と自然5(5):35
- 80 白井祐一(1977)イシガケチョウを佐用で採集 MDK NEWS(77):11
- 81 三木茂久(1978)阿瀬溪谷でイシガケチョウ Nature Study 24(11):11
- 82 小倉 滋・高橋久夫(1978)三木市内の蝶につ

- いて きべりはむし 6 (1/2):12
- 83 米村和繁(1979)相生市の迷蝶  
てんとうむし(5):14
- 84 川崎悟良(1979)相生市の蝶  
ひろおび(4):24-25
- 85 森崎 譲(1980)西宮でイシガケチョウを採集  
Crude(20):17
- 86 交告尚史(1993)蝶ふたたび  
PARNASSIUS (39):1-4
- 87 松本健嗣(1983)イシガケチョウの思い出  
きべりはむし 11(1):22
- 88 前川和昭(1984)採集4例の報告  
PARNASSIUS (31):7
- 89 藤平 明(1984)南淡町でイシガケチョウを採集  
PARNASSIUS (30):10
- 90 上田倫範(1984)イシガケチョウの幼虫発見  
てんとうむし(9):50
- 91 藤宮正昭(1988)南淡町黒岩でイシガケチョウを採集  
PARNASSIUS (34):4
- 92 前川和昭(1990)チョウ採集2例  
PARNASSIUS (36):6
- 93 登日邦明(1990)論鶴羽山でイシガケチョウを目撃  
PARNASSIUS (36):4
- 94 藤平 明(1990)灘でイシガケチョウを記録  
PARNASSIUS (36):6
- 95 竹田俊道(1991)イシガケチョウ目撃例  
PARNASSIUS (37):7
- 96 山口福男(1991)イシガケチョウ  
インセクタリウム28(1):1
- 97 登日邦明(1992)分布を拡大しつつあるイシガケチョウ  
PARNASSIUS (38):6
- 98 小路嘉明(1992)兵庫県東島諸島西島でイシガケチョウを採集  
蝶研フィールド7(12):30
- 99 永幡嘉之(1993)但馬の蝶10題  
IRATSUME (17):1-7
- 100 山崎 功ほか(1993)イシガケチョウを兵庫県浜坂町で採集  
すかしば(39/40):24
- 100 唐土洋一(1994)相生市のクロコノマチョウ(その1)  
遊蟲千年(特別号):30
- 101 山下剛史(1994)神戸市近郊における注目すべき蝶5種の記録  
遊蟲千年(特別号):36-37
- 102 五十嵐喜昭(1994)クロコノマチョウ採集記録  
遊蟲千年(特別号):38
- 103 広畑政巳(1994)クロコノマチョウ採集記録2例  
遊蟲千年(特別号):39
- 104 唐土洋一(1995)相生市のクロコノマチョウ(その2)  
遊蟲千年(2):35
- 105 唐土洋一(1995)相生市のクロコノマチョウ(その3)  
遊蟲千年(2):36
- 106 大貝秀雄(1995)赤相地区の蝶3種の記録  
遊蟲千年(2):60-61
- 107 唐土洋一(1995)クロコノマチョウ情報  
遊蟲千年(2):123
- 108 米村和繁(1979)相生市の迷蝶  
てんとうむし(5):14
- 109 相坂耕作(1980)姫路市の昆虫  
てんとうむし(6):10-15
- 110 山口福男(1996)イシガケチョウの採集報告  
きべりはむし24(1):47
- 111 堀田 久(1993)淡路町でイシガケチョウを目撃  
PARNASSIUS (39):10
- 112 姫路昆虫同好会(1993)イシガケチョウ情報  
姫昆サロンニュース(97):2
- 113 永幡嘉之(1994)但馬の蝶6題  
IRATSUME (18):1-4
- 114 姫路昆虫同好会(1994)相生市川原町でキシガキ採集  
姫昆サロンニュース(103):4
- 115 姫路昆虫同好会(1994)姫路白鳥台でイシガケチョウ  
姫昆サロンニュース(103):2
- 116 谷川大海(1994)イシガケチョウについて  
PARNASSIUS (41):13-14
- 117 法西 浩(1994)兵庫県今田町でイシガケチョウを目撃  
蝶研フィールド9(11):28
- 118 永幡嘉之(1994)城山のチョウ情報  
昆虫ずかん(44):6
- 119 蝶研サロン編集部(1994)1994年蝶類採集情報  
蝶研サロン(92):26
- 120 西 隆広(1994)六甲山域の蝶数種  
きべりはむし22(2):49
- 121 永幡嘉之(1994)イシガケチョウ但馬にも多発  
混虫ずかん(46):1-4
- 122 川崎悟良(1982)クロコノマチョウを相生市で採集  
ひろおび(6):37
- 123 加藤信一郎(1984)宝塚市荒神山のチョウ  
きべりはむし12(1):24
- 124 石飛敦郎(1971)宝塚市でクロコノマチョウを採集  
昆虫と自然 6(11):28
- 125 法西 浩(1999)兵庫県西宮市でウスイロコノマチョウを採集  
蝶研フィールド14(5):34
- 126 柳沢俊二(1971)クロコノマチョウを宝塚市で採集  
MDK NEWS 23(2):23
- 127 杠 隆史(1985)六甲山系の蝶  
Crude(26):13
- 128 中尾淳三(1959)氷ノ山の蝶類  
NATURA(16):17-19
- 129 相坂耕作(1992)ウスイロコノマチョウの記録

- 姫昆サロンニュース(85):2
- 130 相坂耕作(1993)ウスイロコノマチョウ情報  
姫昆サロンニュース(97):2
- 131 高橋寿郎(1980)ミヤマカラスアゲハ・クロコ  
ノマチョウ神戸市北区下谷上にて採集  
きべりはむし8(1):18-19
- 132 法西定雄(1952)クロコノマチョウの1産地  
新昆虫5(3):44
- 133 三木 進(1979)六甲山系(西部)の蝶  
きべりはむし7(1):6
- 134 登日邦明(1975)南淡町大川にクロコノマチョ  
ウ産す PARNASSIUS (22):8
- 135 浅田 卓(1978)南淡町大日ダムでクロコノマ  
チョウ採集 PARNASSIUS (18):17
- 136 浅田 卓(1981)コノマチョウ属2種の採集記  
録について PARNASSIUS (23):1
- 137 浅田 卓(1980)津名郡にてクロコノマチョウ  
を採集 PARNASSIUS (22):8
- 138 登日邦明(1971)淡路島でクロコノマチョウ採  
集 MDK NEWS 23(2):23-24
- 139 堀田 久(1978)洲本市でクロコノマチョウを  
採集 昆虫と自然 13(13):15
- 140 柳沢俊二(1968)甲山周辺の蝶  
甲陵生物(3):17
- 141 法西 浩(1998)兵庫県のカクロコノマチョウ  
1996年の記録続報  
蝶研フィールド13(8):19-23
- 142 法西 浩(1993)兵庫県三田市でクロコノマチ  
ョウを採集 蝶研フィールド 8(6):25
- 143 相坂耕作(1992)サロン会開催録から  
姫昆サロンニュース(98):1
- 144 前川和昭(1984)採集4例報告  
PARNASSIUS (31):7
- 145 西 隆広(1984)芦屋市の蝶  
てんとうむし(9):28-38
- 146 中村知史他(1988)日本産蝶類239種の記録  
SPINDA(3):2-66
- 147 山本一幸(1990)この夏の蝶情報  
混虫ずかん(26):3-4
- 148 永幡嘉之(1989)三木市大村の昆虫類I、蝶相  
釜城生物(1):18-58
- 149 竹田俊道(1991)クロコノマチョウ採集例  
PARNASSIUS (37):2
- 150 青木陽一(1992)神戸市内におけるクロコノマ  
チョウの採集例 蝶研フィールド7(2):29
- 151 前川和昭(1990)チョウ採集2例  
PARNASSIUS (36):6
- 152 菊池宏美(1992)淡路島での蝶の採集  
PARNASSIUS (38):1-6
- 153 松田敏生(1992)兵庫県波賀町におけるクロコ  
ノマチョウの採集例 蝶研フィールド7(10):28
- 154 岡村八郎(1990)奈良県兵庫県で採集したコノ  
マチョウ属3例 蝶研フィールド5(10):28
- 155 大阪昆虫同好会(1989)北摂の蝶 宝塚
- 156 西 隆広(1988)芦屋市内におけるクロコノマ  
チョウの採集例 きべりはむし16(1):8-9
- 157 竹中昭彦(1988)兵庫県西宮市でクロコノマチ  
ョウを採集 蝶研フィールド3(7):36
- 158 相坂耕作(1988)クロコノマチョウの話題  
姫昆サロンニュース(83):4
- 159 岡村八郎(1989)クロコノマチョウを新神戸駅  
で採集 蝶研フィールド4(11):28
- 160 堀田 久(1990)洲本市安乎町でクロコノマチ  
ョウを採集 PARNASSIUS (36):3
- 161 蝶研出版(1990)蝶類年鑑1990 蝶研出版
- 162 仲田元亮(1982)能勢の昆虫(蝶の部)大阪
- 163 藤平 明(1990)阿万でクロコノマチョウを採  
る PARNASSIUS (37):1-2
- 164 菊池宏美(1991)淡路島の蝶類採集録  
PARNASSIUS (37):1-2
- 165 相坂耕作(1992)クロコノマチョウの話題  
(2) 姫昆サロンニュース(84):2
- 166 井出敏晴(1976)兵庫県に於けるクロコノマチ  
ョウの採集記録 MDK NEWS 26(76):20
- 167 稲田和久(1980)西播地区でのクロコノマチ  
ョウの採集例 てんとうむし(6):36
- 168 上田尚志(1981)家島群島の昆虫(2)  
きべりはむし 9(1):9
- 169 西村公夫(1967)播州高原の蝶類について  
兵庫生物 5(3-4):229
- 170 山本 治(1980)兵庫県川辺郡でクロコノマチ  
ョウを採集 月刊むし(107):39
- 171 仲田元亮(1980)能勢の昆虫その後(3)  
きべりはむし8(1):15-16
- 172 木下賢司ほか(1996)但馬地方の蝶類目録II  
IRATSUME(20):78-79
- 173 広畑政巳(1984)兵庫県におけるウスイロコノ  
マチョウの採集記録 ひろおび(7):41
- 174 蝶研出版編集部(1999) CD-ROM蝶類採集情報  
'89-'98 蝶研出版
- 175 難波通孝(1997)イシガケチョウ第1化発生の  
資料 みちるべ(23):171
- 176 吉原真一郎(1995)兵庫県芦屋市のイシガケチ  
ョウの記録 蝶研フィールド10(3):27
- 177 青木陽一(1997)神戸市の蝶  
蝶研フィールド12(5):4-12

- 178 相坂耕作(1996)イシガケチョウが校舎に  
姫昆サロンニュース(121):2
- 179 小坂利明(1994)猪名川流域の蝶  
詩画工房 大阪
- 180 杠 隆史(1997)兵庫県猪名川町でクロコノマ  
チョウの採集例 Crude(41)47
- 181 大阪昆虫同好会編集部(1996)第268回 UF0サ  
ロンの記 のせ24(15):7
- 182 西 隆広(1994)六甲山城の蝶数種について  
きべりはむし22(2):49-50
- 183 山口福男(1996)諏訪山公園の蝶(追加その  
1) きべりはむし 23(1):22~26
- 184 法西 浩(1994)神戸市でクロコノマチョウの  
蛹を採集 蝶研フィールド9(10):26
- 185 相坂耕作(1985)ウスイロコノマチョウ西播磨  
各地で発生 姫昆サロンニュース(77):1
- 186 法西 浩(1999)兵庫県のクロコノマチョウ  
1997・98年の記録 蝶研フィールド14(6):17-21

### カラスアゲハがキハダの幹に産卵 広畑 政巳

本種は通常食樹の高所を選ばず、低所を選んで産卵する傾向にあり、食樹の葉裏に一卵ずつ産付することが知られている。筆者は本種がキハダの直径が18cmもある幹に産卵したのを観察したので報告しておく。

観察したのは兵庫県神崎郡市川町上牛尾半瀬で、1998年9月12日の午後4時ごろに確認している。母蝶は樹高約7mあるキハダの幹の下から3m付近に数卵産付した。

以前姫路市白鳥台にて3cmもあるウンシュウミカンの幹にクロアゲハが産卵したのを確認しているが本種についてはこのような例は初めてなので報告した。

### 県下で観察したルリシジミの産卵植物 広畑 政巳

本種の産卵植物はマメ科バラ科など十数科が確認されている。その中には産卵だけが確認されているが、幼虫が摂食しなかったり成長しないものもある。

県下においてはマメ科のハギ・クララ・フジなどは一般的な食草として知られているが、1999年6月13日に市川町上牛尾半瀬にてタデ科のギシギシに産卵した本種を確認したので報告する。その後の経過を観察していないので食草になり得たかどうかは判らない。

その他の珍しい産卵植物としてブドウ科のエビヅル(日高町神鍋山 9.VIII.1987)もある。ミカン科のキハダ(夢前町菅生潤 11.V.1986)、マメ科の

ネムノキ(南淡町鳥取 5.VI.1999)も観察しているので併せて報告する。

### ウスバシロチョウの新しい採集記録 広畑 政巳

近年分布を拡大しているのではないかと言われている蝶に本種がある。調査が不十分なためこれまで発見されなかったのか、実際分布を拡大しているのか定かでないが、新しい採集記録の報告は増えている。これまでよく調査をしているがいなかったと言われていた所からの記録も多くあるので、分布は拡大していると推測できる。

兵庫県に於ける本種の分布の変遷については広畑(1997)で報告しているが、今年の調査でそれ以外の新しい場所から本種を採集及び目撃しているのでその記録を報告する。

千種町下河野は既知産地の同町千草からの南下ではなく、南光町船越と隣接するので船越からの拡散と想像できる。ただこれまで報告されていないだけで生息していたのかもしれない。この点は不明である。南光町宮の段は同町船越と青木の間の連続した産地である。関宮町安井は既知産地の鵜縄と隣接する。

なお、新宮町牧、栗栖など分布が予想される先端部の調査も行ったがこの度の調査では発見できなかった。

#### <採集及び目撃記録>

- 千種町下河野 1♂ 15.V.1999 広畑政巳  
南光町宮の段 1♂ 15.V.1999 広畑政巳  
関宮町安井 1ex.(目) 22.V.1999 広畑政巳

#### <参考文献>

- 広畑政巳(1997) 兵庫県におけるウスバシロチョウの分布の変遷 てんとうむし(11):13-18.

## 音水・赤西溪谷(宍粟郡)の甲虫相(1)\*

高橋 寿郎

### はじめに

音水・赤西両溪谷は"氷の山・那岐山・後山国定公園"の一部として、さらには"音水深林県立自然公園"にも指定されていて、古くから植物関係の調査はされており、昆虫関係の調査も県人以外の熱心な調査も行われてきているが、その甲虫相のまとめといったものは部分的にはあるものの、全般を取り扱った結果というものはほとんど知られていない。この両溪谷の自然林も大半が人工林化となってしまうと自然林は狭小化している。

さらには、観光誘致の関係からその自然状態は著しく崩れつつあり、甲虫相も大きく変化しているであろうと考えられるので、今までの調査結果をここにまとめておく方が良いと考え、あえて充分とは云えないまでもわかっている範囲でとりまとめて見ることにした。

音水・赤西溪谷としているが、同じ宍粟郡下の坂の谷、戸倉、水谷、上野地区、福知溪谷なども便宜的にこのファウナに加えたことを承知いただきたい。

筆者自身、福知溪谷2回、赤西溪谷6回、音水溪谷18回、水谷1回、坂の谷2回の調査を実施しており、ここにはそれ以外の記録のものも全部収録した。

筆者の採集標本については、久松定成博士、林靖彦博士、岸井 尚博士、宮武睦夫博士、故野村 鎮氏、沢田高平博士、佐々治寛之博士、遠山雅夫氏、辻 啓介博士の方々に同定して頂いたものが多くあり、これらの方々に厚くお礼を申し上げさせていただく。また、同地域の材料の提供を受けた蜂谷幸雄氏、小倉 滋氏、遊磨正秀博士の諸氏にもお礼を申し上げる。

### 凡 例

1. 音水・赤西溪谷以外の宍粟郡坂の谷、水谷、上野地区、福知溪谷産のものも含む。
2. 筆者採集のものは一例のみ示し、他に採集例のあるものは etc. をつけて省略してある。筆者採集標本は原則として県立人と自然の博物館に

保管されている。

3. 記録引用のものは夫々筆者編著"兵庫県産甲虫類に関する文献目録"1975, 同・改訂版, 1981, 同追加編 I, 1984, 同追加編 II, 1995に収録されている文献類によっている。
4. 同定者のあるものは同定者名を入れてある。ハネカクシ科の辻博士からの引用の種は、辻博士により渡辺泰明博士の同定を受けている。コメツキムシ科の筆者採集の大部分のものは、岸井 尚博士に同定して頂き、標本も同博士が保管されている。
5. 全般の学名はできるだけ新しいものを用いるよう心掛けたが、筆者にとってよくわからないグループのものは学名の間違ひがあるやもしれない。御教示頂ければ幸いである。
6. 種名に\*印のあるものは兵庫県下でこの地域のみにはしか記録がない種、\*印のものは注目種。産地で[ ]のものは記録引用、( )のものは筆者採集である。

### 音水・赤西溪谷(宍粟郡)の甲虫

#### Family Cupedoidea ナガヒラタムシ科

1. *Tenomerga japonica* (Tamanuki, 1928)  
ヒメナガヒラタムシ  
産地. 宍粟郡波賀町坂の谷林道[相馬, 1997]

#### Family Cicindelidae ハンミョウ科

1. *Cicindela elise* Motschulsky, 1859  
ヒメハンミョウ  
産地. 宍粟郡水谷 (5exs., 17.VII.1981)
2. *Cicindela japana* Motschulsky, 1857  
ニワハンミョウ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 3.V.1973), 水谷 (2exs., 17.VII.1981)

#### Family Carabidae オサムシ科

1. *Apotomopterus porrecticollis kansaiensis*

\* 兵庫県甲虫相資料・356



- (Nakane,1961) ホソアオクロナガオサムシ  
産地. 宍粟郡千種町千草～岩野辺 alt.380m [近畿,1979], 赤西 (2♂2♀,12.IV.1981, S.Ogura leg.)
2. *Carabus dehaanii* Chaudoir,1848  
オオオサムシ  
産地. 宍粟郡山崎町岩田神社～NHK塔 [近畿,1979], 山崎町上町,葛根 [富永・春沢,1979], 音水 (1♂,11.VI.1972)
3. *Carabus maiyasanus* Bates,1873  
マヤサンオサムシ  
産地. 宍粟郡千種町千草～岩野辺 alt.380m [近畿,1979], 山崎町 alt.250～380m, 葛根 alt.250～380m, [富永・春沢,1973, 近畿,1979], 水谷 (1♂,17.VIII.1981)
4. *Damaster blaptoides* Kollar,1836  
マイマイカブリ  
産地. 宍粟郡山崎町岩田神社～NHK塔, 千種町千草～岩野辺 alt.380m, 千草～妙見荘 alt.400m [近畿,1979], 音水 (1♂,13.V.1973)
5. *Carabus procerus* Chaudoir,1862  
クロナガオサムシ  
産地. 宍粟郡山崎町岩田神社～NHK塔 [近畿,1979], 山崎町山崎 [富永・春沢,1973], 千種町千草～岩野辺 alt.380m [近畿,1979], 赤西 (3♂1♀,12.IV.1981, S.Ogura leg.)
6. *Notiophilus impressifrons* Morawitz,1862  
ミヤマメダカゴミムシ  
産地. 宍粟郡水谷 (2exs.,17.VII.1981)
7. *Bembidio misellum* Harold,1877  
ニッコウミズギワゴミムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1975)
8. *Bembidion pseudolucillum* Netolitzky,1938  
ヒラタアオミズギワゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (11exs.,11.VIII.1978)
9. *Macrotochys recurvicollis* (Andreues,1925)  
アトオビコムズギワゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,9.IX.1978)
10. *Tachyta nana* (Gyllenhal,1810)  
クロチビカワゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (6exs.,9.IX.1978, etc.)
11. *Tachyura fuscicauda* (Bates,1873)  
ウスコモンミズギワゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 [石田,1974], 赤西 (17exs.,9.IX.1978)
12. *Pterostichus orientalis jessoensis* (Trichitscherine, 1879)  
アトマルナガゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (2exs.,27.V.1979)
13. *Pterostichus prologatus* Morawitz,1862  
オオクロナガゴミムシ  
産地. 宍粟郡原 (2exs.,11.V.1979)
14. *Colpodes auralius* Bates,1883  
チビモグリヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (1ex.,22.VII.1979)
15. *Colpodes bentonis* Bates,1883  
バントンモリヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,9.IX.1978)
16. *Colpodes lampros* Bates,1873  
コハラアカモリヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (3exs.,21.V.1979), 坂の谷 (2exs.,22.VII.1979)
17. *Colpodes limodromoides* Bates,1883  
サドモリヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,27.V.1979)
18. *Colpodes modestior* Bates,1873  
イクビモリヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 [石田,1974]
19. *Dicranoncus femoralis* Chaudoir,1850  
ルリヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,3.VI.1979)
20. *Pristosia aeneola* (Bates,1873)  
ホソヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 [石田,1974], 坂の谷 (2exs.,22.VII.1979)
21. *Rupa japonica* Jedlicka,1935  
ケブカヒラタゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,27.V.1979)
22. *Amara chalcites* Dejean,1828  
マルガタゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (3exs.,21.V.1972, etc.)
23. *Amara macros* (Bates,1883)  
イグチマルガタゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,9.IX.1978)
24. *Anisodactylus sadoensis* Schauburger,1931  
オオホシボシゴミムシ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (1ex.,22.VII.1979)
25. *Harpalus eous* Tschitscherine,1901  
オオズケゴモクムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,8.IX.1972)
26. *Harpalus fuliginosus* (Dutschmid,1812)

- ミヤマゴモクムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1976), 赤西 (1ex.,27.V.1979)
27. *Harpalus griseus* (Panzer,1797)  
ケウスゴモクムシ  
産地. 宍粟郡音水 (4exs.,8.IX.1972)
28. *Harpalus pseudophonoides* Schaubberger,1930  
ニセケゴモクムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1976)
29. *Harpalus tridens* Morawitz,1862  
コゴモクムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (2exs.,20.VI.1976)
30. *Trichotichus* (s.str.) *chugokuensis* N.Ito, 1996  
産地. 宍粟郡赤西 Paratypes (1♂1♀,2.IX.1979, 1♀,11.VII.1985, N.Ito leg.)
31. *Trichotichus congruus* (Motschulsky,1866)  
ヒメツヤゴモクムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,27.V.1979)
32. *Acupalpus inoratus* Bates,1873  
キイロチビゴモクムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,26.VI.1976)
33. *Bradycellus grandiceps* (Bates,1873)  
オオズヒメゴモクムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,21.V.1979)
34. *Stenolophus agonoides* Bates,1883  
ナガコメゴモクムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (3exs.,20.VI.1976), 音水 [石田,1974]
35. *Dischissus japonicus* Andreus,1933  
ニッポンヨツボシゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,8.IX.1972)
36. *Chlaenius bioculatus* Chandoir,1859  
アトモンアオゴミムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1976)
37. *Chlanius naeviger* Morawitz,1862  
アトボシアオゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (3exs.,11.VI.1972,etc.), 水谷 (1ex.,17.VII.1981)
38. *Chlaenius oereatus* Bates,1893  
クロヒゲアオゴミムシ  
産地. 宍粟郡水谷 (1ex.,17.VII.1981), 赤西 (1ex.,9.IX.1978)
39. *Perigonia plagiata* (Putzeys,1875)  
クロボシホナシゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,8.IX.1972)
40. *Pentagonia angulosa* Bates,1883  
カドツブゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex.,9.IX.1978)
41. *Amphimenes piceolus* Bates,1873  
カワツブアトキリゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,21.V.1979)
42. *Dolichoctis luetuosus* (Putzeys,1875)  
ヤセアトキリゴミムシ  
産地. 宍粟郡原 (2exs.,11.V.1979), 音水 [石田, 1974], 赤西 (2exs.,3.VI.1979,etc.)
43. *Dromius batesi* Habu,1858  
ベーツホリアトキリゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 [石田,1974], 坂の谷 (4exs.,22.VII.1979)
44. *Lebia bifenestrata* Morawitz,1862  
フタホシヒメアトキリゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,13.V.1973)
45. *Lebia duplex* Bates,1883  
ハネビロアトキリゴミムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (2exs.,23.VI.1979)
46. *Lebia retrofasciata* Motschulsky,1864  
ジュウジアトキリゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,28.IV.1974,etc.), 坂の谷 (1ex.,9.VI.1973)
47. *Lebia sylvarum* Bates,1883  
ミヤマジュウジゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,15.VII.1973), 赤西 (1ex.,9.VI.1979)
48. *Lebidia octoguttata* Morawitz,1862  
ヤホシゴミムシ  
産地. 宍粟郡音水 (3exs.,13.V.1973,etc.), 坂の谷 (2exs.,9.VI.1973)

## Family Dytiscidae ゲンゴロウ科

1. *Rhantus pulverosus* (Stephens,1828)  
ヒメゲンゴロウ  
産地. 宍粟郡波賀町上野 [相坂,1995]
2. *Hydaticus grammicus* (Germar,1830)  
コシマゲンゴロウ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs.,8.IX.1972)

## Family Hydrophilidae ガムシ科

1. *Enochrus japonicus* Sharp, 1873

キベリヒラタガムシ

産地. 宍粟郡波賀町上野 [相坂, 1995]

## Family Histeridae エンマムシ科

1. *Niponicus osorioceps* Lewis, 1885

ヒメホソエンマムシ

産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex., 17.VI.1975, M.Yuma leg.), 赤西 (1ex., 23.VI.1979)

2. *Notodema fungorum* Lewis, 1884

キノコアカマルエンマムシ

産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 23.VI.1979)

3. *Margarnotus (Grammostethus) niponicus* (Lewis, 1895)

コエンマムシ

産地. 宍粟郡音水 (1ex., 11.VI.1972)

## Family Leiodidae タマキノコムシ科

1. *Agathidium sublaevigatum* Portevin, 1908

ツヤマルタマキノコムシ

産地. 宍粟郡原 (1ex., 11.V.1979), 音水 (1ex., 11.VIII.1978), 赤西 (1ex., 9.IX.1978, etc.), 坂の谷 (2exs., 22.VII.1979)

## Family Silphidae シテムシ科

1. *Nicrophorus concolor* Kraatz, 1877

クロシテムシ

産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 9.IX.1978)

2. *Nicrophorus investiger latifasciatus* Lewis, 1884

ホンドヒロオビモンシテムシ

産地. 宍粟郡音水 (3exs., 24.VI.1973)

3. *Nicrophorus tenuipes* Lewis, 1887

ヒメクロシテムシ

産地. 宍粟郡音水 (2exs., 24.VI.1973)

4. *Pelatines striatipennis* (Lewis, 1893)

オサシテムシ

産地. 宍粟郡音水 (1ex., 31.V.1970, etc.), 赤西 (1ex., 27.V.1979), 福知溪谷 (1ex., 3.VI.1975, M.Yuma leg.), 坂の谷 (5exs., 9.VI.1973, S.Hisamatsu leg.)

## Family Staphylinidae ハネカクシ科

1. *Anotylus cognatus* (Sharp, 1874)

セスジハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 (1ex., 25.VI.1972, Y.Hayashi det.)

2. *Anotylus latiusculus* (Kraatz, 1859)

チビグロセスジハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 (2exs., 15.VII.1973)

3. *Anotylus mimulus* (Sharp, 1874)

シワバネセスジハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 (1ex., 3.VI.1973)

4. *Apatetica princeps* (Sharp, 1874)

オサシテムシモドキ

産地. 宍粟郡水谷 (2exs., 19.VII.1981)

5. *Eudectus rufulus* Weise, 1887

シリプトヨツメハネカクシ

産地. 宍粟郡福知溪谷 (2exs., 20.VI.1976)

6. *Eusphaleum lewisi* (Cameron, 1930)

ルイスハナムグリハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 [1ex., 22.VI.1965, K.Tsuji leg., Watanabe det.]

7. *Eusphaleum pollens* (Sharp, 1889)

ハナムグリハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 [1ex., 22.VI.1965, K.Tsuji leg., Watanabe det.]

8. *Eusphaleum solitare* (Sharp, 1874)

産地. 宍粟郡音水 (1ex., 21.V.1972, Y.Hayashi det.)

9. *Megarthritis convexus* Sharp, 1874

セマルハバヒロハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 (2exs., 4.V.1972)

10. *Megarthritis scriptus* Sharp, 1879

クロモンハバヒロハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 (1ex., 21.V.1979)

11. *Nodynus leucafasciatus* Lewis, 1879

シラオビシテムシモドキ

産地. 宍粟郡音水 [1ex., 23.V.1965, K.Tsuji leg., 高橋, 1974]

12. *Olophrum arrowi* Scheerpeltz, 1929

アロウヨツメハネカクシ

産地. 宍粟郡福知溪谷 (2exs., 20.VI.1976)

13. *Osorius taurus* Sharp, 1889

ツノフトツツハネカクシ

産地. 宍粟郡音水 [Naomi, 1986]

14. *Oxytelus* sp.

産地. 宍粟郡音水 (1ex., 20.VII.1959, T.Takahashi leg., Sawada, K. det.)

15. *Piestoneus lewisi* Sharp, 1889  
オオヒラタハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 27.V.1979), 音水 [1ex., 22.V.1965, K.Tsuji leg., Watanabe det.]
16. *Priochirus japonicus* Sharp, 1889  
クロツヤハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 [1ex., 23.VII.1984, K.Konishi coll. Naomi, 1996], 音水 [1ex., 6.VI.1984, S.Nomura coll. Naomi, 1996]
17. *Siagonium gracile* Sharp, 1889  
ホソヒラタハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 21.V.1972, Y.Hayashi det.)
18. *Stenus (Hypostenus) ambiguellus* Naomi, 1998  
産地. 宍粟郡音水 [Holotype, ♂, Onzui Val. Hyogo Pref., 6.VI.1984, S.Nomura leg., Naomi, 1998]
19. *Stenus shuheii* Naomi, 1990  
産地. 宍粟郡音水 [Holotype, 1♂, Otomizu Valley, Hyogo Pref. 6.VI.1984, S.Nomura leg. Paratypes, 2males, same data as holotype, Naomi, 1990]
20. *Stenus verox* Sharp, 1889  
クロツヤメダカハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 [1ex., 22.V.1965, K.Tsuji leg., Watanabe det.]
21. *Lathrobium* sp.  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 3.V.1972, Y.Hayashi det.)
22. *Medon spedicus* Sharp, 1889  
チャバネトガリバハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 27.V.1979)
23. *Megalopaederus paweri* (Sharp, 1874)  
アリガタハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs., 31.V.1970, etc.)
24. *Megalopaederus lewisi* (Cameron, 1930)  
コアリガタハネカクシ  
産地. 宍粟郡波賀町上野 [相坂, 1995]
25. *Nazeris wollastoni harimanus* Ito, 1991  
産地. 宍粟郡赤西 [Holotype, ♂, 15.IX.1986, Akazai Valley Hyogo Pref. Ito leg., Paratypes, 4♂ 5♀, 20.V., 2-3.VI.1979 & 15.IX.1986, Ito, T. leg.]
26. *Ochtheophilum pectorale* (Sharp, 1874)  
アカバナガエハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 3.VI.1973)
27. *Paederus fuscipes* (Curtris, 1823)  
アオバアリガタハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 8.IX.1972), 上野 [相坂, 1995]
28. *Paederus parallelus* Weise, 1877  
エゾアリガタハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 [1ex., 23.V.1965, K.Tsuji leg. Watanabe det.] (1ex., 21.V.1979)
29. *Gauropterus* sp.  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 10.V.1970, Y.Hayashi det.)
30. *Xantholinus punctiventris* Sharp, 1889  
産地. 宍粟郡音水 [1ex., 23.V.1965, K.Tsuji leg., Watanabe det.]
31. *Algon grandicollis* Sharp, 1874  
ムネビロハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 [1ex., 23.V.1965, K.Tsuji leg., Watanabe det.], 坂の谷 (1ex., 22.VII.1979)
32. *Anisolinus elegans* Sharp, 1889  
ツヤケシブチヒゲハネカクシ  
産地. 宍粟郡水谷 (1ex., 17.VII.1981), 音水 (1ex., 3.VI.1973)
33. *Hesperus ornatus* Sharp, 1889  
タテミソツマグロアカバハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 [林, 1994]
34. *Ontholestes gracilis* (Sharp, 1874)  
サビハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 20.VII.1959, etc.)
35. *Philonthus cunctator* Sharp, 1889  
ドウバネコガシラハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 9.IX.1978)
36. *Philonthus longicornis* Stephens, 1832  
ヒゲナゴコガシラハネカクシ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (4exs., 9.VI.1973)
37. *Platydracus paganus* (Sharp, 1874)  
アカバハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 23.VI.1979)
38. *Quedius planatus* Sharp, 1889  
チャイブシツヤムネハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 20.VII.1949, K.Sawada det.)
39. *Sepedophilus apterus* Naomi et Maruyama, 1998  
産地. 宍粟郡音水 [paratype 5exs., 6.VI.1948, S. Nomura leg., Naomi et Maruyama, 1998]
40. *Sepedophilus armatus* (Sharp, 1888)  
クロゲヒメキノコハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 11.IX.1978)

41. *Sepedophilus tibialis* (Sharp, 1888)  
ヒメキノコハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 13.V.1973, etc.)
42. *Tachinus japonicus* Sharp, 1888  
ヤマトマルクビハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 [Ito, 1993], 三室山 [Ito, 1993]
43. *Tachinus punctiventris* Sharp, 1888  
クロツヤマルクビハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 18.VI.1973)
44. *Tachinus shibatai* Hayashi, 1987  
シバタマルクビハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 [林, 1987]
45. *Tachinus sibiricus* Sharp, 1888  
カタアカマルクビハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 [1ex., 22.V.1965, K. Tsuji leg.,  
Watabnabe det.]
46. *Tachyparus orthogrammus* Sharp, 1888  
キベリシンホソハネカクシ  
産地. 宍粟郡原 (1ex., 11.V.1979), 赤西 (1ex., 9.IX.  
1978)
47. *Tachyporus suavis* Sharp, 1888  
ツヤグロシンホソハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 21.V.1972, Y. Hayashi det.)
48. *Aleochoa parens* Sharp, 1874  
コクロヒゲブトハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 9.IX.1978)
49. *Atheta* sp.  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 20.VII.1953, K. Sawada  
det.)
50. *Falagria sulcata* Payhull, 1789  
クロセミゾハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 9.IX.1978)
51. *Oligota antennata* Brenhauer, 1907  
マルクシハネカクシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 21.V.1979)
52. *Thyasophila oxypodina* Sharp, 1888  
ヒゲアカアリツカハネカクシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 23.VII.1979)
- Family Pselaphidae アリツカムシ科
1. *Philoscotus longulus* Sawada, 1957  
ナガオチバアリツカムシ  
産地. 宍粟郡音水 [Nomura, 1988]
2. *Philoscotus sylvestris* Nomura, 1988  
モリオチバアリツカムシ  
産地. 宍粟郡音水 [Holotype ♀, 6.VI.1984, S.  
Nomura leg., Nomura, 1988]
3. *Batrisceniola dissimilis* (Sharp, 1874)  
アナツアリツカムシ  
産地. 宍粟郡音水 [Nomura, 1991]
- Family Scaphidiidae デオキノコムシ科
1. *Acaphium tibiale* Lewis, 1893  
ホソスジデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 10.V.1970, etc.), 坂の谷  
(2exs., 22.VII.1979)
2. *Episcaphium semirufum* Lewis, 1893  
アカバデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs., 20.VII.1969, etc.)
3. *Pseudobironium lewisi* (Achard, 1923)  
ツブデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (6exs., 3.VI.1979), 坂の谷  
(9exs., 22.VII.1979)
4. *Scaphidium femorale* Lewis, 1893  
ヒメデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 11.VI.1972, etc.), 赤西  
(1ex., 3.VI.1979, etc.)
5. *Scaphidium japonum* Reitter, 1877  
ヤマトデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡音水 (16exs., 24.VI.1973)
6. *Scaphidium reitteri* Lewis, 1879  
ヘリアカデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 21.V.1979), 赤西 (3exs.,  
27.V.1979, etc.)
7. *Scaphisoma crassipes* Achard, 1923  
カタモンケシデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 9.IX.1979)
8. *Scaphisoma galloisi* Achard, 1923  
ガロアケシデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (2exs., 22.VII.1979)
9. *Scaphisoma haemorrhoidae* Reitter, 1877  
ツマキケシデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 21.V.1979), 赤西 (3exs., 9.  
IX.1978, etc.)
10. *Scaphisoma rubrum* Reitter, 1877  
アカミケシデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 11.VIII.1978), 赤西 (2exs.,  
23.VI.1979, etc.), 坂の谷 (1ex., 22.VII.1979)

11. *Scaphisoma rufum* Achard, 1923  
アカケシデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 4.V.1972, etc.), 坂の谷  
(1ex., 22.VII.1979)
12. *Scaphobacocera japonica* (Reitter, 1880)  
トビイロホソケシデオキノコムシ  
産地. 宍粟郡 (1ex., 11.VIII.1978, etc.)

## Family Helodidae マルハナノミ科

1. *Cyphon mizoro* Nakane, 1963  
クロチビマルハナノミ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 20.VII.1959)
2. *Helodes protecta* Harold, 1881  
キムネマルハナノミ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 13.V.1973)

## Family Lucanidae クワガタムシ科

1. *Aesalus asiaticus* Lewis, 1883  
マダラクワガタ  
産地. 宍粟郡千種町駒ノ尾山 [佐藤・永幡, 1994]
2. *Platycerus acticolis akitai* Fujita, 1987  
キンキコルリクワガタ  
産地. 宍粟郡波賀町水ノ山越下コース, 坂の谷  
林道, 千種町駒ノ尾山? [佐藤・永幡, 1994]
3. \**Platycerus delicatulus* Lewis, 1883  
ルリクワガタ  
産地. 宍粟郡音水 [Kurosawa, 1969], 音水, 赤西  
[田中, 1987]
4. *Lucanus maculifemoratus* Motschulsky, 1861  
ミヤマクワガタ  
産地. 宍粟郡音水 (1♂1♀, 20.VII.1969)
5. *Prosopocoilus inclinatus* (Motschulsky, 1857)  
ノコギリクワガタ  
産地. 宍粟郡音水 (1♂, 20.VII.1969)
6. *Dorcus montivagus* (Lewis, 1883)  
ヒメオオクワガタ  
産地. 宍粟郡坂の谷 [1♀, 22.VII.1979, S.Ogura  
leg.]
7. *Dorcus rectus* (Motschulsky, 1895)  
コクワガタ  
産地. 宍粟郡水谷 (1♀, 17.VII.1981), 音水 (1♀, 20.  
VII.1959, etc.)
8. *Dorcus rubrofemoratus* (Snellen von Vollenho-

- ven, 1865) アカアシクワガタ  
産地. 宍粟郡音水 (1♂, 11.VIII.1978), 坂の谷  
(1♀, 22.VII.1979, S.Miki leg.)
9. *Dorcus striatipennis* (Motschulsky, 1861)  
スジクワガタ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (2♂6♀, 22.VII.1979)

## Family Geotrupidae センチコガネ科

1. *Geotrupes (Cheromogeotrupes) aurata* Mots-  
chulsky, 1857 オオセンチコガネ  
産地. 宍粟郡山崎町川戸 [酒井, 1992]
2. *Geotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus* Mots-  
chulsky, 1857 センチコガネ  
産地. 宍粟郡水谷 (1♂, 17.VII.1981), 赤西 (1♂, 27.  
V.1979)

## Family Scarabaeidae コガネムシ科

1. *Copris* (s.str.) *acutidens* Motschulsky, 1860  
ゴホンダイコクコガネ  
産地. 宍粟郡山崎町川戸 [楠井, 1992]
2. *Onthophagus (Strandius) lenzii* Harold, 1874  
カドマルエンマコガネ  
産地. 宍粟郡山崎町川戸 [楠井, 1992]
3. *Onthophagus (Parascatonomus) nitidus* Water-  
house, 1875 ツヤエンマコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 20.VI.1959), 三室山 [野  
村, 1976]
4. *Onthophagus (Gibbonthophagus) atripennis*  
Waterhouse, 1875 コブマルエンマコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1♂1♀, 11.VI.1972), 山崎町川  
戸 [楠井, 1992]
5. *Onthophagus (Phanaeomorphus) ater* Water-  
house, 1875 クロマルエンマコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (3♂2♀, 31.V.1970)
6. *Liatongus phanaeoides* (Westwood, 1840)  
ツノコガネ  
産地. 宍粟郡山崎町川戸 [楠井, 1992]
7. *Aphodius (Aganocrossus) urostigma* Harold,  
1862 フチケマゲソコガネ  
産地. 宍粟郡山崎町川戸 [楠井, 1992]
8. *Hoplia* (s.str.) *moerens* Waterhouse, 1875  
クロアシナガコガネ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1♀, 3.VI.1975, M.Yuma

- leg.), 音水 (1♂, 11.VI.1972), 坂の谷 (1♂1♀, 9.VI.1973, etc.)
9. *Ectinohoplia obducta* (Motschulsky, 1857)  
ヒメアシナガコガネ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex., 16.VI.1975, M.Yuma leg.), 水谷 (1ex., 17.VII.1981), 音水 (1ex., 24.VI.1973, etc.), 坂の谷 (3exs., 22.VII.1979, etc.)
10. *Maladera* (s.str.) *japonica* (Motschulsky, 1860)  
ピロウドコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1♀, 20.VI.1959)
11. *Maladera* (s.str.) *orientalis* (Motschulsky, 1857)  
ヒメピロウドコガネ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (4exs., 3.VI.1973)
12. *Paraserica gricea* (Motschulsky, 1866)  
ハイイロピロウドコガネ  
産地. 宍粟郡水谷 (1ex., 17.VII.1981), 音水 (1ex., 3.VI.1973, etc.), 坂の谷 (2exs., 9.VI.1973, etc.)
13. *Serica brevitarsis rectipes* Nomura, 1972  
ヒメコヒゲナガピロウドコガネ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (1♀, 22.VII.1979)
14. *Serica nipponica* (Nomura, 1959)  
ヤマトピロウドコガネ  
産地. 宍粟郡赤西 (2♂, 19.VII.1981), 音水 (1ex., 17.VII.1973), 坂の谷 (9♂♀, 22.VII.1979)
15. *Serica trichofemorata* (Nomura, 1959)  
モモケピロウドコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1♀, 30.VII.1972)
16. *Nipponoserica pubiventris* Nomura, 1976  
ハラゲピロウドコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (2♂, 11.VI.1972)
17. *Sericania alternata* Sawada, 1938  
ヒラタチャイロコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1♂, 11.VI.1972)
18. *Sericania fulgida lineata* Sawada, 1939  
スジチャイロコガネ  
産地. 宍粟郡赤西 (1♂, 27.V.1979, etc.), 坂の谷 (6♂8♀, 9.VI.1973)
19. *Sericania mimica* Lewis, 1895  
ナエドコチャイロコガネ  
産地. 宍粟郡原 (1♀, 11.V.1979), 音水 (1♀, 21.V.1972)
20. *Sericania ohtakei* Sawada, 1955  
オオタケチャイロコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1♂♀, 21.V.1972, etc.)
21. *Sericania quadrifoliata* (Lewis, 1895)  
ヨツバチャイロコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1♀, 3.VI.1973), 坂の谷 (1♀, 9.VI.1973)
22. *Sericania yamauchii* Sawada, 1938  
ヤマウチチャイロコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1♀, 11.VI.1972)
23. *Adoretus* (*Lepadoretus*) *tenuimaculatus* Waterhouse, 1875  
コイチャコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 20.VI.1959), 波賀町上野 [相坂, 1995]
24. *Popillia japonica* Newman, 1844  
マメコガネ  
産地. 宍粟郡水谷 (2exs., 17.VII.1981), 音水 (2exs., 25.VI.1972, etc.)
25. *Phyllopertha intermixta* (Arrow, 1913)  
アオウスチャコガネ  
産地. 宍粟郡赤西 (1♂, 3.VI.1977), 坂の谷 (2♀, 22.VII.1979)
26. *Phyllopertha irregularis* Waterhouse, 1875  
キスジコガネ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex., 3.V.1975), 音水 (1ex., 3.VI.1975), 赤西 (1ex., 3.VI.1979)
27. *Bliptopertha orientalis* (Waterhouse, 1875)  
セマダラコガネ  
産地. 宍粟郡水谷 (7exs., 17.VII.1981), 音水 (5exs., 20.VI.1959, etc.), 赤西 (1ex., 3.VI.1979), 坂の谷 (2exs., 22.VII.1979)
28. *Mimela difficilis* (Waterhouse, 1875)  
ツヤスジコガネ  
産地. 宍粟郡水谷 (1♂, 17.VII.1981)
29. *Mimela flavilabris* (Waterhouse, 1875)  
ヒメスジコガネ  
産地. 宍粟郡水谷 (4exs., 17.VII.1981), 音水 (2exs., 16.VII.1972, etc.)
30. *Mimela splendens* (Gyllenhal, 1817)  
コガネムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 16.VII.1972)
31. *Mimela takemurai* Sawada, 1942  
タケムラスジコガネ  
産地. 宍粟郡水谷 (1♂, 17.VII.1981)
32. *Anomala costata* (Hope, 1839)  
オオスジコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 16.VII.1972)
33. *Anomala lucens* Ballion, 1871  
ツヤコガネ

- 産地. 宍粟郡水谷 (3exs.,14.VII.1981)
34. *Rhomborrhina polita* Waterhouse,1875  
クロカナブン  
産地. 宍粟郡音水 (1♀,8.VIII.1976,etc.), 一宮町  
黒尾山 [森田,1986]
35. *Glycyphana fulvistemma* Motschulsky,1860  
クロハナムグリ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,20.VI.1959), 赤西 (1ex.,9.  
IX.1978)
36. *Eucetonia roelofsi* Harold,1880  
アオハナムグリ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1976), 水谷  
(3exs.,17.VII.1981), 音水 (8♂16♀,31.V.1970,  
etc.)
37. *Protaetia castaphracta* Arrow,1913  
ムラサキツヤハナムグリ  
産地. 宍粟郡音水 (2♀,20.VII.1969)
38. *Protaetia lugubris* (Herbst,1786)  
ミヤマオオハナムグリ  
産地. 宍粟郡坂の谷林道 [2exs.,23.VII.1972,etc.,  
相馬,1997]
39. *Gametis jucunda* (Faldermann,1895)  
コアオハナムグリ  
産地. 宍粟郡水谷 (1ex.,17.VII.1981), 音水 (1♂,  
10.V.1970,etc.), 上野 [相坂,1995]
40. *Osmoderma opicum* Lewis,1887  
オオチャイロハナムグリ  
産地. 宍粟郡坂の谷 [1♀,22.VII.1979,S.Ogura leg.,  
etc., 高橋,1981]
41. *Trichius japonicus* Janson,1885  
トラハナムグリ  
産地. 宍粟郡音水 [2exs.,13.VII.1959,M.Goto leg.]
42. *Paratrachius itoi* Tagawa,1931  
キイオオトラフコガネ  
産地. 宍粟郡音水 (2♂,13.VII.1958,etc.)
43. *Paratrachius septemdecimguttatus* (Snellen van  
Vollenhoven,1864) ジュウシチホシハナムグ  
リ  
産地. 宍粟郡坂の谷 (4♂2♀, 22.VII.1980,S.Ogura  
leg.)
44. *Neovalgus fumosus* (Lewis,1887)  
オオヒラタハナムグリ  
産地. 宍粟郡赤西 [1ex.,1.VII.1981,S.Ogura leg.],  
音水 (1ex.,13.VII.1958), 坂の谷 (1ex.,22.VII.  
1979)

45. *Nipponovalgus angusticollis* (Waterhouse,1875)  
ヒラタハナムグリ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (2exs.,16.VI.1976,etc.), 音  
水 (3♂,10.V.1970,etc.)
46. *Dasyvalgus tuberculatus* (Lewis,1887)  
トゲヒラタハナムグリ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (3exs.,20.VI.1976), 音水  
(5exs.,11.VI.1972,etc.), 赤西 (1ex.,27.V.1979)

## Family Ptilodactylidae ナガハナノミ科

1. *Epilichas flabellatus* (Kiesenwetter,1874)  
エダヒゲナガハナノミ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1976), 音水  
(1ex.,25.VI.1972,etc.)
2. *Pseudoepilichas niponicus* (Lewis,1895)  
クリイロヒゲナガハナノミ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,24.VI.1973)
3. *Pseudoepilichas robustior* Nakane,1963  
オオクリイロヒゲナガハナノミ  
産地. 宍粟郡音水 (1♀,11.VI.1972,S.Hisamats  
det.)
4. *Ptilodactyla ramae* Lewis,1895  
コヒゲナガハナノミ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,30.VII.1972,S.Hisamatsu  
det.)

## Family Psephenidae ヒラタドロムシ科

1. *Ectopria opaca* (Kiesenwetter,1874)  
チビヒゲナガハナノミ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1976)

## Family Dryopidae ドロムシ科

1. *Elomorphus brevicornis* Sharp,1888  
ムナビロツヤドロムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,8.IX.1972)

## Family Limnichidae チビドロムシ科

1. *Cephalobyrrhus japonicus* Champion,1925  
オオメホソチビドロムシ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs.,20.VII.1959,S.Hisamatsu  
det.)



## Family Buprestidae タマムシ科

1. *Ovalista vivata* (Lewis,1892)  
マスタクロホシタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西〔遠山,1978〕
2. \**Eurythyrea tenuistriata* Lewis,1892  
アオタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西〔辻・畑中,1973, 黒田,1984〕
3. *Anthaxia proteus* E.Saunders,1873  
ヒメヒラタタマムシ  
産地. 宍粟郡水谷 (1ex.,17.VII.1981)
4. \**Chrysobothris amurensis* Pic,1904  
アムールムツボシタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西〔Akiyama & Ohmomo,1979〕
5. *Chrysobothris samurai* Obenberger,1935  
ツシマムツボシタマムシ  
産地. 宍粟郡波賀町戸倉〔大平,1982〕
6. °*Coraeus ishiharai* Y.Kurosawa,1943  
サビナカボソタマムシ  
産地. 宍粟郡波賀町水の山坂の谷林道〔内藤,  
1997〕
7. *Coraeus quadriundulatus* Motschulsky,1866  
シロオビナカボソタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,3.VI.1975,M.Yuma  
leg.), 水谷 (1ex.,17.VII.1981), 音水 (2exs.,4.V.  
1972,etc.), 坂の谷 (3exs.,3.VI.1973,etc.)
8. *Agrilus cyaneoniger* E.Saunders,1873  
クロナガタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,16.VI.1975,etc.)
9. *Agrilus daimio* Obenberger,1936  
ダイミヨウナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1♂,23.VI.1979, 遠山,1980)
10. *Agrilus decoloratus alazon* Lewis,1893  
シラホシナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (4exs.,23.VI.1979,etc.), 坂の谷  
(1ex.,22.VII.1979)
11. *Agrilus discalis* E.Saunders,1873  
ヒシモンナガタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,16.VI.1975,M.Yuma  
leg.), 音水 (2exs.,20.VI.1959), 赤西 (4exs.,23.  
VI.1979,etc.)
12. *Agrilus imitatus* Lewis,1892  
ムネアカナガタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,20.VI.1976), 赤西  
[2exs.,28.V.1972,etc.,H.Hatanaka leg.]
13. *Agrilus moerens* E.Saunders,1873  
アサギナガタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex.,31.V.1970,T.Takahashi  
leg.,遠山,1980)
14. °*Agrilus nicolamus* Obenberger,1924  
ロニノナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1♂,23.VI.1979,T.Takahashi  
leg.,遠山,1980)
15. *Agrilus pilosovittatus* E.Saunders,1873  
シラケナガタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,16.VI.1975,M.Yuma  
leg.), 音水 (1ex.,31.V.1970)
16. °*Agrilus planipennis ulmi* Y.Kurosawa,1956  
アオナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 [1♂,22.VII.1979,Yagi leg., 遠  
山,1981]
17. *Agrilus sibiricus* Obenberger,1912  
ミドリツヤナガタマムシ  
産地. 宍粟郡水谷 (1ex.,17.VII.1981), 音水 (1ex.,3.  
VI.1975,M.Yuma leg., Toyama det.), 赤西  
(3exs.,23.VI.1979,M.Yuma leg., Toyama det.)
18. *Agrilus sospes* Lewis,1892  
シロテンナガタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,3.VI.1975,M.Yuma  
leg.), 音水 (1ex.,20.VII.1959), 赤西 (14exs.,23.  
VI.1979)
19. *Agrilus spinipennis* Lewis,1892  
ケヤキナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (11exs.23.VI.1979)
20. °*Agrilus takahashii* Toyama,1988  
タカハシナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西  
Holotype♂,allotype♀,24.VI.1979,M.Toyama  
leg. Paratype,1♀,23.VI.1979,T.Takahashi leg.  
〔Toyama,1988〕
21. *Agrilus tempestivus* Lewis,1892  
ウグイスナガタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (2exs.,16.VI.1975,etc.), 音  
水 (3exs.,3.VI.1973,etc.)
22. *Agrilus tibialis* Lewis,1892  
ホソアシナガタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex.,3.VI.1975,etc.), 赤西  
(4exs.,23.VI.1979,etc.)
23. °*Agrilus viduus subviduus* Y.Kurosawa,1957

- ベニナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 [1ex., 10.VI.1973, H.Hatanaka leg.]
24. *Agrilus viridiobscurus* E.Saunders, 1873  
アオグロナガタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 11.VI.1972, etc.), 赤西 (1ex., 21.V.1972, H.Hatanaka leg.)
25. *Agrilus yamabusi* Miwa et Chujo, 1940  
ヒコサンナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西  
*Agrilus ohmomoi*, ♀, allotype, ♂, paratype 24. VI.1979, M.Toyama leg., Toyama, 1985  
*Agrilus nakanei* Y.Kurosawa [♀, 26.VII.1983, M.Yagi leg., Toyama, 1985]
26. *Agrilus yamawaki* Y.Kurosawa, 1957  
ククロナガタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 [辻・畑中, 1972], 音水 (1♂, 11.VIII.1978, T.Takahashi leg., 遠山, 1980)
27. *Aphanisticus yasumaytsui* Y.Kurosawa, 1954  
ヤスマツケシタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 11.V.1972), 赤西 [秋山, 1980]
28. *Trachys auricollis* E.Saunders, 1873  
クズノチビタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (8exs., 20.VI.1976), 原 (1ex., 11.V.1979), 音水 (4exs., 25.VI.1972, etc.)
29. *Trachys breussonetiae* Y.Kurosawa, 1985  
コウゾチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (9exs., 31.V.1970, etc.)
30. *Trachys cupricolor* E.Saunders, 1873  
ドウイロチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (5exs., 31.V.1970, etc.)
31. *Trachys griseofasciata* E.Saunders, 1873  
ナミガタチビタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (4exs., 20.VI.1976), 音水 (2exs., 11.VI.1972, etc.)
32. *Trachys inconspicua* E.Saunders, 1873  
ウメチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs., 13.VII.1958)
33. *Trachys inedita* E.Saunders, 1873  
マルガタチビタマムシ  
産地. 宍粟郡赤西 (1ex., 27.V.1979)
34. *Trachys minuta salicis* (Lewis, 1892)  
ヤナギチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (12exs., 10.V.1970, etc.)
35. *Trachys reitteri* Obenberger, 1930  
マメチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs., 13.V.1973, etc.)
36. *Trachys robusta* E.Saunders, 1873  
サシゲチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs., 3.VI.1973, etc.)
37. *Trachys saundersi* Lewis, 1892  
ソーндーズチビタマムシ  
産地. 宍粟郡福知溪谷 (1ex., 16.VI.1975, M.Yuma leg.), 原 (6exs., 11.V.1979), 音水 (5exs., 10.V.1970, etc.), 赤西 (2exs., 27.V.1979), 坂の谷 (2exs., 22.VII.1979), 水谷 (1ex., 17.VII.1981)
38. *Trachys tokyoensis* Obenberger, 1940  
ヌスビトハギトビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (5exs., 31.V.1970, etc.)
39. *Trachys toringoi* Y.Kurosawa, 1951  
ズミチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (2exs., 13.V.1970, etc.)
40. *Trachys tsushimae* Obenberger, 1922  
アカガネチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (6exs., 25.VI.1972, etc.), 原 (6exs., 11.V.1979)
41. *Trachys variolaris* E.Saunders, 1873  
ダングラチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 31.V.1970)
42. *Trachys yanoi* Y.Kurosawa, 1959  
ヤノナミガタチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 13.V.1973)
43. *Habroloma elegantula* (E.Saunders, 1873)  
ヒラタチビタマムシ  
産地. 宍粟郡原 (2exs., 11.V.1979), 音水 (1ex., 13.VII.1958, etc.), 赤西 (2exs., 21.V.1979)
44. *Habroloma griseomigra* (E.Saunders, 1873)  
ハイイロヒラタチビタマムシ  
産地. 宍粟郡音水 (1ex., 4.V.1972, etc.)

## 大正・昭和初めに(1912-1945) 日本で記録されたコガネムシ(1)

高橋 寿郎

日本のコガネムシの研究もいよいよ日本人たちによって始まる時代になってきた。まだヨーロッパの人たちによる日本のコガネムシについての研究も行われていたが、日本人たちによる日本のコガネムシの研究が本格的になってきた時代、大正・昭和の初めにおける日本のコガネムシ研究の状況を、文献によってまとめてみることにした。

浅学未熟の著者のまとめであるから、大きな誤り、大きな見落としが多々あることと思われる。御教示頂くことが出来れば幸いである。一応、第二次世界大戦まででまとめるようにした。ただ、この時代の日本には、台湾、朝鮮産も含まれていた。ここでは、原則的には台湾、朝鮮産については取り扱わないようにしたことをお断りしておく。

本文をまとめるに当たり、日頃色々とお教示、御指導頂いている方々は多くおられる。ここにいちいち御芳名を記さないが厚く御礼申し上げさせて頂く。

なお、本文に入る前に、明治36年頃の昆虫世界にクワガタムシの図説の発表があるのがわかったので、ここに紹介しておく。

名和梅吉(1903) ノコギリムシとミヤマノコギリムシ。昆虫世界7(67):135,pl.III.

第3図版として(石版)ミヤマクワガタとノコギリクワガタがなかなかきれいに図示されている。

ノコギリムシ *Cladognathus inclinatus*, Motsch.

ミヤマノコギリムシ *Lucanus maculifemoratus*, Motsch.

勿論

ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus* (Motschulsky)

ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* (Motschulsky)

となる。その雄においてのみ上顎の発達したるは全く雌雄淘汰の結果にしてその体の發育不十分なものはその体に応じて上顎の不十分なるのを見ると、他にこの種に類似のものはクワガタムシの各種、カブトムシ及びダイコクムシの各種についてはまた常に前種同様の妙理を存せりと説明してある。

1912. A.Schmidt. W.Junk Coleopterorum Catalogus. Pars.42, Scarabaeidae, Aegialiinae, Chironinae. p.1-11.

日本産は1種のみ記録されている。

p.5. *Aegialia nitida* Waterhouse ニセマグソコガネ

1912. G.I.Arrow. W.Junk Coleopterorum Catalogus. Pars.43, Scarabaeidae, Pachypodinae, Pleocominae, Aclapinae, Glaphyrinae, Ocho-daeinae, Orphinae, Idiostominae, Hybosori-nae, Dymamopinae, Acanthocerinae, Trogi-nae. pp.1-66.

本書には日本産6種が記録されている。即ち

p.17. *Anthyna pectinata* Lewis=*Amphicomma* ヒゲブトハナムグリ

p.23. *Ochodaesus maculatus* Waterh. アカマダラコガネ

p.40. *Phaeochrous asiaticus* Lewis=*P. emarginatus* Castelnau フチトリアツバコガネ

p.59. *Trox opacotuberculatus* Motsch. ヒメコブスジコガネ

*Trox setifer* Waterh. アイヌコブスジコガネ

1912. A.Boucomont. W.Junk Coleopterorum Catalogus Pars.46. Scarabaeidae, Tourocerastinae, Geotrupinae. pp.1-47.

本書には現在独立科として取り扱われているセンチコガネが含まれていて、日本産として5種の記録がある。

p.16. *Bolbocerosoma nigroplagiatum* Waterh.=*Bolbocerosoma* (*Bolbocerodema*) ムネアカセンチコガネ

p.25. *Geotrupes stereorarius* L. var. *amoenus* Jacoby 現在の知見では日本にいない種と思われる。

p.29. *G. (Phelotrupes) auratus* Motsch.=*G. (Chromogeotrupes)* オオセンチコガネ

*G. (P.) laevistriatus* Motsch.=*G. (Eogeotrupes)* センチコガネ

*G. (P.) oshimanus* Fairm.=*G. (Eogeotrupes)* オオシマセンチコガネ

1912–1913. K.W.von Dalla Torre. W.Junk  
Coleopterorum Catalogus Scarabaeidae, Me-  
lolonthinae I–IV.

Pars.45,1912:1–84, Pars.47,1912:85–134.

Pars.49,1912:135–290, Pars.50,1913:291–  
450.

本書はコフキコガネ亜科のものをまとめたものであるが、4分冊よりなりここに一括して取り扱っておく。これらの中には日本産として次の34種が記録されている(日本産と思われぬ種もふくまれている)。

- p.11. *Serica brunnea* Linne=*Nipponoserica similis* (Lewis) カバイロピロウドコガネ  
p.13. *S. nigrovariata* Lewis クロホシピロウドコガネ  
p.14. *S. similis* Lewis=*Nipponoserica* カバイロピロウドコガネ  
p.16. *Ophthalmoserica boops* Waterh.=*Serica* ヒゲナガピロウドコガネ  
p.18. *Maladera japonica* Motsch.=*M.* (s.str.) ヒメピロウドコガネ  
*M. salebrosa* Brenske=*M.* (s.str.) *orientalis* ヒメピロウドコガネ  
p.19. *Paraserica grisea* Motsch. ハイイロピロウドコガネ  
p.25. *Autoserica secreta* Brenske=*Maladera* (s.str.) マルガタピロウドコガネ  
p.28. *Sericania mimica* Lewis ナヘドコチャイロコガネ  
p.30. *Neoserica angulata* Lewis=*Sericania* クロチャイロコガネ  
p.32. *N. quadrifoliata* Lewis=*Sericania* ヨツバチャイロコガネ  
p.34. *Microserica brenskei* Reitter 日本に分布しない種と考えられる。  
*M. higonia* Lewis=*Gastroserica* ヒゴシマピロウドコガネ  
p.35. *M. nikkoensis* Brenske=*G. brevicornis* (Lewis) コヒゲシマピロウドコガネ  
p.136. *Apogonia amida* Lewis ヒメカンショコガネ。  
*A. bicarinata* Lewis フタスジカンショコガネ  
p.140. *A. niponica* Lewis 日本産ではないようである。  
p.201. *Holotrichia castanea* Waterh.=*Miridia* クリイロコガネ

- p.203. *H. inelegans* Lewis=*H.* (s.str.) *kiotonensis* クロコガネ  
p.204. *H. niponensis* Lewis 日本には産しないよう。  
p.205. *H. picea* Waterh.=*H.* (s.str.) コクロコガネ  
p.218. *Trematodes tenebrioides* Pallas. 現在の日本に産しない。  
p.256. *Granida albolineata* Motsch.=*Polyphlla* (*Granida*) シロスジコガネ  
p.259. *Polyphylla laticollis* Lewis=*P.* (*Gynexophylla*) ヒゲコガネ  
p.265. *Heptophylla picea* Motsch. ナガチャコガネ  
p.270. *Melolontha japonica* Burm. コフキコガネ  
p.370. *Hoplia aureola* Pallas var. *maculicollis* Waterh.=*E. (Euchromoplia) communis* Waterh. アシナガコガネ *Hoplia aureola* は日本に産しない種である。  
p.372. *Hoplia communis* Waterh.=*H. (Euchromoplia)* アシナガコガネ  
p.375. *H. gracilipes* Lewis=*Ectinohoplia* キイロアシナガコガネ  
p.376. *H. maculata* Bates=*H. (Euchromoplia) communis* Waterhouse アシナガコガネ  
p.377. *H. moerens* Waterh.=*H.* (s.str.) クロアシナガコガネ  
p.380. *H. reini* Heyden=*H.* (s.str.) ラインアシナガコガネ

1912. Moser, J. Neue Arten der Melolonthiden – Gattungen *Holotrichia* und *Pentelia*.  
Ann. Soc. Ent. Belg., 56:420–449.

36新種を含む39種の *Holotrichia* 属の記載論文である。比較的、台湾、中国、トンキン、アッサム産のものが多い。その中でp.435–436に *Holotrichia convexopyga* Moser, China (Kiukiang), Japan (Kobbe) ♂による新種記載がある(=*Holotrichia* (s.str.) マルオクロコガネ)。

1913. Prell. Sauter's Formosan-Ausbeute (Dynastinae).

Suppl. Ent., II:22–23.

p.23に *Eophileuruc chinensis* (Faldermann) の1新変種 var. *irregularis* (Amami–Oshima) の記載あり。現在亜種に扱われている(アマミコカブトムシ)

1913. Pouillaude, I. Description de deux espèces nouvelle appartenant au genre *Trichius* Fabr.

Insecta, Rennes, tome 3:125-128.

p.125に奄美大島産の新種 *Trichius ferriei* を記載されているが、本種は Fairmaire が1897年に発表した *T. lagopus*=*Epitrichius* (アマミニセトラハナムグリ) と同一種である。

1913. G.J.Arrow. Notes on the Lamellicorn Genus *Popillia* and Descriptions some new Oriental Species in the British Museum.

Ann. Mag. Nat. Hist. XII(8):38-54.

東洋区の *Popillia* の研究で多くの新種を含んでいるが、日本に関係のある種はただ1新種 *Popillia lewisi* (Okinawa Is.) (オキナワマメコガネ) の記載があるだけである。

1913. Schmidt, A. Wytzman P. Genera Insectorum CL, Brunelles.

Coleoptera Lamellicornia, Scarabaeidae-Subfamily, Aegialiinae, Chironinae, Dynamopinae, Hybosorinae, Idiostominae, Ochodaeinae, Orphinae.

日本産は次の種が含まれている。

p.11. *Aegialia nitida* Waterhouse ニセマグソコガネ。

p.40. *Phaeochrous asiaticus* Lewis = *P. emarginatus* Castelanau フチトリアツバコガネ

p.56. *Ochodaeus maculatus* Waterhouse アカマダラセンチコガネ

1913. G.J.Arrow. Notes on the Lamellicorn

Coleoptera of Japan and Description of a few Species.

Ann. Mag. Nat. Hist. XII(8):394-408.

Lewis の1887年及び1875年の日本産コガネムシ相には83種が記録されていたが、それらに追加すべき種及びシノニムとしての処理、同定の訂正、新種の記載を含み109種の目録を発表された。本論文で11種の新種記載がされているが、G.Lewis の採集品は5種のみで1種は Ferrie の採集品、5種はイニシャルの違う J.E.A.Lewis の採集品である。

本報にて新種として記載された種について記しておく>(\*印は新種として記載された種の意味で便宜的に付したものである)。

p.397. \**Sericania lewisi* ルイスチャイロコガネ (横浜, 中禅寺, 日光)。

p.398. \**Autoserica castanea* = *Maladera* (s.str.) アカビロウドコガネ 神戸 (J.E.A.Lewis, 18.VI.1912), 中国。

p.399. \**Apogonia bicavata* リュウキュウカンシヨコガネ 沖縄 (J.E.A.Lewis, 23.V.1913)。

p.400. \**Melolontha frater* オオコフキコガネ 奈良, 京都, 紀伊和田, 神戸 (VI.VII)。

p.401. \**Anomala japonica* ヤマトアオドウガネ 南部日本, 新潟, 朝鮮。

p.402. \**Anomala xanthopleurae* リュウキュウドウガネ 沖縄島 (J.E.A.Lewis, V.1913)。

p.403. \**Anomala chloroderma* オオシマドウガネ Oshima I:Naje (Ferrie, 1895)。

\**Anomala (Phyllopertha) intermixta* = *Phyllopertha* アオウスチャコガネ 日光, 中禅寺, 札幌。

p.404. \**Protaetia hondana* = *P. (Nipponoprotaetia) lenzi* (Harold) レンツアオハナムグリ Kobe (VII.1913, J.E.A.Lewis leg.), Tanegashima (V.1973, J.E.A.Lewis leg.), Hiroshima (Janson Coll.)。

p.405. \**Protaetia cataphracta* = *Protaetia (Liocola)* ムラサキツヤハナムグリ 日光, 蓴菜, 碓井峠。

この *P.hondana* 及び *cataphracta* を記載した後でいわゆる属について言及し、従来の *Protaetia* Mulsant, *Liocola* Thomson, *Pyropotosia* Reitter, *Protaetia* Burmeister は *Protaetia* に統一すべきであり、そうなれば Moser の発表した *Liocola formosana*, *Potosia (Coloptosia) formosana* と同一属の同名種となるから後者に *P. inquinata* なる名を与え、極東地区の同属の検索表を発表しておられる。最近、ロシアとかチェコあたりの論文を見ると、細分した取扱いをしている。例えば、Miksic の分類では *Protaetia* を多くの亜属に分けて扱っている (1987)。

p.408. \**Chromovalgus laetus* = *Neovalgus* オオシマヒラタハナムグリ Loo Choo Is.:Oshima (J.E.A.Lewis, V.1913)。

以上11種が新種として記載された。1種のみシノニムとして消えるが、他は現在でも有効である (属名変更のものはある)。

1913. 素木得一 「一般害虫に関する調査」

台湾総督府農事試験場特別報告第8号, 670p.

## +索引40p. 図版別冊.

当時の台湾での害虫と考えられるものを種毎にその形態の記述と経過習性とか被害植物も示されている。17新種記載と種名確定ができていない種が11種(sp.の表示)が含まれているので重要な文献となる(甲虫についての新種記載はない)。甲虫は68種が取りあげられている。全般にいえることではあるが、学名は現在の知見で相当変わると考えられる。同定違いもあるように思われる。コガネムシ科は9種が取りあげられ、中には和名、学名、昆虫学上の位置とだけで何の記載をも伴っていないもの(被害植物名だけは各種になっている)4種で、詳しく解説されているものはタイワンアオドウガネ、キバナメコガネ、ルリメコガネ、タイワンシロホシハナムグリ、タイワンカブトムシの5種である。当時の状況からしてこれだけまとめあげるのは大変だったと推察される。

## 1913. 新島善直 「森林昆虫学」

412p.+50p. (博文館・東京)

昆虫分類関係の文献ではないが、標題のごとく森林害虫について一種ずつ生態、形態、分布などを記している。コガネムシは10種取りあげられている。学名など当然現在では訂正を要するものがある。

## 1915. Ohaus, F. Beitrag zur Kenntnis der Ruteliden (Col. Lamell. Rutelin)

Stettiner Ent. Zeit. LXXVI:88-97.

スジコガネ類18種(7新種記載を含む)の記載並びに多くの新変種を記載している。また、*Mimela* 属を *Paramimela* 属と区別して取り扱っている。日本産の新種記載はないが、新変種として多くの日本産を記している。はたしてこのような分け方ができるのかどうか、現在ではこのような扱いはされていない。次に新変種として記載されているものを記してみる。

p.90. *Paramimela costata* Hope = *Anomala* var. *flavipennis* (Japan)p.91. *P. flavilabris* Waterhouse = *Mimela* var. *cuprifulgens* (1♂, Gifu)  
var. *sculpticollis* (Nikko, Chiuzenji)*P. testaceipes* (Motsch.) = *Anomala* var. *ochrochalea* (♀, Japan, Hatima = Harima?)var. *ochroptera* (Japan : Yokohama, Mukoda)p.92. *Paramimela testaceipes* (Motsch.) = *Anomala*var. *cyprioptera* (♂, Japan : Yokohama)var. *anocypria* (♀, Japan : Kobe)1915. Ohaus, F. Beitrag zur Kenntnis der paläarkt Anomala-Arten (Col. Lamell. Rutelin).  
Stettiner Ent. Zeit. LXXVI:302-331.

旧北区に産する *Anomala* 属の分類論文であり、ヨーロッパ、アジア地域、ロシア、朝鮮、日本、台湾の4地区に分けて記してある。もっとも朝鮮のところにも日本に分布している種も記されている。

日本のところでは次の2新種及び9新変種、1既知種が記載されている。新種の1種は他種のシノニムで1種のみ現在有効である。

p.320. *Anomala rufocuprea* Motsch. var. *viridicuprea*  
*Anomala rufocuprea* Motsch. var. *viridiana**Anomala rufocuprea* Motsch. var. *violacea**Anomala rufocuprea* Motsch. var. *castanipennis*p.321. *A. motschulskyi* Har. var. *viridicuprea**A. motschulskyi* Har. var. *aptena**A. motschulskyi* Har. var. *violacea**A. motschulskyi* Har. var. *rufoviolacea**A. difficilis* Waterhouse var. *cupreata* (Yesso, Yokohama, 2♂)*A. lucens* Ballion (Nagasaki, Yokohama, Kobe and Amakusa)p.322. *A. schoenfeldti* (♂♀, Japan : Yokohama, Nagasaki)p.323. *A. Lenzi* = *Mimela difficilis* (♀, Japan : Yokohama bei Tokyo)p.325. この日本のところで *Phyllopertha diversa* Waterh. subsp. nov. *koreana* と朝鮮産の新亜種を記載している。

以上のごとくであるが *A. rufocuprea* 及び *A. motschulskyi* は現在では同一種として取り扱われているので、これらの変種の取扱いも整理されなくてはならないが、この種は日本産で最も普通のコガネムシであり、色彩変化も大変多く変種としては明確に区別することは困難であると考えられる。

## 1915. M. Curti. Beitrag zur Kenntnis der paläarktischen Cetoniden, I. (Col.)

Ent. Mitt. IV:17-26.

p.20-21に日本産(神戸) *Cetonia* (*Eucetonia*) *Bodemeyri* なる1新種の記載がある。神戸産なので筆者もかなり調査したのであるが、どうも色彩に

よる変化のみで記載されたようで現在の *Cetonia* (*Eucetonia*) *roelofsi* Harold, 1880 アオハナムグリのシノニムとして扱った方がよいと考える。

1915. Moser, J. *Neue Serica-Arten* (Col.).

*Deut. Ent. Zeut. Heft. IV:337-393.*

53種の新種記載が含まれ、朝鮮、台湾、支那等日本に近いところからの記載はあるが(その他東南アジア、スマトラ、ボルネオ等多い)、日本からのものは全く記載されていない。

p.340に *Autoserica infuscata* = *Maladera* (s.str.) なる新種が Korea, China から記載されていて、この種は対馬に産する記録があるが(村山, 1954)、現時点ではこの産は疑問がある。

p.341-342に Korea (Soul) より *Autoserica cariniceps* = *Maladera* (s.str.) なる新種が記載されている。この種は野村 鎮による記録 Nagasaki (13.VII.1958), Tsushima (20.VII.1960) があり (Ent. Rev. Japan, XVI, 2:52, 1964) 日本に分布している。

1918. Ohaus, F.W. *Junk Coleopterorum Catalogus Pars.66. Scarabaeidae, Euchirinae, Phaenomerinae, Rutelin pp.1-241.*

日本産として次の種が記録されている。

p.32. *Parastacia ferrieri* Nonf. = *Ohkubous* ヨツバコガネ

p.67. *Anomala cuprea* Hope ドウガネブイブイ  
*A. daimiana* Har. サクラコガネ

p.68. *A. difficilis* Waterh. = *Mimela* ツヤスジコガネ

p.73. *A. geniculata* Motsch. ヒメサクラコガネ

P.74. *A. lenzi* Ohaus = *Mimela difficillis* ツヤスジコガネ

p.75. *A. motschulsky* Har. = *A. rufocuprea* Motsch. ヒメコガネ

*A. octiecostata* Burm. ヒラタアオコガネ

*A. rufocuprea* Mots. ヒメコガネ

*A. schoenfeldti* Ohaus チビサクラコガネ

p.77. *A. triangularis* Schonf. サンカクスジコガネ

p.78. *A. viridana* Kolbe = *A. japonica* Arrow ヤマトアオドウガネ

p.101. *A. (Euchlora) albopilosa* Hope = Arrow アオドウガネ

*A. (E.) multistriata* Motsch. = *A. albopilosa* Hope アオドウガネ

p.114. *Phyllopertha* (s.str.) *diversa* Waterh. = *Phyl-*

*lopertha* ウスチャコガネ

p.116. *Phyllopertha* (s.str.) *intermixta* Arrow = *Phyllopertha* アオウスチャコガネ

p.117. *P.* (s.str.) *irregularis* Waterh. = *P.* キスジコガネ

p.118. *P. (Blitopertha) conspurcata* Har. = *Blitopertha* カタモンコガネ

p.119. *P. (Exomala) orientalis* Waterh. = *Blitopertha* セマダラコガネ

p.121. *P. (Proagopertha) pubicollis* Waterh. = *Proagopertha* ナラノチャイロコガネ

p.128. *Mimela (Paramimela) costata* Hope = *Anomala* オオスジコガネ

*M. (P.) flavilabris* Waterh. = *Mimela* ヒメスジコガネ

*M. (P.) holoserica* F. = *Anomala holoserica japonica* Machtschke キンスジコガネ

p.129. *M. (P.) testaceipes* Motsch. = *Anomala* スジコガネ

p.130. *Popillia insularis* Lewis ツキガタマメコガネ

*P. japonica* Newman マメコガネ

p.135. *P. lewisi* Arrow オキナワマメコガネ

p.190. *Adoretus (Lepadoretus) tenuimaculatus* Waterh. コイチャコガネ

1921. S.Schenkling, W. *Junk Coleopterorum Catalogus Pars.72, Scarabaeidae, Cetoninae, p.1-430.*

本書にはハナムグリ亜科のものが記録されている。日本産として17種含まれている。属名の変更以外にシノニムとして整理されているのが5種ある。

p.63. *Rhomborrhina japonica* Hope = *Pseudotorymorrhina* カナブン

p.64. *R. polita* Waterh. = *R.* (s.str.) クロカナブン

p.65. *R. unicolor* Motsch. = *R.* (s.str.) アオカナブン

p.205. *Cetonia (Eucetonia) bodemeyeri* Curti = *Eucetonia roelofsi* アオハナムグリ

*C. (E.) hondana* Arrow = *Protaetia (Niponoprotaetia) lenzi* (Harold) レンツアオハナムグリ

*C. (E.) pilifera* Motsch. ハナムグリ

*C. (E.) roelofsi* Har. アオハナムグリ

p.221. *Liocola brevitarsis* Lewis = *Protaetia (Liocola)*

- シラホシハナムグリ
- p.222. *L. insperata* Lewis=*Protaetia* (*Liocola*)  
ミヤマオオハナムグリ
- L. lenzi* Harold=*Protaetia* (*Niponoprotaetia*)  
レンツアオハナムグリ
- p.224. *L. speculifera* Swartz=*Protaetia* (*Calopototia*) *orientalis* シロテンハナムグリ
- p.225. *L. aerata* Er.=*Protaetia* (*Calopototia*) *orientalis* シロテンハナムグリ
- p.259. *Protaetia orientalis* Gory & Perth.=*P.* (*Calopototia*) シロテンハナムグリ
- p.268. *Poecilophilides rusticola* Burm.=*Anthracophora* アカマダラハナムグリ
- p.273. *Glycyphana fulvistemma* Motsch. クロハナムグリ
- p.280. *Oxycetonia forticula* Jans.=*Gametis* アオヒメハナムグリ
- p.281. *O. jucunda* Falderm.=*Gametis* コアオハナムグリ
1921. Schmidt, Ad. Beitrag zur Kenntnis der Gattungen *Canthon* Hffsg., *Sybx* Boh., *Aphodius* Ill. *Simogenius* Har., *Ataenius* Har. *Archv. Naturg.*, LXXXVI, A(9):114-147.
- 世界各地からの糞虫類10種の *Canthon* 属の種の解説と13新種の記載及び9新種の記載, *Sybx* 属の1新種, *Aphodius* 属7新種の記載, *Simogenius* 属1新種, *Ataenius* 属3新種及び1既知種の記載を含む論文である。p.140-142に *Aphodius* (*Trichaphodius*) *connatus* なる新種(ヒメケブカマグソコガネ)が Seich (Korea), Tsushima (Japan) から記載されている。日本の本州, 伊豆(利島), 対馬, トカラ(宝島) に分布している。
1922. Schmidt, AD. *Aphodiinae*, Das Tierreich 45.  
Lieferung Berlin und Leipzig.
- 世界の *Aphodiinae* の分類書で pp.I-XXXVI u 1-614 の大冊である。はじめに Subfam. *Aphodiinae* Arrow の一般体制の解説があり, Tribus の検索に始まり Genus の検索, 亜属の検索, 種の検索があり, 亜属毎に種の記載がある。収録されているのは5族, 43属, 72亜属, 1,149種が記載されている。
- 日本産は次の32種が記載されている(日本産に関しての新種の記載はない)。
- p.28,18a. *Aphodius* (*Teuchestes*) *brachysomus* Sol-
- sky=A. (*Teuchestes*) セマルオオマグソコガネ
- p.33,26. *A. (Pleuraphodius) lewisi* Waterh. コスジマグソコガネ
- p.51,70b. *A. (Loboparius) globulus biscetus* Waterh.=*A. (L.) bisectus* セマルマグソコガネ  
日本産ではないのではと考えられる。
- p.59,83. *A. (L.) rugosostriatus* Waterh.=*A. (Pharaphodius)* スジマグソコガネ
- p.72,117. *A. (Ammonoecius) trituberculatus* Ad. Schm.=*A. (Agrilinus) breviusculus* (Motsch.) ヌバタママグソコガネ
- p.102,172. *A. (Acrossus) atratus* Waterh. クロツヤマグソコガネ
- p.129,221. *A. (Aganocrossus) urostigma* Har. フチケマグソコガネ
- p.138,241. *A. (Trichaphodius) pilosus* Har.=*A. (Balthasarianus) eccoptus* Bates ケブカマグソコガネ
- p.178,315. *A. (Volinus) obsoletoguttatus* Waterh.=*A. (Chilothorax) nigrotessellatus* (Motsch.) セマダラマグソコガネ
- p.191,337. *A. (V.) pallidigonis* Waterh.=*A. (Paremadus)* ネグロマグソコガネ
- p.193,343. *A. (V.) punctatus* Waterh.=*A. (Chilothorax) nigrotessellatus* (Motsch.) セマダラマグソコガネ
- p.200,357. *A. (Aphodaulacus) nigrotessellatus* Motsch.=*A. (Chilothorax)* セマダラマグソコガネ
- p.209,372. *A. (Phaeaphodius) rectus* Motsch. マグソコガネ
- 372b. *A. (P.) rectus bififormis* Reitt. マグソコガネ
373. *A. (P.) semicolor* Reitt.=*A. (P.) rectus* マグソコガネ
- p.277,524. *A. (s.str.) elegans elegans* Allib. オオフタホシマグソコガネ
- p.289,546. *A. (Agrilinus) nigerrimus* Waterh.=*A. (A.) breviusculus* (Motsch.) ヌバタママグソコガネ
- p.291,550. *A. (A.) uniformis* Waterh. エゾマグソコガネ
- p.298,562b. *A. (Bodilus) sordidus quadripunctatus* (Panz)=*A. (Agrilinus) sordidus* (Fabr.) ヨツボシマグソコガネ



- p.305,575. *A. (Bodilus) languidulus* nom. nov. Ad. Schm. 本論文で新しく命名された種 (China, Japan)=1875, *A. obsoletus* (non. J.C.Fabricius, 1801); C.O.Waterhouse in Tr. ent. Soc. London, p.88=*A. (Acanthobodilus)* キバネマグソコガネ
- p.315,604. *A. (Nialus) sublimbatus* Motsch.=*A. (Labarrus)* ウスイロマグソコガネ
- p.324,620. *A. (Calamosternus) uniplagiatus* Waterh. オビマグソコガネ
- p.326,630. *A. (Aphodinus) lividipennis* Waterh.=*A. (Phaeaphodius) rectus* (Mots.) ab. マグソコガネ
- p.327,633. *A. (A.) ovalis* Waterh.=*A. (Agrilinus) brevisculus* (Mots.) ヌバタママグソコガネ
- p.362,1. *Caelius denticollis* Lewis トゲマグソコガネ
- p.384,14. *Oxyomus jugous* Lewis=*Mozartius* マルマグソコガネ
- p.405,12. *Saprosites japonicus* Waterh. クロツツマグソコガネ
14. *S. narae* Lewis ヒメツツマグソコガネ
- p.464,5. *Dialytes foveatus* Ad. Schm. フトツツマグソコガネ
- p.476,8. *Psammobius ainu* Lewis=*Psammodius* (s.str.) アイヌケシマグソコガネ
- p.480,22. *P. japonicus* Har.=*Psammodius (Leiopsammodius)* ヤマトケシマグソコガネ
- p.483,32. *P. convexus* (Waterh.)=*Psammodius* (s.str.) セマルケシマグソコガネ
1922. S.Schenkling, W.Junk *Coleopterorum Catalogus Pars.75, Scarabaeidae, Trichiinae, Valginae.* pp.1-58.  
本書はトラハナムグリ, ヒラタハナムグリ両亜科のものを含んだ世界産の目録であり, 日本産としては10種が取り扱われている。属名の変更, 種名の変更, 亜種の取扱いにすべきもの等々があり, 現在の日本には産しないとされる種が1種含まれている。
- p.7. *Osmoderma opicum* Lewis オオチャイロハナムグリ
- p.20. *Gnorimus septemebecinguttatus* Snell. voll. Jijdsche=*Paratrichiis* ジュウシチホシハナムグリ  
*G. subopacus* Motsch. イブシアシナガハナム

- グリ
- p.26. *Paratrichiis doenitzi* Har. オオトラフハナムグリ
- p.27. *Trichiis fasciatus* L. 本種は日本に産せず。
- p.32. *T. japonicus* Jans. トラハナムグリ  
*T. lagopus* Fairm.=*Epitrichiis* アマミニセトラハナムグリ
- p.45. *Chromovalgus fumosus* Lewis=*Neovalgus* ヒラタハナムグリ
- p.48. *Dasyvalgus angusticollis* Waterh.=*Nipponovalgus* ヒラタハナムグリ
- p.50. *D. tuberculatus* Lewis トゲヒラタハナムグリ

## 1923. 鈴木元次郎. 日本産鍬形虫

通俗昆虫雑誌1(1):5-16, pl.1,2.

京都でアマチュアを中心とした「昆虫学雑誌」(大日本昆虫学会)が1915年(大正4年)2月5日創刊号を発行した。そして大正8年(1919)9月発行のVol.4, No.1をもって廃刊となった。

会の責任者の一人鈴木元次郎は会費負債の弁償として通俗昆虫雑誌を3冊発行した。その第1号に鈴木元次郎によって日本産鍬形虫を図版をつけて解説されている。

図説されたのは9種(ルリクワガタ, ツヤハダクワガタ, ネプトクワガタ, コクワガタ, スジクワガタ, アカアシクワガタ, ヒメオオクワガタ, オオクワガタ, ヒラタクワガタ)だけのものであり(この文献を所有していないのでよくわからない), まず一般的に見られる種が中心のように思われる。ただ日本人による日本産クワガタムシの解説としては松村松年博士のもの(1906)に次ぐものとして見逃すわけにはいかない。

1923. 楚南仁博. マメコガネの属名 *Popillia* と *Po-pilia*. 昆虫世界27(312):278-281.現在 *Popillia* が用いられている。

## 1923. 新島善直・木下榮次郎. こがねむしニ関スル研究報告(第二) 我國ニ産スルこがねむし及其分布

北海道帝国大学農学部演習林研究報告Vol.2, No.2:1-253, 7pls.

## 1927. 新島善直・木下榮次郎. こがねむしニ関スル研究報告(第三)(追加及訂正)

北海道帝国大学農学部演習林研究報告Vol.4:  
1-97,3pls.

この時代までに松村松年博士の研究を除いて日本のコガネムシの研究は主として欧州人によってされてきた。それが日本人による日本のコガネムシの総合的研究として初めて発表されたのがこの報文である。

この報文は、岡博士が1917年"こがねむしの被害及び駆除に関する研究報告(第一)"を発表され、その続編として日本に産するコガネムシの種類を分類し、各個の昆虫学上の性質を記載し、更に識別点を明らかにして主として林業宛の実用に供せしめ、且つ各種の分布区域を確かめんことを期したと冒頭に書いてその目的を明示しておられる。

当時の日本のことであるから朝鮮、台湾産も含まれて多くの新種の記載と図説がある。その当時までに日本産として知られた種で標本を検したものは全部記載があり、標本のないものは種名のみを記してある。現在の知見からすれば同定の間違っている種もあり、新種として記載されたものはシノニムとして姿を消さねばならぬものもあるが、日本の当時のコガネムシの同定には非常に役立った貴重な文献である。第三は第二の追加及訂正とあるが、一緒に含めて眺めた方が良いと考えられる。各種についての当否の検討は長くなるので省略するが、本報文で新種として発表された種は全部(但し現在の日本産のみ)を次に取りあげて現在の取扱いがどうであるかを記しておく。ただコガネムシといってもこれらの報文は食葉類についてのみの意味で広い意味でのコガネムシではない。(II)

p.17. *Serica karafutoensis*, Taf.III, fig.5 エゾピロウドコガネ

樺太からの新種記載であるが千島、北海道に産し、本州産は subsp. *honshuensis* Nomura ホンシュウピロウドコガネと取り扱われている。

p.32. *Sericania hidana*, Taf.II, fig.9,9a (Hida) ヒダチャイロコガネ

p.34. *S. shinanoensis*, Taf.II, fig.7 (Shinano, Fukuo-ka) = *S. quadrifoliata* (Lewis) ヨツバチャイロコガネ

p.62. *Melontha japonica* Burm. var. *Gotenbaensis*  
現在変種として取り扱っていない。コフキコガネ

*M. satsumaensis*, Taf.II, f.5, Taf.IV, f.19, Taf.VII,

f.13 (Kagoshima, Miyazaki, Kochi) サツマコフキコガネ

p.105. *Anomala tokioensis*, Taf.I, f.18, Taf.VII, f.11 (Tokyo) = *A. lucens* Ballion ツヤコガネ

p.126. *Phyllopertha kiotoensis*, Taf.VI, f.17 = *Blitopertha conspurcata* (Harold) カタモンコガネ

p.128. *P. tanbaensis*, Taf.VI, f.21 (Tanba, Kochi) = *Blitopertha orientalis* (Waterh.) セマダラコガネ

p.129. *P. fuscata*, Taf.VI, f.22 (Hokkaido) = *P. intermixta* (Arrow) アオウスチャコガネ

p.139. *Popillia comma*, Taf.I, f.9. 台湾産での新種記載であるが現在奄美大島に分布が知られている。 = *P. insularis* Lewis

p.170. *Liocola miyakoensis*, Taf.II, f.6, Taf.V, f.14, Taf.VII, f.17 (Miyakojima, Tosa) = *Protaetia (Liocola)* ミヤコオオハナムグリ

p.174. *Potosia nitidiscutellata*, Taf.V, f.2, Taf.VII, f.18 (Kyoto) = *Protaetia (Niponoprotaetia) lenzi* (Harold) レンツアオハナムグリ

p.190. *Gromius*, Otsuka, Taf.V, f.4 (Kochi, Shinano, Odaigahara) = *Patrichius doenitzi* Harold オオトラフコガネ

## (III)

p.12. *Autoserica Uyei*, Taf.I, f.8, Taf.III, f.3 (Oita) = *Maladera (s.str.) secreata* (Brenske) マルガタピロウドコガネ

p.14. *Sericania fulgida*, Taf.I, f.59, Taf.III, f.4 (Chuzenji) ツヤチャイロコガネ

p.15. *S. Galloisi*, Taf.I, f.58, Taf.III, f.5 (Chuzenji) ガロアチャイロコガネ

p.23. *Brahmina ishigakiensis*, Taf.I, f.18, Taf.III, f.7 (Ishigaki-jima) = *Dasylepida* ケブカアカチャコガネ

1925. Ohaus, F. I. Nachtrag zur Rutelinenfauna Formosas (Col. Lamell.)

Archiv. f. Naturg, XCI, A, Heft.5:122-131.

標題のごとく台湾からのスジコガネ類9新種、1新変種の記載であるが明らかに沖縄産での記載並びに現在の知見で日本に産する種を含んでいる。

p.126, f.3. *Anomala Nijimae* Ohaus ♂ (Ishigaki) ニイジマスジコガネ

p.128, f.5. *A. edentula* Ohaus ♂ ♀ (Formosa, China と Tonkin にも分布すると) ムシスジコガネ。

現在琉球列島(沖縄, 石垣島, 西表, 久米, 徳

之島)に分布し奄美大島には亜種 *amamiana* Nomura, 沖縄・久米島の亜種 *okinawana* Nomura, 石垣・西表の亜種 *yaeyamana* Nomura に分けられている。

p.130, f.8. *Phyllopertha okinawaënsis* Ohaus = *Blitopertha okinawaënsis* オキナワセマダラコガネ  
台湾からの記載であるが、種名のとおり沖縄に分布している。種名は上記のごとくなっている。

1926. Goidanich, A. *Observazioni sopra il genere Onthophagus* Latr.

*Bull. Soc. Adr. Nat.* XXIX.

p.138に *Onthophagus viduus* Harold = *G. (Gibbonthophagus)* マルエンマコガネが大島に産することの記録。

1927. A. Boucomont et J. J. E. Gillet. *W. Junk Coleopterorum Catalogus. Pars. 90, Scarabaeidae, Coprinae, II, Tremitotroginae.* pp. 103-263.

本書に記録された日本産は13種である。

p.108. *Oniticellus phanaeoides* Westw. = *Liatongus* ツノコガネ

p.113. *Caccobius brevis* Waterh. ヒメコエンマコガネ

p.115. *C. jessoensis* Har. マエカドコエンマコガネ

*C. nikkoensis* Lewis ニッコウコエンマコガネ

p.117. *C. vacerosus* Lewis = *C. brevis* ヒメコエンマコガネ

p.132. *Onthophagus ater* Waterhouse = *O. (Phanaeomorphus)* クロマルエンマコガネ

*O. atripennis* Waterh. = *O. (Gibbonthophagus)* コブマルエンマコガネ

p.137. *O. fodiens* Waterh. = *O. (Phanaeomorphus)* フトカドエンマコガネ

p.139. *O. japonicus* Har. = *O. (Strandius)* ヤマトエンマコガネ

p.140. *O. lenzi* Har. = *O. (Strandius)* カドマルエンマコガネ

p.141. *O. lutosopictus* Fairm. = *O. (Matashia)* アカマダラエンマコガネ

p.142. *O. ocellatopunctatus* Waterh. = *O. (s.str.)* アラメエンマコガネ

p.150. *O. viduus* Har. = *O. (Gibbonthophagus)* マ

ルエンマコガネ

1927. Y. Miwa (1927) *A List of Japanese Lucanidae, with the description of one new species.*

*Ins. Mats.*, 2(1): 25-31.

その当時、日本(台湾・朝鮮も含む)産クワガタムシは36種が知られており、この報文で13種(うち1種は本論文で新種として発表)を追加、日本産クワガタムシ科49種の目録並びに分布表をつけられた。個々の種については現在相当訂正しなくてはならないが、純然たる現在の日本産のみでないのでその検討は省略したい。

ただ、この論文で新種として記載された *Eurytrachelus yezoensis* Miwa がその後著者自身によって *Dorcus hopei* の local race であると訂正されている(1931) = *Dorcus curvidens binodulosus* Waterhouse オオクワガタ。

1928. Didier, R. *Etudes sur les Coleopteres Lucanides du Globe, Face, 2: 55.*

筆者はこの文献を所有していないので詳しいことがわからない。ただ p.55 に奄美大島産のクワガタムシ新種 *Aegus taurulus* Didier の記載があるとのこと。三輪勇四郎博士は大島産は *A. laevicollis subnitidus* にして *laevicollis* の local race なりとされている(1934)。現在は *A. laevicollis taurulus* Didier (アマミネブトクワガタ)と扱われている。

1928. 町田貞一・青山哲四郎. *朝鮮害虫編* 前・後編. 304p.+424p. (三宅琢造本店出版部. 朝鮮・釜山)

本書は分類学の文献ではない。朝鮮における害虫を被害植物別に多くの図を入れて生態、形態、駆除予防法を紹介している。前編ではビロウドコガネ(p.125-127)、マメコガネ類、テウセンクロヒラタコガネ、テウセンヒメコガネ、クロコガネ(p.213-216)が、後編ではナラノチャイロコガネ、テウセンシラホシハナムグリ、クロホシアシナゴガネ(p.98-104)が取りあげられている。

1929. Y. Miwa. *An Addition to the List of Lucanid-species from the Japanese Empire.*

*Ins. Mats.*, 3(2/3): 72-76.

1927年の著者のクワガタムシ科の目録に洩れた種並びに未記録種を記録するとともに、2新種の

記載をされた。当時の日本であるから台湾、朝鮮が含まれている。新種は次の2種。

p.73-74, f.1. *Neolucanus insularis* Miwa チャイロマルクワガタ

Loo-Choo; one male specimen has been collected at Ishigaki Island in July, 1922 by S. Hirayama.

p.74-75, f.2. *Leptimopterus formosanus* Miwa ウスバクワガタ

Taiheizan 1♂, 7.VI.1926 (T.Kano), Karenko 1♀, 19.VIII.1919 (J.Sonan)

現在前者の和名はチャイロマルバネクワガタが用いられている。属名はともに *Dorcus* 属に扱われている。

1929. Balthasar, V. Zehn neue Palaearctische Formen aus der Familie der Lamellicornien. Acta Soc. Ent. Cech. 25:114-115.

p.114に *Pyropotosia Pryeri Obenbergeri* Balthasar, Liou Kiou (Japan), Insel Okinawa と新亜種の記載。

p.45に *Pyropotosia Pryeri* ab. *euchalcea* Balthasar, Ein Exemplar ♀, Liou-Kiou (Japan) Insel Oshima と異常型が記載されている。

ともにオオシマツヤハナムグリ *Protaetia pryeri oschimana* (Nonfeld) になる。

1930. 神谷一男. マダラクワガタ (*Aesalius asiaticus* Lewis) に就いて 昆虫 4(4):277-279.

標題のごとくマダラクワガタの図説がある。当時としては貴重な文献の一つであった。

1930-1931. 横山桐郎. 日本の甲虫(正・続) (西ヶ原刊行会刊)

ようやく日本のコガネムシ、否甲虫類全般についてある程度の研究が行われ、一般にどんな甲虫が日本にいるのかを知らしめようという気運が生まれてきた。そしてその目的のための原色図鑑の出版が始まった。数年の間に数種の図鑑の発行があった。それぞれその時代での正しいとされる同定に基づく図鑑であるが、甲虫全般を記す関係上、個々の種についてはかなり誤りも含まれ、それらを一々検討していくことはここでは省略したい。

分類学上からの功績ということになると、別に新種の記載を含んでいるわけでもなく、分類学的

検討を加えているわけでもない。そういった意味からは本報文の主旨から省くべきかもしれないが、啓蒙的な意味での研究史上の一つの意義ありと思ひ、以下書名のみを記すことにした。

1931. 松村松年. 日本昆虫大図鑑 (刀江書院刊)

1931. 松村松年. 日本通俗昆虫図説 III (春陽堂刊)

1931-1934. 三輪勇四郎. 大日本鍬形虫科の研究(1~5)

台湾博物学会々報 XXI:315-326, 1931.

XXII:87-97, 123-132, 1932. XXIII:353-371,

1933. XXIV:317-332, 1934.

この研究は4年間にわたり5回に分けて発表されたものであるが、当時の大日本、即ち台湾、朝鮮を含み、現在の日本産という意味からすれば相当異なるが、図も豊富で日本産クワガタムシの研究としては貴重な論文であり、当時の日本産の目録並びに文献目録も重要である。

従来、Aesalinae に含まれていた *Ceruchus* 属により本報文で新たに Subfamily Ceruchinae を創設した。現在の日本産としては23種解説されている。そのうち、上記1新亜種の創設がある。

学名は現在では変わっているものも多い。ここには注意しておく点のみ説明しておく。

XXI, p.318. *Lucanus maculifemoratus* Mots. ミヤマクワガタ

p.319. *L. ferriei* Planet アマミミヤマクワガタ

p.327. *Rhaetulus* 属は *Lucaninae* 亜科に含まれるべきでないとして新たに *Rhaetulinae* 亜科を創設された。現在はやはり *Lucaninae* 亜科として取り扱われている。

XXII, p.94. *Neolucanus saundersi* Parry

この記載に用いられた標本は、当時どこに所有されているかわからない旨記されている。

分布は北部印度、台湾となっている。現在の日本に産するのは、この種とは違って *Neolucanus insulicola* 及び *N. protogenetinus* である。

p.97. *N. insularis* Miwa, 1929年に石垣島産で記載された種。チャイロマルバネクワガタ。

p.125. *Psalidoremus inclinatus* Mots. ノコギリクワガタ = *Prosopocoilus*

- p.126. *P. motschulskyi* Waterhouse = *Prosopocoilus*  
マレー諸島, 台湾の記録であるが, 日本の  
石垣島, 西表島に *P. pseudodissimilis* Y. Kuro-  
sawa ヤエヤマノコギリクワガタを産す。  
*P. dissimilis* Boileau リュウキュウノコギリク  
ワガタ = *Prosopocoilus*
- p.130. *Prismognathus angularis* Waterhouse オ  
ニクワガタ. 九州産は subsp. *morimotoi* Y.  
Kurosawa, 1975 ミナミキュウシュウオニクワ  
ガタとして分けられている。
- XXIII, p.356. *Eurytrachelus costatus* Boileau スジブ  
トヒラタクワガタ = *Dorcus metacostatus* Ki-  
kuta. *E. platymelus* Saunders (Dorcus) を原  
種として日本産は9亜種に分けられて, 本種  
は subsp. *pilifer* (Snellen van Vollenhoven)  
ヒラタクワガタとなる。
- p.358. *E. rectus* Mots. = *Dorcus* コクワガタ  
p.360. *E. striatipennis* Mots. = *Dorcus* スジクワ  
ガタ  
*E. rubrofemoratus* Vollenhoven = *Dorcus* アカア  
シクワガタ
- p.362. *Dorcus hopei* Saunders オオクワガタ =  
*Dorcus curvidens binodulosus* Waterhouse, 1874  
p.363. *D. montivagus* Lewis ヒメオオクワガタ  
九州産は subsp. *adachii* Fujita et Ichikawa,  
1987 キュウシュウヒメオオクワガタ  
p.367. *Aegus laevicollis* Saunders ネプトクワガ  
タ. 日本産は8亜種に分けられている。  
p.370. *Platycerus delicatulus* Lewis ルリクワガ  
タ
- XXIV, p.318. *Nigidius lewisi* Boileau ルイスツノヒ  
ョウタンクワガタ  
p.320. *Figulus binodulus* Waterhouse チビクワ  
ガタ  
*F. punctus* Waterhouse マメクワガタ  
Ceruchinae 亜科を創設。  
p.321. *Ceruchus lignarius* Lewis ツヤハダクワ  
ガタ  
p.322. *Nicagus japonicus* Nagel マグソクワガタ  
*Aesalus asiaticus* Lewis マダラクワガタ

1931. 三輪勇四郎. 台湾産昆虫目録(鞘翅目)  
台湾総督府中央研究所農業報告(55):270-  
310, 312-314.

標題のごとく台湾産甲虫目録であるが, 勿論そ  
の当時の日本のことであり, 収録されているもの

も台湾産であっても本土に分布する種も含まれる  
わけである。

各種について原記載名と産地分布が含まれると  
同時に分類に基づいた配列がしてあるので大変貴  
重である(もちろん同定間違いの種もあるし, 分  
類, 学名その他訂正しなくてはいけない点も多々  
ある. 全文359p.+13p.の大冊で, 鯉角類が上記頁に  
記録されている)。

1931. Murayama, J. A Contribution to the  
Morphological and Taxonomic Study of Lar-  
vae of Certain May-Beetles which occur in  
the Nurseries of the Peninsula of Korea.

Bull. Forest Exp. Stat. XI:1-108, 17pls.

標題のごとく朝鮮産のコガネムシ類幼虫の形態,  
分類論文であるが, 現在の日本産の種も含まれて  
いるのでこの種の研究があまり無いだけに貴重で  
ある. 日本産の種は次のごとく含まれている。

- p.20-28, fig.16. *Serica orientalis* = *Maladera* (s.str.)  
ヒメビロウドコガネ  
p.30-33, fig.18. *Ectinohoplia rufipes* カバイロアシ  
ナガコガネ  
p.33-37, fig.19. *Apogonia cupreviridis* チョウセン  
カンショコガネ  
p.38-41, fig.20. *Holotichia diomphalia* チョウセン  
クロコガネ  
p.41-44, fig.21. *Holotrichia morosa* = *H. parallela*  
オオクロコガネ  
p.56-58. *Anomala testaceipes* = *Mimela* スジコガ  
ネ  
p.64-67, fig.24. *Phyllopertha conspuracata* = *Blito-  
pertha* カタモンコガネ  
p.75-79, fig. *Liocola brevitarsis* = *Protaetia* (*Liocola*)  
シラホシハナムグリ  
p.79-81. *Oxycetonia jucunda* = *Gametis* コアオハ  
ナムグリ

1931. Kono, H. Die Trypoxylus-Arten aus Ja-  
pan and Formosa (Col. Scarabaeidae)

Ins. Mats., 5(4):159-160, pl.3.

本論文において台湾産ツノボソカブト *Trypo-  
xylus tsunobosonis* Kono を記載されるとともに岩  
手県からカブトムシ *Trypoxylus dichotomus* Linne  
の1新種 *f. septentrionalis* Kono を記載しておられ  
る. 現在の知見では *Allomyrina* 属の種に扱われて  
いるがいわゆる *A. dichotomus* は中国, 台湾に当

てるべきで日本産はsubsp. *septentrionalis* になるとされている(黒沢良彦, 日本昆虫図鑑II, pl.76, f.1, p.417, 1985). ツノボソカブトムシの方は原名亜種のシノニムに扱われている。

1932. Balthasar. *Aphodius haroldianus* n. n.  
für *Aphodius apicalis* Har.  
Ent. Nachrbl. VI:1-7.

1861年 Harold が *Aphodius apicalis* として発表した種を本論文(p.3)で *Aphodius (Colobopterus) haroldianus* と命名している=A. (C.) *quadratus* Reiche, 1847 オオマガソコガネ

1932. 湯浅啓温. ピロウドコガネ類 3種の学名  
昆虫 6(3):115-118.

この当時の日本産コガネムシ類の同定の基礎になるものは、新島善直・木下榮次郎両博士の"こがねむしニ関スル研究報告"(1923, 1927)であった。その中で取り扱われているピロウドコガネ類3種の学名を検討されたのが本報文である。即ち、

*Autoserica (Maladera) japonica* Mots. は *Aserica castanea* Arrow であると。現在は *Maladera* (s.str.) *castanea* (Arrow) アカピロウドコガネ

Motschulsky の *Serica japonica*—現在 *Maladera* (s.str.) *japonica* は新島・木下両氏の *Serica (Maladera) orientalis* Mots. のことであり、同じく新島・木下両氏の *Serica salebrosa* Brenske は Arrow が *orientalis* Mots. のシノニムとして認めており、*Serica orientalis* となる—現在 *Maladera* (s.str.) *orientalis* ヒメピロウドコガネ。

1932. 湯浅啓温. アカピロウドコガネ属属名  
昆虫6(5/6):301.

Arrow (1927) の研究により湯浅啓温博士 (1932) は *Autoserica* は *Aserica* のシノニムとして取り扱ったが、1932年発表の E.A. Chapin の "Autoserica Brenske pro Aserica Lewis" (Proc. Ent. Soc. Wash., 34:122-124) に書き、Arrow の *Aserica* が *Autoserica* のシノニムである (Lewis の *Aserica* は *Serica* のシノニム) とされている。もっとも現在では、*Maladera* 属として取り扱われている。

1932. 内田清之助他. 日本昆虫図鑑 (北隆館刊)

1933. 神谷一男・安立綱光. 原色甲虫図譜 (三

省堂刊)

1933. 平山修次郎. 原色千種昆虫図譜 (三省堂刊)

1933. 加藤正世. 分類原色日本昆虫図鑑, 第八輯 (厚生閣刊)

1933. 加藤正世. 昆虫図譜(I, VI)

昆虫界1(2):155-161, pl.9. 2(7):61-67, pl.46.

最後のものはともに機関誌に発表されたもので前の図鑑と同じ考えで良いと思う。(I)には16種。(VI)には14種の図説があるがもちろんその当時の日本産の種ばかりである。

1934. S. Matsumura. Insects collected at the foot of Mt. Yatsugadake and its environment. Ins. Mats., 9(1/2):60-80.

標題のごとく八岳山麓の昆虫の記録であるが、その中で次の5種のコガネムシの新種記載がある。現在全部他種のシノニムとして取り扱われている。

p.65. *Aphodius (Acrossus) koichianus* = A. (*Balthasarianus*) *ecoptus* ケブカマガソコガネ

p.66. *Oniticellus yoheai* = *Liatongus phanaeoides* (Westwood) ツノコガネ。

p.67. *Onthophagus koichii* = *Caccobius jessoensis* Harold マエカドコエンマコガネ

*O. minokuchianus* = *O.* (s.str.) *bivertex* Heyden シナノエンマコガネ

p.68. *O. shinanensis* = *O.* (s.str.) *bivertex* Heyden シナノエンマコガネ

1934. Balthasar, V. Neue Coprinen-Arten und Abarten

Ent. Blätter 30:146-149.

p.146に *Copris frankenbergeri* Balthasar なる新種が日本 (Insel Kasaka) から記載されている。中根猛彦博士によると *C. acutidens* の大型の♂とよく一致すること (1955)。

その後 Balthasar 博士自身中根猛彦博士の意見のように取り扱っている (1964)。

1935. W.D. Hincks et J.R. Dibb. W. Junk Coleopterorum Catalogus Pars. 142.

Passalidae. pp.1-118.

世界のクロツヤムシ科の目録であるが、日本産

は1種しか含まれていない。

p.12. *Cylindrocaulus patalis* (Lewis) ツノクロツヤムシ

1935. 加藤正世. 主要金亀子科の分類(1-4)

昆虫界 3(14):108-117, 3(15):158-162, 3(17):283-289, 3(18/19):342-349.

新島善直・木下榮次郎両博士の研究(1923, 1927)並びに三輪勇四郎博士の台湾産昆虫目録(鞘翅目)(1931), Arrow の研究(1910)を基礎としての当時の日本産(台湾・朝鮮産をも含む)のコガネムシの目録であるが, 食葉コガネ類ばかりであり, 従来の知見をまとめたものである。現在からすれば相当変わっているが, 当時としては大変便利なものであった。

1935. Balthasar, V. *Onthophagus*-Arten Chinas, Japans und der angrenzenden Länder.

Fol. Zool. Hydrobiol, VIII:303-353.

本論文は旧北区のダイコクコガネ類(*Scarabaeiden*)の研究(30)として発表されたもので標題のごとく支那・日本及びその隣接地域の *Onthophagus* の概説である。

この中で7新属, 13新種, 1新亜種の記載がある。

13新種は全部支那産であるが1種のみ支那, 日本産として *Onthophagus (Phaeomorphus) Cernyi*, pp.312-313として記載されている。ただし, 残念ながらこの種は現在 *O. (P.) ater* Waterhouse と同一種として取り扱われている。

新種記載の後で支那・日本及び隣接地域の *Onthophagus* の検索表がまとめられ, 日本産8種が含まれてこの論文で日本産として取り扱われていないが, 現在の日本には分布している4種(*solivagus*, *tricornis*, *bivertex*, この種には亜種 *minokuchianus* を産す, *olsoufieffi*)がある。

1935. 三輪勇四郎. 奄美群島の甲虫類

関西昆虫学会々報(6):11-30, p.13, 4.

新種の記載があるだけでなく分類学的検討も加えられないのであるが, 当時の奄美大島のコガネムシ相をまとめたものとして, また美しい原色図でそれらを紹介した報文として忘れられないものの一つである。

1936. Balthasar, V. *Monographie der Subfam. Troginae der paläarktischen Region.*

Festschr.60, Geburt, Prof. E.Strand, I:407-459.

Embrink Strand 教授還暦記念論文集として1936~1939の間に5巻発行されたが, Balthasar 博士の旧北区のコブスジコガネ亜科のモノグラフはその第1巻(1936.X.17発行)に発表された。旧北区なる故当然日本産が含まれる。

はじめに Troginae 亜科の概説があり, p.432-433に属の検索が示され, p.433から *Trox* 属の種の検索の形式で各種が記載されている。

日本産は材料が充分でなかったようであり, 次の2種が出ているだけである。

p.447-448. *Trox setifer* Waterhouse, Japan (Shimabar) アイヌコブスジコガネ

p.448. *Trox obscurus* Waterhouse, Japan, China (Hongkong) = *Omorgus chinensis* (Bohemann, 1858) オオコブスジコガネ

1936. 村山醸造. 金亀子駆除試験報告第三報 ウスキイロコガネ *Phyllopertha pallidipennis* Reitter の習性並経過に関する研究.

朝鮮総督府林業試験場報告第23号:1-164, I-XIpls. (うち1pl. color)

分類の書ではないが, 表記種について形態, 生活史, 習性, 駆除等についての詳しい研究論文である。朝鮮では害虫としてよく知られていた種と考えられる。戦前の文献では, 日本の本州, 四国, 九州にも分布と書いてあるが, この種は現在の日本には分布しないコガネムシとされている。

1936. 高木 茂. クロハナムグリの一新異常型について

昆虫世界40(467):256-257.

*Glycyphana fulvistemma* Motsch. の黒色新異常型 ab. *nagoyanus* の記載(現在異常型の扱いはしていない)。

1936. 高木 茂. ムモンクロハナムグりに就いて.

昆虫世界40(471):407-408.

上記の学名を ab. *nagoyana* に改める。

1936. 饒平名智郎. 浅間山麓のツノフトエムマコガネ.

昆虫世界40(472):434-435.

ツノフトエンマコガネ *Onthophagus tragus*

Fabricius を浅間山麓から記録されているが、これは純東洋区系の種で日本には産しないとし、その種は *O. shinanensis* Mats. のことであり、その1新亜種として *f. brevicornis* Yohena を記載されたが現在では *O. (s.str.) bivertex* Heyden となる(シノエンマコガネ)。

1936. 加藤正世・久次米正雄. ヒゲプトハナムグリの雌に就いて.

昆虫界4(25):134-135.

従来知られていなかったヒゲプトハナムグリの雌についての記載.

1936. 野村 鎮. 尾瀬付近産コガネムシ科糞虫類、特に最近命名せられたる五種に就いて.

昆虫界4(32):698-705.

尾瀬沼付近産糞虫類の記録で松村松年博士の発表された1934年の5種について邦文の記載が加えられている。この種の取扱いについては松村(1934)を参照。

1936. 饒平名智郎. ムラサキセンチコガネに就いて.

虫の世界1(5/6):12-14.

従来ムラサキセンチコガネと称せられていたものはオオセンチコガネのことであるが、一部センチコガネを意味することを論じたもの。

1936. S.Matsumura. New *Caccobius*-species in Japan with a tabular key.

Ins. Mats., 11(1/2):61-66.

従来、日本産 *Caccobius* 属は5種知られていたが、本報文で8新種が記録された。これらの種は次のごとく現在ではかなり整理され、1種を残し他は全部シノニムとなる。

p.62. *Caccobius hirayamai* = *Caccobius jessoensis* Harold

p.63. *C. jononis* = *Onthophagus (Gibbonthophagus) viduus* Harold

*C. kasuganus* = *Caccobius nikkoensis* (Lewis)

p.64. *C. narashinensis* = *Onthophagus (Gibbonthophagus) viduus* Harold

*C. sapporoensis* = *Caccobius jessoensis* Harold

p.65. *C. suzukii*

*C. yubariensis* = *C. jessoensis* Harold

p.66. *C. yamauchii* = *C. unicomis* Fabricius

1936. 三輪勇四郎・中條道夫. 日本産鞘翅目分類目録

Pars.2. 鍬形虫科. p.1-11.

Pars.3. 黒黴虫科. p.1-2.

三輪勇四郎・中條道夫両博士により、当時の日本産鞘翅目分類目録発行を計画され、初めて台湾昆虫研究所より刊行、後に野田書房に発行が引き継がれて執筆者に水戸野武夫氏も加わったが、残念ながらPars.8までで発行中止となってしまった。

現在から見れば、相当の訂正をしないではいけない点が多々あるが、これは研究の進歩からやむを得ぬことである。むしろ当時としては画期的な研究で長く記録に残すべきものである。

収録範囲は当時の日本で朝鮮、台湾、樺太をも含んでいる。

1937. 加藤正世. だいこくこがね亜科の分類  
昆虫界5(39):291-295.

日本産(台湾・朝鮮産も含む)のダイコクコガネ亜科の分類であるが、現在の分類で学名の訂正すべきものもあるが、これはここに一々訂正を省略し、当時の分類の一段階を知る貴重文献として掲げておく。

1937. 昆虫趣味の会. 全日本産鍬形虫科一覽目録

昆虫界5(45):765-769.

前記、三輪勇四郎・中條道夫両博士の目録と同様の範囲である(台湾、朝鮮産も含まれている)。

1936年に発表された三輪勇四郎・中條道夫博士の"日本産鞘翅目分類目録第一輯 鍬形虫科"の52種に1937年三輪勇四郎博士が台湾から新種記載された2種(台湾博物学会々報Vol.1. XXVII, No. 166)を加え、54種の目録である。昆虫趣味の会まとめとなっているが、もちろん加藤正世博士の執筆のものである。

1937. G.J.Arrow. W.Junk Coleopterorum Catalogus Pars.156. Scarabaeidae. Dynastinae, p.1-124.

本書は世界のカブトムシ亜科のリストであるが、日本産はわずか2既知種しか記録されていない。

p.83. *Eophileurus chinensis* Fald. コカブトムシ

var. *irregularis* Prell. Oshima I. = *Eophthourus chinensis irregularis* Prell. アマミコカブトムシ



## 1937. 加藤正世. 金亀子圖説(1)

昆虫界5(45):782-783.

*Ochodaeus maculatus* Waterhouse の図説(アカマダラセンチコガネ)

## 1937. 渡辺福寿. 森林動物相調査報告 第一輯 金亀子科, 104p. 24pls. (青森営林局)

青森営林局管内, いわゆる三陸地方におけるコガネムシ類の図説で, 65種を54図版で解説されている。分類学的新知見はなくむしろ現在の知見では学名の変更もかなりあり, 同定の間違いも見られるが, 当時の日本産コガネムシ類の分類としては実に貴重な文献の一つとして取り扱うべきである。

1937. S. Matsumura. Two New Species of *Caccobius* (Scarabaeidae)

Ins. Mats., 11(3):120-121.

本論文で *Caccobius* 属の2新種が記載されたが(1種は饒平名氏と共同命名になっている), 現在ではともに整理され, 他種のシノニムとして取り扱われている。即ち,

*Caccobius matsui* Matsumura et Yohena = *Caccobius brevis* Waterhouse ヒメコエンマコガネ  
*Caccobius amagisanus* Matsumura = *Caccobius jeensoensis* Harold マエカドコエンマコガネ

1937. S. Matsumura. New *Onthophagus*-species in Japan with a tabular key.

Ins. Mats., 11(4):150-169.

本論文では *Onthophagus* 属の新種30種(うち6種は饒平名智郎氏と共同命名)と1新記録並びに1新称が含まれている。この多数の新種もそのほとんど全部が整理される。

- p.152. *Onthophagus aequipennis* = *O. (Gibbonthogus) viduus* Harold.  
 p.153. *O. akirai* = *O. (G.) atripennis* Waterh.  
*O. chibanus* = *O. (G.) viduus* Harold  
 p.154. *O. chuzenjanus* = *O. (Phanaeomorpha) ater* Waterh.  
*O. hikosanus* = *O. (P.) fodiens* Waterh.  
 p.155. *O. ibonus* = *O. (G.) atripennis* Waterh.  
*O. hynganus* = *O. (G.) viduus* Harold  
 p.156. *O. jedensis* = *O. (G.) viduus* Harold  
*O. kandai* = *O. (s.str.) olsoufieffi* Boucomont  
 p.157. *O. kawarimus* = *O. (P.) ater* Waterh.

- p.158. *O. kogatanus* = *O. (G.) atripennis* Waterh.  
 p.159. *O. komabellus* = *O. (G.) viduus* Harold  
*O. kozunonis* = *O. (s.str.) bivertex* Heyden  
 p.160. *O. matsukoi* Matsumura et Yohena  
*O. minoi* = *O. (Gibbonthogus) viduus* Harold  
 p.161. *O. misujanus* = *O. (G.) viduus* Harold  
*O. miyazakianus* = *O. (G.) viduus* Harold  
 p.162. *O. oishii* = *O. (G.) viduus* Harold  
*O. okushirianus* = *O. (G.) viduus* Harold  
 p.163. *O. oniellus* = *O. (s.str.) bivertex* Heyden  
*O. shigoi* = *O. (G.) atripennis* Waterh.  
 p.164. *O. sobosanus* = *O. (P.) fodiens* Waterh.  
*O. shurianus* = *O. (G.) viduus* Harold  
 p.165. *O. spurius* = *O. (G.) viduus* Harold  
*O. takabayashii* = *O. (G.) viduus* Harold  
 p.166. *O. ushiodai* = *O. (P.) fodiens* Waterh.  
*O. uedanus* = *O. (s.str.) olsoufieffi* Boucomont  
 p.167. *O. yohennai* = *O. (s.str.) bivertex* Heyden  
 p.168. *O. yubarinus* は後に中根猛彦博士によりタイプ標本を研究の結果, ラベルの誤りと考えられ, 日本のファウナから除外されている。  
*O. yugiganus* = *O. (P.) fodiens* Waterh.  
 p.169. *O. yumigatanus* = *O. (Gibbonthogus) viduus* Harold

上記のごとくただ一種を除き全部整理されるわけであるが, この1種も中根猛彦博士によると日本のファウナから除外した方がよいということで, そうなるとすべての種が新種ではないわけである。

1937. Tesar, Z. *Copris yamamotoi* n.sp.

Acta Soc. ent. Ceckoslov. 34(4):101.

山本 弘が岩手県松尾鉾山付近の海拔500~1000 mの地点より採集された10数頭の標本に基づきチェコスロバキアの国立博物館の Z. Tesar が *Copris yamamotoi* Tesar として新種の記載をした。本種は現在では *Copris pecuarius* Lewis のシノニムとされている。

## 黒田庄町で採集した蛾(2)

岡本 清

### はじめに

前回は黒田庄町で採集した蛾のうち、ヤガ上科について報告したが、今回はそれ以外のものについて報告する。但し、小蛾類についてはほとんど採集しておらず、同定も不十分なので割愛する。

また、マドガ科、メイガ科については、兵庫県多可西脇地方の昆虫(2)(蛾類1)(1962,兵庫生物 Vol.4(3/4):p.154-178)にも報告しているのであわせて参照願いたい。なお、前報のデータは基本的には再掲せず、それ以外に採集データがない種については(既報)として示し、種名のみ掲載した。記載方法は前回と同様である。

### イラガ科 LIMACODIDAE

1. *Kitanola uncula* (Staudinger) マダライラガ 11.IX.1961, 2.VII.1962.
2. *Scopelodes contracta* Walker ヒメクロイラガ 5.IX.1962.
3. *Monema flavescens* Walker イラガ 26.VI.1959(2), 7.VII.1960(2).
4. *Microleon longipalpis* Butler テングイラガ 26.V.1960(2), 24.V.1961.
5. *Austrapoda dentata* (Oberthür) ムラサキイラガ 14.VI.1960, 5.VI.1961.
6. *Parasa consocia* Walker アオイイラガ 2.VII.1960, 11.VII.1960.
7. *Phlossa conjuncta* (Walker) タイワンイラガ 2.VII.1960, 8.VII.1960, 2.VII.1960(2).

### マドガ科 THYRIDIDAE

#### アカジマドガ亜科 <STRIGLINAE>

1. *Striglina cancellata* (Christoph) アカジマドガ 30.IV.1959, 16.V.1960, 24.V.1960, 20.IV.1962.

#### マダラマドガ亜科 <SIGULINAE>

2. *Rhodonecura vittula* Guenée マダラマドガ 8.V.1961, 9.V.1962.
3. *Rhodonecura palida* (Butler) ウスマダラマドガ 23.VIII.1962.
4. *Herdonia margarita* Inoue ギンスジオオマドガ(既報)

### メイガ科 PYRALIDAE

#### オオメイガ亜科 <SCHOENOBIINAE>

1. *Acropentias aurea* (Butler) クロスジキオオメイガ 3.VII.1962, 5.VII.1962.
  2. *Patissa fulvosparsa* (Butler) キボシオオメイガ 26.VI.1962, 2.VII.1962(13), 3.VII.1962(2), 5.VII.1962(2).
  3. *Scirpophaga lineata* (Butler) ヒトスジオオメイガ 10.VII.1961, 11.VII.1961, 13.VIII.1961, 7.VII.1962.
  4. *Scirpophaga praelata* (Scopoli) ムモンシロオオメイガ(既報)
  5. *Scirpophaga parvalis* (Wileman) マエウスグロオオメイガ(既報)
  6. *Scirpophaga virginia* Schultze コガタシロオオメイガ 13.IX.1960, 13.VII.1961, 17.VII.1961.
- #### ツトガ亜科 <CRAMBINAE>
7. *Glaucoccharis exsectella* (Christoph) シロエグリツトガ 30.VI.1961, 11.VII.1961.
  8. *Pseudargyria interruptella* (Walker) ホソスジツトガ 6.IX.1960, 12.VI.1961(2), 14.VI.1961(2), 30.VII.1961, 2.VII.1962(3).
  9. *Chilo suppressalis* (Walker) ニカメイガ 27.V.1959(2), 26.IV.1960, 18.VII.1960, 8.V.1961, 29.V.1961, 12.VI.1961(3), 18.VII.1961, 20.VII.1961, 23.VIII.1962.
  10. *Pseudocatharyla simplex* (Zeller) マエキツトガ 20.VI.1959(2), 7.VII.1960, 12.VII.1960, 14.VII.1960, 6.VII.1961(3), 20.VII.1961, 26.VII.1961, 23.VII.1962.
  11. *Calamotropha okanoi* Bleszynski サツマツトガ 12.VI.1962, 7.VII.1962, 10.VII.1962.
  12. *Chrysoteuchia distinctella* (Leech) テンスジツトガ 15.VI.1962, 5.VII.1962.
  13. *Chrysoteuchia porcelanella* (Motschulsky) ナカモンツトガ(既報)
  14. *Chrysoteuchia atrosignata* (Zeller) クロマダラツトガ 1.X.1960, 20.V.1961, 30.V.1961(2), 28.VII.1961, 30.VII.1961, 11.IX.1961, 21.V.1962, 31.V.1962(2), 5.VI.1962, 15.VI.1962, 25.VI.1962, 30.VIII.1962.
  15. *Crambus argyrophorus* Butler シロスジツトガ 13.IX.1960, 11.IX.1961(2).
  16. *Crambus virgatellus* Wileman ナカグロツトガ 8.V.1960, 9.V.1962, 11.V.1962, 18.V.1962, 30.VII.1962.

17. *Flavocrambus striatellus* (Leech) クロスジツトガ 8.IX.1960.
18. *Xanthocrambus lucellus* (Herrich-Schäffer) ウスグロツトガ 13.VI.1960, 15.VI.1960, 12.VI.1961 (2), 26.VI.1961.
19. *Ancylolomia japonica* (Zeller) ツトガ 12.IX.1960 (2), 13.IX.1960.  
ニセノメイガ亜科 <EVERGESTINAE>
20. *Evergestis forficalis* (Linnaeus) ナニセノメイガ 30.IV.1959, 10.V.1961, 4.V.1962, 11.V.1962.  
<CYBALOMIINAE>
21. *Trichophyesis cretacea* (Butler) フタオビノメイガ 30.X.1961.  
クルマメイガ亜科 <ODONTIINAE>
22. *Clupeosoma cinereum* (Warren) ウスムラサキクルマメイガ 7.VII.1960, 8.IX.1960, 1.VII.1961, 14.VII.1961, 2.IX.1961, 13.IX.1961 (2), 2.VII.1962, 3.VII.1962.  
ノメイガ亜科 <PYRAUSTINAE>
23. *Hellula undalis* (Fabricius) ハイマダラノメイガ 10.X.1960, 30.X.1961, 1.XI.1962.
24. *Pelena sericea* (Butler) モンキノメイガ 23.V.1961.
25. *Pycnarmon pantherata* (Butler) クロオビノメイガ 14.VI.1960, 16.VI.1961, 10.VII.1962, 11.VII.1962.
26. *Spoladea vecurvalis* (Fabricius) シロオビノメイガ 10.IX.1960 (2), 14.IX.1960, 5.X.1960, 12.X.1961.
27. *Eurrhyarodes accessalis* (Walker) アヤナミノメイガ 21.IX.1959, 21.IX.1960.
28. *Agrotera nemoralis* (Scopoli) ウスムラサキノメイガ 19.VII.1960, 22.VII.1961 (2).
29. *Pagyba arbiter* (Butler) フタマタノメイガ(既報)
30. *Pagyba quadrilineata* Butler ヨスジノメイガ 9.VI.1962.
31. *Cnaphalocrocis medinalis* (Guenée) コブノメイガ 9.IX.1960, 19.X.1961.
32. *Cnaphalocrocis exigua* (Butler) イネハカジノメイガ 27.VII.1962.
33. *Bocchoris dispersalis* (Zeller) シロモンノメイガ 21.IX.1959, 28.IX.1959, 1.X.1959 (2), 8.IX.1960, 21.IX.1960 (2), 12.IX.1961.
34. *Analthes semitritalis* Lederer シロヒトモンノメイガ(既報)
35. *Conogethes punctiferalis* (Guenée) モモノゴマダラノメイガ 1.VII.1959, 13.VI.1960, 12.VII.1960.
36. *Nacoleia commixta* (Butler) シロテンキノメイガ 30.V.1961, 7.IX.1961, 13.IX.1961, 19.IX.1961, 9.V.1962, 4.IX.1962.
37. *Metasia coniotalis* Hampson ハイイロホソバノメイガ 19.VII.1960, 26.VII.1960, 26.VI.1961, 20.VII.1961.
38. *Omiodes misera* (Butler) ヒメクロミスジノメイガ 15.IX.1959, 21.IX.1959, 8.IX.1960, 13.IX.1960, 17.IX.1960, 14.VI.1961, 14.VIII.1961 (2), 5.IX.1961, 11.IX.1961 (3), 12.IX.1961 (2), 9.VI.1962, 20.VI.1962, 26.VI.1962, 28.VI.1962 (4).
39. *Omiodes indicata* (Fabricius) マエウスキノメイガ 17.X.1960 (2), 19.X.1960, 5.XI.1960.
40. *Omiodes similis* (Moore) クロミスジノメイガ 11.IX.1961, 2.VII.1965.
41. *Omiodes noctescens* Moore キバラノメイガ 14.VI.1960.
42. *Goniorhynchus exemplaris* Hampson クロズノメイガ 13.VIII.1961, 23.VIII.1962.
43. *Goniorhynchus butyrosa* (butler) クロヘリキノメイガ 12.VIII.1960, 30.VII.1961, 5.IX.1961, 9.VI.1962, 26.VI.1962, 24.VII.1962, 23.VIII.1962.
44. *Pleuroptya balteata* (Fabricius) クロスジキンノメイガ 17.VII.1961, 14.VIII.1961, 7.IX.1961, 8.IX.1961, 11.IX.1961, 19.IX.1961, 5.IX.1962.
45. *Pleuroptya ruralis* (Scopoli) ウコンノメイガ 1.XI.1962.
46. *Pleuroptya chlorophanta* (Butler) ホソミスジノメイガ 5.VII.1962 (2).
47. *Syllepte invalidalis* South ツチイロノメイガ 4.VIII.1962.
48. *Palpita nigropunctalis* (Bremer) マエアカスカシノメイガ 19.XII.1958, 8.IX.1960, 7.IX.1961, 9.IV.1962 (3).
49. *Palpita inusitata* (Butler) ヒメシロノメイガ 1.X.1960, 5.XI.1960, 11.IX.1961, 4.X.1961, 21.X.1961.
50. *Diaphania indica* (Saunders) ワタヘリクロノメイガ 10.IX.1960, 8.IX.1961, 3.X.1961.
51. *Glyphodes quadrimaculalis* (Bremer & Grey) ヨツボシノメイガ 14.VII.1960.
52. *Glyphodes pryeri* Butler スカシノメイガ(既報)
53. *Glyphodes duplicata* Inoue チビスカシノメイガ 8.IX.1960, 7.IX.1961.

54. *Glyphodes pyloalis* Walker クワノメイガ(既報)
55. *Polythlipta liquidalis* Leech ツマグロシロノメイガ 28.IX.1959, 1.X.1959, 6.X.1959, 13.X.1961, 22.V.1962.
56. *Sinibotys evenoralis* (Walker) セスジノメイガ 15.VI.1962.
57. *Circobotys aurealis* (Leech) ケベリハネボソノメイガ 9.VI.1960, 12.VI.1972(2).
58. *Maruca vitrata* (Hübner) マメノメイガ -X.1959.
59. *Nomophila noctuella* (Denis & Schiffermüller) ワモンノメイガ 16.VI.1960, 1.X.1960.
60. *Herpetogramma licarsisalis* (Walker) クロオビクロノメイガ(既報)
61. *Herpetogramma rudis* (Warren) マエキノメイガ 19.X.1961, 15.VI.1962, 28.VI.1962, 1.X.1962.
62. *Herpetogramma luctuosalis* (Guenée) モンキクロノメイガ 21.IX.1959, 8.V.1960, 7.VII.1960, 10.IX.1960(2), 1.VII.1965, 5.VII.1961, 7.IX.1961(2), 13.IX.1961, 25.VI.1962, 26.VII.1962.
63. *Diasemia lifferata* (Scopoli) シロアヤヒメノメイガ 21.VII.1961.
64. *Diasemia accalis* (Walker) キアヤヒメノメイガ 13.IX.1960(2), 19.X.1961, 11.IV.1962.
65. *Uresiphita prunipennis* (Butler) ウスベニオオノメイガ 23.VII.1962, 24.VII.1962, 26.VII.1962, 27.VII.1962, 1.VIII.1962, 23.VIII.1962(2), 24.VIII.1962(5).
66. *Uresiphita tricolor* (Butler) モンシロルリノメイガ 2.VII.1959, 18.VII.1960, 6.VII.1961, 27.VII.1961, 14.VIII.1961(2).
67. *Uresiphita gracilis* (Butler) ウラジロキノメイガ 8.IX.1961, 7.IX.1962.
68. *Prodasychnemis inornata* (Butler) キムジノメイガ 24.V.1959, 26.V.1959, 26.VI.1960, 1.IX.1960.
69. *Nomis albopedalis* Motshulsky ホシオビホソノメイガ 2.V.1959, 4.V.1959, 9.V.1959, 13.V.1960, 16.V.1960(2), 24.V.1960, 13.IX.1960(2), 14.IX.1960(2), 10.V.1961(3), 12.VI.1961, 2.IX.1961(2), 8.IX.1961, 22.V.1962(3), 4.IX.1962.
70. *Paliga ochrealis* (Wileman) マエウスモンキノメイガ 12.VII.1960, 20.VII.1960, 20.VII.1961, 16.VIII.1961, 1.IX.1961, 24.VIII.1962, 5.IX.1962.
71. *Ostrinia palstralis* (Hübner) ユウグモノメイガ 4.V.1962, 11.V.1962, 27.VII.1962.
72. *Ostrinia furnacalis* (Guenée) アワノメイガ(既報)
73. *Ostrinia scapularis* (Walker) フキノメイガ 4.V.1959, 3.IX.1959, 24.V.1960, 13.VI.1960, 8.IX.1960, 10.IX.1960, 13.IX.1960, 10.V.1961(3), 6.VII.1961, 18.VII.1961, 14.VIII.1961, 1.IX.1961, 5.IX.1961, 6.IX.1961(2), 9.VI.1962, 5.VII.1962(2), 30.VII.1962.
74. *Ueda testacea* (Butler) クロモンキノメイガ -X.1958(3), 9.V.1959, 17.IX.1960, 17.X.1960(2), 1.IX.1961, 3.VII.1962.
75. *Coclebotys coclesalis* (Walker) タケノメイガ(既報)
76. *Udonomeiga vicinalis* (South) ウドノメイガ 1.IX.1961.
77. *Demobotys pervulgalis* (Hampson) トガリキノメイガ 12.VI.1961(5), 12.VI.1962.
78. *Pyrausta unipunctata* Butler ヒトモンノメイガ 7.IX.1961.
79. *Pyrausta limbata* (Butler) トモンノメイガ 26.VII.1960.
80. *Microstega jessica* (Butler) ウスオビキノメイガ 18.VII.1961, 10.VIII.1961(3), 1.V.1962, 21.V.1962, 9.VI.1962, 12.VI.1962(4), 14.VI.1962, 28.VI.1962(3), 10.IX.1962.
81. *Anania verbascalis* (Denis & Schiffermüller) ヒメトガリノメイガ 14.VI.1961, 16.VI.1961, 18.VII.1961, 20.VII.1961, 2.IX.1961, 4.IX.1961(2), 9.VI.1962, 24.VII.1962, 30.VII.1962, 1.VIII.1962, 5.IX.1962(2), 10.IX.1962.  
ミズメイガ亜科 <NYMPHULINAE>
81. *Nymphula interruptalis* (Pryer) マダラミズメイガ 14.VII.1960, 17.IX.1960, 28.IX.1960, 22.VII.1961.
82. *Nymphula separatalis* (Leech) クロスジマダラミズメイガ 2.VII.1962.
83. *Nymphula fenguhanalis* Pryer ネジロミズメイガ 6.IX.1960, 1.IX.1961.
84. *Nymphula responsalis* (Walker) ヒメマダラミズメイガ 1.X.1959(2), 8.IX.1960(3), 10.IX.1960, 17.IX.1960(5), 1.IX.1961, 19.IX.1962(2).
85. *Parapoynx vittalis* (Bremer) イネコミズメイガ 8.IX.1960, 11.IX.1961.
86. *Cataglyphis midas* Butler キオビミズメイガ 29.V.1959(4), 9.VI.1962.

87. *Nymphicula saigusai* Ypshiyasu アトモンミズ  
メイガ 30.VI.1961(2), 7.VII.1962.  
ツツリガ亜科 <GALLERINAE>
88. *Eulophopalpia pauperalis* (Leech) フタスジツ  
ツリガ 7.VII.1962.
89. *Lamoria glaucalis* Caradja アカフツツリガ  
18.VII.1960, 20.VII.1960, 30.VI.1961, 6.VII.1961,  
7.VII.1961, 10.VII.1961, 21.VII.1961, 4.VII.1962  
(2), 25.VII.1962.  
フトメイガ亜科 <EPIPASCHINAE>
90. *Anartula melanophia* Staudinger ツマグロフト  
メイガ 14.VI.1961, 28.VI.1961, 5.VII.1961,  
20.VI.1962, 25.VI.1961, 2.VII.1962(2),  
3.VII.1962, 5.VII.1962, 23.IX.1962.
91. *Jocara rufescens* (Hampson) クロテンアオフ  
トメイガ 3.VIII.1961.
92. *Jocara melanobasis* (Hampson) コネアオフト  
メイガ 14.VII.1960(2), 28.VI.1961,  
5.VII.1961, 7.VII.1961, 13.VII.1961, 14.VII.1961,  
17.VII.1961, 20.VII.1961, 24.VII.1961,  
25.VII.1961, 5.VII.1962, 11.VII.1962(2),  
27.VII.1962, 1.VIII.1962.
93. *Teliphasa amica* (Butler) オオフトメイガ  
1.VII.1959, 2.VII.1959, 11.VII.1960, 12.VII.1960  
(2), 14.VII.1960, 18.VII.1960, 20.VII.1960,  
26.VII.1960, 5.VII.1962, 7.VII.1962, 10.VII.1962,  
12.VII.1962, 18.VII.1962.
94. *Teliphasa elegans* (Butler) ナカアオフトメイ  
ガ 2.VII.1959, 13.VI.1960, 17.VI.1960,  
7.VII.1960, 13.VII.1960(3), 5.VI.1961,  
12.VI.1961, 15.VI.1961, 24.VI.1961,  
29.VI.1961(2), 5.VII.1961(2), 24.VII.1961,  
18.VIII.1961, 9.VI.1962, 28.VI.1962(2);  
2.VII.1962(2), 3.VII.1962, 4.VII.1962,  
5.VII.1962, 7.VII.1962.
95. *Termioptycha nigrescens* (Warren) クロフトメ  
イガ(既報)
96. *Termioptycha inimica* (Butler) ソトベニフト  
メイガ 8.IX.1960, 10.IX.1960, 17.IX.1960,  
20.IX.1960, 6.VII.1961, 8.IX.1961, 19.IX.1961.
97. *Locastra muscosalis* (Walker) トサカフトメ  
イガ 6.VII.1961(2), 10.VII.1961, 20.VII.1961,  
4.VII.1962(2), 10.VII.1962.
98. *Craneophora ficki* Christoph ナカムラサキフ  
トメイガ 15.VII.1959, 4.IX.1959, 24.V.1960,  
26.VII.1960, 5.IX.1962.
99. *Orthaga euadrusalis* Walker クロモンフトメイ  
ガ 16.VIII.1961, 19.VI.1962, 26.VI.1962,  
3.VII.1962, 7.VII.1962.
100. *Orthaga onerata* (Butler) ネアオフトメイガ  
2.VII.1960, 14.VII.1960, 7.VII.1961, 10.VII.1961,  
17.VII.1961(2), 18.VII.1961, 24.VII.1961,  
11.VII.1962, 16.VII.1962, 19.VII.1962,  
27.VII.1962.
101. *Orthaga olivacea* (Warren) アオフトメイガ  
12.VII.1960, 1.IX.1961, 2.VII.1962, 11.IX.1962.
102. *Orthaga achatina* (Butler) ナカトビフトメ  
イガ 2.VII.1960(2), 7.VII.1960, 12.VII.1960  
(2), 14.VII.1960(2), 30.VI.1961(2), 6.VII.1961,  
21.VII.1961, 26.VI.1962, 2.VII.1962(2),  
3.VII.1962, 4.VII.1962, 5.VII.1962(2),  
11.VII.1962, 18.VIII.1962.
103. *Trichotophysa juncundalis* (Warren) ミドリ  
フトメイガ 11.VIII.1959.  
シマメイガ亜科 <PYRALINAE>
104. *Aglossa dimidiata* (Haworth) コメシマメイ  
ガ 19.VI.1962, 20.VI.1962.
105. *Hypsopygia regina* (Butler) トビイロシマメ  
イガ 16.VI.1960, 13.IX.1960, 14.VI.1961,  
5.VII.1961, 21.VII.1961, 15.VI.1962, 28.VI.1962,  
5.VII.1962.
106. *Pyralis farinalis* (Linnaeus) カシノシマメイ  
ガ 17.X.1961, 14.VI.1962.
107. *Pyralis regalis* Denis & Schiffermüller ギンモ  
ンシマメイガ 28.VI.1961, 4.IX.1961.
108. *Stemmatophora valida* (Butler) トビイロフ  
タスジシマメイガ(既報)
109. *Tamraca torridalis* (Lederer) ナカアカシマ  
メイガ 11.VII.1960, 12.VII.1960(2),  
11.VII.1962.
110. *Tegulifera bicoloralis* (Leech) マエモンシマ  
メイガ 5.VII.1961(2), 10.VII.1961(3),  
11.VII.1961, 12.VII.1961, 17.VII.1961,  
18.VII.1961(2), 20.VII.1961, 11.VII.1962,  
30.VII.1962.
111. *Bostra nanalis* (Wileman) ヒメアカシマメ  
イガ 17.VII.1961, 20.VII.1961, 21.VII.1961  
(2), 1.VII.1962, 18.VII.1962, 20.VII.1962.
112. *Orthopygia glaucinalis* (Linnaeus) フタスジ  
シマメイガ 28.IX.1959, 6.IX.1960, 13.IX.1960  
(3), 14.IX.1960, 1.IX.1961, 6.IX.1961,  
7.IX.1961, 15.VI.1962.
113. *Orthopygia nannodes* (Butler) ツマアカシマ  
メイガ 30.VI.1961, 6.VII.1961, 2.IX.1961,  
2.VII.1962.
114. *Orthopygia placens* (Butler) ツマキシマメイ

- ガ 5.VII.1962
115. *Herculia pelagialis* (Walker) アカシマメイガ 12.VII.1960 (3), 5.VII.1962.
116. *Herculia orthogramma* Inoue オオバシマメイガ (既報)
117. *Sybrida approximans* (Leech) クシヒゲシマメイガ 27.VI.1960, 1.VII.1960 (2), 14.VIII.1961, 25.VI.1962 (2), 28.VI.1962.
118. *Datanoides fasciatus* Butler オオクシヒゲシマメイガ 26.VI.1962, 27.VI.1962 (2), 28.VI.1962 (4), 2.VII.1962 (3), 7.VII.1962, 23.VIII.1962, 24.VIII.1962, 5.IX.1962.
119. *Arippara indicator* Walker ツマグロシマメイガ 11.VII.1960, 12.VII.1960, 7.VII.1962, 13.VII.1962 (2), 1.VIII.1962.
120. *Endotricha kuznetzovi* Whalley キモントガリメイガ 14.IX.1960.
121. *Endotricha flavofascialis* (Bremer) キオビトガリメイガ 11.VII.1961, 12.VII.1961, 3.VII.1962.
122. *Endotricha icelusalis* (Walker) オオウスベントガリメイガ 25.VI.1959, 10.IX.1960, 12.VI.1961 (2), 28.VI.1961, 5.VII.1961 (2), 18.IX.1961, 3.VII.1962 (2), 11.VII.1962.
123. *Endotricha portialis* Walker キベリトガリメイガ 3.VII.1962, 7.VII.1962.
124. *Endotricha olivacealis* (Bremer) ウスベントガリメイガ 26.VI.1961, 11.VII.1962.  
マダラメイガ亜科 <PHYCITINAE>
125. *Euzophera batangensis* Caradja クロフタモンマダラメイガ 12.IX.1960, 28.VI.1962 (2), 5.VII.1962.
126. *Phycitodes subcretacellus* (Ragonot) マエジロホソマダラメイガ 6.VII.1961, 1.IX.1961, 8.IX.1961 (2), 11.IX.1961, 3.X.1961, 2.V.1962, 9.V.1962, 18.V.1962, 21.V.1962.
127. *Phycitodes unifasciellus* Inoue ヒトスジホソマダラメイガ 1.X.1960, 5.X.1960.
128. *Plodia interpunctella* (Hübner) ノシメマダラメイガ 31.X.1961.
129. *Cadra cautella* (Walker) スジマダラメイガ (既報)
130. *Nephopterix bicolorella* Leech ナカアカスジマダラメイガ 24.VI.1960, 14.VI.1961, 10.VII.1962.
131. *Nephopterix mikadella* (Ragonot) ミカドマダラメイガ 12.VII.1960, 13.IX.1960, 14.IX.1960 (2), 17.IX.1960, 5.X.1960, 30.VI.1961 (3), 20.VII.1961 (2), 13.IX.1961, 10.VII.1962 (2), 11.VIII.1962 (2), 27.VII.1962, 5.IX.1962.
132. *Nephopterix intercisella* Wileman ヤマトマダラメイガ 18.VII.1960, 18.VII.1961, 20.VII.1962.
133. *Salebria semirubella* (Scopoli) アカマダラメイガ 1.VII.1959, 6.IX.1960, 10.IX.1960, 16.X.1961, 15.VI.1962, 26.VI.1962, 28.VI.1962.
134. *Acrobasis encaustella* Ragonot ウスアカマダラメイガ 23.VIII.1962.
135. *Acrobasis bellulella* (Ragonot) ナシモンクロマダラメイガ 14.VII.1961, 22.VII.1961, 1.VIII.1962 (3).
136. *Acrobasis ferruginella* Wileman アカフマダラメイガ 18.VIII.1961, 7.IX.1962.
137. *Dioryctria sylvestrella* (Ratzeburg) マツノシンマダラメイガ 6.IX.1960, 12.VI.1961, 14.VI.1961 (2), 4.X.1961, 21.V.1962.
138. *Dioryctria abietella* (Denis & Schiffermüller) マツノマダラメイガ 16.V.1960.
139. *Calguia defigualis* Walker ウスアカムラサキマダラメイガ 28.VII.1961.
140. *Eurhodope dichromella* Ragonot フタグロマダラメイガ 1.IX.1961.
141. *Eurhodope paradichromella* Yamanaka オオフタグロマダラメイガ 12.VI.1961 (3), 5.VII.1961 (2), 24.VII.1961, 30.VII.1961, 5.IX.1961, 14.VI.1962, 20.VI.1962, 28.VI.1962, 2.VII.1962, 3.VII.1962, 10.VII.1962, 11.VII.1962 (3), 13.VII.1962, 18.VII.1962, 23.VIII.1962 (3).
142. *Conobathra frankella* Roesler オオアカオビマダラメイガ 12.VI.1961.
143. *Etiella zinckenella* (Treitschke) シロイチモンジマダラメイガ 23.IX.1959, 28.IX.1959, 6.IX.1960 (2), 7.IX.1961, 8.IX.1961 (3).
144. *Emmalocera gensanalis* South オオマエジロホソメイガ 13.VIII.1961, 4.VII.1962, 1.VIII.1962.

## カギバガ科 DREPANIDAE

## カギバガ亜科 &lt;DREPANINAE&gt;

1. *Agnidra scabiosa* (Butler) マエキカギバ 12.IX.1960, 12.VI.1961, 15.VI.1961, 18.VI.1961.
2. *Nordstromia japonica* (Moore) ヤマトカギバ 12.IV.1960, 13.IX.1960, 12.VII.1961, 2.V.1962.
3. *Tridrepana crocea* (Leech) ウコンカギバ 13.IX.1960, 29.X.1960, 14.VI.1961 (2),

18.X.1961, 22.X.1962.

4. *Macrauzata maxima* Inoue スカシカギバ  
22.X.1962.  
フトカギバ亜科 <ORETINAE>
5. *Oreta turpis* Butler クロスジカギバ  
1.VIII.1962.
6. *Hypsomadius insignis* Butler アカウラカギバ  
-X.1958, 18.VII.1960, 12.IX.1960, 27.X.1961.

トガリバガ科 THYATIRIDAE

1. *Thyathia batis* (Linnaeus) モントガリバ  
9.V.1962, 5.VI.1962.
2. *Tethea ampliata* Butler オオバトガリバ  
24.VI.1960, 15.VI.1962.
3. *Tethea octogesima* (Butler) ホソトガリバ  
24.VI.1960, 28.V.1962.
4. *Kurama mirabilis* (Butler) サカハチトガリバ  
4.V.1962.
5. *Neoploca aretipennis* (Butler) マユミトガリバ  
3.IV.1959, 9.IV.1962 (4), 11.IV.1962.
6. *Demopsestis punctigera* (Butler) ホシボシトガ  
リバ 13.IV.1960, 20.IV.1960, 28.X.1960,  
9.IV.1962.

シャクガ科 GEOMETRIDAE

フユシャク亜科 <ALSOPHILINAE>

1. *Inurois membranaria* (Christoph) クロテンフ  
ユシャク 4.I.1963.  
アオシャク亜科 <GEOMETRINAE>
2. *Pingasa alba* Swihoe オオシロアヤシャク  
2.VII.1960, 12.IV.1961.
3. *Pingasa pseudoterpnaria* (Guenée) コアヤシ  
ャク 5.VII.1962.
4. *Pachista superans* (Butler) オオアヤシャク  
19.IX.1962.
5. *Aracima muscosa* Butler アトヘリアオシャク  
24.VI.1960, 10.IX.1962.
6. *Geometra valida* Felder & Rogenhofer クロス  
ジアオシャク 11.VI.1959, 9.VI.1960,  
13.VI.1960.
7. *Geometra glaucaria* Ménétiers コシロオピア  
オシャク 15.VI.1960, 28.VI.1962.
8. *Jodis putata* (Linnaeus) ヒメウスアオシャク  
21.IX.1960.
9. *Maxates albistrigata* Warren スジモンツバメ  
アオシャク 24.VI.1960.
10. *Chlorissa obliterata* (Walker) コウスアオシャ  
ク 1.V.1959, 15.IX.1959, 1.V.1960, 16.V.1960,

10.V.1961, 30.V.1961.

11. *Chlorissa amphitritaria* (Oberthur) ハラアカ  
アオシャク 9.VI.1960.
12. *Chlorissa anadema* (Prout) ホソバハラアカ  
アオシャク 12.VIII.1960.
13. *Comibaena procumbaria* (Pryer) ヨツモンマ  
エジロアオシャク 24.VI.1960, 19.IX.1961.
14. *Comibaena delicatior* (Warren) クロモンアオ  
シャク 21.IX.1959, 23.IX.1959, 1.X.1959.
15. *Thetidia albocostaria* (Bremer) ヨツメアオシ  
ャク 26.VI.1959.
16. *Hemistola veneta* (Butler) コシロスジアオシ  
ャク 1.VII.1959, 18.VII.1960, 20.VII.1960,  
5.VII.1961, 2.IX.1961, 19.IX.1961.
17. *Comostola subtiliaria* (Bremer) コヨツメアオ  
シャク 30.IV.1959, 17.XI.1960, 5.VII.1962.  
ヒメシャク亜科 <STERRHINAE>
18. *Pylargosceles steganoides* (Butler) フタナミト  
ビヒメシャク 13.IV.1959, 20.IV.1959,  
15.IV.1960.
19. *Timandra griseata* Petersen ベニスジヒメシ  
ャク 22.IX.1959, 26.IV.1960, 1.V.1960.
20. *Timandra comptaria* Walker コベニスジヒメ  
シャク 4.V.1959, 18.IX.1959, 21.IX.1959,  
30.IV.1960, 1.V.1960 (2), 16.V.1960, 7.VII.1960,  
18.V.1961, 4.V.1962 (2), 5.VIII.1962.
21. *Timandra apicirosea* (Prout) フトベニスジヒ  
メシャク 30.IV.1959.
22. *Somatina indicataria* (Walker) ウンモンオオ  
シロヒメシャク 27.VI.1960, 12.VIII.1960.
23. *Problepsis superans* (Butler) ヒトツメオオシ  
ロヒメシャク 1.VII.1962.
24. *Scopula nigropunctata* (Hufnagel) マエキヒメ  
シャク 4.V.1959, 27.V.1959, 1.V.1960 (2),  
11.V.1960, 12.V.1960, 13.VIII.1961.
25. *Scopula modivaria* (Leech) モントビヒメシ  
ャク 20.V.1959 (2).
26. *Scopula personata* (Prout) ナミスジチビヒメ  
シャク 1.V.1960, 7.VII.1960.
27. *Scopula impersonata* (Walker) ハイイロヒメ  
シャク 27.IX.1960.
28. *Scopula emissaria* (Walker) キトガリヒメシ  
ャク 12.IX.1962.
29. *Scopula superior* (Butler) キナミシロヒメシ  
ャク 25.VI.1959, 26.V.1960, 16.VI.1960,  
7.VII.1960, 13.IX.1960 (2), 22.V.1962,  
28.VI.1962.
30. *Scopula ignobilis* (Warren) ウスキクロテンヒ

- メシヤク 7.VII.1960, 12.VI.1961.
31. *Idaea muricata* (Hufnagel) ベニヒメシヤク  
12.VI.1961.
32. *Idaea impexa* (Butler) キオビベニヒメシヤク  
14.VI.1960, 12.VI.1961, 4.IX.1962.
33. *Idaea foedata* (Butler) クロテントビヒメシヤク  
6.IX.1960, 26.VI.1961, 19.VI.1962.
34. *Idaea nudaria* (Christoph) キヒメシヤク  
21.VI.1959.
35. *Idaea auricruda* (Butler) ヨスジキヒメシヤク  
4.VII.1961.
36. *Idaea imbecilla* Inoue オオウスモンキヒメシヤク  
26.V.1960.  
ナミシヤク亜科 <LARENTIINAE>
37. *Trichopteryx hemana* Butler シタコバナネナミシヤク  
27.IV.1962.
38. *Trichopteryx terranea* (Butler) チャオビコバナネナミシヤク  
6.III.1959, 3.IV.1959.
39. *Carige cruciplaga* (Walker) ホシスジトガリナミシヤク  
4.IX.1959.
40. *Typloptera bella* (Butler) ホソバナナミシヤク  
1.VI.1959, 9.VI.1960, 14.VI.1960, 13.IX.1960,  
30.V.1961.
41. *Xanthorhoe saturata* (Guenée) フトジマナミシヤク  
28.V.1959, 19.IV.1960, 20.IV.1960,  
26.IV.1960, 4.V.1960, 10.XI.1960.
42. *Xanthorhoe hortensiararia* (Graeser) フタトビスジナミシヤク  
17.IV.1959, 28.IV.1959,  
3.IV.1960, 16.IV.1960, 20.IV.1960, 26.IV.1960,  
21.IV.1961, 14.VI.1961.
43. *Outhonama obstipata* (Fabricius) トビスジヒメナミシヤク  
20.VI.1961, 6.VII.1961,  
19.X.1961, 15.VI.1962.
44. *Costaconvexa caespitaria* (Christoph) ウスイロトビスジナミシヤク  
16.V.1960, 21.V.1960,  
26.V.1960, 1.VII.1960, 12.VIII.1960, 19.X.1960,  
11.IV.1962, 18.V.1962.
45. *Amoebotricha grataria* (Leech) ニッコウナミシヤク  
25.X.1962 (2).
46. *Idiotephrria amelia* (Butler) モンキキナミシヤク  
25.IV.1962.
47. *Photoscotia atosreigata* (Bremer) ネグロウスベニナミシヤク  
27.IV.1959, 17.XI.1960.
48. *Callygris compositata* (Guenée) ナミガタシロナミシヤク  
16.VI.1960, 15.VI.1962,  
17.VI.1962.
49. *Lampropteryx minna* (Butler) アトクロナミシヤク  
27.IX.1960.
50. *Evecliptopera decurrens* (Moore) セスジナミシヤク  
29.X.1960.
51. *Heterothera postalbida* (Wileman) シロシタトビイロナミシヤク  
28.IV.1959, 30.IV.1959  
(2), 1.V.1959, 2.V.1959, 4.V.1959 (2), 9.V.1959,  
5.V.1960 (2), 9.V.1960, 12.X.1960 (2).
52. *Operophtera relegata* Prout クロオビフユナミシヤク  
16.XII.1961.
53. *Zola terranea* (Butler) トビスジトガリナミシヤク  
1.X.1959, 27.IX.1960 (2), 3.X.1960,  
10.X.1961, 20.IX.1962.
54. *Eupithecia sophia* Butler ナカアオナミシヤク  
17.IX.1960.
55. *Eupithecia insigniata* (Hübner) アミモンカバナミシヤク  
13.IV.1960, 25.IV.1962.
56. *Eupithecia takao* Inoue ハネナガカバナミシヤク  
26.III.1960.
57. *Eupithecia repentina* Vojnits & Laever フタモンカバナミシヤク  
15.IV.1960, 16.IV.1960,  
25.IV.1960.
58. *Chloroclystis v-ata* (Haworth) クロスジアオナミシヤク  
1.V.1960, 2.V.1962.
59. *Chloroclystis rectangulata* (Linnaeus) リンゴアオナミシヤク  
14.VI.1960.
60. *Chloroclystis excisa* (Butler) ソトシロオビナミシヤク  
12.VI.1961.  
エダシヤク亜科 <ENNOMINAE>
61. *Abraxas nipponibia* Wehrli ヒメマダラエダシヤク  
9.IX.1960.
62. *Abraxas miranda* Butler ユウマダラエダシヤク  
23.IX.1959, 13.IX.1960.
63. *Heterostegane hyriaria* Warren サザナミオビエダシヤク  
16.VI.1960, 18.VII.1960.
64. *Lomograaha simplicior* (Butler) クロズウスキエダシヤク  
-X.1958, 5.XI.1960, 13.X.1961.
65. *Parabapta clarissa* (Butler) ウスアオエダシヤク  
20.IV.1959, 2.V.1959, 1.V.1960 (2),  
11.V.1960, 16.V.1960 (2), 21.IV.1961,  
26.IV.1962.
66. *Plesiomorpha flaviceps* (Butler) マエキオエダシヤク  
15.VI.1960, 16.VI.1960, 1.VII.1960 (2),  
11.V.1960, 16.V.1960 (2), 21.IV.1961,  
26.IV.1962.
67. *Plesiomorpha punctilinearia* (Leech) モンオビオエダシヤク  
9.IV.1959, 20.IV.1959,  
27.IV.1959, 13.IV.1960 (2), 19.IV.1960,  
18.X.1961.
68. *Pseudeptione magnaria* (Wileman) ニッコウキ



- エダシャク 1.XI.1962, 9.XI.1962.
69. *Synegia hadassa* (Butler) ハグルマエダシャク 29.V.1959, 17.VI.1960 (2), 12.VII.1960, 11.VI.1961.
70. *Synegia esther* Butler クロハグルマエダシャク 1.X.1959, 18.VII.1960, 20.VII.1962.
71. *Godonela defixaria* (Walker) フタテンオエダシャク 3.VII.1959, 1.V.1960, 7.VII.1960.
72. *Godonela hebesata* (Walker) ウスオエダシャク 4.V.1959, 1.VII.1959, 21.IX.1959, 31.IX.1959, 26.IV.1960, 5.V.1960, 13.VI.1960, 2.VII.1960, 26.VII.1960, 27.IX.1960.
73. *Godonela shanghaiaria* (Walker) シャンハイオエダシャク 27.IX.1960.
74. *Krananda latimarginaria* Leech ツマジロエダシャク 27.IX.1960.
75. *Ectephrina semilutea* (Lederer) アカエダシャク 6.III.1959, 9.IV.1959, 17.IV.1959, 20.IV.1959, 1.VII.1959, 3.VII.1959, 19.IV.1960, 26.IV.1960, 9.V.1960, 13.V.1960, 2.VII.1960, 11.IV.1961.
76. *Luxiaria amasa* (Butler) トビカギバエダシャク 1.X.1959, 3.X.1959, 13.IX.1960, 27.IX.1960, 12.VI.1962.
77. *Antiperctria albinigrata* (Warren) ゴマダラシロエダシャク 24.VI.1960.
78. *Paraperctria giraffata* (Guenée) オオゴマダラエダシャク 26.VII.1960.
79. *Pogonopygia nigralbata* Warren クロフオオシロエダシャク 9.V.1960, 13.VII.1961.
80. *Dilophodes elegans* (Butler) クロフシロエダシャク 30.V.1959, 12.V.1960.
81. *Arichanna melanaria* (Linnaeus) キシタエダシャク 14.VI.1960, 16.VI.1960.
82. *Jankowskia fuscaria* (Leech) チャノウモンエダシャク 21.IX.1959, 2.VI.1960, 25.VI.1960, 2.VII.1960, 12.IX.1960.
83. *Apocleora rimosa* (Butler) クロクモエダシャク 1.X.1959, 17.V.1960, 11.VI.1962.
84. *Cleora repulsaria* (Walker) フトスジエダシャク 15.IX.1960.
85. *Protoarmia faustinata* (Warren) ニセオレクギエダシャク 18.V.1959, 12.VI.1962.
86. *Alcis angulifera* Inoue ナカウスエダシャク 5.X.1960, 20.X.1960, 5.VI.1961, 18.X.1961, 31.X.1961.
87. *Rikiosatoa grisea* (Butler) フタヤマエダシャク 21.VI.1960, 13.IX.1960, 15.IX.1960.
88. *Deileptenia ribeata* (Clerck) マツオオエダシャク 21.V.1960, 31.V.1960, 14.VI.1960, 2.V.1962, 11.VI.1962.
89. *Hypomecis punctinalis* (Scopoli) ウ斯巴ミスジエダシャク 11.V.1962.
90. *Ophthalmitis albosignaria* (Bremer & Grey) ヨツメエダシャク 13.VI.1960, 18.VIII.1960.
91. *Ascotis selenaria* (Denis & Schiffermüller) ヨモギエダシャク 6.X.1959, 18.VII.1960.
92. *Heterarmia dissimilis* (Staudinger) トガリスジグロエダシャク 1.VI.1959, 31.V.1960, 24.VI.1960.
93. *Heterarmia charon* (Butler) ナミガタエダシャク 7.VI.1959, 12.IV.1961.
94. *Phanerothyris sinearia* (Guenee) ウスグロナミエダシャク 26.VII.1960.
95. *Racotis boarmiaria* (Guenee) ホシミスジエダシャク 23.IV.1959.
96. *Aethalura ignobilis* (Butler) ハンノトビスジエダシャク 13.V.1960, 18.VII.1960 (2), 17.VII.1961, 18.VII.1961.
97. *Satoblephara parvularia* (Leech) ハラゲチビエダシャク 6.IX.1960.
98. *Scionomia mendica* (Butler) ソトキクロエダシャク 24.VI.1960.
99. *Agroipis dira* (Butler) シロフフユエダシャク 6.III.1959, 5.III.1962.
100. *Pachyerannis obliquaria* (Motschulsky) クロスジフユエダシャク 3.XII.1958.
101. *Erannis golda* Djakonov チャバネフユエダシャク 12.XII.1960.
102. *Apochima juglansiaiva* (Graeser) オカモトトゲエダシャク 20.II.1959, 5.III.1962.
103. *Megabiston plumosaria* (Leech) チャエダシャク 22.XI.1960 (2).
104. *Biston robustus* Butler トビモンオオエダシャク 3.III.1959 (2), 2.III.1960, 5.III.1960 (2).
105. *Wilemania nitobei* (Nitobe) ニトベエダシャク 22.XI.1960, 20.XI.1962.
106. *Colotois pennaria* (Linnaeus) カバエダシャク 22.XI.1960.
107. *Planociampa modesta* (Butler) ホソバトガリエダシャク 15.III.1962.
108. *Bizia aexaria* Walker ツマトビキエダシャク 11.VI.1959.
109. *Phthonandria atrilineata* (Butler) クワエダシャク 21.VI.1961.
110. *Chariaspilates formosaria* (Eversmann) ギン

- スジエダシャク 5.X.1961, 20.IX.1962.
111. *Psyra bluethgeni* (Püngeler) クロモンキリバエダシャク 5.III.1962.
  112. *Nothomiza formosa* (Butler) マエキトビエダシャク -X.1958, 9.IV.1959, 13.IV.1959, 9.V.1959, 12.IV.1960, 19.IV.1960, 1.V.1960(2), 4.V.1960, 26.IV.1962.
  113. *Odontopera arida* (Butler) エグリツマエダシャク -X.1958, 30.IV.1959(3).
  114. *Auaxa sulphurea* (Butler) キエダシャク 16.VI.1961, 6.VI.1973(BR).
  115. *Garaeus specularis* Moore キバラエダシャク 4.X.1962.
  116. *Endropiodes objectus* (Butler) ツマキリエダシャク 21.IV.1959(2), 27.IV.1959.
  117. *Plagodis pulveraria* (Linnaeus) コナフキエダシャク 9.IV.1962.
  118. *Heterolocha aristonaria* (Walker) ウラベニエダシャク 30.IV.1959, 7.V.1959, 14.IX.1959, 1.V.1960, 5.V.1960, 13.V.1960(2), 17.V.1960.
  119. *Parepione grata* (Butler) ウラモンアカエダシャク 27.IV.1959.
  120. *Ourapteryx nivea* Butler ウスキツバメエダシャク 3.X.1959(2), 17.VI.1960, 24.VI.1960, 12.IX.1960, 27.IX.1960, 29.X.1960, 26.X.1961.
  121. *Ourapteryx obtusicauda* (Warren) コガタツバメエダシャク 12.VI.1960, 14.VI.1960, 15.VI.1962.
  122. *Ourapteryx maculicaudaria* (Motschulsky) シロツバメエダシャク 3.X.1959, 12.VII.1960(2).
  123. *Tristrophis veneris* (Butler) トラフツバメエダシャク 4.VI.1967.

## ツバメガ科 URANIIDAE

## ギンツバメガ亜科 &lt;MICRONIINAE&gt;

1. *Acropteryx iphiata* (Guenee) ギンツバメ 6.VII.1961.

## フタオガ科 EPIPLEMIDAE

1. *Epiplima plagifera* (Butler) クロオビシロフタオ 24.V.1961.

## シャチホコガ科 NOTODONTIDAE

1. *Neostauropus basalis* (Moore) ヒメシャチホコ 27.IV.1959, 28.IV.1959, 1.V.1959, 4.V.1959, 11.V.1960, 2.V.1961, 7.V.1961.

2. *Syntypistis pryeri* (Leech) ブライヤアオシャチホコ 26.IV.1962.
3. *Furcula furcula* (Moore) ナカグロモクメシャチホコ 11.IV.1959, 15.IV.1959, 21.IV.1959, 13.IX.1960.
4. *Harpyia umbrosa* (Staudinger) ギンシャチホコ 24.VI.1960.
5. *Uropygia meticulodina* (Oberthür) ムラサキシシャチホコ 18.V.1961.
6. *Wilemanus bidentatus* (Wileman) モンクロギンシャチホコ 29.VI.1959, 29.VI.1962, 7.VII.1962.
7. *Fentonia ocypte* (Bremer) ホソバシャチホコ 9.VI.1960, 24.VI.1960, 3.X.1960.
8. *Phalera angustipennis* Matsumura ムクツマキシシャチホコ 17.VII.1960(2).
9. *Phalera flavescens* (Bremer & Grey) モンクロシャチホコ 25.VI.1959.
10. *Torigea stramonea* (Moore) キシャチホコ 18.VII.1960.
11. *Mimopydra pallida* (Butler) ウスキシャチホコ 5.V.1960, 15.VI.1962.
12. *Peridea gigantea* Butler ナカキシシャチホコ 27.IV.1959, 29.VI.1960, 8.IX.1960.
13. *Peridea oberthueri* (Staudinger) ルリモンシャチホコ 25.IX.1959, 14.VI.1960, 13.VII.1960, 18.VII.1960, 8.V.1962.

以上、前報とあわせて、593種の蛾を採集した。現在ではやや環境も変化していると思われるが、平凡な低山地にしては豊富な蛾相を有する地域である。

## &lt;参考文献&gt;

- 井上 寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑 講談社・東京  
 岡本清・猪股涼一(1962) 兵庫県多可西脇地方の昆虫2(蛾類1) 兵庫生物Vol.4(3/4:p.154-178.  
 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1) てんとうむし(12):p.30-38.

## 兵庫県下で採集した蛾

### 岡本 清

これまで高砂市、黒田庄町で採集した蛾について報告してきた(てんとうむし11,p.40-45, 同12,p.30-38, 同13,p.41-49)が、それ以外に県内の各地で採集した記録について報告する。いずれも古い記録であるが分布調査の参考になれば幸いである。

#### マダラガ科 ZYGAENIDAE

##### ホタルガ亜科 <CHALOCOSIINAE>

1. *Elcysma westwoodii* (Vollenhoven) ウスバツバメガ 八千代町笠形山,25.IX.1967,1ex.

##### マダラガ亜科 <ZYGAENINAE>

2. *Balataea funeralis* (Butler) タケノクロホソバ中町,21.III.1959 1ex.: 西脇市,13.IV.1960,1ex.

#### イラガ科 LIMACODIDAE

1. *Scopelodes contracta* Walker ヒメクロイラガ 南光町船越,5.VIII.1963,5exs.
2. *Phrixolepia sericea* Butler アカイラガ 南光町船越,23.VIII.1963,3exs.
3. *Parasa simica* Moore クロシタイラガ 関宮町福定,18.VIII.1964,3exs.
4. *Ceratonema sericea* (Butler) ウストビイラガ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.

#### マドガ科 THYRIDIDAE

##### マドガ亜科 <PACHYTHYRINAE>

1. *Thyris usitata* Butler マドガ 西脇市,1.IV.1960,1ex.  
アカジマドガ亜科 <STRIGLINAE>
2. *Striglina suzukii* Matsumura アミマドガ 南光町船越,23.VIII.1963,1ex.  
マダラマドガ亜科 <SIGULINAE>
3. *Rhodonecúra vittula* Guenée マダラマドガ 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex.
4. *Rhodonecúra hyphaema* (Weet) ヒメマダラマドガ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
5. *Rhodonecúra pallida* (Butler) ウスマダラマドガ 佐用町佐用坂,28.VI.1965,1ex.: 南光町船越,23.VI.1968,1ex.

#### メイガ科 PYRALIDAE

##### ツトガ亜科 <CRAMBINAE>

1. *Calamotropha nigripunctella* (Leech) キスジ

ツトガ 加美町三国岳 10.VIII.1961 2exs.

2. *Chrysoteuchia diplogramma* (Zeller) ウスクロスジツトガ 加美町三国岳,14.VIII.1961,1ex.: 同,16.VII.1962,1ex.: 八千代町笠形山,5.VIII.1962,3exs.
3. *Chrysoteuchia distinctella* (Leech) テンスジツトガ 西脇市,14.VI.1962,1ex.
4. *Chrysoteuchia atosignata* (Zeller) クロマダラツトガ 西脇市,14.IV.1962,1ex.
5. *Crambus humidellus* Zeller ギンスジツトガ 加美町千ヶ峰,18.IX.1960,2exs.
6. *Crambus perlellus* (Scopoli) ウスギンツトガ 加美町千ヶ峰,16.VII.1960,1ex.
7. *Flavocrambus striatellus* (Leech) クロスジツトガ 加美町三国岳,10.VIII.1961,2exs.  
<CYBALOMINAE>
8. *Trichophyesis rufoterminalis* (Christoph) トビモンシロノメイガ 西脇市,21.IX.1960,1ex.  
ノメイガ亜科 <PYRAUSTINAE>
9. *Pelena sericea* (Butler) モンキノメイガ 佐用町佐用坂,10.VII.1963,1ex.
10. *Piletocera sodalis* (Leech) コガタシロモンノメイガ 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex.: 加美町三国岳,14.VIII.1961,1ex.: 南光町船越,5.VIII.1963,2exs.: 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.: 波賀町音水,21.V.1964,1ex.
11. *Diplopseustis perieresalis* (Walker) エグリノメイガ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
12. *Sufetula sunidesalis* Walker シロスジエグリノメイガ 加美町三国岳,14.VIII.1961,1ex.
13. *Pycnarmon lactiferalis* (Walker) ゴマダラノメイガ 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex.: 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex.: 南光町船越,23.VIII.1963,1ex.: 関宮町福定 18.VIII.1964,4exs.: 八千代町笠形山,4.VI.1967,1ex.: 加美町三国岳,25.X.1970,5exs. (BR): 八千代町笠形山,17.X.1970,1ex.
14. *Eurrrhyarodes accessalis* (Walker) アヤナミノメイガ 西脇市,13.VII.1961,1ex.: 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
15. *Pagyba quinquelineata* Hering マタスジノメイガ 八千代町笠形山,5.VIII.1962,1ex.: 妙見山,20.VIII.1963,2exs.

16. *Pagyba quadrilineata* Butler ヨスジノメイガ  
関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
17. *Cnaphalocrocis medinalis* (Guenée) コブノメイガ  
西脇市,21.IX.1961,2exs.
18. *Cnaphalocrocis stereogona* (Meyrick) ハカジモ  
ドキノメイガ 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex. :  
南光町船越,5.VIII.1963,1ex. : 関宮町福定,18.  
VIII.1964,1ex.
19. *Sameodes aptalis* (Walker) ナカキノメイガ  
佐用町佐用坂,10.VII.1963,1ex.
20. *Nacoleia commixta* (Butler) シロテンキノメイガ  
関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex. : 加美町  
三国岳,14.VIII.1961,1ex.
21. *Nacoleia sibirialis* South クロフキノメイガ  
関宮町大久保,3.VIII.1961,4exs. : 生野町栃原,  
4.VIII.1961,1ex.
22. *Nacoleia satsumalis* South サツマキノメイガ  
妙見山,20.VIII.1963,1ex.
23. *Metasia coniotalis* Hampson ハイイロホソバノ  
メイガ 南光町船越,5.VIII.1963,2exs.
24. *Omiodes tristrialis* (Bremer) シロアシクロノ  
メイガ 加美町三国岳,10.VIII.1960,1ex.
25. *Omiodes misera* (Butler) ヒメクロミスジノ  
メイガ 八千代町笠形山,4.VIII.1960,1ex. : 西  
脇市,18.IX.1960,1ex. : 同,15.VI.1962,1ex. : 南  
光町船越,5.VIII.1963,1ex. : 同,23.VIII.1963,  
2exs. : 加古川市,12.IX.1970,3exs.
26. *Omiodes similis* (Moore) クロミスジノメイガ  
生野町栃原,4.VIII.1961,3exs. : 加美町千  
ヶ峰,13.VIII.1961,1ex. : 南光町船越,5.VIII.  
1963,1ex.
27. *Omiodes noctescens* Moore キバラノメイガ  
生野町栃原,4.VIII.1961,1ex. : 関宮町福定,18.  
VIII.1964,2exs.
28. *Goniorhynchus exemplaris* Hampson クロズノ  
メイガ 加美町三国岳,10.VIII.1960,1ex. : 南  
光町船越,5.VIII.1963,3exs. : 同,5.VII.1964,1ex.
29. *Goniorhynchus butyrosa* (butler) クロヘリキ  
ノメイガ 八千代町笠形山,5.VIII.1960,1ex. :  
南光町船越,5.VIII.1963,3exs. : 同,23.VI.1968,  
1ex.,
30. *Pleuroptya balteata* (Fabricius) クロスジキン  
ノメイガ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex. : 同,  
23.VIII.1963,1ex.,
31. *Pleuroptya ruralis* (Scopoli) ウコンノメイガ  
南光町船越,5.VIII.1963,2exs. : 妙見山(多可  
郡),20.VIII.1963,1ex. : 関宮町福定,18.VIII.  
1964,4exs.
32. *Pleuroptya deficiens* (Moore) シロハラノメイ  
ガ 八千代町笠形山,18.VI.1961,1ex. : 同,5.  
VIII.1962,2exs., : 加美町三国岳,10.VIII.1961,  
2exs. : 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex. : 南光  
町船越,5.VIII.1963,1ex. : 同,南光町船越,23.  
VIII.1963,2exs. : 波賀町音水,24.V.1964,2exs.  
: 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
33. *Pleuroptya inferior* (Hampson) コヨツメノメ  
イガ 関宮町大久保,3.VIII.1961,2exs. : 八千  
代町笠形山,8.VIII.1965,1ex. : 南光町船越,23.  
VI.1968,1ex. : 加古川市,12.IX.1970,1ex.
34. *Syllepte fuscomarginalis* (Leech) クロヘリノ  
メイガ 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex. : 八  
千代町笠形山,5.VIII.1962,8exs.
35. *Syllepte invalidalis* South ツチイロノメイガ  
西脇市,27.VI.1961,1ex. : 加美町三国岳,14.VIII.  
1961,2exs.
36. *Diaphania indica* (Saunders) ワタヘリクロノ  
メイガ 西脇市,7.IX.1961,1ex.
37. *Glyphodes pryeri* Butler スカシノメイガ  
関宮町大久保,3.VIII.1961,2exs. : 関宮町福定,  
18.VIII.1964,2exs.
38. *Polythlipta liquidalis* Leech ツマグロシロノメ  
イガ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
39. *Maruca vitrata* (Hubner) マメノメイガ  
南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
40. *Nomophila noctuella* (Denis & Schiffermüller)  
ワモンノメイガ 南光町船越,18.VIII.1964,  
1ex.
41. *Herpetogramma rudis* (Warren) マエキノメイ  
ガ 西脇市,12.IX.1960,1ex. : 南光町船越,5.  
VIII.1963,1ex.
42. *Herpetogramma okamotoi* Yamanaka イノモト  
ソウノメイガ 西脇市,17.VII.1961,1ex. : 南  
光町船越,5.VIII.1963,1ex.
43. *Herpetogramma luctuosalis* (Guenée) モンキ  
クロノメイガ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
44. *Sitochroa palealis* (Denis & Schiffermüller)  
ウラグロシロノメイガ 関宮町福定,18.VIII.  
1964,5exs.
45. *Diasemia lifferata* (Scopoli) シロアヤヒメノ  
メイガ 加美町三国岳,12.V.1960,2exs. : 同,  
21.V.1960,1ex. : 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
46. *Uresiphita prunipennis* (Butler) ウスベニオオ  
ノメイガ 西脇市,24.VIII.1962,1ex.
47. *Uresiphita dissipatalis* (Lederer) オオモンシ

- ロルリノメイガ 加美町三国岳,11.VIII.1961, 1ex.
48. *Uresiphita gracilis* (Butler) ウラジロキノメイガ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
49. *Pronomis delicatalis* (South) ミカエリソウノメイガ 八千代町笠形山,4.VIII.1960,1ex.: 同, 5.VIII.1962,2exs.: 加美町三国岳,10.VIII.1961, 9exs.: 同,22.V.1962,5exs.: 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,4exs.: 同,7.IX.1961,1ex.,岡本清: 妙見山(多可郡),22.VIII.1963,1ex.: 南光町船越, 5.VIII.1963,14exs.: 波賀町音水,3.VIII.1961, 4exs.
50. *Nomis albedalis* Motshulsky ホシオビホソノメイガ 加美町三国岳,22.V.1962,1exs.: 8.VIII.1965,1ex.
51. *Paliga minnehaha* (Pryer) マエベニノメイガ 加美町三国岳,22.V.1962,2exs.
52. *Paliga auratalis* (Warren) ヘリジロキンノメイガ 八千代町笠形山,4.VIII.1960,3exs.: 同, 5.VIII.1962,1ex.: 同,8.VIII.1965,1ex.: 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
53. *Pseudebulea fentoni* Butler モンスカシキノメイガ 八千代町笠形山,5.VII.1962,2exs.
54. *Paratalanta ussuralis* (Bremer) フチグロノメイガ 八千代町笠形山,4.VII.1965,1ex.: 同, 25.IX.1967,1ex.
55. *Ostrinia palstralis* (Hübner) ユウグモノメイガ 西脇市,13.V.1961,1ex.
56. *Ostrinia scapularis* (Walker) フキノメイガ 八千代町笠形山,21.VII.1968,2ex.
57. *Aurorobotys aurorina* (Butler) フチムラサキノメイガ 西脇市,21.V.1962,1ex.
58. *Udonomeiga vicinalis* (South) ウドノメイガ 加美町三国岳,14.VIII.1961,1ex.
59. *Pyrausta unipunctata* Butler ヒトモンノメイガ 八千代町笠形山,4.VIII.1960,1ex.: 同,5.VIII.1962,1ex.: 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex.: 佐用町佐用坂,10.VII.1963,1ex.: 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex.
60. *Pyrausta limbata* (Butler) トモンノメイガ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
61. *Pyrausta mutuurai* Inoue キオビトビノメイガ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
62. *Microstega jessica* (Butler) ウソビキノメイガ 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,2exs.: 加美町三国岳,22.V.1962,1ex.: 佐用町佐用坂,10.VII.1963,1ex.
63. *Carminibotys carminalis* (Caradja) ヘリアカキンノメイガ 八千代町笠形山,5.VIII.1962, 1ex.
- ミズメイガ亜科 <NYMPHULINAE>
64. *Nymphula interruptalis* (Pryer) マダラミズメイガ 加古川市,12.IX.1971,1ex.
65. *Nymphula bifurcalis* Wileman ゼニガサミズメイガ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.: 生野町栃原,4.VIII.1961,2exs.: 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
- ツツリガ亜科 <GALLERINAE>
66. *Cataprosopus monstrosus* Butler マエグロツツリガ 八千代町笠形山,5.VIII.1962,1ex.
67. *Eulophopalpia pauperalis* (Leech) フタスジツツリガ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.: 八千代町笠形山,5.VIII.1962,3exs.
- フトメイガ亜科 <EPIPASCHINAE>
68. *Teliphasa amica* (Butler) オオフトメイガ 妙見山(多可郡),20.VIII.1963,1ex.
69. *Teliphasa elegans* (Butler) ナカアオフトメイガ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
70. *Epilepia dentata* (Maysamura & Shibuya) ハスジフトメイガ 関宮町大久保,3.VIII.1961, 1ex.
71. *Locastra muscosalis* (Walker) トサカフトメイガ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.: 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
72. *Orthaga euadrasalis* Walker クロモンフトメイガ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
- シマメイガ亜科 <PYRALINAE>
73. *Pyralis regalis* Denis & Schiffermüller ギンモンシマメイガ 南光町船越,23.VIII.1963,1ex.
74. *Stemmatophora valida* (Butler) トビイロフトスジシマメイガ 西脇市,19.VII.1961,1ex.
75. *Bostra nanalis* (Wileman) ヒメアカシマメイガ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
76. *Endotricha consocia* (Butler) ウソオビトガリメイガ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.: 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex.
77. *Endotricha theonalis* (Walker) カバイロトガリメイガ 西脇市,8.VI.1961,1ex.: 同,7.IX.1961,1ex.: 同,8.IX.1961,1ex.: 19.IX.1961,1ex.
- マダラメイガ亜科 <PHYCITINAE>
78. *Euzophera batangensis* Caradja クロフトモンマダラメイガ 西脇市,21.VIII.1961,1ex.
79. *Nyctegretis triangulella* Ragonot サンカクマダラメイガ 西脇市,2.IX.1960,1ex.

80. *Nephoterix mikadella* (Ragonot) ミカドマダ  
ラメイガ 南光町船越,5.VII.1964,1ex.
81. *Acrobasis encaustella* Ragonot ウスアカマダラ  
メイガ 西脇市,21.IX.1960,1ex.
82. *Acrobasis ferruginella* Wileman アカフマダラ  
メイガ 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex.
83. *Dioryctria sylvestrella* (Ratzeburg) マツノシン  
マダラメイガ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
84. *Eurhodope dichromella* Ragonot フタグロマダ  
ラメイガ 加美町三国岳,14.VIII.1961,1ex. :  
西脇市,21.VIII.1961,1ex.
85. *Eurhodope paradichromella* Yamanaka オオフ  
タグロマダラメイガ 八千代町笠形山,2.VII.  
1968,4exs.
86. *Emmalocera gensanalis* South オオマエジロホ  
ソメイガ 生野町栃原,4.VIII.1961,2exs.

## カギバガ科 DREPANIDAE

## カギバガ亜科 &lt;DREPANINAE&gt;

1. *Microleptis manleyi* (Leech) マンレイカギバ  
八千代町笠形山,26.VI.1960,1ex.
2. *Pseudalbara parvula* (Leech) ヒメハイイロカ  
ギバ 姫路市書写山,8.V.1961,1ex.
3. *Callidrepana patrana* (Moore) ギンモンカギ  
バ 八千代町笠形山,5.VIII.1962,1ex.
4. *Deroca inconclusa* (Walker) ホシベッコウカ  
ギバ 加美町三国岳,23.IX.1959,1ex. : 関宮町  
氷ノ山,3.VIII.1961,1ex.
5. *Calliclix abraxata* Butler マダラカギバ  
妙見山,20.VIII.1963,1ex.

## フトカギバ亜科 &lt;ORETINAE&gt;

6. *Oreta pulchripes* Butler アシベニカギバ  
南光町船越,5.VIII.1963,3exs.
7. *Oreta turpis* Butler クロスジカギバ  
関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex. : 南光町船越,5.  
VIII.1963,1ex.

## オオカギバガ科 CYCLIDIDAE

1. *Cyclidia substigmata* (Hübner) オオカギバ  
南光町船越,5.VIII.1963,1ex. : 同,23.VIII.1963,  
1ex.
2. *Mimozethes argentilinearia* (Leech) ギンスジ  
カギバ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.

## シャクガ科 GEOMETRIDAE

## アオシャク亜科 &lt;GEOMETRINAE&gt;

1. *Dicdica virescens* (Butler) ウスアオシャク

八千代町笠形山,16.IV.1968,BR,1ex. : 加美町  
三国岳,23.IV.1971,BR,1ex.

2. *Tanaorhinus reciprocata* (Walker) カギバアオ  
シャク 西脇市,5.VI.1959,1ex.
3. *Geometra dieckmanni* Graeser カギシロスジア  
オシャク 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
4. *Neohipparchus vallata* (Butler) キマエアオシ  
ャク 西脇市,2.IX.190,1ex.
5. *Maxates illitirata* (Walker) ヒロバツバメア  
オシャク 佐用町佐用坂,23.VI.1963,1ex.
6. *Maxates protrusa* (Butler) ヒメツバメアオシ  
ャク 西脇市,24.IX.1960,1ex.
7. *Culpinia diffusa* (Walker) アカアシアオシャ  
ク 西脇市,29.V.1959,1ex.
8. *Thalera rubrifimbria* Inoue ハガタアオシャク  
加美町三国岳,14.VIII.1961,2exs.
9. *Hemistola dijuncta* (Walker) ヘリクロテンア  
オシャク 八千代町笠形山,9.VI.1968,BR,1ex.  
ヒメシャク亜科 <STERRHINAE>
10. *Scopula ignobilis* (Warren) ウスネクロテンヒ  
メシャク 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
11. *Idaea impexa* (Butler) キオビベニヒメシャク  
関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.  
ナミシャク亜科 <LARENTINAE>
12. *Trichopteryx ussurica* (Wehrli) マダラコバネ  
ナミシャク 西脇市,2.IV.1960,1ex.
13. *Naxidia maculata* (Butler) ゴマダラシロナミ  
シャク 八千代町笠形山,17.VI.1968,1ex. : 波  
賀町音水,24.V.1964,1ex. : 関宮町福定,18.VIII.  
1964,1ex.
14. *Carrige scutillimbata* Prout ホソバトガリナミシ  
ャク 八千代町笠形山,25.IX.1967,2exs.
15. *Trichodezia kindermanni* (Bremer) シラフシ  
ロオビナミシャク 加美町三国岳,2.V.1959,  
1ex. : 同,12.V.1960,2exs. : 同,22.V.1962,1ex. :  
加美町千ヶ峰,10.V.1964,1ex.
16. *Baptria tibiale* (Esper) シロホソオビクロナ  
ミシャク 関宮町氷ノ山,3.VIII.1961,1ex.
17. *Heterophleps fusca* (Butler) ウスクモナミシャ  
ク 加美町三国岳,22.V.1960,1ex. : 同,22.V.  
1962,2exs.
18. *Heterophleps confusa* (Wileman) コウスグモナ  
ミシャク 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
19. *Episteira nigrilinearia* (Leech) ウスミドリナ  
ミシャク 西脇市,4.VII.1961,1ex.
20. *Costaconvexa caespitaria* (Christoph) ウスイ  
ロトビスジナミシャク 西脇市,6.III.1959,1ex.

21. *Idiotephria amelia* (Butler) モンキキナミシヤク 西脇市,20.IV.1959,1ex.
22. *Gandaritis fixseni* (Bremer) キマダラオオナミシヤク 加美町千ヶ峰,19.VII.1961,1ex.
23. *Evecliptopera decurrens* (Moore) セスジナミシヤク 西脇市,15.VI.1962,1ex.
24. *Ecliptopera umbrosaria* (Motshulsky) オオハガタナミシヤク 南光町船越,5.VIII.1963,1ex. : 同,23.VIII.1963,1ex.
25. *Sibatania mactata* (Felder & Rogenhofer) ビロードナミシヤク 西脇市,24.V.1959,1ex. : 同,11.V.1960,1ex. : 加美町三国岳,30.V.1959,1ex. : 同,23.IX.1959,1ex.
26. *Xenortholitha propinguata* (Kollar) フタクロテンナミシヤク 加美町三国岳,14.VIII.1961,1ex.
27. *Asthena ochrifasciaria* Leech フタマタシロナミシヤク 八千代町笠形山,21.VII.1968,1ex.
28. *Pseudostegania defectata* (Christoph) キイロナミヤク 加美町妙見山,20.VIII.1963,1ex.
29. *Laciniodes denigratus* Warren セジロナミシヤク 八千代町笠形山,26.VI.1960,1ex.
30. *Melanthia procellata* (Denis & Schiffermüller) ナカジロナミシヤク 加美町三国岳,22.V.1962,1ex. : 西脇市,8.X.1962,1ex.  
エダシヤク垂科 <ENNOMINAE>
31. *Abraxas flavisinuata* Warren スギタニシロエダシヤク 南光町船越,23.VIII.1963,1ex.
32. *Abraxas nipponibia* Wehrli ヒメマダラエダシヤク 加美町三国岳,22.V.1960,2exs.
33. *Abraxas fulvobasalis* Staudinger クロマダラエダシヤク 西脇市,1.VI.1960,1ex.
34. *Abraxas latifasciata* Warren ヒトスジマダラエダシヤク 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
35. *Abraxas miranda* Butler ユウマダラエダシヤク 西脇市,21.V.1959,1ex. : 同,24.V.1959,1ex.
36. *Ligidia japonica* Leech シロスジヒメエダシヤク 八千代町笠形山,26.VII.1965,1ex.
37. *Heterostegane hyriaria* Warren サザナミオビエダシヤク 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
38. *Synegia hadassa* (Butler) ハグルマエダシヤク 西脇市,3.VI.1959,1ex. : 八千代町笠形山,25.IX.1967,1ex.
39. *Synegia esther* Butler クロハグルマエダシヤク 加美町千ヶ峰,16.VII.1961,1ex. : 同,13.VIII.1961,4exs.
40. *Petelia rivulosa* (Butler) コトビスジエダシヤク 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
41. *Astygisa morosa* Butler ヨスジアカエダシヤク 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
42. *Hypephyra terrosa* Butler ウラキトガリエダシヤク 西脇市,23.V.1961,1ex. : 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex. : 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex.
43. *Crypsicometa incertaria* (Leech) ツマキエダシヤク 西脇市,7.V.1959,1ex. : 同,11.V.1960,1ex.
44. *Godonela shanghaiaria* (Walker) シャンハイオエダシヤク 関宮町大久保,3.VIII.1961,4exs.
45. *Oxymacaria normata* (Alphéraky) ウスキオエダシヤク 八千代町笠形山,12.VI.1960,1ex.
46. *Krananda latimarginaria* Leech ツマジロエダシヤク 西脇市,20.IV.1959,1ex.
47. *Antipercnia albinigrata* (Warren) ゴマダラシロエダシヤク 西脇市,3.VI.1959,1ex.
48. *Pogonopygia nigralbata* Warren クロフオオシロエダシヤク 西脇市,8.V.1962,1ex.
49. *Arichanna melanaria* (Linnaeus) キシタエダシヤク 八千代町笠形山,18.VI.1967,2exs.
50. *Arichanna jaguararia* (Guenée) ヒョウモンエダシヤク 西脇市,1.VI.1960,1ex.
51. *Jankowskia fuscaria* (Leech) チャノウンモンエダシヤク 佐用町佐用坂,7.IX.1963,BR,1ex.
52. *Apocleora rimosa* (Butler) クロクモエダシヤク 加美町千ヶ峰,12.VIII.1961,1ex.
53. *Rikiosatoa grisea* (Butler) フタヤマエダシヤク 西脇市,11.V.1960,1ex.
54. *Hypomecis roboraria* (Denis & Schiffermüller) ハミスジエダシヤク 南光町船越,23.VIII.1963,1ex.
55. *Hypomecis punctinalis* (Scopoli) ウ斯巴ミスジエダシヤク 南光町船越,4.VIII.1961,1ex.
56. *Phithonosema invenustaria* (Leech) トビネオオエダシヤク 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex.
57. *Ectropis aignerii* Prout ウストビスジエダシヤク 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex. : 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex. : 南光町船越,5.VIII.1963,6exs.
58. *Amblychia insueta* (Butler) チャマダラエダシヤク 加美町三国岳,22.VII.1959,1ex.
59. *Duliopteryx agitata* (Butler) ヒロオビエダシヤク 南光町船越,23.VIII.1963,2exs.
60. *Thinopteryx crocoptera* (Kollar) キマダラツバ

- メエダシヤク 加美町三国岳,22.V.1960,1ex.
61. *Erebomorpha fulgararia* Walker アミメオオエダシヤク 夢前町雪彦山,16.VIII.1959,1ex.
62. *Exangerona pattiaria* (Leech) オイワケキエダシヤク 西脇市,7.VI.1961,1ex.
63. *Chariaspilates formosaria* (Eversmann) ギンスジエダシヤク 西脇市,5.IX.1961,1ex.
64. *Scardamia aurantiacaria* Bremer サラサエダシヤク 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
65. *Xerodes albonotaria* (Bremer) モンシロツマキリエダシヤク 西脇市,27.IV.1959,1ex.
66. *Xerodes rufescentaria* (Motschulsky) ミスジツマキリエダシヤク 加美町三国岳,30.V.1959,1ex.: 同,22.V.1960,3exs.: 西脇市,11.V.1960,1ex.: 波賀町音水,24.V.1964,1ex.: 八千代町笠形山,18.VI.1967,1ex.
67. *Ocoelophora lentiginosaria* (Leech) テンモンチビエダシヤク 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex.
68. *Auaxa sulphurea* (Butler) キエダシヤク 佐用町佐用坂,23.V.1963,1ex.
69. *Agaraeus parvus* (Hedemann) コガタイチモジエダシヤク 八千代町笠形山,15.VI.1968, BR,1ex.
70. *Xyloscia subsersata* (Felder & Rogenhofer) トガリエダシヤク 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,2exs.: 加美町三国岳,22.V.1962,2exs.: 波賀町音水,24.V.1964,1ex.
71. *Endropiodes objectus* (Butler) ツマキリエダシヤク 西脇市,22.IV.1960,4exs.: 加美町三国岳,12.V.1960,1ex.
72. *Plagodis dolabraria* (Linnaeus) ナカキエダシヤク 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex. 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex.: 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex.
73. *Achrosis paupera* (Butler) フタマエホシエダシヤク 加美町三国岳,22.V.1962,1ex.
74. *Heterolocha aristonaria* (Walker) ウラベニエダシヤク 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
75. *Cepphis advenaria* (Hübner) アトボシエダシヤク 加美町三国岳,22.V.1960,2exs.: 加美町千ヶ峰,13.VIII.1961,1ex.: 八千代町笠形山,4.VI.1967,1ex.
76. *Spilopera debilis* (Butler) ツマトビシロエダシヤク 加美町三国岳,30.V.1959,1ex.: 同,22.V.1960,1ex.
77. *Ourapteryx nivea* Butler ウスキツバメエダシヤク 西脇市,8.IV.1959,1ex.

78. *Ourapteryx maculicaudaria* (Motschulsky) シロツバメエダシヤク 八千代町笠形山,18.VI.1967,1ex.

#### アゲハモドキガ科 EPICOPEIIDAE

1. *Psychostrophia melanargia* Butler キンモンガ 西脇市,20.V.1959,1ex.: 八千代町笠形山,26.V.1959,1ex.: 武鳴,28.V.1959,1ex.

#### フタオガ科 EPIPLEMIDAE

1. *Epiplema plagifera* (Butler) クロオビシロフタオ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.: 妙見山,20.VIII.1963,2exs.: 八千代町笠形山,18.VI.1967,1ex.

#### イカリモンガ科 CALLIDULIDAE

1. *Pterodecta felderi* (Bremer) イカリモンガ 西脇市,17.IV.1959,1ex.: 同,13.IV.1960,1ex.: 同,15.IV.1960,1ex.: 同,24.III.1962,1ex.

#### カレハガ科 LASIOCAMPIDAE

1. *Somadasys brevivensis* (Butler) ギンモンカレハ 夢前町雪彦山,22.IV.1962,1ex.
2. *Malacosoma neustria* (Linnaeus) オビカレハ 佐用町佐用坂,28.VI.1965,1ex.

#### カイコガ科 BOMBYCIDAE

1. *Prismosticta hyalinata* Butler スカシサン 加美町千ヶ峰,19.VII.1961,1ex.

#### スズメガ科 SPHINDIDAE

1. *Dalbina exacta* Staudinger ヒメサザナミスズメ 南光町船越,23.VIII.1963,1ex.
2. *Macroglossum bombylans* Boisduval ヒメクロホウジャク 八千代町笠形山,25.IX.1967,1ex.

#### シャチホコガ科 NOTODONTIDAE

1. *Stauropus fagi* (Linnaeus) シャチホコガ 南光町船越,23.VIII.1963,1ex.
2. *Cnethodonta grisescens* Staudinger バイバラシロシャチホコ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
3. *Nerice bipartita* Butler ナカスジシャチホコ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
4. *Hupodonta corticalis* Butler カパイロモクメシャチホコ 西脇市,20.VI.1961,1ex.
5. *Shaka atrovittatus* (Bremer) クビワシャチホコ 関宮町大久保,5.VIII.1961,1ex.



6. *Torigea stramonea* (Moore) キシャチホコ  
南光町船越, 5.VIII.1963, 1ex.

ドクガ科 LYMANTRIIDAE

1. *Calliteara pseudabietis* Butler リンゴドクガ  
南光町船越, 23.VIII.1963, 1ex.  
2. *Arctornis kumatai* Inoue スカシドクガ  
南光町船越, 23.VIII.1963, 2exs.  
3. *Parocneria furva* (Leech) ウチジロマイマイ  
南光町船越, 5.VIII.1963, 1ex.  
4. *Euproctis pulverea* (Leech) ゴマフリドクガ  
西脇市, 17.IX.1960, 1ex.  
5. *Euproctis piperita* Oberthür キドクガ  
八千代町笠形山, 22.X.1967, BR, 1ex.

ヒトリガ科 ARCTIIDAE

コケガ垂科 <LITHOSIINAE>

1. *Parasiccia altaica* (Lederer) ホシオビコケガ  
南光町船越, 5.VIII.1963, 1ex.  
2. *Eugoa grisea* Butler クロテンハイロコケガ  
南光町船越, 23.VIII.1963, 1ex.

ヒトリガ垂科 <ARCTIINAE>

3. *Lemyra inaequalis* (Butler) カクモンヒトリ  
八千代町笠形山, 4.VII.1965, 2exs.  
4. *Rhyparioides nebulosus* Butler ベニシタヒトリ  
佐用町佐用坂, 7.VI.1964, 1ex.

ヤガ科 NOCTUIDAE

キノコヨトウ垂科 <BRYOPHILINAE>

1. *Cryphia mitsuhashi* (Marumo) キノコヨトウ  
西脇市, 18.IX.1960, 1ex.

タバコガ垂科 <HELIOTHINAE>

2. *Adisura atkinsoni* Moore アカヘリヤガ  
生野町栃原, 4.VIII.1961, 1ex.

モンヤガ垂科 <NOCTUINAE>

3. *Naenia contaminata* (Walker) クロギシギシヤガ  
西脇市, 8.VII.1960, 1ex.

ヨトウガ垂科 <HADENINAE>

4. *Aletia perstriata* Sugi カバイロキヨトウ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1♀ (図)

5. *Senta flammea* (Curtis) ナカスジキヨトウ  
高砂市, 12.VII.1965, 1ex.

セダカモクメ垂科 <CUCULLIINAE>

6. *Eupsilia cotracta* Butler ウスミモンキリガ  
明石市大久保町, 16.III.1964, 1ex.

カラスヨトウ垂科 <AMPHIPYRINAE>

7. *Oligia ophiogramma* (Esper) クサビヨトウ

八千代町笠形山, 21.VII.1968, 1ex.

8. *Anapamea cuneatoides* Poole カバマダラヨトウ  
南光町船越, 5.VIII.1963, 1ex.

9. *Bambusiphila vulgaris* (Butler) ハジマヨトウ  
関宮町福定, 18.VIII.1964, 1ex.

10. *Amphipoea ussuriensis* (Petersen) ショウブヨトウ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.

11. *Sesamia turpis* (Butler) テンオビヨトウ  
加美町千ヶ峰, 13.VIII.1961, 1ex. : 南光町船越,  
5.VIII.1963, 1ex.

12. *Euplexia lucipara* (Linnaeus) アカガネヨトウ  
関宮町福定, 18.VIII.1964, 1ex.

13. *Trachea atriplicis* (Linnaeus) シロスジアオヨトウ  
高砂市, 27.VIII.1968, 1ex.

14. *Trachea punkikonis lucilla* Matsumura オオシロテンアオヨトウ  
関宮町福定, 18.VIII.1964, 1ex.

15. *Amphipyra monolitha* Guenée オオシマカラスヨトウ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex. : 妙見山,  
20.VIII.1963, 1ex.

16. *Amphipyra tripartita* Butler シロスジカラスヨトウ  
加美町三国岳, 17.VIII.1960, 1ex. : 妙見山,  
20.VIII.1963, 2exs.

17. *Amphipyra erebina* (Butler) オオウスツマカラスヨトウ  
妙見山, 20.VIII.1963, 1ex.

18. *Chytonix albonotata* (Staudinger) ネグロヨトウ  
南光町船越, 25.VIII.1963, 1ex.

19. *Eucarta fasciata* (Butler) シマヨトウ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.

20. *Eucarta arctides* (Staudinger) ヒメシマヨトウ  
生野町栃原, 4.VIII.1961, 1ex.

21. *Eucarta virgo* (Treitschke) ウスムラサキヨトウ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex. : 関宮町福定,  
18.VIII.1964, 2exs.

22. *Callopietria placodoides* (Guenée) アヤナミツマキリヨトウ  
生野町栃原, 4.VIII.1961, 1ex.

キノカワガ垂科 <SARROTHRIPINAE>

23. *Nyctea asiatica* (Krulikowski) クロスジキノカワガ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.

コブガ垂科 <NOLINAE>

24. *Evonima mandchuriana* (Oberthür) リンゴコブガ  
関宮町福定, 18.VIII.1964, 1ex.

リングガ垂科 <CHLOEPHORINAE>

25. *Gelastocera exustra* Butler クロオビリングガ  
南光町船越, 23.VIII.1963, 1ex.

26. *Macrochthonia fervens* Butler カマフリングガ  
関宮町福定, 18.VIII.1964, 1ex.

27. *Clethrophora distincta* (Leech) ミドリリング  
八千代町笠形山, 21.VII.1968, 1ex.
28. *Pseudoips prasinanus* (Linnaeus) アオスジア  
オリング 波賀町音水, 24.V.1964, 1ex.  
コヤガ亜科 <ACONTIINAE>
29. *Lophorufa pulcherrima* (Butler) モモイロツ  
マキリコヤガ 加美町三国岳, 14.VIII.1961,  
1ex.: 関宮町福定, 18.VIII.1964, 3exs.
30. *Maliattha signifera* (Walker) ヒメネジロコヤ  
ガ 関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.
31. *Maliattha bella* (Staudinger) ソトムラサキコ  
ヤガ 関宮町氷ノ山, 3.VIII.1961, 1ex.: 関宮町  
福定, 18.VIII.1964, 2exs.
32. *Micardia argentata* Butler シロヒシモンコヤ  
ガ 西脇市, 1.V.1959, 1ex.
33. *Protodeltote pygarga* (Hufnagel) シロフコヤガ  
妙見山, 20.VIII.1963, 1ex.
34. *Protodeltote distinguenda* (Staudinger) シロマ  
ダラコヤガ 南光町船越, 5.VIII.1963, 1ex.
35. *Erastriodes fentoni* (Butler) シロモンコヤガ  
加美町三国岳, 14.VIII.1961, 1ex.: 南光町船越,  
5.VIII.1963, 1ex.
36. *Amyra stellata* Butler サビイロコヤガ  
西脇市, 11.V.1960, 1ex.: 同, 13.VII.1961, 1ex.:  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.  
ウワバ亜科 <PLUSIINAE>
37. *Abrostola triplasia* (Linnaeus) イラクサマダ  
ラウワバ 南光町船越, 7.VII.1968, BR, 1ex.
38. *Macdunnoughia purissima* (Butler) ギンモン  
シロウワバ 西脇市, 27.V.1959, 1ex.: 関宮町  
福定, 18.VIII.1964, 1ex.
39. *Chrysodeixis eriosoma* (Doubleday) イチジク  
キンウワバ 西脇市, 7.IX.1961, 1ex.
40. *Anadevidia hebetata* (Butler) モモイロキンウ  
ワバ 八千代町笠形山, 26.VII.1968, BR, 1ex.
41. *Anadevidia peponis* (Fabricius) ウリキンウワ  
バ 明石市大久保, 5.XI.1964, 1ex.  
シタバガ亜科 <CATOCALINAE>
42. *Catocala electa* (Borkhausen) ベニシタバ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.
43. *Dysgonia mandschurica* (Staudinger) タイリ  
クアシプトクチバ 西脇市, 20.VII.1960, 1ex.
44. *Spirama retorta* (Clerck) オスグロトモエ  
西脇市, 26.V.1959, 1ex.
45. *Spirama helicina* (Hübner) ハグルマトモエ  
西脇市, 2.VI.1959, 2exs.
46. *Erebus ephesperis* (Hübner) オオトモエ  
西脇市, 20.V.1959, 1ex.: 同, 19.VII.1961, 1ex.
47. *Metopta rectifasciata* (Menétriès) シロスジト  
モエ 八千代町笠形山, 26.V.1959, 2exs.  
クチバ亜科 <OPHIDERINAE>
48. *Hybersypnoides submarginata* (Walker) オオシ  
ロテンクチバ 西脇市, 13.IV.1961, 1ex.
49. *Blasticorhinus ussuriensis* (Bremer) コウンモ  
ンクチバ 関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.
50. *Dimumma deponens* Walker ウスツマクチバ  
西脇市, 20.IV.1959, 1ex.: 同, 3.IV.1961, 3exs.:  
南光町船越, 5.VIII.1963, 1ex.
51. *Mecodina nubistigma* (Leech) シャクドウク  
チバ 南光町船越, 23.VIII.1963, 1ex.
52. *Eugrapta igniflua* Wileman & South カザリツ  
マキリアツバ 加美町三国岳, 10.VIII.1961,  
1ex.
53. *Pangrapta duplex* Sugi & Kononenko ウンモン  
ツマキリアツバ 加美町三国岳, 10.VIII.1961,  
2exs.
54. *Pangrapta vasava* (Butler) ミツボシツマキリ  
アツバ 加美町三国岳, 28.VIII.1963, 1ex.
55. *Pangrapta costinotata* (Butler) マエモンツマ  
キリアツバ 生野町栃原, 4.VIII.1961, 2exs.:  
同, 10.VIII.1961, 1ex.: 同, 14.VIII.1961, 1ex.: 加  
美町千ヶ峰, 13.VIII.1961, 1ex.: 南光町船越, 18.  
VIII.1964, 1ex.
56. *Amphitrogia amphidecta* (Butler) シロテンツ  
マキリアツバ 妙見山, 20.VIII.1963, 1ex.
57. *Scedopla diffusa* Sugi ウスマダラアツバ  
加美町三国岳, 22.V.1960, 1ex.
58. *Phytometra amata* (Butler) ベニスジアツバ  
関宮町大久保, 3.VIII.1961, 1ex.
59. *Colobochyla salicalis* (Denis & Schiffermüller)  
キンスジアツバ 西脇市, 5.IX.1960, 1ex.: 加  
美町三国岳, 22.V.1962, 1ex.
60. *Corsa petrina* Marumo オオトウアツバ  
南光町船越, 5.VIII.1963, 1ex.
61. *Paragobara flavomaculata* (Oberthür) キボシア  
ツバ 生野町栃原, 4.VIII.1961, 1ex.: 同, 5.VIII.  
1963, 1ex.
62. *Rivula curvifera* Walker マエシロモンアツバ  
八千代町笠形山, 4.VI.1967, 1ex.
63. *Rivula* sp. 和名未定  
明石市大久保, 14.V.1963, 1ex.: 高砂市, 15.V.  
1963, 1ex.
64. *Ectogonia butleri* (Leech) シロズアツバ  
関宮町福定, 18.VIII.1964, 1ex.

## アツバ亜科 &lt;HYPERINAE&gt;

65. *Latirostrum bisacutum* Hampson テングアツバ 八千代町笠形山,8.VIII.1965,1ex.
66. *Hypena claripennis* Butler キシタアツバ 西脇市,15.IV.1959,1ex. : 同,20.VI.1960,1ex.
67. *Hypena amica* Butler クロキシタアツバ 加美町三国岳,30.V.1959,1ex. : 八千代町笠形山,30.V.1960,1ex.
68. *Hypena trigonalis* Guenée タイワンキシタアツバ 西脇市,30.IV.1959,1ex. : 同, VII.1960, 1ex.
69. *Hypena innocuoides* Poole ウスチャモンアツバ 西脇市,26.IV.1960,1ex.
70. *Hypena indicatalis* Walker トビモンアツバ 八千代町笠形山,5.VIII.1960,1ex.
71. *Hypena narratalis* Walker ムラサキミツボシアツバ 波賀町音水,10.VII.1964,BR,1ex.
72. *Hypena abducalis* Walker サザナミアツバ 佐用町佐用,28.VI.1965,1ex.
73. *Bomolocha stygiana* Butler ヤマガタアツバ 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex. : 八千代町笠形山,3.X.1966,BR,1ex.
74. *Bomolocha rivuligera* Butler アイモンアツバ 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex.
75. *Bomolocha zilla* Butler シラクモアツバ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
76. *Bomolocha benepartita* Sugi シモフリヤマガタアツバ 波賀町音水,24.V.1964,1ex. : 八千代町笠形山,8.VIII.1965,BR,1ex.
77. *Bomolocha perspicua* Leech ウスツマアツバ 南光町船越,23.VIII.1963,2exs. : 同,31.VII.1964, 1ex. : 八千代町笠形山,27.IV.1968,BR,1ex.
78. *Bomolocha melanica* Sugi ムラクモアツバ 八千代町笠形山,4.VIII.1960,1ex.

## クルマアツバ亜科 &lt;HERMININAE&gt;

79. *Adrapta simplex* Butler シラナミクロアツバ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
80. *Adrapta notigera* Butler フジロアツバ 八千代町笠形山,13.VIII.1961,1ex.
81. *Edessena hamada* C & R.Felder オオシラホシアツバ 南光町船越,5.VIII.1963,1ex.
82. *Hadennia incongruens* Butler ハナマガリアツバ 妙見山,20.VIII.1963,1ex. : 八千代町笠形山,25.IX.1967,1ex.
83. *Cidaripalura gladiata* Butler ハナオイアツバ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex.
84. *Epizeuxis curvipalpis* Butler シロホシクロア

ツバ 生野町栃原,4.,VIII.1961,1ex.

85. *Paracolax albimotata* Butler シロモンアツバ 八千代町笠形山,4.VIII.1960,1ex. : 加美町三国岳,22.V.1962,2exs.
86. *Paracolax trilinealis* Bremer ミスジアツバ 関宮町大久保,3.VIII.1961,1ex. : 八千代町笠形山,4.VI.1967,1ex.
87. *Bertula bistrigata* Staudinger フタスジアツバ 加美町三国岳,14.VIII.1961,1ex.
88. *Bertula spacoalis* Walker シロスジアツバ 西脇市,14.VI.1962,1ex. : 南光町船越,23.VI. 1968,1ex.
89. *Zanclognatha griselda* Butler ツマオピアツバ 八千代町笠形山,4.VI.1967,1ex. : 同,17.VI.1968, 1ex.
90. *Zanclognatha fumosa* Butler ウスグロアツバ 西脇市,24.V.1959,1ex.
91. *Zanclognatha tarsipennalis* Treitschke ヒメコブヒゲアツバ 生野町栃原,4.VIII.1964,1ex.
92. *Herminia grisealis* Denis & Schiffermüller クロスジアツバ 加美町千ヶ峰,19.VII.1961,1ex.
93. *Herminia tarsicrinalis* Knoch トビスジアツバ 加美町三国岳,22.V.1962,2exs.
94. *Stenhyphenia nigripuncta* Wileman ムモンキイロアツバ 生野町栃原,4.VIII.1961,1ex.
95. *Sinarella aegrota* Butler ミツオビキンアツバ 関宮町大久保,3.VIII.1961,2exs. : 加美町三国岳,10.VIII.1961,1ex.

## トラガ科 AGARISTIDAE

1. *Sarbanissa venusta* Leech ベニモントラガ 関宮町福定,18.VIII.1964,1ex.
2. *Mimeusemia persimilis* Butler コトラガ 波賀町音水,21.VI.1964,1ex.

## &lt;参考文献&gt;

- 井上 寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑 Vol.1:p. 1-968, Vol.2:p.1-556,pls.1-392. 講談社・東京.
- 岡本清・猪股涼一(1962) 兵庫県多可西脇地方の昆虫2(蛾類1) 兵庫生物Vol.4(3/4):p.154-178.
- 岡本清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし(11):p. 40-45.
- 岡本清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1) てんとうむし(12):p.30-38.
- 岡本清(1999) 黒田庄町で採集した蛾(2) てんとうむし(13):p.41-49.

## チュンペリーの見た日本の昆虫(2)

### ゴキブリ目

### 大貝 秀雄

筆者は前稿「チュンペリーが見た日本の昆虫」において彼が日本産として記録に残している蝶とトンボの学名が現在知られている種のいずれに相当するかということを考察した。

本稿では引き続き、彼が残した二つの日本産昆虫リストの中からゴキブリに焦点を当てて論考してみたい。1788年から1793年にかけて出版された『Resa uti Europa, Africa, Asia, förrättad aren 1770-1779(日本語版抄訳；ツンベルグ日本紀行)』と1823年出版の『Fauna Japonica, Continuenta』の中でチュンペリーはそれぞれ同じ3種のゴキブリの名を挙げている。1822年の『Fauna Japonica』にはゴキブリの名は見られない。

これら3種についての考察を始める前に、まず小西正泰氏の著作中の一文を引用しておきたい。

「さて、前述の昆虫のリストを見ると(中略)ゴキブリはチャバネゴキブリ、トウヨウゴキブリ、ブラベルスゴキブリの三種が記録されているが、あとの二種は日本産でない可能性が高い。その後、確実な採集記録がないからである。」はたして本当にそう言ってしまうて良いのだろうか。

確かにチュンペリーがリストした3種、"*Blatta orientalis*"・"*Blatta germanica*"・"*Blatta gigantea*"の名を現在用いられている学名に読み替えてみると次のようになる。

"*Blatta orientalis*"=*Blatta orientalis* Linnaeus；トウヨウゴキブリ(コバネゴキブリ)

"*Blatta germanica*"=*Blattella germanica* (Linnaeus)；チャバネゴキブリ

"*Blatta gigantea*"=*Braberus giganteus* (Linnaeus)；オオメンガタブラベルスゴキブリ

これらのうち二番目に挙げられているチャバネゴキブリは現在では新幹線に乗ればかなり高い確率でその車内において採集することのできる種である。また18世紀初頭に少なくとも大阪の町では既に存分に繁栄していたらしいことを示唆する古文献もあるので、チュンペリーが実際に日本でチャバネゴキブリを観察ないし採集する機会があったと見て良いのかもしれない。

では「日本で確実な採集記録がない」残りの2種とは一体どのような種だったのだろうか。トウヨウゴキブリは体長約25mm、コバネゴキブリとも呼ばれる名の通り短い翅の下に腹端が大きく露出しており、雌になると翅は痕跡のみで事実上無翅となる。アジア・ヨーロッパを初めとして広域に分布する世界共通種とみなされているけれども、どういう訳か日本国内では南西諸島を含めても確実な記録がない。

もう1種のオオメンガタブラベルスゴキブリはというと、これは体長7~8cmに達するゴキブリとしては世界最大級の種で、胸背には目立つ大きな紋様がある。分布はメキシコ南部からベネズエラにかけての中南米。この種は『図説、世界の昆虫』の第3巻に図示されているので覚えていらっしゃる読者も多いのではなかろうか。手許に第3巻をお持ちの方はぜひもう一度その図を御覧頂きたい。とにかく大きい。体長7~8cmで中南米産。こんな怪物が仮に偶産にせよ日本でみつけれはたはずがない。明らかにチュンペリーの記録は何かの間違いだ。どこか外国で観察したものを日本で得られたものと勘違いして記録に残してしまったものなのだろう。オオメンガタブラベルスゴキブリの場合にこのような結論が導かれるのならば、トウヨウゴキブリも同様に外国での記録が紛れ込んだものだったにちがいない。初めに引用した文章のとおり結論となった。

しかし本当にそう決めつけても良いのだろうか。

ここでチュンペリーの足跡を振り返ってみたい。1743年スエーデンで生まれたチュンペリーは1771年、初めてヨーロッパを出て海路希望峰へと向かった。1772年4月から1775年3月まで希望峰にて博物学調査をおこなったのちアジアへと航行し、1ヶ月間ジャワで待機してから、1775年8月に長崎に到着した。日本には1年4ヶ月滞在して1776年12月にケープタウン経由で1778年10月にヨーロッパに帰着した。その後の彼は生涯ヨーロッパを離れることはなかったと伝えられる。つまり彼は南アメリカはもちろん北アメリカにも西インド

諸島にも全く足を踏み入れたことはなかったのである。言いかえると彼はオオメンガタブラベルスゴキブリの生息し得る大陸には全く近づいたことさえなかったのだ。そんな彼の採集品の中にオオメンガタブラベルスゴキブリの標本が紛れ込んでいたはずはない。しかも、この種はコウモリの棲む洞窟といったかなり特殊な環境に順応した純粋に野外性のゴキブリなので、本稿で取り上げる他のふたつの“種”のように船に潜んで密航した可能性も否定される。

ここで「本当にそう決めつけても良いのだろうか」という問いかけに対して「然り」と答えるためのひとつの前提が崩れ去ってしまった。どうやらチュンベリーが記録に残した "*Blatta gigantea*" というのは必ずしも現在のオオメンガタブラベルスゴキブリ *Blaberus giganteus* そのものを指していた訳ではなかったらしい。即ちそれはオオメンガタブラベルスゴキブリと類似した別の種であったと考えた方が良いでしょう。ではその別の種とは何なのか。

そのことを考えるために再度、図説世界の昆虫に出ている標本写真を見てオオメンガタブラベルスゴキブリの特徴を整理してみたい。大きさ、既に述べたように体長7~8cm。これに匹敵するサイズになる種は世界でも多くはない。ちなみに日本産の最大種オオゴキブリ *Panethia angustipennis spadica* Shiraki では4.5cmほどにしかならない。形、やや太めではあるがクロゴキブリなど我々が見慣れている普通のゴキブリと基本的なモチーフの違いはなく、上翅もよく発達している。胸(胸背)は横長の楕円形。色彩、体背面部すなわち胸背と上翅の地色は黄褐色で半透明、胸背の後縁から中央を越えて大きく正方形に近い形の黒褐色紋を有し、上翅中央部にも不定形の濃色斑がある。

これらと似た特徴を持った日本産のゴキブリが存在するかどうかという点から考え直してみたい。チュンベリーが記録した "*Blatta gigantea*" がオオメンガタブラベルスゴキブリではないことが確かとなった以上は原点に戻って再考する必要が出てきたからである。オオメンガタブラベルスゴキブリの体形と色彩、特に胸背の様子はワモンゴキブリ *Periplaneta americana* (Linnaeus) ・コワモンゴキブリ *Periplaneta australasiae* (Fabricius) の両種といくぶん似ているように思われる。しかし、

いくつかの問題点があって "*Blatta gigantea*" はこれらのいずれかというわけではなかったと判断することができる。第1の問題はサイズ(体長4cm前後)が小さいこと、次いで、ワモンゴキブリもコワモンゴキブリも胸背の黒褐色斑は後縁付近で不連続となること、そして最後の問題点、これが決定的である。実は、ワモンゴキブリは "*Blatta americana*" として1758年リンネにより最初に記載された10種のゴキブリのうちの一つだったのだ。従ってもしチュンベリーがワモンゴキブリを採集していたのであったなら彼はそれを正しく "*Blatta americana*" の名で記録したに違いないし、またそれがコワモンゴキブリであったとしてもこれは一見してワモンゴキブリとの区別が困難なのでやはり "*Blatta americana*" として扱われた可能性が極めて強い。少なくとも "*Blatta gigantea*" の名が用いられることはなかったはずである。

実は日本産のゴキブリでオオメンガタブラベルスゴキブリと類似の特徴を持った種がもう一つ存在しているのだ。それはマダラゴキブリ (*Rhabdoblatta guttigera* Shiraki) という。本種は3.5cmでワモンゴキブリより更に小さいけれども胸背と上翅の色彩・斑紋はオオメンガタブラベルスゴキブリにかなりよく似ている。九州と南西諸島に分布する日本特産の種であり成虫で越冬する。照葉樹林内に生息する野外性の本種が人工の出島で発見された可能性は極めて少ない。けれどもチュンベリーは1776年の早春から薬草採取の目的で長崎近郊の山野に外出することを許されていたので、その際、越冬中あるいは活動期間中の本種成虫に遭遇したということは十分あり得る。

"*Blatta gigantea*" はマダラゴキブリのことだったのか。だが慎重になろう。そう結論づけるにはまだ証拠が不十分だ。逆に否定的な材料が残されている。3cmそこそこのマダラゴキブリはオオメンガタブラベルスゴキブリの体長の半分にも満たないのである。前者の体長を最大の3.5cm、後者のそれを7cmとして単純計算しても体重で8分の1、マダラゴキブリの体は扁平なので実際はもっと軽く数パーセントの重さしか持たないであろう。

ところがマダラゴキブリについて調べていくうちに意外な事実が判明した。朝比奈正二郎博士によれば『オランダのライデン博物館には本邦特産のマダラゴキブリが1♂1♀保存されており、ま

たロンドンのBM(NH)にも同種の1♂があった。おそらくシーボルト時代の長崎で採れたものではないかと思う。』シーボルト時代とは幕末、チュンベリーの来日から約50年後ということになるか。これは少なくとも当時から長崎にマダラゴキブリが分布していたことを示す間接的な証拠となる。そして別のページには更に驚くべき事実が英文で記されていた。訳すと次のようになる。

『Princis(1949)によれば、チュンベリー(1784)は *Blatta irrorata* の名でゴキブリの1♀をリストしておりその標本は現在ウブサラのチュンベリーコレクション中に保存されているものであるが、それは正しくは *Rhabdoblatta guttigera* Shiraki(マダラゴキブリ)と同定されるべきものである。』

"*Blatta irrorata*" は Fabricius が記載された種であり、それがいかなるものであるのか筆者は残念ながらまだ情報を入手していない。だがそれよりも重要なのはチュンベリーの収集品の中に日本特産のマダラゴキブリが含まれていたという事実である。彼はマダラゴキブリを知っていたのだ。そしてそれは1784年出版の彼の著作 *Dissertatio entom. novas insect. species sistens, ParsIV* の中で誤って同定され "*Blatta irrorata*" の名で記録されている。

ここで一つの矛盾が露呈した。チュンベリーは1784年の時点で日本特産種であるマダラゴキブリを "*Blatta irrorata*" の名で認識していたはずであるが、その名が後の彼の著作には二度と登場しないことである。旅行記中のリストには彼が「日本滞在中に見た昆虫(と昆虫に似た動物、ダンゴムシ・ザリガニ・カブトガニなど)」が記されているとチュンベリー自身が書いている。しかしそこに "*Blatta irrorata*" の名はなく、続く *Fauna Japonica* と *Fauna Japonica, Continuata* にも出てこない。その代わりに旅行記と *Fauna Japonica, Continuata* にはマダラゴキブリと似た特徴を持つと思われるが正体不明の "*Blatta gigantea*" が記録されている。このことは両者が同一の種を指している可能性を示唆するのであるけれども、では何故それらが異なった学名で表記されたのか。この矛盾を解決し得る一つの常套的な解釈は次のようなものである。即ち、彼は日本滞在中にマダラゴキブリを採集し、帰国後1784年にこれを "*Blatta irrorata*" と同定して報告した。しかし、後にそれが誤同定であったことに気づき旅行記のリスト以後は

"*Blatta gigantea*" の名を使うことに改めたという考えだ。しかし、誤同定を訂正した結果が更にありそうもない別の誤同定になったなどという二重の過ちをはたしてチュンベリーが犯したと言ってもよいのだろうか。我々はまだ昆虫学者としてのチュンベリーの資質を見くびり過ぎているのではないか。彼は実際に問題のマダラゴキブリの標本を手許に持っていたということをお忘れにならない。一方、当時既に故人であった旧師リンネが記載したオオメンガタブラベルスゴキブリの今で言うタイプ標本もまたチュンベリーの活動拠点であったウブサラに保存されていたと推定されるので、より正確な同定のために二つの標本を見比べることはチュンベリーにとって極めて容易な作業であったはずだ。両者は並べて見れば一目瞭然、全く別種だとわかる。結局、先ほどの解釈には無理があると云わざるを得ない。他の考え方は成り立たないのだろうか。

もう一つ別の解釈が可能である。チュンベリーは長崎でマダラゴキブリを採集した。そしてそのことをフィールドノートに記録する際、そう言いきることに疑問を感じつつも手許にあったリンネのシステムナチュラエの記述を参照して "*Blatta gigantea*" と書き止めた。その数年後、母国に戻ってようやく収集品の詳細な検討ができるようになった時、マダラゴキブリの標本に関しては日本での採集品か希望峰あるいはセイロン島で得られたものであったか彼自身に判断がつかかねる何らかの事情があったとしてみよう。彼はこの標本に "*Blatta irrorata*" という学名を記したラベルを付け、1784年の出版物中にもそのことを簡潔に記した。もちろん "*Blatta irrorata*" というのはシステムナチュラエ以外に当時出版されていたあらゆる文献を参照して検討された結果の同定であろう。しかしながら、その結果として問題のマダラゴキブリ標本と彼のフィールドノートに記された "*Blatta gigantea*" という学名との関係が絶たれてしまったことになる。"*Blatta gigantea*" の名は一人歩きを始め、その後の彼の著作中では日本産昆虫の1種として二度にわたり登場することとなった。いかがであろうか。おそらく仮説としては後者の方がより真実に近いものであろう。しかし注目すべきなのは、以上述べた二つの解釈、どちらをとったとしてもチュンベリーが記録した "*Blatta gi-*

*gantea*" はマダラゴキブリそのものであることを示す点である。ただ、これではまだ先程述べたサイズの違いという問題を説明することができていない。一応、第2の解釈の中で「そう言いきることに疑問を感じつつも」という言葉で答えの暗示は出しておいたのだが。では言ってしまう。日本滞在当時のチュンベリーは既に植物学者としての経験は豊富に積んでいたものの昆虫学者としてはなお素人に近い状態であったと考える。すると辻褃が合うのだ。御存知と思うが、植物は木本にしる草本にしる各個体が育った所の土壌・日照条件・気温・保湿性といった様々な条件に適應して著しくその形態が変化する。基本ユニットのトポロジーは不変でも全体として見た時のサイズやプロポーシオンは多種多様で葉の形や花色を変化させてしまう事も珍しくない。そういったことを熟知していたはずの当時のチュンベリーが昆虫に関しても同様の見方をしていたとすれば3cmと8cmの差など取るに足らぬものと思えたのかもしれない。実際、そこそこの知識を持つ者であれば昆虫の同一種においても著しいサイズの多様性が認められる例をいくつも知っている(アリの女王と職蟻・クワガタの雄同士など)。おそらくチュンベリーも昆虫についてのそのような中途半端な知識を持っていたが故に結果的に判断を誤ってしまったのではないだろうか。

これでチュンベリーが日本産としてリストに残した謎のゴキブリ "*Blatta gigantea*" はマダラゴキブリであるということを証明した。将来もっと画期的な仮説が提唱され筆者の考えが否定される日がこないとは限らない。しかし少なくとも現状では "*Blatta gigantea*" をマダラゴキブリであるとする筆者の考えは従来の通説よりもはるかに説得力を持つものといえるのではないだろうか。そしてこの事例を通じて、筆者自らもまたそれまで通説もしくは常識によって毒されていたチュンベリー観に大変革を迫られることとなった。その通説とは、チュンベリーは植物学者としては一流であったのだろうが動物学少なくとも日本の昆虫に関する彼の記述には信用しがたいものが多く資料としての価値も乏しいとの見解である。

何故かという、この "*Blatta gigantea*" の例だけでなくチュンベリーの記録した日本産昆虫の中には当該する種が日本に産しないものが少なから

ずある(江崎、佐々治、大貝など)。現代に生きる我々が持つ洗練された昆虫分類学の知識と照らし合わせたとき、"*Blatta gigantea*" の場合もそうなのであったが、チュンベリーが記録した昆虫と同じ属あるいは同じ科に含まれる昆虫さえ日本には産しないケースが実に多い。そのような例に接したとき、この記録はおかしいと我々は考えてきた。そして、そういった例が積み重なることにより我々は記録全体の信憑性を疑ってかかり、科学的に価値の乏しい荒唐無稽な資料であるとの判断を下そうとしてきたのではなかったろうか。

今その考えを全面的に改めてみよう。チュンベリーの日本産昆虫類に関する記録は科学的に正しく、かつ正確なものであるということの大前提として立つのだ。ただし条件がつく。ひとつは彼の観察が昆虫分類学の搖籃期における極めて未熟で限られた知識に基づいてなされたものであったという点である。彼が日本に到着した年は彼の師リンネが動物分類学の土台となったシステムナチュラエ第10版を出版してからわずか18年しか経過していない。そしてまたそれは昆虫分類学の新の祖とも言える Fabricius がようやくその活動を開始した頃であったのだ。もう一つ条件がある。それはチュンベリーが彼の記録した日本産昆虫のすべてを必ずしも標本として持ち帰ることができなかったのではないかと思われる点である。一例を挙げる。彼は日本産の蝶の1種として "*Papilio c-album*" 即ちシータテハ *Polygonia c-album* Linnaeus を記録している。しかし彼の行動範囲から考えて、彼が実際にシータテハを観察する機会を持ったはずはなく、この記録は近似種であるキタテハ *Polygonia c-aureum* Linnaeus の誤同定であったに違いない。ところでシータテハもキタテハとともにシステムナチュラエ第10版で記載されている。従って、もし彼が標本を持ち帰っていたのなら、それは正しくキタテハ *Papilio c-aureum* と同定されていたはずだ(大貝, 1998)。別の例を挙げる。Fauna Japonica と Fauna Japonica Continuata には昆虫のみならずすべての動物種群が取り上げられている。その中にはウシ・イノシシ・ウマなどの大型哺乳類も含まれている。クジラさえ記録されている。幕府の役人による厳しい監視下に置かれていた彼にとって、これら大型哺乳類の標本をも持ち帰ることが可能だったろうか。

そんなことは絶対にあり得ない。標本のないままでクジラの名が記録されているのならば、標本のない昆虫もチュンベリーの記録には含まれていると見て良いはずである。それが、何らかの既知種と一致するとみなすことさえできたのだとすれば。

さて、ではこの新しい眼でチュンベリーの記録した日本産ゴキブリ3種のうち "*Blatta gigantea*" 以外の2種についても見直してみよう。

まず "*Blatta orientalis*" である。これは既に述べたようにトウヨウゴキブリまたはコバネゴキブリの和名を持つ種で日本には分布しないとされている。しかし記録が全くないというわけでもなくて、疑わしい記録しかないということなのだ。それらが具体的にどのような記録かということ、最初に出たのは当然ながらチュンベリーの記録である。以下、朝比奈(1991)に従って見ていくと次は、20世紀にとび1904年の松村松年の日本千虫図解第一巻に図説されている *Stylopyga orientalis* L. コバネゴキブリであると言う。同じ年に Rehn は "Yokohama" 産の雄幼虫3頭と "Kioto" 産の標本を記録しているそうであるが、『横浜産の3幼虫は当時外国より入ってきたばかりの真正の *orientalis* かも知れぬし、また後者はヤマトゴキブリかクロゴキブリかも知れない』。続いて1932年の日本昆虫図鑑と1950年の同書改訂版で素木得一はコバネゴキブリを図説しているが、これも『幻の種類で、この学名のもは日本に産せず、あるいは(中略)ヤマトゴキブリの雌を誤って指している可能性すらある。』と切られている。

こうして見てくると古い時代にはヤマトゴキブリ *Periplaneta japonica*, Karay やクロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa* (Serville) がしばしば "*Blatta orientalis*" の名で誤って記録されたことがあったとわかる。現在ヤマトゴキブリの方は近畿以西では稀種とされており長崎とその周辺諸県では採集記録が欠如している。しかしクロゴキブリなら屋内性の普通種であり、チュンベリーも日本滞在中にいくらかでも見る機会があったに違いない。もちろん出島の居館にも住み着いていたであろうし、江戸参府の途中の宿屋でもまた江戸の宿舎でもおなじみのものであったろう。けれども一歩下がって、懐疑心を持って見てみることも必要かもしれない。というのはクロゴキブリは日本在来種ではなく、アメリカシロヒトリという街路樹の害虫な

どと同様の帰化昆虫だからである。アメリカシロヒトリは第二次世界大戦後に日本に侵入したことがはっきり分かっている。しかしクロゴキブリに関しては日本進出の時期も経路も、原産地さえも不明である。現時点で、ある程度古くからクロゴキブリが分布することが知られているのは北アメリカ南部・南アメリカと台湾・香港を含む中国南部、それと日本の本州以南である。もし中国が原産であればクロゴキブリが日本に侵入したのは例えば稲作の伝播とともにといったような人類史上では非常に古い時代に遡る可能性も想定され得る。逆にアメリカ原産であれば奴隷貿易が盛んになった17世紀後半頃まではアジアにはクロゴキブリは存在していなかったということになるのかも知れない。現在、二つの可能性のいずれが正しいとも結論は出ていない。ただ九州南部や薩南諸島にはウルシゴキブリ (*Periplaneta japanna* Asahina) といってクロゴキブリとは極めて近縁と信じられる野外性の種が分布しており、このことはクロゴキブリのアジア起源説の有力な証拠になり得る。一方、小西正泰(1977)によると古文書の記録から18世紀初頭には既に大阪でクロゴキブリとチャバネゴキブリの2種の帰化ゴキブリが繁栄していたということである。それが事実ならばチュンベリーが日本に来た18世紀後半の長崎と同様にクロゴキブリが繁栄していた可能性は強いだろう。たとえ長崎に侵出していなかったとしても彼は旅の途中で大阪にも泊まったので大阪の宿屋ではクロゴキブリに出会うことができたであろう。ただ一つ気になるのは、しばしばクロゴキブリと比較されるヤマトゴキブリ、これは日本在来種とみなされているのだが、この種の雄は普通の長い翅を持っているのに対し雌の翅は非常に短い。一見するとヤマトゴキブリの雄はクロゴキブリに見え、ヤマトゴキブリの雌はトウヨウゴキブリの雄に見誤られ得る。そしてヤマトゴキブリとクロゴキブリの生息環境は大体同じようなところ、即ち主として一般家庭の台所等であって、行動様式などに関してもあまり違いがない。そのような場合にありがちなことだが一方が他方を駆逐して分布を拡大していくという歴史が繰り返されたい。ヤマトゴキブリという種は現在では西南日本では滅多に見られない稀種となっているけれどもクロゴキブリがいなかった頃には日本中で今よりはるかにポピュ



ラーな家屋害虫だったのかもしれない。チュンベリーの頃には長崎でもゴキブリと言えばヤマトゴキブリのことであった可能性もあり、そうすると "*Blatta orientalis*" の名で記録されたゴキブリは実はヤマトゴキブリの雌だったと言うことになるのかもしれない。少なくとも今のところ、その可能性を否定する材料はない。

最後に "*Blatta germanica*" 即ちチャバネゴキブリについても再考しておかねばならない。先のクロゴキブリの話の中でも触れたようにチャバネゴキブリも帰化ゴキブリである。北東アフリカが原産地と考えられている。日本にいつ、どのルートで侵入したかという点は明らかにされていない。しかしクロゴキブリと同様、18世紀初頭には少なくとも大阪で活躍していたと考えられる文献記録があるので、その仲間達にチュンベリーが遭遇した可能性は少なくはない。

"*Blatta orientalis*" の場合にはクロゴキブリかヤ

F.J.C.*中の名	左に相当する現在の学名
<i>Blatta orientalis</i>	<i>Blatta orientalis</i>
<i>Blatta germanica</i>	<i>Blatta germanica</i>
<i>Blatta gignatea</i>	<i>Blaberus giganteus</i>

\* F.J.C. ; Fauna Japonica, Continuata

#### <引用文献>

- 朝比奈正二郎 『日本産ゴキブリ類』 中山書店・東京(1991)253p.  
 大貝秀雄(1998) チュンベリーの見た日本の昆虫 てんとうむし(12);p.53-56.  
 佐々治寛之 日本のテントウムシ研究史『テントウムシの自然史』pp.17-23. 東京大学出版会・東京(1998)  
 小西正泰 ゴキブリ：昆虫のフォークロア『虫の文化誌』pp.105-115. 朝日新聞社(1977)  
 小西正泰 チュンベリーの来日と昆虫『日本史の中の動物事典』pp.184-185共著. 東京堂出版(1992)  
 坂口浩平 『図説 世界の昆虫III：南北アメリカ編 I』pp.230-233. 保育社(1980)  
 江崎悌三 Thunberg の動物学上の業績 『江崎

マトゴキブリのどちらかだという結論になったけれども、"*Blatta germanica*" についてもチュンベリーが実際に見た可能性のある種としてチャバネゴキブリの他にもう1種の有力候補が存在する。その名をモリチャバネゴキブリ (*Blatta nipponica* Asahina) といい、外観からはチャバネゴキブリとの区別が極めて困難な野外性の種である。本種は平地の畑地など人家周辺にも生息するし、丘陵地の落ち葉の下などでもよく見られるものだ。チュンベリーが "*Blatta germanica*" として記録した種はチャバネゴキブリ・モリチャバネゴキブリのどちらであってもおかしくない。むしろ特定するのは極めて困難だ。両者を別個に観察する機会を持ち、それらが同一種だと判断した上で "*Blatta germanica*" の名で一括して記録した可能性さえあるように思われる。

締めくくりとして本稿の結論を表の形でまとめておく。

チュンベリーが実際に見たと推定される種
<i>Peripaneta fuliginosa</i> クロゴキブリ
<i>Periplaneta japonica</i> ヤマトゴキブリ
<i>Blatta germanica</i> チャバネゴキブリ
<i>Blatta nipponica</i> モリチャバネゴキブリ
<i>Rhabdoblatta guttigera</i> マダラゴキブリ

- 悌三著作集 第一巻』pp.17-24. 思索社・東京(1984)  
 西村三郎 ニッポンへの道『リンネとその使徒たち 探検博物学の夜明け』pp.193-276. 人文書院(1989)  
 石井象二郎 『ゴキブリの話 よみもの昆虫記』北隆館(1976)193p.  
 Thunberg,C.P. : 山田珠樹訳注『ツンベルグ日本紀行』東京駿南社(1928)  
 Thunberg,C.P.(1822) Fauna Japonica. (チュンベリー研究資料1953中の複製)  
 Thunberg,C.P.(1823) Fauna Japonica, Continuata (ibid.).

## 兵庫県のシャチホコガ(1)

兵庫県産蛾類分布資料・13

高島 昭

シャチホコガ科の蛾は比較的同定が容易で、兵庫県の蛾のうちではデータがよく集積されていると思われる。しかし、県下のシャチホコガをまとめたものはあまりなく、遠山ら(1975)らによる「兵庫県の蛾(1)シャチホコガ科」(きべりはむし4(1/2), p.26-37)が唯一のものと思われる。それ以後、かなり多数の記録が発表されていることから、未発表データを含めた現時点での兵庫県のシャチホコガの分布状況のまとめを試みた。掲載した記録は1999年9月30日現在で入手できた資料に基づいている。種名のあとに記した( )書きの数字はカタログ番号である。

本稿はかなり長文となるので2回に分割して掲載する。

なお、相坂耕作氏、近藤伸一氏、柴田 剛氏には文献の紹介、御恵与、貴重な採集記録の提供等を賜った。また、山本義丸氏には常日頃から記録の照会や近隣地域における記録の状況をはじめ、分類学上の様々な御助言をいただくとともに本稿を草するにあたり多くの御教示を賜った。未筆ながら厚く御礼申し上げる。

### 凡 例

データの記載方法は次のとおりである。

市町名(採集地名,日,月,年,頭数,性別,採集者名,文献記録の場合は文献番号)

文献は通し番号(著者アルファベット順)をつけて巻末に一括表示した。文献番号がないものは未発表記録である。

文献による記録は原則として原記載のとおりであるが次の場合はデータの加工をおこなっていることをお断りしておく。

1) 地名について：国土地理院発行の50,000分の1地形図に準拠した(姫路市広峰山→広嶺山, 竜野市→龍野市など)。また、文献中の採集記録には公園名や学校名などの固有名詞が挙げられているものが多いが、これらはそれが位置する地名(集落名)に統一した(例：波賀町引原ダム→波賀町引原, 西脇高校黒田庄分校→黒田庄町喜多など)。

町村合併等で行政区分が変更されている場合は現在の表記に合わせている(例：久崎村→上月町, 篠山町→篠山市など)。

2) データについて：文献データのうち採集地名、採集日、頭数、性別が不明のものは「-」で表示した。ただし、原記載に具体的なデータが示されていないなくても文献中の解説文等から判断できるものは記載している。

3) 採集者名について：データに採集者名が記載されていない場合、文献の発表者が採集したと判断できる場合はその発表者を、文献の発表者が複数の場合は「○○(代表者名)ほか」とした。全く不明の場合は「-」を表示した。

### シャチホコガ科 NOTODONTIDAE

シャチホコガ科は日本で121種が記録されているが、落葉広葉樹林に分布の中心をもつ冷温帯性の種が多く、温帯林の中心樹種であるブナ、コナラ属、カエデ類、トチノキ、ヤナギ類を食樹とする種が多いのが特徴である。そのため、シャチホコガ科の県内での分布を見ると、種類数は山地帯に豊富であり、400-500m以上の山地帯でのみ採集されている種は33種にもよる。反面、平地から低山地のみで見られるものはタカサゴツマキシヤチホコ、ノヒラトビモンシャチホコ、シノノメシャチホコ、クシヒゲシャチホコの4種のみである。

兵庫県全体では89種の記録がある(1999年9月現在)が、そのうちクロツマキシヤチホコについては記録に疑問があり、本県に確実に分布していることが確認できるまで保留したい。したがって、本稿では88種を県産シャチホコガとして掲載する。

地域別に確認された種類数を見ると、神戸市53種、阪神52種、中東播南部24種、中東播北部23種、西播南部44種、西播北部72種、南但62種、北但30種、丹波45種、淡路北部13種、淡路南部21種であり、西播北部から但馬にかけてのいわゆる中国山地東部地域には種類数、個体数ともに多い。例えば、波賀町音水・引原地域では68種と県下で産するシャチホコガの約7割を産するのをはじめ、波賀町坂の谷では38種、氷ノ山では33種、関宮町の福定では49種が記録されている。山地が多く自然が残っている北但地域で少ないのは、調査が行き届いていないため、今後の調査次第ではかなりの種類数が確認されるに違いない。

蛾の中ではシャチホコガ科の蛾相は比較的解明されているといえるが、なお充分調査が行き届いているとは思えない。最近になってクシヒゲシャチホコ、アマギシャチホコ、シーベルスシャチホコの3種が新たに確認されており、今後さらに種類数が増えることが期待される。隣の岡山県からは89種が報告されているが、そのうちモクメシャチホコ、スジモクメシャチホコ、トリゲキシャチホコ、ウスグロシャチホコ、ゲンカイハガタシャチホコ(\*)、クワヤマエグリシャチホコ、ウスヅマシャチホコ、エゾクシヒゲシャチホコ(\*)の8種(\*)はデータが示されていないものは、兵庫県からは確認されていないものである。詳しい調査によってこれらが発見される可能性は高く、さらに種類数が増える可能性がある。

### 1. *Tarsolepis japonica* Wileman & South (3072)

#### ギンモンズメモドキ

翅型、体型ともスマートでズメガに一見よく似ているのでこの名がある。関東以西に分布している。カエデ類を食樹としており、山地の溪谷が主な生息域と思われる。食樹さえあれば低山地の溪谷添いにも分布するが、県内ではやや局地的な分布をしているようでどこでも採集できるわけではない。とくに、淡路地域からは記録がない。六甲山から北摂地域には産地が多いようである。

#### 【採集記録】

神戸市(有馬,29.VI.1958,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
宝塚市(武庫川町,9.VIII.1984,-,新家勝<sup>18</sup>:西谷西部,18.VI.1977,1♂;8.VIII.1987,1♂,東正雄<sup>22</sup>:武田尾,12.VIII.1991,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
波賀町(引原,27.VII.1973,1♂;22.VI.1974,1♂;13.VII.1974,2♂,-<sup>36</sup>:同,9.VII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>:坂の谷,26.VI.1998,1♂,高島昭:同,24.VII.1998,1♂,高島昭)  
三室山(-,-,-,遠山ほか<sup>14</sup>)  
出石町(弘原,1.VIII.1975,-,大林誠<sup>20</sup>)  
大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭)  
関宮町(福定,1.VIII.1979,1ex.,芦田久<sup>1</sup>)  
氷ノ山(-,-,-,山本義丸<sup>41</sup>)  
市島町(妙高山,27.VII.1953,-,山本義丸<sup>40</sup>)

### 2. *Stauropus fagi* (Linnaeus) (3074)

#### シャチホコガ

北海道から九州、対馬、屋久島に分布する普通種で、年2回発生し多食性である。県下にも広く分布するが、東播から中播北部、淡路北部の各地域からの記録を欠く。おそらく調査不足によるものと思われ、県下全域に普遍的に産するものと思

われる。

#### 【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃<sup>31</sup>:藍那,23.VI.1970,1♂,-<sup>36</sup>)  
宝塚市(西谷西部,23.VI.1979,1♂,東正雄<sup>22</sup>:千刈,3.IX.1991,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
川西市(黒川,29.V.1997,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>:三草山,18.VI.1971,1♂,-<sup>36</sup>)  
姫路市(太市,23.IV.1995,1♂1♀,高島昭)  
安富町(大河溪谷,19.VI.1999,1♀,高島昭)  
波賀町(引原,18.V.1974,1♂;12.VIII.1974,1♂,-<sup>36</sup>:同,28.IV.1988,1ex.;15.VI.1988,1♀;18.VI.1988,1♀;9.VIII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>)  
相生市(瓜生,29.V.1997,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
南光町(船越,23.VIII.1963,1ex.,岡本清)  
三日月町(下本郷,-IV,-;-V,-;-VI,-;-VII,-;-VIII,-;-IX,-,-,川副昭人<sup>6</sup>)  
豊岡市(正法寺,12.IV.1998,1♀,柴田剛)  
朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>)  
大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♂,高島昭)  
関宮町(氷ノ山,-,-,1955,-,山本義丸<sup>39</sup>:福定,7.VII.1973,1♂,-<sup>36</sup>)  
柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)  
南淡町(灘,13.VI.1970,-,藤平明<sup>2</sup>)

### 3. *Neostauropus basalis* (Moore) (3077)

#### ヒメシャチホコ

北海道から九州、対馬に分布する普通種。年2回発生し、ハギ類を食べることが知られている。県内では普遍的に記録が見られるが、北但地域からは記録がない。多分調査不足によるものと思われる。

#### 【採集記録】

神戸市(六甲山,-,-,1933,-,堀江聡男<sup>37</sup>:摩耶山,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>:同,-,-,-,田中蕃<sup>31</sup>:山の街,5.VIII.1973,1♂,-<sup>36</sup>)  
西宮市(生瀬,13.VI.1970,1♂,-;同,23.VII.1970,1♀,-<sup>36</sup>)  
宝塚市(武庫川町,9.IX.1979,-,新家勝<sup>18</sup>:西谷西部,13.VI.1987,1♂;25.VI.1977,1♂;17.VI.1989,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
川西市(黒川,7.VI.1997,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♀;12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
黒田庄町(喜多,27.IV.1959,1ex.,岡本清:同,28.IV.1959,1ex.,岡本清:同,1.V.1959,1ex.,岡本清:同,4.V.1959,1ex.,岡本清:同,11.V.1960,1ex.,岡本清:同,2.V.1961,1ex.,岡本清:同,7.V.1961,1ex.,岡

本清)

姫路市(西庄,13.V.1982,1♂,相坂耕作)  
 波賀町(引原,18.V.1974,1♂; 1.VI.1974,1♂,<sup>36</sup>; 同,  
 16.V.1988,1♂; 26.V.1988,1♂; 7.VI.1988,1♂;  
 25.VII.1988,1♀,高島昭<sup>23</sup>)  
 三日月町(下本郷,-IX,-,-,川副昭人<sup>6</sup>)  
 関宮町(福定,1.VIII.1979,1ex.,芦田久<sup>1</sup>)  
 氷上郡(-,-,-,山本義丸<sup>40</sup>)  
 津名町(大町畑,3.V.1972,3♂; 5.V.1972,3♂,登日邦  
 明<sup>33</sup>)  
 南淡町(阿万上町,11.VI.1961,-,藤平明<sup>3</sup>)

4. *Palaeostauropus obliterated* (Wileman & South)  
 (3078) ゴマダラシャチホコ 注目種

関東南部から九州に分布し、夏に1回の発生が知られているが全国的に個体数は少ないようである。幼生期は未知である。県下では波賀町引原ダムで得られているだけである。局地的な分布をしているのかどうか、西播から但馬にかけての山地帯を調査してみる必要がある。

[採集記録]

波賀町(引原,12.VIII.1974,1♂,<sup>36</sup>; 同,10.IX.1987,  
 1♀,高島昭<sup>23</sup>)

5. *Syntypistis pryeri* (Leech) (3079)

プライアアオシャチホコ

別名スギタニアオシャチホコ。北海道から九州にかけて分布し、クヌギが食樹として知られているが、ウバメガシも食樹になるという(中村,杉,1989,蛾類通信156,p.86.)。普通種ではあるが、県内の分布は南東部、中央部と淡路に限られており、やや特異的である。県下のクヌギの分布には偏りがあり、淡路や阪神地方では多いが、南西部では少なく、但馬では植栽以外にはほとんど稀であるという。クヌギが少ないところではアベマキが代替種となっており、またクヌギを食べる蛾はそのような所ではアベマキを代替食として利用することが多いが、この蛾の県下の分布はクヌギの分布状況と見事に合致しているように思われる。

なお、宝塚市の記録は「宝塚の昆虫(III)」にプナアオシャチホコとして記録されていたものであるが、本種との誤同定と思われるので参考記録として掲載する(プナアオシャチホコの項参照)。

[採集記録]

神戸市(藍那,19.V.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 20.VIII.1982,  
 1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 黒田庄町(喜多,26.IV.1962,1ex.,岡本清)  
 波賀町(引原,1.VI.1974,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>; 同,5.VIII.

1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>)

氷ノ山(-,-,-,-<sup>14</sup>)

北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>35</sup>)  
 洲本市(中津川,3.VII.1972,1♂; 11.VIII.1972,1♂,登  
 日邦明<sup>35</sup>)  
 南淡町(阿万上町,10.IV.1983,-; 11.VIII.1986,-,藤平  
 明<sup>3</sup>)

[参考記録]

宝塚市(西谷西部,16.VI.1977,1♂,東正雄<sup>22</sup>)

6. *Syntypistis japonica* (Nakatomi) (3080)

アオシャチホコ

東北から九州にかけて分布し、エゴノキを食樹としている。前翅中室内に白色小点を表すことが多く、本種の識別点となる。年2回発生し、各地に普通に見られるが、東播、中播北部、北但、淡路からは記録がない。

[採集記録]

神戸市(藍那,19.V.1969,1♂,<sup>36</sup>)  
 川西市(新滝,3.V.1972,1♂,<sup>36</sup>; 黒川,10.VIII.1996,  
 1♂; 12.X.1996,1♂; 29.V.1997,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,  
 1♂; 12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>; 三草山,18.VI.  
 1971,1♂,<sup>36</sup>)  
 姫路市(広嶺山,13.V.1982,1♂,相坂耕作)  
 安富町(大河溪谷,7.V.1999,1♂,高島昭)  
 一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,2♂,遊磨正秀<sup>48</sup>)  
 波賀町(引原,8.VI.1974,1♂1♀; 12.VIII.1974,1♀;  
 8.V.1977,1♂; 22.VI.1977,3♂; 3.V.1979,1♂,遊  
 磨正秀<sup>48</sup>; 同,9.VIII.1988,1♂; 20.VIII.1988,2♂,  
 高島昭<sup>23</sup>; 坂の谷,12.VI.1998,1♂,高島昭)  
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♂; 7.VI.1989,1♂; 30.VI.  
 1989,1♂,高島昭<sup>24</sup>; 同,29.V.1997,1♂,高島昭)  
 三日月町(下本郷,-IV,-,-; -V,-,-; -VI,-,-; -VII,-,-  
 ; -VIII,-,-,川副昭人<sup>6</sup>)  
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂,遊磨正秀<sup>48</sup>)  
 大屋町(横行溪谷,2.V.1999,1♂,高島昭; 同,8.V.  
 1999,1♂,高島昭)  
 関宮町(福定,4.VIII.1979,1ex.,芦田久<sup>1</sup>; 同,-,-,  
 1954,-,山本義丸<sup>38</sup>)  
 柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)  
 市島町(妙高山,-,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

7. *Syntypistis cyanea* (Leech) (3082)

オオアオシャチホコ

東北から九州にかけてと対馬、屋久島、伊豆諸島に分布する。アオシャチホコとよく似ているが、前翅に金属様緑色鱗片が発達し、翅表中央には暗色部分を残す個体が多い。アオシャチホコよりや

や高標高地に多いというが、県下では低山地で混生している地域も多い(猪名川町、三日月町、一宮町、波賀町)。アオシヤチホコに比べると、やや産地が限定される傾向にある。

【採集記録】

宝塚市(西谷西部,18.VI.1988,2♂; 20.VII.1991,1♂, 東正雄<sup>22)</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか<sup>9)</sup>)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭<sup>20)</sup>)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,6♂1♀,遊磨正秀<sup>49)</sup>)

波賀町(音水,10.VIII.1987,1ex.,高島昭<sup>23)</sup>: 引原,18.V.1974,1♂; 2.VIII.1974,1♀,遠山ほか<sup>36)</sup>: 同,22.VI.1974,1♂; 29.VI.1974,1♂; 2.VI.1975,1♂; 22.VI.1977,1♂; 3.V.1979,1♂,遊磨正秀<sup>48)</sup>: 同,9.VII.1988,1♂; 1.IX.1988,1♀,高島昭<sup>23)</sup>: 坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-.,川副昭人<sup>6)</sup>)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,4♂,遊磨正秀<sup>50)</sup>: 横行溪谷,17.IV.1999,1♂,高島昭)

氷ノ山(-.-.-,1<sup>4)</sup>)

8. *Syntypistis punctatella* (Motschulsky) (3083)

ブナアオシヤチホコ

北海道南部から九州にかけてのブナ帯に分布する。ブナ、イヌブナを食するため、県下での産地も限られる。三日月町下本郷での記録があるが、最も近いブナ類の分布地は相生市の三濃山(イヌブナ)であると思われる。直線距離で数キロ離れており、飛来したものか、未知のイヌブナの分布地があるのか、いずれにしても再確認が必要と思われる。

そのほか宝塚市西谷西部からも記録がある<sup>22)</sup>が、これは掲載されている写真がプライヤアオシヤチホコ(♀)であり、誤同定の可能性が強いため本種の記録として掲載を見合わせた。

【採集記録】

妙見山(26.VIII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>9)</sup>)

波賀町(引原,8.VI.1974,1♂; 22.VI.1974,1♂,遠山ほか<sup>36)</sup>: 坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭: 同,27.V.

1998,3♂,高島昭: 同,19.VIII.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VIII.-.,川副昭人<sup>6)</sup>)

温泉町(扇ノ山,3.V.1985,1♂1♀,足立義弘<sup>32)</sup>)

大屋町(横行溪谷,28.V.1999,1♀,高島昭)

関宮町(氷ノ山,-.-.-,山本義丸<sup>41)</sup>)

9. *Cnethodonta grisescens* Staudinger (3087)

バイバラシロシヤチホコ

日本産の *Cnethodonta* 属は、1970年代になって2種が混在していることが判明し次種と分離され

た。日本各地に分布し、沿海州から中国、台湾にも分布する。県下では次種より広範に生息し、ほぼ全域で採集されている。平地から山地まで垂直分布も広い。本種が未記録の神戸や中東播北部からも見つかると思われる。多食性で種々の広葉樹を食樹とするが、次種と正確に幼虫の区別がなされていないという。和名は台湾の地名眉原にちなんだものである。

【採集記録】

宝塚市(武田尾,3.IX.1991,1♂,東正雄<sup>22)</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>9)</sup>)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭<sup>20)</sup>)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>49)</sup>)

波賀町(引原,18.V.1974,4♂,遠山ほか<sup>36)</sup>: 同,18.VI.1988,1♀; 25.VII.1988,1♂,高島昭<sup>23)</sup>: 坂の谷,

15.V.1998,1♂,高島昭: 同,5.VI.1998,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,7.VI.1989,1♂; 17.VI.1989,2♂; 7.VII.

1989,1♂,高島昭<sup>24)</sup>)

上郡町(行頭,7.IX.1995,1♂,高島昭<sup>25)</sup>)

南光町(船越,5.VIII.1963,1ex.,岡本清)

三日月町(下本郷,-.VI.-.; -.VI.-.; -.VII.-.,川副昭

人<sup>6)</sup>)

豊岡市(正法寺,25.VI.1998,2♂,柴田剛)

竹野町(森本,23.VIII.1998,1♂,柴田剛)

温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,1♀,谷田昌也<sup>32)</sup>: 同,25.VIII.1984,1♂,川副昭人<sup>32)</sup>)

関宮町(福定,17.VII.1972,1♂; 23.VII.1973,2♂,遠山ほか<sup>47)</sup>)

市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸<sup>44)</sup>)

青垣町(神楽,-.-.-,山本義丸<sup>44)</sup>)

10. *Cnethodonta japonica* Sugi (3088)

シロシヤチホコ

日本特産種で年2回出現し、前種より山地性。県内でも既知産地は西播北部から南但にかけての山地に限られているが、生息地での個体数は多い。古い記録は前種と混同されている可能性がある。

【採集記録】

安富町(大河溪谷,29.V.1999,1♂,高島昭)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,2♂,遊磨正秀<sup>49)</sup>)

波賀町(原,28.VII.1995,1♂,高島昭: 引原,18.VII.

1973,1♂; 1.VII.1974,2♂,-<sup>36)</sup>: 同,5.IX.1987,1ex.;

15.VI.1988,1♂; 9.VII.1988,1♂; 25.VII.1988,1♂; 29.VII.1988,1♂1♀,高島昭<sup>23)</sup>: 坂の谷,15.

V.1998,1♂,高島昭: 同,24.VII.1998,1♂,高島昭)

三室山(-.-.-,遠山ほか<sup>14)</sup>)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂; 31.VII.1975,3♂,遊磨正秀<sup>46)</sup>)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,2♂,遊磨正秀<sup>50</sup>: 横行  
溪谷,8.V.1999,1♂,高島昭: 同,15.V.1999,1♂,高  
島昭)

関宮町(福定,26.VII.1974,1♂,<sup>36</sup>: 氷ノ山,23.VII.  
1954,2♂,山本義丸<sup>43</sup>)

#### 11. *Shachia circumscripta* (Butler) (3089)

ニッコウシャチホコ 注目種

北海道から九州にかけて分布し、年2回発生す  
る。オニグルミ、サワグルミを食樹とするため、  
溪谷地帯が主要な分布域となる。

前翅の緑色が美しい種だが、県下では産地は限  
られており、現在のところ波賀町、温泉町、大屋  
町で記録されているだけである。氷ノ山を中心と  
する西播北部から但馬地域にかけての山地帯で見  
つかると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,18.VII.1973,1♂; 29.VI.1974,1♂,遠山  
ほか<sup>36</sup>: 同,2.VII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>: 坂の谷,  
15.V.1998,2♂,高島昭: 同,27.V.1998,1♂,高島  
昭)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,2♂,谷田昌也<sup>32</sup>)

大屋町(氷ノ山,-,VII.1957,-,山本義丸<sup>41</sup>: 横行溪谷,  
4.VI.1999,1♂,高島昭: 同,6.VII.1999,1♀,高島  
昭)

#### 12. *Cerura erminea* (Moore) (3091)

オオモクメシャチホコ

日本各地に分布し、小豆島にも生息している。  
年2回の発生でヤナギ類を食樹とすることが知ら  
れている。県下での記録はやや限られており、現  
在まで下記の6カ所のみであるが、宝塚市では市  
街地で採集されている。ヤナギの多い河川流域を  
調査すればもっと産地はみつかると思う。

なお、本種に近縁なモクメシャチホコ *C.vinula*  
(Linnaeus) は県下から記録がない。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,3.IX.1960,-,森 博<sup>13</sup>: 同,-,VI.  
1970,1♂,<sup>36</sup>)

宝塚市(武庫川町,22.VI.1981,-,新家勝<sup>17</sup>)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂; 29.VI.1974,2♂; 13.  
VII.1974,1♂,<sup>36</sup>: 同,2.VII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-,川副昭人<sup>6</sup>)

関宮町(福定,1.VIII.1979,1ex.,芦田久<sup>1</sup>)

市島町(妙高山,20.VI.1955,-,山本義丸<sup>40</sup>)

#### 13. *Cerura tattakana* Matsumura (3092)

タツカモクメシャチホコ 注目種

暖地性の蛾で、伊豆半島以西の太平洋側から南

西諸島にかけてが主な分布域で、宮城県、群馬県、  
長野県下伊那地方に孤立した産地が知られる。暖  
地性とはいっても山地の樹林帯を好むようで、い  
ずれの地でも局地的な分布をする。県内では今の  
ところ波賀町引原ダムが唯一の産地である。同地  
では時々採集されており、土着していると思われ  
るが、周辺地域からは記録がなく調査が必要であ  
る。年2回の発生と思われる。幼虫はイイギリを  
食べることが知られている。

【採集記録】

波賀町(引原,-,VI.1971,1♂,相坂耕作: 同,8.VI.  
1974,1♂; 29.VI.1974,1♂,<sup>36</sup>: 同,18.VI.1988,  
1♀; 26.VI.1988,1♀,高島昭<sup>23</sup>)

#### 14. *Furcula bicuspis* (Borkhausen) (3093)

ホシナカグロモクメシャチホコ 注目種

北方系の種で、千島、北海道から本州にかけて  
分布するが、本州の南西限は岡山県である。徳島  
県の剣山に孤立した産地が知られる。西南日本で  
は分布は高地に限られるようで、県内では永らく  
氷ノ山での古い1例の記録があるだけであったが、  
筆者は最近大屋町で確認している。しかし、分布  
域は比較的狭いものと思われる。ヤナギ類を食し、  
年1回7月に出現する。

【採集記録】

大屋町(横行溪谷,3.IX.1999,1♀,高島昭)  
氷ノ山(-,-,-,-,1<sup>4</sup>)

#### 15. *Furcula furcula* (Moore) (3094)

ナカグロモクメシャチホコ

日本各地に分布する。各種ヤナギ類やポプラを  
食樹とし、年2回発生する。県内での記録は次の  
9市町でやや少ないが、その中心は低山地である。  
東播から西播にかけての南部地域、北但からの記  
録が見られない。普遍的に分布しているものと思  
われ、記録の集積が望まれる。

【採集記録】

神戸市(藍那,29.IV.1969,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(武庫川町,6.V.1979,-,新家勝<sup>16</sup>)

黒田庄町(喜多,11.IV.1959,1ex.,岡本清: 同,15.IV.  
1959,1ex.,岡本清: 同,21.IV.1959,1ex.,岡本清:  
同,13.IX.1960,1ex.,岡本清)

波賀町(引原,6.VI.1974,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

関宮町(福定,24.VI.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

津名町(大町畑,29.VI.1972,1♂; 30.VI.1972,1♀,登  
日英樹<sup>33</sup>: 同,5.V.1972,1♂,登日邦明<sup>33</sup>)

洲本市(-,25.V.1969,-,坂口操<sup>15</sup>)

南淡町(阿万上町,14.IV.1961,-,藤平明: 同,13.

IX.1986,-,藤平明<sup>3</sup>)**16. *Harpyia umbrosa* (Staudinger) (3095)**

ギンシャチホコ

前翅を中心に銀色の鱗粉をちりばめ、真珠のような光沢があり渋い美しさがある。温帯林の蛾で日本各地に分布し、各地に普通に産する。年2回発生し、コナラ属を食樹とする。

県内では平地から山地まで普通に見られる。記録のない北但、淡路北部にも分布しているだろう。【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃<sup>31</sup>:同,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>:山の街,21.V.1970,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(西谷西部,14.V.1977,4♂; 22.VI.1985,1♀; 13.VI.1987,1♂; 27.VI.1987,1♂; 18.VI.1988,1♂,東正雄<sup>22</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

黒田庄町(喜多,24.VI.1960,1ex.,岡本清)

姫路市(広嶺山,22.VI.1996,1♀,高島昭<sup>26</sup>:西庄,13.V.1982,1♂,相坂耕作:太市,-,-,1991,-,丸谷ほか<sup>9</sup>)

波賀町(引原,5.VII.1973,1♀; 22.VI.1974,1♂; 29.VI.1974,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>:同,15.VI.1988,1♀; 16.VII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>)

三室山(-,-,-,遠山ほか<sup>14</sup>)

上郡町(行頭,2.VI.1995,1♂,高島昭<sup>25</sup>:黒石,22.VII.1984,1♂,相坂耕作)

三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VII.-; -.VIII.-,川副昭人<sup>6</sup>)

大屋町(横行溪谷,11.VI.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

南淡町(阿万上町,26.V.1987,-,藤平明<sup>3</sup>)

**17. *Wilemanus bidentatus* (Wileman) (3098)**

モンクロギンシャチホコ

岩手県以南の本州と四国、九州に産し、関東以北では局地的だが、西南日本ではそれほど珍しいものではない。ナシ、ザイフリボク等バラ科を食することが知られている。県下では平地から低山地で得られている。北但や淡路北部からも得られると思われる。この種も年2回の発生である。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>:藍那,12.VI.1963,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(武庫山,9.VII.1968,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>:美座2丁目,12.VIII.1978,-,新家勝<sup>22</sup>:西谷西部,22.VIII.1987,1♂; 20.VIII.1988,-,東正雄<sup>22</sup>)

川西市(花屋敷,18.IX.1938,1♂; 14.V.1939,1♀,東

正雄<sup>22</sup>:黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭<sup>27</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,1♂; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

黒田庄町(喜多,29.VI.1959,1ex.,岡本清:同,29.VI.

1962,1ex.,岡本清:同,7.VII.1962,1ex.,岡本清)

姫路市(太市,-,-,1991,-,丸谷ほか<sup>9</sup>:同,28.VI.

1995,1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-,川副昭人<sup>6</sup>)

柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

南淡町(灘,23.VIII.1971,-,藤平明<sup>2</sup>)

**18. *Uropyia meticulodina* (Oberthür) (3099)**

ムラサキシヤチホコ

日本各地に生息するが、オニグルミを食樹としているため、山地の渓谷沿いや河川流域がその発生地となっているものと思われる。おそらく年2回発生とされているが、県下の採集記録を見ると5月と8月に多く採集されており、年2化と見てさしつかえないであろう。県内各地で採集されているが、食樹の分布に左右されるためどこでも得られるというものではないようだ。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,2.VIII.1968,1ex.,岡村八郎<sup>12</sup>:藍那,1.VII.1958,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(武田尾,16.VI.1990,-,新家勝<sup>22</sup>:同,13.VII.1991,1♂,東正雄<sup>22</sup>)

三田市(香下,3.IX.1991,1♀,東良雄<sup>22</sup>)

黒田庄町(喜多,18.V.1961,1ex.,岡本清)

波賀町(引原,8.VI.1974,2♂1♀,遠山ほか<sup>36</sup>:同,16.V.1988,1♂:7.VI.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>)

相生市(瓜生,13.V.1989,1♂,高島昭<sup>24</sup>)

上郡町(行頭,2.V.1995,1♂,高島昭<sup>25</sup>)

三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VIII.-; -.IX.-,川副昭人<sup>6</sup>)

上月町(円光寺,5.V.1971,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>)

竹野町(森本,26.VIII.1998,1♂,柴田剛)

大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,4.VIII.1979,1ex.,佐藤学<sup>1</sup>:氷ノ山,-,1955,-,山本義丸<sup>39</sup>)

柏原町(柏原,25.V.1954,1♂,山本義丸<sup>44</sup>)

北淡町(伊勢の森,5.VIII.1972,1♀,登日邦明<sup>35</sup>)

洲本市(中津川,11.VIII.1972,1♂; 15.VIII.1972,1♂,登日邦明<sup>35</sup>)

南淡町(阿万,5.VI.1968,-,藤平明<sup>2</sup>:阿万上町,5.

VI.1970,-,藤平明<sup>3</sup>:同,10.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>35</sup>:灘,30.V.1968,-,藤平明<sup>2</sup>)

19. *Fentonia ocypte* (Bremer) (3100)

## ホソバシャチホコ

全国的に産出し年2回の発生で、コナラ属を食樹とする。常緑のカシ類にも幼虫が見出され、食性は広い。県下ではシャチホコガ科中の最普通種で、平地から山地まで広く分布し、個体数も多く灯火によく飛来するので見かける機会も多い。前翅の模様には個体変異が大きい。

## 【採集記録】

神戸市(六甲山,-,1933,-,堀江聡男<sup>37</sup>:摩耶山,-,-,-,田中蕃<sup>31</sup>:同,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>:山の街,4.VIII.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(武庫川町,15.VIII.1981,-,新家勝<sup>17</sup>:西谷西部,26.VI.1977,1♂;22.VI.1985,1♂;13.VI.

1987,1♂;27.VI.1987,1♂;9.VIII.1987,1♀;6.VIII.1988,-;20.VIII.1988,-,東正雄<sup>22</sup>:武田尾,2.VI.1987,1♂;13.VII.1990,1♂;8.VII.1991,1♂;13.VII.1991,1♂,東正雄<sup>22</sup>)

川西市(鼓ヶ滝,-,VIII.1968,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>:黒川,13.VII.1996,2♂,高島昭<sup>27</sup>:同,10.VIII.1996,1♂,近藤伸一<sup>27</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂;21.VII.1982,2♂;12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

黒田庄町(喜多,9.VI.1960,1ex.,岡本清:同,24.VI.

1960,1ex.,岡本清:同,3.X.1960,1ex.,岡本清)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭<sup>28</sup>:太市,31.V.1995,1♀,高島昭)

夢前町(-,19.VII.1972,3♂,相坂耕作)

安富町(大河溪谷,29.V.1999,1♀,高島昭)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,目,遊磨正秀<sup>49</sup>)

波賀町(音水,10.VIII.1987,1ex.,高島昭<sup>23</sup>:引原,27.VII.1973,2♂2♀,遠山ほか<sup>36</sup>:同,11.VIII.1987,1♀;9.VII.1988,3♀;25.VII.1988,1♀,高島昭<sup>23</sup>:鹿伏,18.VIII.1995,1♂,高島昭)

三室山(-,-,-,遠山ほか<sup>14</sup>)

上郡町(行頭,26.V.1995,2♂,高島昭<sup>25</sup>:黒石,22.VII.1984,1♂,相坂耕作)

佐用町(佐用,24.VI.1967,1♀,相坂耕作)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-; -,VII.-,-; -,VIII.-,-; -,IX.-,-,川副昭人<sup>6</sup>)

豊岡市(山本,31.V.1973,-;14.VI.1973,-,山根政之<sup>20</sup>:正法寺,30.VII.1997,1♀,柴田剛:同,12.VIII.1998,1♀,柴田剛)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>)

和田山町(久世田,7.V.1998,1♀,柴田剛)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀<sup>50</sup>:横河溪谷,23.VII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,2♂;26.VII.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>:氷ノ山,-,1954,-,山本義丸<sup>39</sup>)

氷上郡(-,-,-,山本義丸<sup>40</sup>)

北淡町(伊勢の森,5.VIII.1972,1♂1♀,登日邦明<sup>34</sup>)  
津名町(大町畑,3.V.1972,1♂;5.V.1972,2♂;1.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>34</sup>)

洲本市(中津川,3.VII.1972,2♂,登日邦明<sup>34</sup>:鮎屋,16.V.1969,-;25.V.1969,-,坂口操<sup>16</sup>:先山,12.

VIII.1976,1ex.,堀田久<sup>5</sup>:三熊山,6.VI.1981,1♀,西岡公明<sup>10</sup>)

三原町(八木養宜,3.VII.1992,-,藤富正昭<sup>41</sup>)

南淡町(阿万上町,10.VII.1972,1♀,登日邦明<sup>34</sup>:同,10.VI.1962,-,藤平明<sup>2</sup>:灘,5.VI.1970,-,藤平明<sup>2</sup>)

20. *Mesophalera sigmata* (Butler) (3101)

## クロシタシャチホコ

本州南半から屋久島にかけて分布するやや暖帯性の種で、ツバキを食樹とする。最近、沖縄でも発見された。年2回発生とされている。県下の記録はそれほど多くなく、記録の集積が必要である。とくに関宮町や氷ノ山でも採集されており、案内生息適応性は広いのかもしれない。東播や北但の海岸沿いなどにも分布していると思われる。

## 【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>:有馬,10.VI.1948,1♂,東正雄<sup>22</sup>:山の街,10.VII.1967,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

相生市(瓜生,24.VII.1997,1♀,高島昭<sup>28</sup>)

上郡町(黒石,22.VII.1984,1♂1♀,相坂耕作)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-,川副昭人<sup>6</sup>)

関宮町(福定,26.VI.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

氷ノ山(-,-,-,山本義丸<sup>42</sup>)

氷上郡(-,-,-,山本義丸<sup>40</sup>)

北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,2♂,登日邦明<sup>35</sup>)

洲本市(中津川,3.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>35</sup>)

21. *Disparia variegata* (Wileman) (3102)

## ホソバネグロシャチホコ

新潟・福島以南の分布で、南西諸島まで記録がある。食樹は常緑樹のヒサカキで暖帯性の種であるといえる。年2回発生である。県下での記録はやや少なく、中・東播、淡路地域からの記録が見当たらない。低山地を中心に広く分布すると思われる。

## 【採集記録】

神戸市(山の街,21.VII.1972,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>)

猪名川町(上阿古谷,19.VIII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

上郡町(行頭,26.V.1995,1♂;23.VI.1995,1♂,高島昭<sup>25</sup>)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-,川副昭人<sup>6</sup>)



豊岡市(山本,2.VI.1973,-,山根政之<sup>20</sup>)  
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>40</sup>)  
 柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)  
 市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

## 22. *Neodrymonia delia* (Leech) (3106)

### フタジマネグロシャチホコ

日本特産種で、青森県を北限とし九州まで産する。年2回の発生でサワフタギを食樹とする。

県下では採集記録が少なく、神戸・阪神地域と西播北部、氷ノ山から鉢伏山にかけての高原地帯にいくつかの記録があるに過ぎない。食樹の分布によることもあるが、個体数そのものが少ないのかもしれない。

#### [採集記録]

神戸市(山の街,6.VII.1964,1♂,遠山ほか<sup>30</sup>)  
 宝塚市(西谷西部,18.VI.1988,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,3♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 一宮町(福知渓谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>40</sup>)  
 波賀町(引原,12.VIII.1974,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 鉢伏山(-,-,-,-<sup>14</sup>)  
 関宮町(福定,8.VII.1973,1♂; 23.VI.1973,5♂,遠山ほか<sup>30</sup>)  
 氷ノ山(-,-,-,-,山本義丸<sup>41</sup>)

## 23. *Eufentonia nihonica* (Wileman) (3108)

### オオネグロシャチホコ 注目種

日本の特産種で、新潟・関東以西の西南日本に分布する。年2回の発生で、ナツツバキ、ヒメシヤラが食樹として知られているが、これらの植物の分布はやや局地的であるため、本種の分布も限られる傾向にある。

県下では、わずかに神戸市、宝塚市、波賀町、三室山で記録が見られるにすぎない。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>)  
 宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♀,東正雄<sup>22</sup>; 武田尾,15.VIII.1991,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
 波賀町(引原,27.VIII.1973,1♂1♀; 12.VIII.1974,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>; 同,9.VII.1988,1♂; 9.VIII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>)  
 三室山(-,-,-,-,遠山ほか<sup>14</sup>)

## 24. *Phalera takasagoensis* Matsumura (3109)

### タカサゴツマキシヤチホコ 注目種

別名ヒメツマキシヤチホコ。関東南部以西の本州と四国北部、九州北部、対馬に分布し、やや分布域が狭く局地性が強い。

年1回の出現で、典型的な暖温帯落葉樹林の蛾

である。食樹はクヌギが知られている。本種は高砂市で採集された個体に基づいて記載されており、和名もそれにちなんでいる。県下での記録は高砂市のほか、神戸市、猪名川町、南淡町で採集されているだけであり、現状では局地的で少ない種のようなのである。しかし、山本義丸氏(私信)は少なくとも北摂地域には広く分布している可能性が高いことを指摘されており、クヌギの分布する県南部地域での詳しい調査が望まれる。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,16.VIII.1963,1♂,田中蕃<sup>30</sup>; 同,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 高砂市(原記載)  
 南淡町(灘,23.VIII.1971,-,藤平明<sup>3</sup>)

## 25. *Phalera angustipennis* Matsumura (3110)

### ムクツマキシヤチホコ

別名ホソツマキシヤチホコ。秋田県以南、四国、九州北部、対馬に産する。前種と同様暖温帯林の蛾であるが、前種より普通に見られる。年1回夏に出現し、ムクノキ、アキニレなどニレ科を食樹とする。

県下では、県南部と淡路に記録があり、低山から里山にかけてが分布の中心域である。とくに神戸・阪神地域には広く産するようである。記録のない東播から西播にかけての沿岸部や北但、淡路北部からも見つかるだろう。なお、「宝塚の昆虫(III)」<sup>21</sup>の写真(p.214)はタカサゴツマキシヤチホコの特徴をよく表しており、同書の記録は本種とタカサゴツマキシヤチホコの記録が混じている可能性が高い。少なくとも西宮市では本種ではなくてタカサゴツマキシヤチホコが記録されることになる(ここでは一応本種の記録としてあげた)。

#### [採集記録]

神戸市(有馬,7.VIII.1950,1♂,東正雄<sup>22</sup>; 藍那,16.VII.1966,1♂,遠山ほか<sup>30</sup>; 山の街,16.VII.1966,1♂,遠山ほか<sup>30</sup>)  
 尼崎市(-,17.VIII.1949,-,新家勝<sup>10</sup>)  
 西宮市(甲子園,18.VIII.1950,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
 宝塚市(武庫川町,7.IX.1979,-,新家勝<sup>10</sup>; 宝梅1丁目,16.VIII.1988,1♀,東正雄<sup>22</sup>; 西谷西部,20.VIII.1988,1♀,東正雄<sup>22</sup>; 武田尾,15.VIII.1991,1♀,東正雄<sup>22</sup>)  
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,3♂; 20.VIII.1982,4♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 黒田庄町(喜多,17.VII.1960,2exs.,岡本清)  
 波賀町(引原,9.VII.1988,1♂; 29.VII.1988,1♂,高島

昭<sup>23</sup>)

三日月町(下本郷,-.VI.-.; -.VII.-.; -.VIII.-.; 川副昭人<sup>9</sup>)

柏原町(柏原,-.-.-.; 山本義丸<sup>44</sup>)

南淡町(灘,23.VIII.1971,-.; 藤平明<sup>3</sup>)

## 26. *Phalera assimilis* (Bremer & Grey) (3111)

### ツマキシヤチホコ

日本各地に分布し、*Phalera* 属の中ではモンクロシヤチホコと並んで最も普通種である。コナラ属を食樹とし、年1回の発生である。

県下では平地から山地まで広く産する。東播、中播北部、北但、淡路北部には記録がないが、分布していると思われる。

#### [採集記録]

神戸市(大池,22.VIII.1938,lex.,高橋寿郎<sup>21</sup>: 藍那,7.VII.1967,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>)

川西市(鼓ヶ滝,-.VIII.1968,1♂; 23.VIII.1971,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>: 黒川,13.VII.1996,2♂,高島昭<sup>27</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,10♂; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭<sup>26</sup>: 太市,-.1991,-.; 丸谷ほか<sup>9</sup>)

波賀町(引原,4.VII.1973,1♂; 13.VII.1974,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>: 同,9.VII.1988,1♀,高島昭<sup>23</sup>)

三室山(-.-.-.; 遠山ほか<sup>14</sup>)

相生市(瓜生,22.VIII.1997,1♀,高島昭<sup>28</sup>)

三日月町(下本郷,-.VII.-.; 川副昭人<sup>9</sup>)

関宮町(福定,1.VIII.1979,2exs.,佐藤学<sup>1</sup>)

市島町(妙高山,-.-.-.; 山本義丸<sup>44</sup>)

洲本市(厚浜,9.VIII.1978,-.; 藤富正昭<sup>4</sup>)

三原町(八木養宜,31.VIII.1992,-.; 藤富正昭<sup>4</sup>)

## 27. *Phalera flavescens* (Bremer & Grey)

### (3113) モンクロシヤチホコ

白い翅に黒い紋がある特異な斑紋をもつ種で、日本各地に普通に産する。年1回、夏に出現し、サクラ、ナシ、ズミなどバラ科の樹木につく。幼虫は群生し、とくには大きな被害を与えることもあるという。

県下においても各地に普通で、平地から低山地にかけてを中心に分布は広く普遍的である。これまで記録がない南但地域にも分布しているだろう。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-.; 田中蕃<sup>31</sup>: 同,-.-.-.; 岡村八郎<sup>12</sup>: 山の街,19.VII.1971,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>)

川西市(鼓ヶ滝,-.VIII.1968,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(宝梅1丁目,23.VIII.1976,1♀,東正雄<sup>22</sup>: 美座2丁目,12.VIII.1979,-.; 新家勝<sup>17</sup>: 武庫川町,15.

VIII.1981,-.; 新家勝<sup>17</sup>: 西谷西部,14.VIII.1987,

1♂,東正雄<sup>22</sup>: 寿楽荘,10.VIII.1989,1♀,東正雄<sup>22</sup>)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♀; 12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

高砂市(-.,19.VIII.1965,lex.,岡本清<sup>11</sup>)

黒田庄町(喜多,25.VI.1959,lex.,岡本清)

姫路市(広嶺山,-.1982,-.; 木村三郎<sup>7</sup>)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>: 同,14.

VIII.1979,1♂,相坂耕作: 同,16.VII.1988,1♀; 29.

VII.1988,1♀,高島昭<sup>23</sup>: 原,28.VII.1995,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VIII.-.; 川副昭人<sup>9</sup>)

豊岡市(正法寺,27.VII.1998,1♂,柴田剛)

出石町(-.29.VII.1975,-.; 大林誠<sup>20</sup>)

氷上郡(-.-.-.; 山本義丸<sup>40</sup>)

北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,1♂; 5.VIII.1972,3♀,登日邦明<sup>35</sup>)

洲本市(先山,12.VIII.1976,lex.,堀田久<sup>5</sup>)

三原町(八木養宜,19.VIII.1985,-.; 25.VIII.1992,-.; 藤富正昭<sup>4</sup>)

南淡町(北阿万,16.VIII.1961,-.; 藤平明<sup>2</sup>: 阿万上町,14.VIII.1972,1♀,登日邦明<sup>35</sup>: 灘,19.VIII.1971,-.; 藤平明<sup>2</sup>)

## 28. *Ellida arcuata* (Alphéraky) (3114)

### ユミモンシヤチホコ 注目種

日本各地に産する。ハルニレ、ケヤキ等のニレ科を食樹とし、年1回春に出現する。県下での分布は限られており、わずか3地域で記録されているに過ぎない。春1回という発生が記録の少なさの一因になっていると思われるが、局地性が強い種なのかもしれない。

#### [採集記録]

波賀町(引原,22.VI.1977,1♂; 3.V.1978,1♀,遊磨正秀<sup>48</sup>)

三日月町(下本郷,-.IV.-.; 川副昭人<sup>9</sup>)

関宮町(福定,3.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>47</sup>)

## 29. *Ellida branickii* (Oberthür) (3115)

### クロテンシヤチホコ 注目種

別名クロボシシヤチホコという。北海道から四国にかけてと対馬に産する。九州の産出状況は不明である。コナラ属を食樹とし、年2回の発生であるが、県下での記録は現在のところ6月のみに得られている。山地性の少ない種で波賀町、大屋町で得られている。播但山地を探せば新しい産地はみつかると思われる。

#### [採集記録]

波賀町(引原,7.VI.1988,1♀; 15.VI.1988,1♀,高島昭<sup>23)</sup>)

大屋町(横行溪谷,11.VI.1999,1♀,高島昭)

### 30. *Ellida viridimixta* (Bremer) (3116)

シロテンシャチホコ 注目種

前翅に緑色の鱗粉をもち、ときに鮮やかな青緑色斑を表し美しい。冷温帯に分布の中心を持つ種で、シナノキを食樹としている。年2回発生とされている。県下での採集記録は少なく山地性。氷ノ山を中心とした西播北部から但馬にかけての山地帯にのみ見られるが、この一帯には広く分布すると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,29.VI.1974,1♂,遠山ほか<sup>36)</sup>; 同,20.

VIII.1988,2♂,高島昭<sup>23)</sup>)

大屋町(横行溪谷,2.V.1999,2♂,高島昭; 同,20.VIII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,17.VII.1972,1♂; 7.VII.1974,1♂; 26.

VII.1974,1♀,遠山ほか<sup>36)</sup>; 鉢伏高原,24.VII.1974,1♀,山本義丸<sup>46)</sup>)

氷ノ山(-.-.-,山本義丸<sup>41)</sup>)

### 31. *Nerice bipartita* Butler (3117)

ナカスジシャチホコ 注目種

寒地性の種で、大図鑑では中部以北と四国山地が分布地としてあがっており、近畿地方は分布の空白地のように示されているが、隣の岡山県でも中・北部山地から記録があるし、県内の山地帯にも確実に分布している。ナナカマドが食樹として知られており、年2回発生するものと思われる。

神戸市では有馬に古い記録があるほか、生野町と波賀町から関宮町にかけて記録があり、播但山地一帯に分布していると思われる。

【採集記録】

神戸市(有馬,-.-.-,森 博<sup>13)</sup>)

波賀町(引原,11.VIII.1987,1♂; 7.VI.1988,1♂; 18.

VI.1988,1♂; 6.VIII.1988,1♂,高島昭<sup>23)</sup>; 坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭)

生野町(段ヶ峰,5.VIII.1953,2♂,山本義丸<sup>46)</sup>)

大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,18.VIII.1964,1ex.,岡本清: 氷ノ山,-.-.1955,1♀,山本義丸<sup>39)</sup>)

### 32. *Nerice davidi* Oberthür (3118)

シロスジシャチホコ 注目種

寒地性の種で日本では北海道と本州中部以北に主要な分布域がある。ハルニレが食樹として知られているが、西南日本では食樹の分布が局地的で

あり、本種の分布もこれに合わせて局地的となる。年2回の発生。県下では、これまでに波賀町で採集された1例しか記録がない。

しかし、県内には少ないながらハルニレは分布しており、西播北部から但馬にかけての山地で本種の発見が期待される。

【採集記録】

波賀町(音水溪谷,4.IX.1972,1♂,遠山ほか<sup>36)</sup>)

### 33. *Gangaridopsis citrina* (Wileman) (3119)

アカシャチホコ 注目種

本州から九州の山地に分布する。日本特産種である。マンサクを食べることが知られている。そのため、生息域はほぼブナーミズナラ帯で代表される温帯林に一致する。年2回の出現。県下では、氷ノ山、扇ノ山を取りまく地域で記録されている。中央山地を中心にもう少し広い分布域を持つと考えられ、今後の発見が期待される。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂; 同,5.VI.1998,1♂;

12.VI.1998,1♂,高島昭<sup>23)</sup>)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也<sup>32)</sup>; 同,11.

VIII.1984,1♂,川副昭人<sup>32)</sup>)

大屋町(横行溪谷,11.VI.1999,1♂,高島昭)

関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸<sup>38)</sup>)

### 34. *Hupodonta corticalis* Butler (3120)

カバイロモクメシャチホコ

日本各地に分布し、サクラ類、ズミを食する温帯性の種で年1回の発生である。県内の分布は比較的內陸部の低山地から山地に限られ、瀬戸内側、但馬側とも沿岸部近くでは得られていないし、淡路にも記録がない。生息環境にややうるさい種なのかもしれない。

【採集記録】

神戸市(山の街,19.VII.1973,1♀,遠山ほか<sup>36)</sup>)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,3♂,夏秋ほか<sup>6)</sup>)

西脇市(-,20.VI.1961,1ex.,岡本清)

波賀町(引原,14.VIII.1979,1♂,相坂耕作; 同,12.

VIII.1987,1♀; 5.VIII.1988,1ex.,高島昭<sup>23)</sup>; 坂の谷,24.VII.1998,1♂1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-,川副昭人<sup>6)</sup>)

関宮町(福定,19.VII.1972,2♂; 8.VII.1973,1♀; 26.

VII.1973,1♀,遠山ほか<sup>36)</sup>)

柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸<sup>44)</sup>)

市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸<sup>44)</sup>)

### 35. *Neopheosia fasciata* (Moore) (3122)

ヘリスジシャチホコ

別名ウスジシャチホコ。主として伊豆半島以西から四国、九州、対馬に分布し、関東以北にも産するが稀となる。カバイロモクメシャチホコよりやや暖地性といえるが、県内ではよく似た分布状況を示す。今のところ但馬側では記録がない。年2回の発生で、サクラ類を食するという報告が海外であるが、日本ではまだ明らかではない。

[採集記録]

神戸市(六甲山,13.IX.1970,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>:摩耶山,30.VIII.1969,1ex.,岡村八郎<sup>12</sup>:有馬,31.VIII.1949,1♀,東正雄<sup>22</sup>:藍那,31.VII.1970,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(西谷西部,8.VIII.1987,1♀,東正雄<sup>22</sup>:武田尾,6.VII.1919\*,1♂,東正雄<sup>22</sup>) \* 原本どおり  
猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>:同,8.VIII.1981,1♂,相坂耕作:同,-IX.1982,1♂,相坂耕作:同,16.V.1988,1♀,高島昭<sup>23</sup>:坂の谷,20.VI.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-VI.-,-; -VIII.-,-,川副昭人<sup>6</sup>)

柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸<sup>44</sup>)

36. *Zaranga permagna* (Butler) (3123)

アオバシヤチホコ

日本特産種で、北海道から九州、対馬、御蔵島に分布している。ヤマボウシ、ミズキなどを食樹としており、年2回の発生が知られている。

県内での記録は南東部、南西部で記録が多いが、但馬地域では1例のみで、中・東播地域から南但、丹波地域にかけてと淡路地域からの記録を欠く。食樹さえあれば恐らく普遍的に産する種ではないかと思われるので、今後の調査が期待される。

[採集記録]

神戸市(山の街,31.V.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>:摩耶山,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>)

宝塚市(武田尾,3.IX.1991,1♂,東正雄<sup>22</sup>)

猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

三田市(香下,28.VII.1989,1♀; 3.IX.1991,2♂1♀,東正雄<sup>22</sup>)

一宮町(福知渓谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>49</sup>)

波賀町(引原,18.V.1974,3♂,遠山ほか<sup>36</sup>:同,-VIII.1982,1♂,相坂耕作:同,15.VI.1988,1♀; 20.VIII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>:坂の谷,26.VIII.1988,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,24.V.1989,1♂,高島昭<sup>24</sup>)

上郡町(行頭,2.V.1995,1♂1♀,高島昭<sup>25</sup>)

三日月町(下本郷,-IV.-,-,川副昭人<sup>6</sup>)

豊岡市(山本,24.VI.1973,-,山根政之<sup>6</sup>)

37. *Shaka atrovittatus* (Bremer) (3124)

クビワシヤチホコ

本土域と屋久島に分布し、どこでも普通に見られる。各種カエデ類が食樹として知られ、人家の庭でも幼虫が見られることがある。年2回の発生である。県内でも淡路など一部の空白地域を除いて各地で普通に見られ、低山地から山地まで分布し、個体数も多い。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃<sup>31</sup>:同,-,-,-,岡村八郎<sup>12</sup>:大池,22.VIII.1938,-,高橋寿郎<sup>21</sup>:有馬,20.VI.1949,1♀,東正雄<sup>22</sup>:藍那,13.VI.1967,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)

宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♂; 5.IX.1987,1♂; 9.VII.1988,1♂; 17.VI.1989,1♂,東正雄<sup>22</sup>)

川西市(黒川,5.VII.1997,1♂,高島昭<sup>27</sup>)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,2♂,高島昭<sup>26</sup>)

波賀町(引原,4.VII.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>:同,-IX.1979,2♂,相坂耕作:同,12.VIII.1987,1♂; 18.VI.1988,1♂; 5.VIII.1988,1♂,高島昭<sup>23</sup>:坂の谷,

15.V.1998,1♂,高島昭:同,12.VI.1998,1♂,高島昭)

三室山(-,-,-,遠山ほか<sup>14</sup>)

三日月町(下本郷,-VI.-,-; -VII.-,-; -VIII.-,-; -IX.-,-,川副昭人<sup>6</sup>)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,5♂; 31.VII.1975,1♂,遊磨正秀<sup>46</sup>)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀<sup>50</sup>:横行渓谷,11.VI.1999,1♀,高島昭)

関宮町(大久保,5.VIII.1961,1ex.,岡本清:福定,23.VI.1973,1♂; 7.VII.1973,1♂; 26.VII.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>:氷ノ山,-,-.1954,-,山本義丸<sup>38</sup>)

氷上郡(-,-,-,山本義丸<sup>40</sup>)

氷上郡(-,-,-,山本義丸<sup>40</sup>)

38. *Lophocosma sarantuja* Schintlmeister &

Kinoshita (3125) クロスジシャチホコ

本土域と対馬に分布する。イヌシデ、アカシデ、ツノハシバミ、アサダなどカバノキ科が食樹として知られる。年2回の発生である。全国的に普遍的な分布をする種といわれているが、県内では比較的記録が少なく、これまで次の7カ所で得られているにすぎない。とくに東播から西播南部にかけてと淡路地域からは記録がない。食樹の分布からすれば、山地帯を中心にもっと広く見つかってほしいのであるが、県下における分布はやや限られているといえる。

[採集記録]

神戸市(藍那,8.IX.1963,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 妙見山(18.VIII.1983,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 川西市(黒川,7.VI.1997,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
 波賀町(引原,6.V.1974,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>; 同,-.IX.  
 1982,1♂,相坂耕作: 同,10.IX.1987,1ex.,高島昭<sup>23</sup>: 坂の谷,24.VII.1998,1♀,高島昭)  
 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,2♂,川副昭人<sup>32</sup>)  
 市島町(妙高山,23.VIII.1954,-,山本義丸<sup>40</sup>)

### 39. *Rabata cristata* (Butler) (3126)

#### セダカシャチホコ

日本では、北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島から西表島まで広く分布している普通種である。年2回の発生で、落葉及び常緑のコナラ属を食樹としている。

県内では、里山から低山地にかけて広く分布し、典型的な雑木林の蛾であるといえる。東播地域と北但、淡路南部からの記録を欠くが、おそらく広く生息しているだろう。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>31</sup>: 同,-.-.-,岡村八郎<sup>12</sup>: 山の街,3.VII.1973,1♀,遠山ほか<sup>36</sup>: 藍那,19.V.1967,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 西宮市(生瀬,5.VI.1971,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 宝塚市(宝梅1,3.VIII.1988,1♀,東正雄<sup>22</sup>: 西谷西部,27.VI.1987,1♀; 17.VIII.1987,1♂; 26.VI.1977,1♂; 25.VI.1979,1♂,東正雄<sup>22</sup>: 武田尾,13.VII.1991,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,2♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎<sup>7</sup>: 同,6.VII.1996,1♂,高島昭<sup>26</sup>)  
 波賀町(引原,7.VII.1973,1♂; 22.VI.1974,2♂,遠山ほか<sup>36</sup>: 同,14.VIII.1979,2♂,相坂耕作: 同,11.VIII.1987,1♀; 18.VI.1988,1♀,高島昭<sup>23</sup>)  
 三室山(-.-.-,遠山ほか<sup>14</sup>)  
 相生市(瓜生,18.VII.1997,1♀,高島昭<sup>28</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VII.-; -.VIII.-,川副昭人<sup>6</sup>)  
 豊岡市(正法寺,25.VI.1997,1♀,柴田剛)  
 和田山町(久世田,21.VIII.1989,1ex.,近藤伸一)  
 関宮町(福定,7.VII.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸<sup>44</sup>)  
 北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,1♂3♀,登日邦明<sup>35</sup>)

### 40. *Rabata splendida* (Oberthür) (3127)

#### アオセダカシャチホコ

前種と近縁で、北海道から九州にかけて分布するが、全般的に前種より少ない。年2回の発生で、

コナラ属につくことは前種と同様である。

県内でも記録されているところは前種より少なく、やや山地に偏っている傾向にあるが、混生地も多い。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>31</sup>: 同,-.-.-,岡村八郎<sup>12</sup>: 六甲山,-.-.1933,-,堀江稔男<sup>37</sup>: 有馬,10.VI.1948,1♂,東正雄<sup>22</sup>)  
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂; 同,3.V.1997,1♂,高島昭<sup>27</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 波賀町(引原,25.VIII.1987,1ex.,高島昭<sup>23</sup>)  
 相生市(瓜生,18.VII.1997,2♂,高島昭<sup>28</sup>)  
 三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VII.-,川副昭人<sup>6</sup>)  
 和田山町(久世田,28.VIII.1989,1♂,近藤伸一)  
 関宮町(氷ノ山,-.-.1955,-,山本義丸<sup>39</sup>: 福定,23.VI.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸<sup>44</sup>)  
 市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸<sup>39</sup>)

### 41. *Torigea straminea* (Moore) (3129)

#### キシヤチホコ

北海道から九州にかけて普通に産し、種子島が南限となっている。樹木を食する種の多いシャチホコガ科では珍しく単子葉植物であるイネ科のネザサ、クマザサ類を食草としている。県内では平地から山地まで分布は広いと思われるが、但馬、丹波での記録は少なく、淡路でも今のところ記録がない。西播地方でも記録は少ないようで今後の調査が必要である。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>31</sup>: 山の街,5.V.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 西宮市(生瀬,5.VI.1970,1♀; 2.VIII.1971,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♀; 13.VII.1991,1♀,東正雄<sup>22</sup>: 武田尾,2.VI.1987,2♂,東正雄<sup>22</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 1.IX.1982,1♂,夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 高砂市(25.V.1967,1ex.,岡本清<sup>11</sup>)  
 黒田庄町(喜多,18.VII.1960,1ex.,岡本清)  
 姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎<sup>7</sup>)  
 龍野市(北龍野町,22.VI.1967,1♀,相坂耕作)  
 一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀<sup>48</sup>)  
 南光町(船越,5.VIII.1963,1ex.,岡本清)  
 関宮町(福定,24.VI.1973,1♂,遠山ほか<sup>36</sup>)  
 柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸<sup>44</sup>)

42. *Mimopydna pallida* (Butler) (3130)

## ウスキシヤチホコ

北海道から九州にかけての本土域に分布し、年2回の発生。ススキが食草として知られるが、前種とは違ってササヤタケ類にはつかないと思われる。県内では、里山から低山地を中心に比較的普通に見られる。記録がない西播南部、淡路北部からも見つかるだろう。

## 【採集記録】

神戸市(摩耶山, -, -, -, 田中蕃<sup>31</sup>: 藍那, 25.VI.1973, 1♂, 遠山ほか<sup>36</sup>)  
 宝塚市(西谷西部, 27.VI.1987, 1♂; 16.VI.1990, 1♂, 東正雄<sup>22</sup>: 武田尾, 13.VII.1991, 1♂, 東正雄<sup>22</sup>)  
 川西市(鼓ヶ滝, -, VIII.1968, 1♂, 遠山ほか<sup>36</sup>: 黒川, 10.VIII.1996, 1♂; 3.V.1997, 1♂, 高島昭<sup>27</sup>)  
 猪名川町(上阿古谷, 12.VIII.1982, 1♂, 夏秋ほか<sup>8</sup>)  
 黒田庄町(喜多, 5.V.1960, 1ex., 岡本清: 同, 15.VI.1962, 1ex., 岡本清)  
 姫路市(広嶺山, 6.VII.1996, 1♂1♀, 高島昭: 太市, -, -, 1991, -, 丸谷ほか<sup>9</sup>: 同, 6.V.1995, 1♂, 高島昭)  
 波賀町(引原, 2.VI.1975, 2♂; 22.V.1976, 1♂; 8.V.1977, 1♂, 遊磨正秀<sup>48</sup>)  
 豊岡市(正法寺, 27.V.1998, 1♀, 柴田剛: 同, 25.VIII.1998, 1♂, 柴田剛)  
 関宮町(福定, 17.VII.1972, 1♂, 遠山ほか<sup>36</sup>)  
 柏原町(柏原, -, -, -, 山本義丸<sup>44</sup>)  
 青垣町(神楽, -, -, -, 山本義丸<sup>44</sup>)  
 南淡町(阿万上町, 23.V.1959, -, 藤平明<sup>2</sup>)

43. *Notodonta albicosta* (Matsumura) (3134)

## マエジロシヤチホコ 注目種

日本特産種で、北海道から中国地方までと四国、九州の高地でみつかっている。分布の中心はブナ帯で、ミズナラを食することが確認された。年2回の発生が知られている。

冷温帯性の種なので、県下では山地に限られ、現在のところ下記の5カ所で記録があるのみである。中央山地では新しい産地が見つかると思われる。

## 【採集記録】

波賀町(引原, 29.VII.1988, 1♂, 高島昭<sup>23</sup>: 坂の谷, 24.VII.1998, 1♂, 高島昭)  
 大屋町(田淵山, 5.VIII.1975, 1♂, 遊磨正秀<sup>50</sup>: 横行溪谷, 15.VII.1999, 1♂, 高島昭)  
 関宮町(氷ノ山, -, -, 1954, -, 山本義丸<sup>38</sup>: 鉢伏高原, 23.VII.1975, 1♀, 山本義丸<sup>45</sup>)

44. *Notodonta torva* (Hübner) (3137)

## トビマダラシヤチホコ 注目種

別名フタナミシヤチホコという。北海道と中部山地に分布することが知られている寒地性の種で、年1回の発生である。長野県ではドロノキから幼虫が発見されている。

県下では波賀町の引原ダムでの1974年の採集例が唯一のもので、それ以降は記録がなく確認が必要である。食樹の分布からすれば氷ノ山を中心とする山地では生息している可能性はあり、今後の調査が期待される。

## 【採集記録】

波賀町(引原, 12.VIII.1974, 1♂, 遊磨正秀<sup>48</sup>)

## &lt;目録から除外した種&gt;

1. *Phalera minor* Nagano (3112)

## クロツマキシヤチホコ

別名コツマキシヤチホコともいう。♂は小さいがむしろ♀は本属中最大の開張を示す。関東南部が北限で東海地方以西太平洋岸沿いに南西諸島にまで分布し、コナラ属を食する。ウバメガシへの食害が報告されている。日本に産するツマキシヤチホコ属 *Phalera* では最も南方系の種である。県下では、神戸市藍那から下記の記録があるが、当時利用されていた保育社の原色日本蛾類図鑑にクロツマキシヤチホコとして図示されていたものはタカサゴツマキシヤチホコであり、この記録もおそらくタカサゴツマキとの誤同定ではないかと思われる。その後の採集記録も全くないため、県内で再確認されるまで目録への掲載を保留したい。

## 【採集記録】

神戸市(藍那, 9.VII.1964, 1♂, 遠山ほか<sup>36</sup>)

## &lt;引用文献&gt;

- 1) 芦田 久(1981) ニトベシヤチホコを養父郡関宮町福定で採集 きべりはむし 9(2):24-25.
- 2) 藤平 明(1979) 南淡の蛾(IV) PARNASSIUS 20:10-18.
- 3) 藤平 明(1987) 南淡の蛾(自刊)
- 4) 藤宮正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト PARNASSIUS 41:1-4.
- 5) 堀田 久(1976) 先山の昆虫相(I) PARNASSIUS 16:11-32.
- 6) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし 10:1-10.
- 7) 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫 てんとうむし 9:53-58.
- 8) 夏秋 優・佐々木 昇(1982) 能勢地方の蛾(I) 上阿古谷・夏の蛾 Crude 23:1-37.
- 9) 日本野鳥の会(1992) 姫路市自然観察の森林

- 内基礎調査報告書 4-6昆虫類 p.119-151.
- 10) 西岡公明(1983) 三熊山蛾類採集記録[I] PARNASSIUS 27:7-9.
  - 11) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし 11:40-45.
  - 12) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集目録 てんとうむし 10:37-45.
  - 13) 岡村八郎・森 博(1987) 有馬の蛾より てんとうむし 10:66-67.
  - 14) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相 東中国山地自然環境調査報告 173-191.
  - 15) 坂口 操(1971) 洲本市付近の蛾の記録 PARNASSIUS 8:6-10.
  - 16) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その3) きべりはむし 10(1):7-10.
  - 17) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その1) きべりはむし 10(2):10-16.
  - 18) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その4) きべりはむし 13(2):36-40.
  - 19) 新家 勝(1989) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その9) きべりはむし 17(2):31-35.
  - 20) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第3報):9-14.
  - 21) 高橋寿郎(1939) 神戸神有沿線大池付近の蛾類 昆虫界 7(60):16-18.
  - 22) 宝塚市教育委員会(1992) 宝塚の昆虫III 蛾類(I)
  - 23) 高島 昭(1995) 波賀町波賀町引原ダム周辺における蛾相第2報 きべりはむし 23(2):10-23.
  - 24) 高島 昭(1996) 相生市三濃山麓の蛾(1) きべりはむし 24(1):27-39.
  - 25) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1) きべりはむし 25(1):31-38.
  - 26) 高島 昭(1997) 姫路市広嶺山の蛾(1) てんとうむし 11:65-69.
  - 27) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし 26(1):23-38.
  - 28) 高島 昭(1998) 相生市三濃山麓の蛾(2) きべりはむし26(2):59-64.
  - 29) 高島 昭(1999) 兵庫県波賀町で採集した注目すべき蛾 誘蛾燈155,p.17-24.
  - 30) 田中 蕃(1966) 神戸市摩耶山に産する若干の蛾類 蛾類通信 45:442-444.
  - 31) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類 佳香蝶 19(71):89-104.
  - 32) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1) IRATSUME 10:30-37.
  - 33) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(I) 蛾類通信 73:215-224.
  - 34) 登日邦明(1973) 淡路島若干の蛾の記録 PARNASSIUS 9:9-16.
  - 35) 登日邦明(1974) 淡路島産蛾類分布資料(II) 蛾類通信 76:261-266.
  - 36) 遠山雅夫・遊磨正秀・松本健嗣(1975) 兵庫県(1)シャチホコガ科 きべりはむし 4(1/2):26-37.
  - 37) 戸沢信義(1935) 六甲山産蛾類目録 関西昆虫雑誌 2(3):30-31.
  - 38) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第一報) 兵庫生物 3(1/2):3-6.
  - 39) 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報) 兵庫生物 3(3):121-123.
  - 40) 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録 12-50.
  - 41) 山本義丸(1958) 氷ノ山の蛾について(第三報) 兵庫生物 3(4):237-239.
  - 42) 山本義丸(1959) 氷ノ山の蛾類について(補遺) 兵庫生物 3(5):383-384.
  - 43) 山本義丸(1989) 氷ノ山の蛾類について(後報) 兵庫生物 9(5):295-297.
  - 44) 山本義丸(1997) 兵庫県氷上郡地方の蛾類(2) きべりはむし 25(1):11-22.
  - 45) 山本義丸(1997) 兵庫県で採集した蛾の記録 きべりはむし 25(2):54-57.
  - 46) 遊磨正秀(1980) 朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾類について(I) きべりはむし 8(3):1-8.
  - 47) 遊磨正秀(1980) 養父郡関官町福定におけるシャチホコガ科の記録 きべりはむし 8(3):12.
  - 48) 遊磨正秀(1980) 宍粟郡引原ダムにおけるシャチホコガ科の記録 きべりはむし 8(3):13-14.
  - 49) 遊磨正秀(1981) 宍粟郡一宮町福知溪谷の蛾類について きべりはむし 9(1):1-3.
  - 50) 遊磨正秀(1981) 養父郡大屋町田淵山の蛾類について(I) きべりはむし 9(1):3-6.

第1表 兵庫県のシャチホコガ科各種の分布状況(1)

	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	南但	北但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	30. IX. 1999現在
1. ギンモンスズメドキ	○	○				○	○	○	○			11	山地性
2. シャチホコガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	20	
3. ヒメシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	16	
4. ゴマダラシャチホコ						○						1	山地性 注目種
5. プライアオシャチホコ	○	○		○		○	○			○	○	8	(参考記録を含まない)
6. アオシャチホコ	○	○	○		○	○	○		○			17	
7. オオアオシャチホコ		○	○		○	○	○					11	
8. プナアオシャチホコ					○	○	○	○				7	山地性
9. バイバラシロシャチホコ		○	○		○	○	○	○	○			16	
10. シロシャチホコ						○	○					11	山地性
11. ニッコウシャチホコ						○	○					5	山地性 注目種
12. オオモクメシャチホコ	○	○			○	○	○		○			6	
13. タツカモクメシャチホコ						○						1	局地的
14. ホシナカグロモクメシャチホコ							○					2	山地性 注目種
15. ナカグロモクメシャチホコ	○	○		○		○	○		○	○	○	9	
16. ギンシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	17	
17. モンクロギンシャチホコ	○	○	○	○	○				○		○	14	
18. ムラサキシャチホコ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	
19. ホソバシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	41	
20. クロシタシャチホコ	○	○			○		○		○	○	○	12	
21. ホソバネグロシャチホコ	○	○			○		○	○	○			8	
22. フタジマネグロシャチホコ	○	○				○	○					8	
23. オオネグロシャチホコ	○	○				○						5	
24. タカサゴツマキシャチホコ	○	○	○								○	4	暖地性 注目種
25. ムクツマキシャチホコ	○	○		○	○	○			○		○	16	
26. ツマキシャチホコ	○	○	○		○	○	○		○		○	15	
27. モンクロシャチホコ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	24	
28. ユミモンシャチホコ					○	○	○					3	局地的 注目種
29. クロテンシャチホコ						○	○					2	山地性 注目種
30. シロテンシャチホコ						○	○					5	山地性 注目種
31. ナカスジシャチホコ	○					○	○					7	山地性
32. シロスジシャチホコ						○						1	山地性 注目種
33. アカシャチホコ						○	○	○				4	山地性 注目種
34. カバイロモクメシャチホコ	○	○		○	○	○	○		○			9	
35. ヘリスジシャチホコ	○	○			○	○			○			12	暖地性
36. アオバシャチホコ	○	○			○	○		○				12	
37. クビワシャチホコ	○	○	○		○	○	○		○			19	
38. クロスジシャチホコ	○	○				○		○	○			7	
39. セダカシャチホコ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		19	
40. アオセダカシャチホコ	○	○			○	○	○		○			13	
41. キシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			14	
42. ウスキシャチホコ	○	○	○	○		○	○	○	○		○	16	
43. マエジロシャチホコ						○	○					6	山地性 注目種
44. トビマダラシャチホコ						○						1	山地性 注目種



## 天津市立自然博物館を訪ねて

### 相坂 耕作

#### はじめに

筆者は以前、中国上海市の上海自然博物館の昆虫コーナーを訪れたことがあり、それについては当会の20周年特別号(遊蟲千年)に紹介したことがある。それに引き続き、今回、本年2月に天津市立自然博物館を訪問する機会があったので誌上にて紹介しながら紀行文を書いてみた。天津は北京、上海と並ぶ中央直轄市であり中国第3の大都市である。天津という名は、明の時代に北京の永楽帝が、天津で河を渡って南下し、皇帝になったことにつながる。天子が渡った津であることから天津と言われるようになったという。近代になると天津は戦争や革命の渦にのまれ激動の時代を迎えたのはよく知られた事実である。今回の訪中も前の北京と同じく春節(旧正月)の当日となってしまう。

2月13日 早朝起床し、家内と共に新幹線の姫路駅まで娘に車で送ってもらい天津の旅のはじまりとなった。この天津行きの日程は僅か3日間である。あるツアーで、天津3日フリーというのがあり参加したのである。通常、観光で天津へいくのは北京から天津へのツアーのオプションにて参加するのが簡単であるが、自由時間が少ない不便さがある。そこで前回、天津で十分な街歩きができなかったため、今回、天津市だけに当てることにした。

関西空港から一路天津の空港に着いたが、現地案内人が直ぐに見つからず少々不安だったが、やがて合流、何とこのツアーは我々2名だけだと気がついた。こんなに広く募集しているのに関わらず天津は余り人気がないのだろうか。案内人の女性と送迎人の運転手氏に聞くところによると、天津への観光ツアーは大変少ないとのことである。宿泊ホテルへ行くまでに天津タワーや水上公園を案内するというので、出来たら昨年行ったのでホテルへ直行か、または凧探しをお願いしたいと申し入れたら、有名な天津楊柳青へつれていってくれた。楊柳青の年画は17世紀からあったと言う有名なもので、春節を祝う際に、新年の豊作と商売繁盛を祈って門口や室内に飾られる版画のことで、現地の方にも結構人気がある。いろんな資料を買い込んだのち宿泊ホテルに送迎してくれた。ホテルは利順徳大飯店(アスターホテル)といい、天津

ではかなり高級ホテルらしい。このホテルに泊まった客や歴史が壁に展示されていた。例えばアメリカのフーバー大統領、孫文、清代のラストエンペラー愛新覚羅溥儀など世界の要人が泊まったという。飾り物として、エジソンの電球、蓄音機などとともに中国最古のエレベーターも置いてあった。こんな豪華なホテルに泊まれるのもシーズンオフとビジネス客が大半で観光客の少ない天津市だからであろう。天津市は神戸市と姉妹都市友好であり、神戸は有名であると聞かすが、地震に関しては無知なのか知らない人が多いようだ。案内人に明日のスケジュールを伝え、前面協力してもらいようになり車も調達できた。明日を楽しみに早く就寝した。

2月14日 予約していたチャーター車は朝一番迎えてきてくれた。8時にホテルを出発。運転は昨日の人であり何かとよかった。約1時間で天津郊外の楊柳青村に到着した。前日訪れた店の本店で現在も300年来の伝統的な木彫り技法を継承している楊柳青年画社である。いろいろと昆虫関係の資料を買い求め、主目的の天津自然博物館へ連れていってもらった。予想外に大きな博物館で、古代中国大陸に栄えた36万点にも及ぶ貴重な動植物の化石が陳列してある。特に建物の外周には恐竜化石をモチーフとしてあり大変規模が大きな博物館である。昆虫コーナーは「昆虫世界」とテーマがあり、近代化が進んだ世界的見地から構成された展示方法である。各地の昆虫館と全く変わりなく、少し物足りなさを感じずにはいられなかった。筆者としては上海自然博物館のように中国国産の昆虫展示を期待していただけに上海自然博物館のほうがより暖かみを覚えた。その後、隣にある天津市泥人形彩塑工作室を見学した。製作工程を案内してもらくと、その素晴らしいさに驚嘆したが残念ながら昆虫関係の資料はミニのカマキリ凧があったくらいで少なかった。日本語の分かる係員と電話でやりとりし、行く予定にしていた天津風箏公司という凧屋が倒産したと聞き残念に思った。大きなカマキリ凧が是非ほしいので、天津凧の老舗である天津市風箏魏工藝品有限公司の風箏魏第3代、魏永珍氏に電話で連絡をとってもらった。春節の休日中にもかかわらず3代目凧師の魏女史はわざわざ倉庫の凧を調べてくださり有ったと持っ

天津自然博物館の入場券

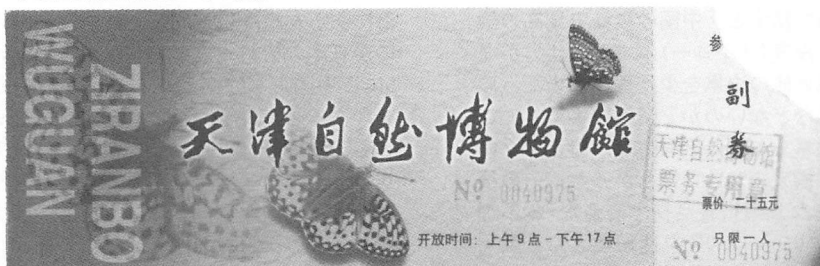


写真 1



写真 2

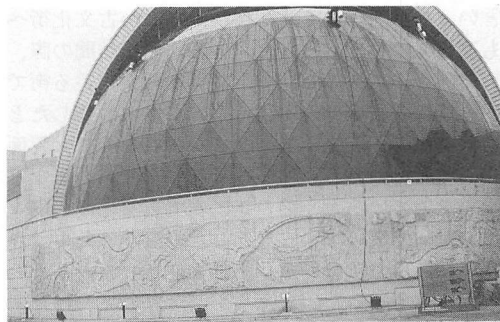


写真 3



写真 4



写真 5

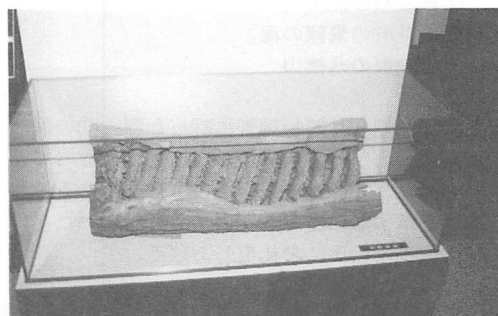


写真 6

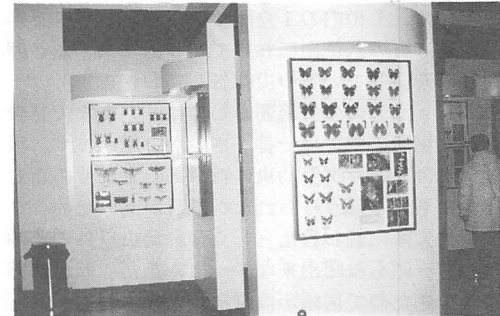


写真 1 天津自然博物館正面

写真 2 ドーム型の壁には恐竜のレリーフ

写真 3 昆虫コーナー入口

写真 4 昆虫の擬態と自己防衛についての解説コーナー

写真 5 オオスズメバチの巣の展示

写真 6 コウチュウ目、バッタ目、チョウ目の展示

てきたのはバッタ風。何とかカマキリがほしいと通じない中国語で話すと、中国の最後で最高の例の無いの言葉、没有(メイヨウ)がでた。仕方がないのでバッタ風と他の虫風を少々買い求めた。珍しいミツバチ風などないのかと漢字で書くと、これも没有との返事。これほど有名な風屋さんなのだからいろいろ揃えておいてほしかった。その後は昼食の時間となり南市食品街で有名な「狗不理包子」(ユウプーリーパオツ)を運転手さんと共々食した。食事後、時間が少なくなってきたので古文化街はいったことがあるので運転手さんに不要といったが、うまく通じなかったのか古文化街へも連れていってもらった。先般、北京訪問の際、天津ツアーに参加し、一番に行った文化香る街で、明・清代の古い街地を往時そのままに改修したところである。庶民の生活雑貨が中心なので大変面白い土産物がある。おかげで内面画の鼻煙壺など買い求めていると、前のツアーで古文化街の隅々まで聞いて買い求めようとしたが無かったカマキリ風があるではないか。それも逆さカマキリという形の風であった。またミツバチ風も見つけた。あれだけ前回調べたのに買えなかったのは時期のせいかもしれない。諦めていたのに運転手さんに感謝である。次は天津工芸美術服務部へ行ったが、

これといったものはなく、やがて友誼商城へ。上海にある友誼商城と同じく外国資本が入っているのか日本のデパートとそうは変わらない。やっと5階に中国らしい商品があり、ここでも筆者の好きなグッズが入手できた。購入を済ませ外を見るときもう暗闇の世界となっていた。やがてホテルへ送ってもらい運転手さんと昨日から乗りまわしているフォルクスワーゲンに感謝しつつチャーター料と僅かのチップを渡し、感謝の極み。多謝。

2月15日 昨日の資料入手により、本日の午前中は当てもなくホテル近くをうろつき散策をした。ホテルの近くは市政府の役所ばかりだが春節で休みが多いようだ。そこで巻貝などを採集し、やがてホテルへ。昼前、現地案内人がやってきて帰国の準備となり、また、あの運転手さんに空港まで送ってもらった。案内人の女史から説明を受け税関へ入ったところ、ちょっとしたハプニング。カバンの中味は何だということらしい。そういえば天津の観光客でこんなに多くの荷物を持って帰る人が少ないから不思議に思われたのに違いない。天津風と説明したが掛軸もあるとのことで別室へ。1箱だけ開けられ念入りに見られたが了解がとれ、無事機上の人となった。

## 播磨地方におけるアサギマダラの 新たな越冬産地 木村三郎

筆者は以前からアサギマダラの越冬産地を探索していた。その内の1カ所で、1998年11月21日神崎郡香寺町の八徳山において、3齢幼虫1頭と卵を20卵確認しているのを報告しておきます。

キジョランの生育範囲としては、いままで発表された場所の中では一番小さいかと思えます。現地ではアサギマダラ幼虫の特徴ある丸切りの新しい食痕も多く見うけられたが気温が高いため、クモ等の天敵に襲われたらしく3齢幼虫以外の若齢幼虫を一頭も確認出来なかった。ただ、卵が20卵確認できたので何頭かは越冬蛹化後、羽化するものと思われる。

他の播磨地方での越冬産地として、姫路市の書写山の六角、刀出側・夢前町の明神山北側・夢前

町と安富町にまたがる雪彦山が環境的に確認出来るのである。今回の確認により兵庫県における越冬産地として

- ①南光町の船越山
- ②加美町の高蔵山
- ③福崎町の七種山
- ④相生市の能下
- ⑤上月町の飛龍の滝
- ⑥香寺町の八徳山

の6カ所となった。

ただ、1998年9月植物調査に行った際、⑤の飛龍の滝の発生地が、材木運搬の索道基地となってしまう大変荒れてしまっていたのが残念である。

本稿を草するに当たり、いつもご指導いただいている広畑政巳氏にお礼申しあげる。

## 市川町産蝶類目録(1)

広畑 政巳

兵庫県下における蝶の分布については各市町単位での調査も進み、その概略が明らかになってきている。しかし分布調査のされていない市町もかなりあり、そこが分布の空白地帯になっている。市川町もその一つである。

筆者は市川町瀬加地区を中心に同地域を訪れる機会があり、蝶の採集・観察をしているので、これまでの採集記録を種ごとに各産地一例ずつ報告をしておきたい。尚採集者が明記されていないものについては筆者が採集している。

## &lt;各種の採集記録&gt;

- 1) アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*  
上牛尾半瀬(1♂ 12.VIII.1993) 下牛尾市場(1♀ 16.VIII.1998) 鶴居(1♂ 30.V.1999)
- 2) キアゲハ *Papilio machaon*  
上牛尾半瀬(1♀ 26.VII.1997) 上牛尾寺家(1♂ 26.VII.1998) 下牛尾河内(1♂ 16.VIII.1998) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998)
- 3) アゲハ *Papilio xuthus*  
上牛尾半瀬(1♀ 16.VIII.1992) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 20.IX.1998) 小室(1♂ 17.IV.1999)
- 4) モンキアゲハ *Papilio helenus*  
上牛尾半瀬(1♀ 14.VIII.1993) 上牛尾塩谷(1♀ 14.V.1992) 上牛尾岩戸(1♂ 29.V.1983) 保喜(1♂ 23.V.1999)
- 5) クロアゲハ *Papilio protenor*  
上牛尾寺家(1♂ 26.VII.1998) 上牛尾半瀬(1♂ 1♀ 13.IX.1981) 上牛尾岩戸(1♀ 6.VI.1993) 下牛尾河内(1♂ 10.V.1975) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 16.VIII.1998) 小畑(1♂ 31.VII.1993) 浅野(1♂ 30.V.1999)
- 6) オナガアゲハ *Papilio macilentus*  
上牛尾寺家(1♂ 14.VIII.1980) 上牛尾半瀬(1♂ 1♀ 6.VII.1979羽化) 下牛尾河内(1♂ 10.V.1975) 小畑(1♂ 31.VII.1993) 岩戸(1♂ 30.V.1999) 浅野(1♂ 30.V.1999)
- 7) ナガサキアゲハ *Papilio memnon*  
上牛尾半瀬(1♀ 22.VIII.1998) 西田中(1幼 19.VI.1999)
- 8) カラスアゲハ *Papilio bianor*  
上牛尾寺家(2♂ 16.VIII.1992) 上牛尾半瀬(1♂ 31.VII.1993) 上牛尾岩戸(1♂ 14.VIII.1980) 1980)
- 9) ミヤマカラスアゲハ *Papilio maakii*  
上牛尾半瀬(1♂1♀ 13.IX.1981)
- 10) モンキチョウ *Colias erate*  
上牛尾半瀬(1♂1♀ 5.X.1986) 上牛尾岩戸(1♂ 13.IX.1981) 下牛尾河内(1♀ 7.V.1975) 小室(1♂ 6.V.1984)
- 11) ツマグロキチョウ *Eurema laeta*  
上牛尾半瀬(1♂ 10.X.1997) 下牛尾河内(1♂ 9.X.1994)
- 12) キチョウ *Eurema hecabe*  
上牛尾寺家(1♂ 26.VII.1998) 上牛尾半瀬(1♂ 1♀ 5.X.1986) 下牛尾河内(1♂ 13.VIII.1993) 下瀬加加茂地(1♂ 16.VIII.1998) 小室(1♂ 17.IV.1999)
- 13) エゾスジグロシロチョウ *Artogeia napi*  
小室(2♂2♀ 18.IV.1993) 千原(1♂ 18.IV.1999)
- 14) スジグロシロチョウ *Artogeia melete*  
上牛尾半瀬(1♂1♀ 30.IV.1978) 上牛尾岩戸(1♀ 28.VIII.1994) 下牛尾河内(1♂1♀ 3.IX.1980) 鶴居(1♂ 30.V.1999)
- 15) モンシロチョウ *Artogeia rapae*  
上牛尾半瀬(1♂1♀ 24.IV.1994) 上牛尾岩戸(1♂ 3.IV.1983) 下牛尾河内(1♂ 16.VIII.1998) 小室(1♂ 17.IV.1999) 千原(1♂ 18.IV.1999) 上田(1♂ 30.V.1999)
- 16) ツマキチョウ *Anthocharis scolymus*  
上牛尾寺家(1♂1♀ 30.IV.1975) 上牛尾半瀬(2♂ 18.IV.1993) 下牛尾河内(2♂ 7.V.1975) 小室(1♂1♀ 18.IV.1999)
- 17) ムラサキシジミ *Narathura japonica*  
上牛尾寺家(1♂ 12.IX.1998) 上牛尾岩戸(2♂ 1♀ 12.VIII.1973) 下瀬加加茂地(1♂ 12.IX.1998)
- 18) ウラキシジミ *Ussuriana stygiana*  
下牛尾河内(1♀ 27.VI.1993)
- 19) アカシジミ *Japonica lutea*  
下牛尾河内(1♀ 27.VI.1993) 下瀬加加茂地(2♀ 26.VI.1993)
- 20) ミドリシジミ *Neozephyrus japonica*  
下瀬加加茂地(3♂8♀ 20.VI.1993)
- 21) オオミドリシジミ *Favonius orientalis*

- 上牛尾半瀬(3♂2♀ 27.VI.1993) 下牛尾河内(1♂1♀ 27.VI.1993) 下瀬加加茂地(1♂2♀ 27.VI.1993)
- 22) *トラフシジミ Rapara arata*  
上牛尾半瀬(1♀ 30.IV.1978) 下牛尾河内(1♂ 11.VII.1993) 下瀬加加茂地(1♂ 15.VIII.1995) 小室(1♀ 10.V.1975)
- 23) *コツバメ Callophrys ferrea*  
上牛尾岩戸(1♀ 15.IV.1984)
- 24) *ベニシジミ Lycaena phlaeas*  
上牛尾半瀬(1♂ 15.VIII.1992) 下牛尾河内(1♀ 28.VI.1992) 下牛尾市場(1♂ 16.VIII.1998) 千原(1♂ 18.IV.1999) 下瀬加加茂地(1♂ 16.VIII.1998) 小室(1♂1♀ 18.IV.1993)
- 25) *ゴインシジミ Taraka hamada*  
上牛尾寺家(1ex.目撃 26.VII.1998)
- 26) *ウラナミシジミ Lampides boeticus*  
上牛尾半瀬(2♂2♀ 10.X.1997)
- 27) *ヤマトシジミ Pseudozizeeria maha*  
上牛尾半瀬(1♂ 5.X.1980) 上牛尾岩戸(1♀ 22.VIII.1998) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 16.VIII.1998) 小室(1♀ 17.IV.1999)
- 28) *シルビアシジミ Zizina otis*  
上田(1♂ 9.V.1982)
- 29) *ルリシジミ Celastrina argiolus*  
上牛尾半瀬(1♀ 25.VIII.1994) 下瀬加加茂地(1♂ 9.VI.1993)
- 30) *ツバメシジミ Everes argiades*  
上牛尾寺家(1♂1♀ 12.IX.1998) 上牛尾半瀬(1♀ 15.VIII.1992) 上牛尾岩戸(1♂ 22.VIII.1998) 下牛尾河内(1♂ 28.VI.1992) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 12.IX.1998)
- 31) *ウラギンシジミ Curetis acuta*  
上牛尾半瀬(1♂1♀ 21.X.1975) 上牛尾岩戸(1♂ 12.VIII.1998) 下牛尾河内(1♀ 12.VIII.1993) 下瀬加加茂地(1♂ 4.VII.1993)
- 32) *テングチョウ Libythea celtis*  
上牛尾半瀬(2♂1♀ 15.VI.1991) 加茂地(撮 3.IV.1999) 奥(1ex.目 3.IV.1999)
- 33) *アサギマダラ Parantica sita*  
上牛尾寺家(1♀ 26.VII.1990) 上牛尾半瀬(1♂ 19.V.1994) 下牛尾河内(1♀ 19.V.1991)
- 34) *ウラギンスジヒョウモン Arugyronome laodis*  
上牛尾半瀬(1♂ 10.X.1981) 上牛尾岩戸(1♂ 16.IX.1984)
- 35) *オオウラギンスジヒョウモン Arugyronome ruslana*  
上牛尾半瀬(1♂ 11.VII.1993) 下牛尾河内(1♀ 27.VI.1993)
- 36) *メスグロヒョウモン Damora sagana*  
上牛尾半瀬(1♀ 15.IX.1980)
- 37) *クモガタヒョウモン Nephargynnis anadyomene*  
上牛尾半瀬(1♀ 18.V.1994)
- 38) *ミドリヒョウモン Argynnis paphia*  
上牛尾半瀬(1♂ 18.VI.1993) 上牛尾岩戸(2♀ 11.VII.1993) 下牛尾河内(1♂ 29.VI.1993)
- 39) *ツマグロヒョウモン Argyreus hyperbius*  
上牛尾寺家(1♂1♀ 16.VIII.1984) 上牛尾半瀬(1♂ 13.IX.1989) 上牛尾岩戸(1♂ 15.VIII.1992) 下牛尾河内(1♀ 16.VIII.1998) 下瀬加加茂地(1♀ 12.IX.1998)
- 40) *アサマイチモンジ Limenitis glorifica*  
上牛尾寺家(1♂ 9.VII.1998) 上牛尾塩谷(1♂ 26.VII.1998) 上牛尾半瀬(1♀ 14.VI.1992) 下牛尾河内(1♂ 16.VIII.1998) 下瀬加御舟(1♀ 9.VI.1993) 下瀬加加茂地(2♀ 15.VIII.1995) 浅野(1♂ 30.V.1999)
- 41) *イチモンジチョウ Limenitis camilla*  
上牛尾寺家(1♂ 26.VII.1998) 上牛尾半瀬(1♂ 1♀ 14.VI.1992) 下牛尾河内(2♀ 28.VIII.1993)
- 42) *コムスジ Neptis sappho*  
上牛尾寺家(1♂ 26.VII.1998) 上牛尾半瀬(1♂ 15.VIII.1992) 下牛尾河内(1♀ 16.VIII.1992) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 16.VIII.1998) 上牛尾岩戸(1♂ 30.V.1999)
- 43) *ミスジチョウ Neptis phillyra*  
下牛尾河内(1♀, 22.V.1991, 羽化, 五十嵐喜昭)
- 44) *サカハチチョウ Araschnia burejana*  
上牛尾寺家(1♀ 24.IV.1994) 上牛尾半瀬(1♂ 30.IV.1998) 下牛尾河内(1♂1♀ 12.IX.1998) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 12.IX.1998)
- 45) *キタテハ Polignonia c-aurena*  
上牛尾半瀬(1♂1♀ 10.X.1981) 小室(1ex.目 17.IV.1999) 奥(1ex.目 3.IV.1999) 下牛尾河内(1♀ 11.IV.1999)
- 46) *ヒオドシチョウ Nymphalis xanthomelas*

- 上牛尾半瀬(1♂1♀ 16.VI.1995) 下牛尾河内(1♀ 27.VI.1993)
- 47) ルリタテハ *Kaniska canace*  
上牛尾半瀬(1♂ 12.X.1997) 下瀬加加茂地(1♂ 16.VIII.1998) 下牛尾河内(1ex.目 11.IV.1999)
- 48) ヒメアカタテハ *Cynthia cardui*  
上牛尾半瀬(1♀ 10.X.1997) 下牛尾河内(1♂ 撮影 20.VI.1999)
- 49) アカタテハ *Vanessa indica*  
上牛尾半瀬(1♀ 21.VIII.1992) 小畑(1♂ 31.VII.1993)
- 50) スミナガシ *Dichorragia nesimachus*  
上牛尾塩谷(1♂ 13.VIII.1993) 下牛尾河内(1ex.目撃 13.VIII.1993)
- 51) コムラサキ *Apatura metis*  
下牛尾河内(1♀ 26.VI.1993)
- 52) ゴマダラチョウ *Hestina persimilis*  
上牛尾半瀬(1♂ 9.VI.1993) 下牛尾河内(1♂ 9.VI.1993) 下瀬加山添(2幼虫 15.I.1992)
- 53) オオムラサキ *Sasakia charonda*  
下瀬加山添(9幼虫 15.I.1992) 上田(2幼虫 15.I.1992)
- 54) ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus*  
上牛尾寺家(1♂ 6.V.1984) 上牛尾半瀬(1♂ 15.VIII.1992) 上牛尾岩戸(2♂ 16.VIII.1975) 下牛尾河内(1♂ 7.V.1975) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 16.VIII.1998) 鶴居(1♂ 30.V.1999) 浅野(1♂ 30.V.1999)
- 55) ジャノメチョウ *Minois dryas*  
上瀬加御室(1♀ 22.VIII.1998) 小畑(1♂ 31.VII.1993)
- 56) ヒメキマダラヒカゲ *Zophoessa callipteris*  
上牛尾寺家笠形山(2♂1♀ 26.VII.1998)
- 57) クロヒカゲ *Lethe diana*  
上牛尾寺家(1♂ 26.VII.1998) 下牛尾河内(1♂ 28.VI.1992) 下瀬加加茂地(1♂ 27.VI.1993)
- 58) ヒカゲチョウ *Lethe sicelis*  
上牛尾半瀬(1♂ 14.VI.1992) 下瀬加加茂地(1♂ 9.VI.1993)
- 59) ヤマキマダラヒカゲ *Neope nipponica*  
上牛尾寺家笠形山(1♂ 26.VII.1998)
- 60) サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii*  
上牛尾半瀬(1♂1♀ 15.VIII.1992) 上牛尾岩戸(3♂ 29.V.1983) 上田中(1♂ 3.VI.1984) 下瀬加加茂地(1♂ 6.IX.1993) 落合(1♂ 23.V.1999) 浅野(2♂1♀ 30.V.1999) 下牛尾河内(2♂1♀ 20.VI.1999) 上田(1♂ 30.V.1999)
- 61) ヒメジャノメ *Mycalesis gotama*  
上牛尾寺家(1♀ 26.VII.1998) 上牛尾半瀬(1♀ 15.VII.1992) 上牛尾岩戸(1♀ 7.VII.1993) 下牛尾河内(1♀ 12.VIII.1993) 下瀬加加茂地(1♀ 16.VIII.1998)
- 62) コジャノメ *Mycalesis francisca*  
上牛尾半瀬(1♂ 16.VIII.1992) 上牛尾岩戸(1♀ 16.V.1975) 浅野(1♂ 30.V.1999)
- 63) クロコノマチョウ *Melanitis phedima*  
上牛尾半瀬(1♂ 5.X.1980) 下牛尾市場(1♂ 1♀ 16.VIII.1998) 下牛尾河内(1♀ 22.VIII.1998) 下瀬加加茂地(1♂ 12.IX.1998)
- 64) ミヤマセセリ *Erynnis montanus*  
上牛尾半瀬(1♀ 10.V.1975) 河内(1♂1♀ 11.IV.1999)
- 65) ダイミョウセセリ *Daimio tethys*  
上牛尾寺家(1♂ 31.VII.1993) 上瀬加御室(1♂ 22.VIII.1998) 上瀬加戸安(1♂ 12.IX.1998)
- 66) アオバセセリ *Choaspes benjaminii*  
上牛尾半瀬(2♂羽化 12.IV.1994) 上牛尾寺家(1♂ 14.VIII.1980)
- 67) コチャバネセセリ *Thoressa varia*  
上牛尾半瀬(1♂ 14.VIII.1980) 上瀬加御室(2♂ 22.VIII.1998) 下瀬加加茂地(1♀ 9.IV.1993)
- 68) ヒメキマダラセセリ *Ochlodes ochraceus*  
上牛尾半瀬(1♂2♀ 14.VI.1992) 下牛尾河内(2♂1♀ 22.VIII.1998) 下瀬加加茂地(2♂1♀ 16.VIII.1998)
- 69) キマダラセセリ *Potanthus flavus*  
上牛尾半瀬(1♂ 22.VIII.1998) 下牛尾河内(1♂ 16.VIII.1998) 上瀬加戸安(1♀ 22.VIII.1998) 下瀬加加茂地(1♀ 4.VII.1993)
- 70) ホソバセセリ *Isotemis lamprospilus*  
上牛尾寺家(1♀ 16.VIII.1992) 下牛尾河内(1♀ 11.VII.1993) 上瀬加御室(1♂ 11.VII.1993)
- 71) オオチャバネセセリ *Polytremsis pellucida*  
下牛尾河内(1♂ 28.VI.1992) 上瀬加御室(2♀ 20.VI.1993)
- 72) チャバネセセリ *Pelopidas mathias*  
下牛尾河内(1♀ 22.VIII.1998) 上瀬加御室(1♂1♀ 22.VIII.1998) 下瀬加加茂地(1♂1♀ 16.VIII.1998)
- 73) イチモンジセセリ *Parnara guttata*  
上牛尾半瀬(1♂ 28.VIII.1994) 上牛尾寺家

(1♂ 9.X.1993) 下瀬加茂地(1♂ 16.VIII.1998)

以上73種を確認しているが、記録の大半は瀬加地区のもので、甘地・鶴井地区など市川町西部の調査ができていない。今後これらの地区の調査を行い分布を明らかにしていきたい。

また、明らかに生息していると思われる種のみズイロオナガシジミ・ウラゴマダラシジミなどのミドリシジミの仲間の調査、ジャコウアゲハ・スジボソヤマキチョウ・ウラギンヒョウモン・イシガケチョウも分布の可能性が高いので調査を行い次の機会に報告したい。

---

### 奄美大島の材から羽脱した カミキリムシ 花岡 正

---

1997年12月31日から1998年1月5日にかけて奄美大島にカミキリムシの材を採集に行き新産地、新知見があったので報告する。

\* イスノキから

アマミアラカワシロヘリトラカミキリ  
29.IV.1999 2♂♂, 11.IV.1998 1♂  
アマミウスグロトラカミキリ  
13.VI.1998 1♂, 18.VI.1998 1♂  
19.VI.1998 1♂, 20.VI.1998 1♂

瀬戸内町赤土山の伐採地の林縁の新しい根際の太い幹の一部から羽脱。

\* ヤンバルアワブキ

リュウキュウクリイロシラホシカミキリ  
17.IV.1998 1♂ 大和村福元  
19.IV.1998 1♂ 瀬戸内町赤土山  
キイロイトヒゲカミキリ  
5.V.1998 1♂ 大和村福元  
6.V.1998 2♂1♀ 宇検村湯湾岳  
3.VII.1998 1♀ 宇検村須古  
27.VII.1998 1♀ 瀬戸内町瀬戸内  
中央材道  
29.V.1998 1♂ 瀬戸内町赤土山

5月5日から7月27日にかけて、直径1cm~5cm位

の枝から23♂♂、18♀♀羽脱した。ヤンバルアワブキはあちこちに普通に見られ海岸近くから山の頂上近くまでの産地も上記の場所から得られたのでまだまだ新産地が見つかりそうだ。ただ、カゴノキから羽脱したアマミルリホリヒゲカミキリが状態の良い枝だと多数羽脱するが、キイロイトヒゲカミキリはそんな様子は見られなかった。

\* ホソバタブ

リュウキュウチビコバナカミキリ  
28.VI.1998 1♀ 瀬戸内町赤土山  
アマミホソコバナカミキリ  
5.VI.1998 1♂ 瀬戸内町赤土山  
7.VI.1998 1♀ 瀬戸内町赤土山

伐採地の尾根筋の林縁で上部が折れた直径15cm位の樹高2m位のホソバタブから羽脱した。樹皮はしっかりしていて、芯部に食痕があり、1999年も羽脱してきそうな様子である。

---

### 兵庫県のククイムシ類・追記 高橋 寿郎

---

筆者は本誌上に"兵庫県のククイムシ類"を発表して頂いた(第12号:14-29,1998)。まとめるにあたり筆者の不注意で手許にありながら見落としていた次の文献がある。即ち、故野淵 輝博士のまとめられた「日本産甲虫目録, No.29, ナガククイムシ科, 3p., No.30, キクイムシ科, 32p. 1995」(甲虫談話会刊)である。一番新しいこの仲間の目録であるから当然この目録にある種として取り扱うべきであると考えて調べてみたが、若干配列の違いはあるが学名その他では間違いがなく、亜科の和名称ならびに亜科名の違っている点があったのでここにそれらを示しておく。

Subfamily Diaporinae トゲナガククイムシ亜科は Subfamily Platypedinae ナガククイムシ亜科に、Subfamily Hylesininae カワノククイムシ亜科はヒレジニ亜科に、Subfamily Ipiniae ザイノククイムシ亜科はイピニ亜科に。

なお, p.28, 18. *C. jeholensis* Murayama, 1939 は *C. jeholensis* Murayama, 1939 に訂正して下さい。

## テントウムシの民俗資料

### 相坂 耕作

#### 1. はじめに

姫路昆虫同好会の会誌名は「てんとうむし」である。この会誌名は誰でも知っている馴染みのよい昆虫をということを決まった訳だが、「てんとうむし」に関する記事は会誌上では創刊号しか登場していない。会誌名になっている以上無視するとテントウムシにも失礼になるので筆者の私設「播磨昆虫民俗資料館」にあるテントウムシ標本をはじめテントウムシグッズを順次紹介すると共に、テントウムシのいろいろを探ってみることにした。

#### 2. テントウムシの名前

テントウムシの名前について筆者はテントウムシが指先から太陽に向かって飛んでいくため天の道の虫ということで天道(てんとう)虫や中国語の「瓢虫」、また、レディパードの英名くらいしかしなかった。しかし、小畑晶子氏が「昆虫と自然」(1998)誌上に詳しく書かれていることがわかったので紹介したい。

Lady(レディ)は聖母マリアを意味し、「聖母マリアの鳥」となる。ドイツ語では Marienkafer(マリアの甲虫)、フランス語では Beta a bon Dieu(神様の虫)となり、ロシア、スペイン、スウェーデンなども同様な意味で呼ばれているという。また、戦国時代にキリシタンが旧約聖書の神エホバの日本語訳として「てんとう」という言葉を採用したという。

#### 3. テントウムシの分布

「あなたとわたしが夢の国 森の小さな教会で結婚式をあげました」これは、チュリッシュの歌った「てんとうむしのサンバ」の一節である。テントウムシは丸いからだに赤い紋が動物の中ではユニークで可愛らしく、小柄ながら印象のこる昆虫であるがゆえ可愛い歌になっている。また、18円通常切手にナナホシテントウとナミテントウが採用されたり、41円のかもめーるのハガキにもナミテントウが描かれたりした。多くの種類が肉食で幼虫も成虫もアブラムシ、カイガラムシ、ハダニ、ハゴロモ、菌類などを食べ、害虫などの大発生をおさえる天敵として重要なはたらきをし、人間にとって役にたつからより愛される要素ともなっている。テントウムシにはジャガイモやナスなどの植物の葉を食べる、いわゆる悪玉のテント

ウムシもみられる。

日本のテントウムシがまとめられたのは Lewis(1896)で57種が整理され、日本人による研究は名和梅吉(1899)によって始まった。テントウムシの種類は1943年には80種に達し、現在では178種(亜種を加えると180種)が知られ世界には5000種もいるというが、そのうち播磨地方には数十種のテントウムシが分布していると思われる。しかし、残念ながらテントウムシの分布を記録した文献は少なく、そのうえ筆者も専門的に調査したこともなく、採集のついでにいわば内職的に分布調査したものである。それ故、資料不足の感はまぬがれないが、県下の甲虫類のファウナに最も詳しい高橋壽郎氏が兵庫生物に執筆された兵庫県産テントウムシ(1958)を資料として使わせていただきリストを作成した。

#### \* 播磨地方テントウムシ分布リスト

トホシテントウ

*Epilachna admirabilis* Crotch

オオニジュウヤホシテントウ

*Henosepilachna vigintioctomaculata* Motschulsky

ニジュウヤホシテントウ

*Henosepilachna vigintioctopunctata* (Fabricius)

キイロテントウ

*Illeis koebelei* Timberlake

カメノコテントウ

*Aiolocaria hexaspilota* (Hope)

ハラグロオオテントウ

*Callicaria superba* (Mulsant)

ナミテントウ

*Harmonia axyridis* (Pallas)

ベニヘリテントウ

*Rodolia limbata* (Motschulsky)

マクガタテントウ

*Cocimula crotchii* Lewis

ズグロツヤテントウ

*Serangium punctum* Miyatake

ヨツモンヒメテントウ

*Nephus yotsumon* (H.Kamiya)

ウスキホシテントウ

*Oenopia hirayamai* (Yuasa)

オオヒメテントウ

*Pseudoscymnus pilicrepus* (Lewis)



クビアカヒメテントウ

*Pseudoscymnus sylvaticus* (Lewis)

キアシヒメテントウ (ハレヤヒメテントウ)

*Pseudoscymnus hareja* (Weise)

ヨツボシテントウ

*Rhymatosternus lewisii* Crotch

オオテントウ

*Synonycha grandis* (Thunberg)

シロジュウゴホシテントウ

*Calvia quindecimguttata* (Fabricius)

ウスキホシテントウ

*Oenopia hiramai* (Yuasa)

ジュウロクホシテントウ

*Sospita oblongoguttata* (Linné)

ベダリアテントウ

*Rodolia cardinalis* (Mulsant)

キアシクロヒメテントウ

*Stethorus japonicus* H.Kamiya

ウンモンテントウ

*Anatis halonis* Lewis

ジュウクホシテントウ

*Anisosticta kobensis* Lewis

ムーアシロホシテントウ

*Calvia muiri* (Timberlake)

シロトホシテントウ

*Calvia decemguttata* (Linné)

\*シロホシテントウ

*Vibidia duodecimguttata* Poda

ヒメカメノコテントウ

*Propylea japonica* (Thunberg)

ナナホシテントウ

*Coccinella septempunctata* Linnaeus

アカイロテントウ

*Rodolia concolor* (Lewis)

ヒメアカホシテントウ

*Chilocorus kuwanae* Silvestri

アミダテントウ

*Amida tricolor* (Harold)

\*コクロヒメテントウ

*Scymnus posticalis* Sharp

次の種は当時のリストにあがっているが、現在のどの種に当たるか不明である。

アカスジヒメテントウ

ウスフタホシテントウ

クロオビテントウ

写真 1

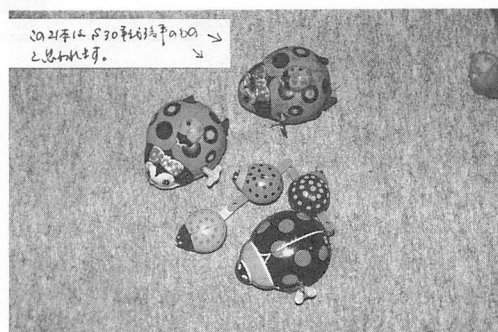


写真 2

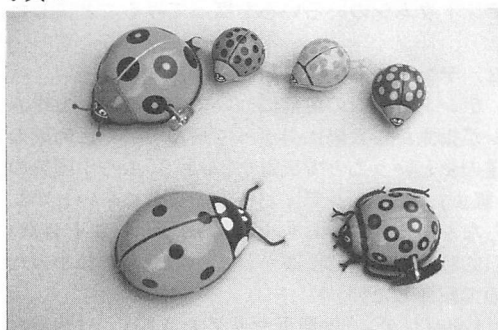


写真 3

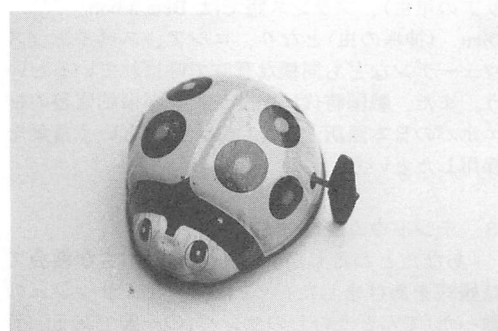
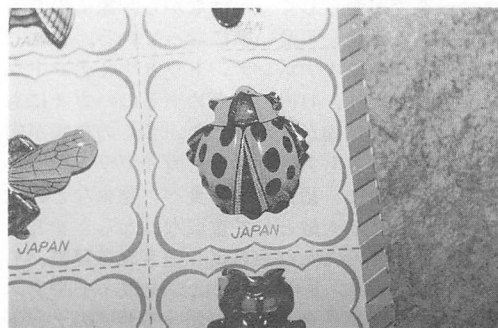


写真 4



注 \*印は兵庫県産ではあるが播磨地方には産しないもの。

#### 4. 民俗資料のいろいろ

当資料館に所蔵する資料をいくつかのグループに分けると次のようになる。

・生活用品・玩具類・工芸品・民芸品・文具  
・カード類・アクセサリー類などがあり、これらのテントウムシグッズを何回かに分けて紹介したい。今回はその第一回目としてブリキの玩具を紹介する。

#### テントウムシの玩具資料

##### ① ブリキの玩具

ブリキの玩具は筆者の子供のころから時々見かけたものだが、その多くは親子テントウムシとなっている。写真：1の右上とその左は親子テントウムシの2段式でゼンマイを巻くハンドルも金属製と樹脂製がある。どちらも昭和30年代後半に日本で製作使われたものらしい。また、下段のテントウムシの親子連なり玩具は同じく日本製で昭和40年代前半に使われたらしい。写真：2の親子連なり玩具は韓国製のものである。昭和の終わりこ

ろ時々土産物屋で見かけたことがあるが、最近はその姿を消してしまったようである。下段のものはチェコ製でゼンマイを巻くと動き出す、テーブルの下などに落ちないように工夫がしてあるブリキ玩具で最近のもの。その右は中国製で点々模様が数多くあり面白いが最近どこにも販売されていない。写真：3は昭和30年代前半の日本製ゼンマイ仕掛けのブリキ玩具。写真：4はテントウムシバジである。昭和40年ころのもの。ブリキ玩具の年代考証は日本玩具博物館の井上館長及び学芸員の尾崎織姫氏にお世話になった。感謝申しあげる。

#### <参考資料>

- 高橋壽郎(1958) 兵庫県産テントウムシ 兵庫生物 兵庫県生物学会  
日浦 勇(1978) 大阪の昆虫・陸生篇 I 大阪自然史博物館展示解説第4集  
小畑晶子(1998) テントウムシグッズ・コレクション 昆虫と自然33(4),p.26-29.

### 砥峰で採集した注目すべき蛾

兵庫県産蛾類分布資料・15

高島 昭

大河内町砥峰高原周辺で秋の蛾を調査するため、灯火採集を行ったところ次の注目すべき種を得ることができたので報告する。採集に用いた光源は白色蛍光灯、青色蛍光灯、ブラックライト各1本ずつ(いずれも20W)である。

オオバシマメイガ *Herculia orthogramma* Inoue

大河内町砥峰高原 12.X.1999,2♂

シマメイガの中でも最大級の種で、年1回秋に出現する。県下では黒田庄町、波賀町、南淡町で記録があるが少ない種である。

クロウスタビガ *Rhodinia jankowskii* (Oberthür)

大河内町砥峰高原 12.X.1999,1♂

兵庫県版レッドデータブックでBランクに入っており、年1回秋に出現する。山地性の少ない種で、これまで県下では波賀町、大屋町(未発表)で確認しているが、氷ノ山周辺以外では初の記録となる。

コケイロホソキリガ *Lithophane nagaii* Sugi

大河内町長曾 17.X.1999,1♂

山地性の少ない種で、県下ではこれまで筆者が大屋町横行溪谷で記録したものが唯一の採集例と思われる。

ムラサキシタバ *Catocala fraxini* (Linnaeus)

大河内町砥峰高原 12.X.1999,1♀

兵庫県版レッドデータブックでCランクに入っている。西南暖地では山地性の種で、県下ではこれまで波賀町で記録が多く、氷ノ山、鉢伏山でも記録がある。播州高原周辺では初記録である。

#### <参考文献>

- 相坂耕作(1981) 宍粟郡下でムラサキシタバを採集 てんとうむし7,p.40.  
藤平 明(1999) 淡路島南部の蛾,pp.96.  
木下総一郎(1979) 本州西部の興味ある蛾とその産地 蛾類通信101,p.1-2.  
岡本清・猪股涼一(1962) 兵庫県多可西脇地方の昆虫2(蛾類I) 兵庫生物4(3/4),p.154-178.  
高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺における蛾相 第1報 きべりはむし23(1),p.6-16.  
高島 昭(1995) クロウスタビガの採集記録 きべりはむし23(1),p.31.  
高島 昭(1998) 西播地方で採集した注目すべき蛾 てんとうむし12,p.68.  
高島 昭(1999) 兵庫県波賀町で採集した注目すべき蛾 誘蛾燈155,p.17-24.  
高島 昭(1999) 兵庫県西部山地で採集した注目すべき蛾 誘蛾燈157,p.93-96.  
山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報) 兵庫生物3(3),p.121-123.

## 兵庫県宍粟郡産甲虫の記録 相馬明直

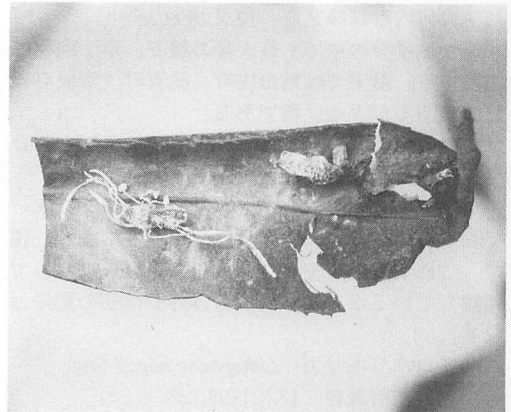
筆者は主として甲虫類を研究しているが、今回、宍粟郡波賀町の各地において比較的採集例の少ないと思われる甲虫類を採集しているので報告しておく。

1. オオキイロコガネ  
*Pollaplonyx flavidus* WATERHOUSE  
宍粟郡波賀町坂の谷林道  
3♂♂1♀ 04-VII-1997
2. オオダイセマダラコガネ  
*Blitopertha ohdaiensis* (SAWADA)  
宍粟郡波賀町坂の谷林道  
1♂ 01-VIII-1985, 1♂ 24-VII-1987
3. アオアシナガハナムグリ  
*Gnorimus subopacus* MOTSCHULSKY  
宍粟郡波賀町坂の谷林道  
1♀ 30-VII-1988, 1♀ 05-VIII-1993  
音水溪谷  
1♀ 09-VII-1995, 1♀ 13-VI-1999
4. ジュウシチホシハナムグリ  
*Paratrichius septemdecimguttatus* (SNELLEN  
VAN VOLLENHOVEN)  
5. フタキボシカネコメツキ  
*Gambrinus kraatzii* (CANDEZE)  
宍粟郡波賀町赤西溪谷 1♂ 09-V-1999  
坂の谷林道 1♀ 06-VI-1999
6. ムネアカクロコメツキ  
*Ischnodes maiko* W. SUZUKI  
宍粟郡波賀町坂の谷林道 1♀ 30-V-1999
7. シロウズツヤケシコメツキ  
*Megapenthes shirozui* KISHII  
宍粟郡波賀町坂の谷林道 1♂ 10-VIII-1997
8. アオグロアカハネムシ  
*Tydessa lewisi* (PIC)  
宍粟郡波賀町赤西溪谷 1ex. 10-V-1997
9. トケジヒメナガクチキ  
*Hallomenus tokejii* NOMURA et KATO  
宍粟郡波賀町坂の谷林道 2exs. 14-VII-1996  
2exs. 28-VII-1996  
1exs. 03-VIII-1996
10. ルリツヤナガクチキ *Melandrya* sp.  
宍粟郡波賀町坂の谷林道 1♀ 01-VI-1997

## ギフチョウの冬虫夏草 相坂 耕作

3年前になるが、懇意にしている台湾の台北動物園胡蝶館に勤務されている周英勇氏が4泊5日て来日されたことがある。筆者宅に泊まれ、県下各地や東京の多摩動物園の昆虫館など案内した。

その時に、筆者の蝶友である壺坂孝一氏宅へもお邪魔した。壺坂氏は筆者と度々、台湾で周氏と会っている間柄である。壺坂氏に以前からギフチョウの飼育時にへんな冬虫夏草のようなものがついていると聞いたことがあり、早速調べてもらったところ運良く2頭の蛹から冬虫夏草が生えていた。2蛹のうち壺坂邸の愛犬が飛びつき残念ながら1蛹は崩れてしまったが、1蛹のこったのが写真のものである。冬虫夏草は読んで字の如く冬は虫、夏は草ということで昆虫や蜘蛛などから生えるキノコの総称である。中国の薬店にいくと数多くの冬虫夏草が売られている。これは主にコウモリガの幼虫に生じたキノコである。長命の薬として珍重され、値段も他の物価から比べるとけっこう高い。冬虫夏草は通常このようなガの幼虫に生じることが多いが、よく知られているものとしてセミの幼虫につくセミタケや、オサムシ、カメムシ、ヤンマなどの成虫にも発生する。俗に昆虫の蛹にはつきやすいと聞くが、ギフチョウの蛹に生じるのはあまり聞いたことがないので報告する次第である。報告にあたり恵与戴いた壺坂孝一氏、発見のきっかけと同行願った周英勇氏に御礼申し上げる。



ギフチョウの蛹についた冬虫夏草  
27-X-1996 兵庫県飾磨郡夢前町前之庄

\* \* \* 編 集 後 記 \* \* \*

てんとうむしNo. 13をお届けします。春に発行の予定が大幅にずれ込み、会員諸氏には申し訳ありませんでした。とくに、早くから原稿をお寄せいただいた方々にはご迷惑をおかけいたしました。

もうすっかりと秋らしくなり、発行時には寒くなっているかも知れません。発行の遅れの責任は世話人にあります。2000年もあと僅かになった昨今、平成不況はかなり深刻で、経済企画庁の「不況は底をついた」は全くのデタラメのほかありません。一言言い訳をさせていただくなら、世間の不景気で趣味どころではなく仕事のことで頭がいっぱいだったのです。生業の建設方面は数年前の1/3くらいの仕事量のうえ、取引先の倒産や負債を抱え今ひとつパツとしません。当然会社でもリストラがあり、編集子の就職時と較べ、従業員も1/2以下となりました。泣き言ばかり言っても仕方ありませんが、大変な世の中となりつつあります。そんな不愉快さを忘れさせてくれるのが昆虫の世界です。その時だけは一時的に頭の痛いことは忘れ、空っぽになりたいものと願っています。ただでさえ年1回しか発行しない会誌が、こんなかたちで遅れてはいけないと思っています。姫昆も目立った活躍はありませんが、これからも気長く付き合って下さるようお願い申し上げます。

[会費の納入について]

1999年度会費を同封の振替用紙を御利用のうえ、納入下さるようお願いいたします。

1999年度会費 3,000円

郵便振替 01100-6-

姫路昆虫同好会 相坂耕作方

てんとうむし 13 号

発行/姫路昆虫同好会  
発行日/1999年12月15日  
編集者/相坂耕作  
事務局/〒671-1143  
姫路市  
相坂耕作方  
TEL/FAX 0792-36-

# てんとうむし 13号 目 次

兵庫県産蝶類分布資料(15) -暖地性の蝶3種の記録- イシガケチョウ・クロコノマチョウ・ウスイロコノマチョウ .....広畑政巳・近藤伸一	1
カラスアゲハがキハダの幹に産卵 .....広畑政巳	14
県下で観察したルリシジミの産卵植物 .....広畑政巳	14
ウスバシロチョウの新しい採集記録 .....広畑政巳	14
音水・赤西溪谷(穴栗郡)の甲虫相(1) * 兵庫県甲虫相資料・356 .....高橋寿郎	15
大正・昭和初めに(1912-1945)日本で記録されたコガネムシ(1) .....高橋寿郎	26
黒田庄町で採集した蛾(2) .....岡本 清	41
兵庫県で採集した蛾 .....岡本 清	50
チュンベリーの見た日本の昆虫(2) ゴキブリ目 .....大貝秀雄	59
兵庫県のシャチホコガ(1) 兵庫県産蛾類分布資料・13 .....高島 昭	65
天津市立自然博物館をたずねて .....相坂耕作	80
播磨地方におけるアサギマダラの新たな越冬産地 .....木村三郎	82
市川町産蝶類目録(1) .....広畑政巳	83
奄美大島の材から羽脱したカミキリムシ .....花岡 正	86
兵庫県のククイムシ類・追記 .....高橋寿郎	86
テントウムシの民俗資料 .....相坂耕作	87
砥峰で採集した注目すべき蛾 .....高島 昭	89
兵庫県穴栗郡産甲虫の記録 .....相馬明直	90
ギフチョウの冬虫夏草 .....相坂耕作	90
編集後記	